

Virtex-6 ライブラリ ガイド (回路図用)

UG624 (v11.4) 2009 年 12 月 2 日

ザイリンクス商標および著作権情報



Xilinx is disclosing this user guide, manual, release note, and/or specification (the “Documentation”) to you solely for use in the development of designs to operate with Xilinx hardware devices. You may not reproduce, distribute, republish, download, display, post, or transmit the Documentation in any form or by any means including, but not limited to, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written consent of Xilinx. Xilinx expressly disclaims any liability arising out of your use of the Documentation. Xilinx reserves the right, at its sole discretion, to change the Documentation without notice at any time. Xilinx assumes no obligation to correct any errors contained in the Documentation, or to advise you of any corrections or updates. Xilinx expressly disclaims any liability in connection with technical support or assistance that may be provided to you in connection with the Information.

THE DOCUMENTATION IS DISCLOSED TO YOU “AS-IS” WITH NO WARRANTY OF ANY KIND. XILINX MAKES NO OTHER WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, OR STATUTORY, REGARDING THE DOCUMENTATION, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NONINFRINGEMENT OF THIRD-PARTY RIGHTS. IN NO EVENT WILL XILINX BE LIABLE FOR ANY CONSEQUENTIAL, INDIRECT, EXEMPLARY, SPECIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING ANY LOSS OF DATA OR LOST PROFITS, ARISING FROM YOUR USE OF THE DOCUMENTATION.

© Copyright 2002–2009 Xilinx Inc. All Rights Reserved. XILINX, the Xilinx logo, the Brand Window and other designated brands included herein are trademarks of Xilinx, Inc. All other trademarks are the property of their respective owners.

本資料は英語版 (v.11.4) を翻訳したもので、内容に相違が生じる場合には原文を優先します。
資料によっては英語版の更新に対応していないものがあります。
日本語版は参考用としてご使用の上、最新情報につきましては、必ず最新英語版をご参照ください。

目次

ザイリンクス商標および著作権情報	2
1: このマニュアルについて	43
デザイン エLEMENT	43
2: ファンクション別分類	45
3: デザイン エLEMENT	63
ACC16	64
概要	64
論理表	65
デザインの入力方法	65
詳細情報	65
ACC4	66
概要	66
論理表	67
デザインの入力方法	67
詳細情報	67
ACC8	68
概要	68
論理表	69
デザインの入力方法	69
詳細情報	69
ADD16	70
概要	70
論理表	70
デザインの入力方法	70
詳細情報	70
ADD4	71
概要	71
論理表	71
デザインの入力方法	71
詳細情報	71
ADD8	72
概要	72
論理表	72
デザインの入力方法	72
詳細情報	72
ADSU16	73
概要	73
論理表	73
デザインの入力方法	74
詳細情報	74
ADSU4	75
概要	75
論理表	75
デザインの入力方法	76
詳細情報	76
ADSU8	77
概要	77
論理表	77
デザインの入力方法	78
詳細情報	78
AND12	79
概要	79
デザインの入力方法	79
詳細情報	79
AND16	80

概要.....	80
デザインの入力方法.....	80
詳細情報	80
AND2.....	81
概要.....	81
デザインの入力方法.....	81
詳細情報	81
AND2B1.....	82
概要.....	82
デザインの入力方法.....	82
詳細情報	82
AND2B1L.....	83
概要.....	83
論理表.....	83
ボートの説明	83
デザインの入力方法.....	83
詳細情報	83
AND2B2.....	84
概要.....	84
デザインの入力方法.....	84
詳細情報	84
AND3.....	85
概要.....	85
デザインの入力方法.....	85
詳細情報	85
AND3B1.....	86
概要.....	86
デザインの入力方法.....	86
詳細情報	86
AND3B2.....	87
概要.....	87
デザインの入力方法.....	87
詳細情報	87
AND3B3.....	88
概要.....	88
デザインの入力方法.....	88
詳細情報	88
AND4.....	89
概要.....	89
デザインの入力方法.....	89
詳細情報	89
AND4B1.....	90
概要.....	90
デザインの入力方法.....	90
詳細情報	90
AND4B2.....	91
概要.....	91
デザインの入力方法.....	91
詳細情報	91
AND4B3.....	92
概要.....	92
デザインの入力方法.....	92
詳細情報	92
AND4B4.....	93
概要.....	93
デザインの入力方法.....	93
詳細情報	93
AND5.....	94
概要.....	94

デザインの入力方法.....	94
詳細情報	94
AND5B1	95
概要.....	95
デザインの入力方法.....	95
詳細情報	95
AND5B2	96
概要.....	96
デザインの入力方法.....	96
詳細情報	96
AND5B3	97
概要.....	97
デザインの入力方法.....	97
詳細情報	97
AND5B4	98
概要.....	98
デザインの入力方法.....	98
詳細情報	98
AND5B5	99
概要.....	99
デザインの入力方法.....	99
詳細情報	99
AND6.....	100
概要.....	100
デザインの入力方法.....	100
詳細情報	100
AND7.....	101
概要.....	101
デザインの入力方法.....	101
詳細情報	101
AND8.....	102
概要.....	102
デザインの入力方法.....	102
詳細情報	102
AND9.....	103
概要.....	103
デザインの入力方法.....	103
詳細情報	103
BRLSHIFT4	104
概要.....	104
論理表.....	104
デザインの入力方法.....	104
詳細情報	104
BRLSHIFT8	105
概要.....	105
論理表.....	105
デザインの入力方法.....	105
詳細情報	105
BSCAN_VIRTEX6.....	106
概要.....	106
ポートの説明	107
デザインの入力方法.....	107
使用可能な属性.....	107
詳細情報	107
BUF.....	108
概要.....	108
デザインの入力方法.....	108
詳細情報	108
BUFCF	109

概要.....	109
デザインの入力方法.....	109
詳細情報	109
BUFG	110
概要.....	110
ポートの説明	110
デザインの入力方法.....	110
詳細情報	110
BUFGCE	111
概要.....	111
論理表.....	111
デザインの入力方法.....	111
詳細情報	111
BUFGCE_1	112
概要.....	112
論理表.....	112
デザインの入力方法.....	112
詳細情報	112
BUFGCTRL	113
概要.....	113
ポートの説明	113
デザインの入力方法.....	113
使用可能な属性.....	114
詳細情報	114
BUFGMUX_CTRL	115
概要.....	115
ポートの説明	115
デザインの入力方法.....	115
詳細情報	115
BUFH	116
概要.....	116
ポートの説明	116
デザインの入力方法.....	116
詳細情報	116
BUFHCE	117
概要.....	117
ポートの説明	117
デザインの入力方法.....	117
使用可能な属性.....	117
詳細情報	117
BUFIO	118
概要.....	118
ポートの説明	118
デザインの入力方法.....	118
詳細情報	118
BUFIODQS.....	119
概要.....	119
ポートの説明	119
デザインの入力方法.....	119
使用可能な属性.....	119
詳細情報	119
BUFR.....	120
概要.....	120
ポートの説明	120
デザインの入力方法.....	120
使用可能な属性.....	120
詳細情報	120
CAPTURE_VIRTEX6	121
概要.....	121

ポートの説明	121
デザインの入力方法	121
使用可能な属性	121
詳細情報	121
CARRY4	122
概要	122
ポートの説明	122
デザインの入力方法	122
詳細情報	122
CB16CE	123
概要	123
論理表	123
デザインの入力方法	123
詳細情報	123
CB16CLE	124
概要	124
論理表	125
デザインの入力方法	125
詳細情報	125
CB16CLED	126
概要	126
論理表	126
デザインの入力方法	127
詳細情報	127
CB16RE	128
概要	128
論理表	128
デザインの入力方法	128
詳細情報	128
CB2CE	129
概要	129
論理表	129
デザインの入力方法	129
詳細情報	129
CB2CLE	130
概要	130
論理表	130
デザインの入力方法	130
詳細情報	131
CB2CLED	132
概要	132
論理表	132
デザインの入力方法	133
詳細情報	133
CB2RE	134
概要	134
論理表	134
デザインの入力方法	134
詳細情報	134
CB4CE	135
概要	135
論理表	135
デザインの入力方法	135
詳細情報	136
CB4CLE	137
概要	137
論理表	137
デザインの入力方法	138
詳細情報	138

CB4CLED.....	139
概要.....	139
論理表.....	140
デザインの入力方法.....	140
詳細情報	140
CB4RE	141
概要.....	141
論理表.....	141
デザインの入力方法.....	141
詳細情報	142
CB8CE.....	143
概要.....	143
論理表.....	143
デザインの入力方法.....	143
詳細情報	143
CB8CLE.....	144
概要.....	144
論理表.....	144
デザインの入力方法.....	144
詳細情報	145
CB8CLED.....	146
概要.....	146
論理表.....	146
デザインの入力方法.....	147
詳細情報	147
CB8RE	148
概要.....	148
論理表.....	148
デザインの入力方法.....	148
詳細情報	148
CC16CE.....	149
概要.....	149
論理表.....	149
デザインの入力方法.....	149
詳細情報	149
CC16CLE.....	150
概要.....	150
論理表.....	150
デザインの入力方法.....	150
詳細情報	151
CC16CLED.....	152
概要.....	152
論理表.....	152
デザインの入力方法.....	153
詳細情報	153
CC16RE	154
概要.....	154
論理表.....	154
デザインの入力方法.....	154
詳細情報	154
CC8CE	155
概要.....	155
論理表.....	155
デザインの入力方法.....	155
詳細情報	155
CC8CLE.....	156
概要.....	156
論理表.....	156
デザインの入力方法.....	156

詳細情報	157
CC8CLED	158
概要	158
論理表	158
デザインの入力方法	159
詳細情報	159
CC8RE	160
概要	160
論理表	160
デザインの入力方法	160
詳細情報	160
CD4CE	161
概要	161
論理表	162
デザインの入力方法	162
詳細情報	162
CD4CLE	163
概要	163
論理表	164
デザインの入力方法	164
詳細情報	164
CD4RE	165
概要	165
論理表	166
デザインの入力方法	166
詳細情報	166
CD4RLE	167
概要	167
論理表	168
デザインの入力方法	168
詳細情報	168
CFGLUT5	169
概要	169
ポートの説明	169
デザインの入力方法	169
使用可能な属性	170
詳細情報	170
CJ4CE	171
概要	171
論理表	171
デザインの入力方法	171
詳細情報	171
CJ4RE	172
概要	172
論理表	172
デザインの入力方法	172
詳細情報	172
CJ5CE	173
概要	173
論理表	173
デザインの入力方法	173
詳細情報	173
CJ5RE	174
概要	174
論理表	174
デザインの入力方法	174
詳細情報	174
CJ8CE	175
概要	175

論理表.....	175
デザインの入力方法.....	175
詳細情報	175
CJ8RE.....	176
概要	176
論理表.....	176
デザインの入力方法.....	176
詳細情報	176
COMP16	177
概要	177
デザインの入力方法.....	177
詳細情報	177
COMP2	178
概要.....	178
デザインの入力方法.....	178
詳細情報	178
COMP4	179
概要.....	179
デザインの入力方法.....	179
詳細情報	179
COMP8	180
概要.....	180
デザインの入力方法.....	180
詳細情報	180
COMPM16.....	181
概要.....	181
論理表.....	181
デザインの入力方法.....	181
詳細情報	181
COMPM2	182
概要.....	182
論理表.....	182
デザインの入力方法.....	182
詳細情報	182
COMPM4	183
概要.....	183
論理表.....	183
デザインの入力方法.....	183
詳細情報	183
COMPM8	184
概要.....	184
論理表.....	184
デザインの入力方法.....	184
詳細情報	184
COMPMC16	185
概要.....	185
論理表.....	185
デザインの入力方法.....	185
詳細情報	186
COMPMC8	187
概要.....	187
論理表.....	187
デザインの入力方法.....	187
詳細情報	188
D2_4E	189
概要.....	189
論理表.....	189
デザインの入力方法.....	189
詳細情報	189

D3_8E	190
概要	190
論理表	190
デザインの入力方法	190
詳細情報	190
D4_16E	191
概要	191
デザインの入力方法	191
詳細情報	191
DCIRESET	192
概要	192
ポートの説明	192
デザインの入力方法	192
使用可能な属性	192
詳細情報	192
DEC_CC16	193
概要	193
論理表	193
デザインの入力方法	193
詳細情報	194
DEC_CC4	195
概要	195
論理表	195
デザインの入力方法	195
詳細情報	195
DEC_CC8	196
概要	196
論理表	196
デザインの入力方法	196
詳細情報	196
DNA_PORT	197
概要	197
ポートの説明	197
デザインの入力方法	197
使用可能な属性	198
詳細情報	198
DSP48E1	199
概要	199
ポートの説明	200
デザインの入力方法	202
使用可能な属性	202
詳細情報	204
EFUSE_USR	205
概要	205
ポートの説明	205
デザインの入力方法	205
使用可能な属性	205
詳細情報	205
FD	206
概要	206
論理表	206
デザインの入力方法	206
使用可能な属性	206
詳細情報	206
FD_1	207
概要	207
論理表	207
デザインの入力方法	207
使用可能な属性	207

詳細情報	207
FD16CE	208
概要	208
論理表	208
デザインの入力方法	208
使用可能な属性	208
詳細情報	208
FD16RE	209
概要	209
論理表	209
デザインの入力方法	209
使用可能な属性	209
詳細情報	209
FD4CE	210
概要	210
論理表	210
デザインの入力方法	210
使用可能な属性	210
詳細情報	210
FD4RE	211
概要	211
論理表	211
デザインの入力方法	211
使用可能な属性	211
詳細情報	211
FD8CE	212
概要	212
論理表	212
デザインの入力方法	212
使用可能な属性	212
詳細情報	212
FD8RE	213
概要	213
論理表	213
デザインの入力方法	213
使用可能な属性	213
詳細情報	213
FDC	214
概要	214
論理表	214
デザインの入力方法	214
使用可能な属性	214
詳細情報	214
FDC_1	215
概要	215
論理表	215
デザインの入力方法	215
使用可能な属性	215
詳細情報	215
FDCE	216
概要	216
論理表	216
デザインの入力方法	216
使用可能な属性	216
詳細情報	216
FDCE_1	217
概要	217
論理表	217
デザインの入力方法	217

使用可能な属性.....	217
詳細情報	217
FDE.....	218
概要.....	218
論理表.....	218
デザインの入力方法.....	218
使用可能な属性.....	218
詳細情報	218
FDE_1.....	219
概要.....	219
論理表.....	219
デザインの入力方法.....	219
使用可能な属性.....	219
詳細情報	219
FDP.....	220
概要.....	220
論理表.....	220
デザインの入力方法.....	220
使用可能な属性.....	220
詳細情報	220
FDP_1.....	221
概要.....	221
論理表.....	221
デザインの入力方法.....	221
使用可能な属性.....	221
詳細情報	221
FDPE.....	222
概要.....	222
論理表.....	222
デザインの入力方法.....	222
使用可能な属性.....	222
詳細情報	222
FDPE_1.....	223
概要.....	223
論理表.....	223
デザインの入力方法.....	223
使用可能な属性.....	223
詳細情報	223
FDR.....	224
概要.....	224
論理表.....	224
デザインの入力方法.....	224
使用可能な属性.....	224
詳細情報	224
FDR_1.....	225
概要.....	225
論理表.....	225
デザインの入力方法.....	225
使用可能な属性.....	225
詳細情報	225
FDRE.....	226
概要.....	226
論理表.....	226
デザインの入力方法.....	226
使用可能な属性.....	226
詳細情報	226
FDRE_1.....	227
概要.....	227
論理表.....	227

デザインの入力方法.....	227
使用可能な属性.....	227
詳細情報	227
FDS	228
概要.....	228
論理表.....	228
デザインの入力方法.....	228
使用可能な属性.....	228
詳細情報	228
FDS_1	229
概要.....	229
論理表.....	229
デザインの入力方法.....	229
使用可能な属性.....	229
詳細情報	229
FDSE	230
概要.....	230
論理表.....	230
デザインの入力方法.....	230
使用可能な属性.....	230
詳細情報	230
FDSE_1	231
概要.....	231
論理表.....	231
デザインの入力方法.....	231
使用可能な属性.....	231
詳細情報	231
FIFO18E1.....	232
概要.....	232
ポートの説明	232
デザインの入力方法.....	233
使用可能な属性.....	233
詳細情報	234
FIFO36E1.....	235
概要.....	235
ポートの説明	235
デザインの入力方法.....	236
使用可能な属性.....	236
詳細情報	237
FJKC	238
概要.....	238
論理表.....	238
デザインの入力方法.....	238
使用可能な属性.....	238
詳細情報	238
FJKCE	239
概要.....	239
論理表.....	239
デザインの入力方法.....	239
使用可能な属性.....	239
詳細情報	239
FJKP.....	240
概要.....	240
論理表.....	240
デザインの入力方法.....	240
使用可能な属性.....	240
詳細情報	240
FJKPE.....	241
概要.....	241

論理表.....	241
デザインの入力方法.....	241
使用可能な属性.....	241
詳細情報	242
FJKRSE	243
概要.....	243
論理表.....	243
デザインの入力方法.....	243
使用可能な属性.....	243
詳細情報	244
FJKSRE	245
概要.....	245
論理表.....	245
デザインの入力方法.....	245
使用可能な属性.....	245
詳細情報	246
FRAME_ECC_VIRTEX6.....	247
概要.....	247
ポートの説明	247
デザインの入力方法.....	248
使用可能な属性.....	248
詳細情報	248
FTC.....	249
概要.....	249
論理表.....	249
デザインの入力方法.....	249
使用可能な属性.....	249
詳細情報	249
FTCE.....	250
概要.....	250
論理表.....	250
デザインの入力方法.....	250
使用可能な属性.....	250
詳細情報	250
FTCLE.....	251
概要.....	251
論理表.....	251
デザインの入力方法.....	251
使用可能な属性.....	251
詳細情報	251
FTCLEX.....	252
概要.....	252
論理表.....	252
デザインの入力方法.....	252
使用可能な属性.....	252
詳細情報	253
FTP.....	254
概要.....	254
論理表.....	254
デザインの入力方法.....	254
使用可能な属性.....	254
詳細情報	254
FTPE.....	255
概要.....	255
論理表.....	255
デザインの入力方法.....	255
使用可能な属性.....	255
詳細情報	255
FTPLE	256

概要.....	256
論理表.....	256
デザインの入力方法.....	256
使用可能な属性.....	256
詳細情報	257
FTRSE	258
概要.....	258
論理表.....	258
デザインの入力方法.....	258
使用可能な属性.....	258
詳細情報	258
FTRSLE	259
概要.....	259
論理表.....	259
デザインの入力方法.....	259
使用可能な属性.....	260
詳細情報	260
FTSRE	261
概要.....	261
論理表.....	261
デザインの入力方法.....	261
使用可能な属性.....	261
詳細情報	261
FTSRLE	262
概要.....	262
論理表.....	262
デザインの入力方法.....	262
使用可能な属性.....	263
詳細情報	263
GND	264
概要.....	264
デザインの入力方法.....	264
詳細情報	264
GTHE1_QUAD	265
概要.....	266
デザインの入力方法.....	266
詳細情報	266
GTXE1.....	267
概要.....	268
デザインの入力方法.....	268
詳細情報	268
IBUF.....	269
概要.....	269
ポートの説明	269
デザインの入力方法.....	269
使用可能な属性.....	269
詳細情報	269
IBUF16	270
概要.....	270
デザインの入力方法.....	270
使用可能な属性.....	270
詳細情報	270
IBUF4	271
概要.....	271
デザインの入力方法.....	271
使用可能な属性.....	271
詳細情報	271
IBUF8.....	272
概要.....	272

デザインの入力方法.....	272
使用可能な属性.....	272
詳細情報	272
IBUFDS.....	273
概要.....	273
論理表.....	273
ポートの説明	273
デザインの入力方法.....	273
使用可能な属性.....	273
詳細情報	273
IBUFDS_GTHE1	274
概要.....	274
デザインの入力方法.....	274
詳細情報	274
IBUFDS_GTXE1.....	275
概要.....	275
デザインの入力方法.....	275
詳細情報	275
IBUFG	276
概要.....	276
ポートの説明	276
デザインの入力方法.....	276
使用可能な属性.....	276
詳細情報	276
IBUFGDS	277
概要.....	277
論理表.....	277
ポートの説明	277
デザインの入力方法.....	277
使用可能な属性.....	277
詳細情報	278
ICAP_VIRTEX6.....	279
概要.....	279
ポートの説明	279
デザインの入力方法.....	279
使用可能な属性.....	279
詳細情報	279
IDDR	280
概要.....	280
ポートの説明	280
デザインの入力方法.....	281
使用可能な属性.....	281
詳細情報	281
IDDR_2CLK	282
概要.....	282
ポートの説明	282
デザインの入力方法.....	283
使用可能な属性.....	283
詳細情報	283
IDELAY.....	284
概要.....	284
ポートの説明	284
デザインの入力方法.....	286
使用可能な属性.....	286
詳細情報	286
IDELAYCTRL	287
概要.....	287
ポートの説明	287
デザインの入力方法.....	287

詳細情報	287
IFD.....	288
概要.....	288
論理表.....	288
デザインの入力方法.....	288
詳細情報	288
IFD_1	289
概要.....	289
論理表.....	289
デザインの入力方法.....	289
詳細情報	289
IFD16	290
概要.....	290
論理表.....	290
デザインの入力方法.....	290
詳細情報	290
IFD4	291
概要.....	291
論理表.....	291
デザインの入力方法.....	291
詳細情報	291
IFD8	292
概要.....	292
論理表.....	292
デザインの入力方法.....	292
詳細情報	292
IFDI.....	293
概要.....	293
論理表.....	293
デザインの入力方法.....	293
詳細情報	293
IFDI_1	294
概要.....	294
論理表.....	294
デザインの入力方法.....	294
詳細情報	294
IFDX.....	295
概要.....	295
論理表.....	295
デザインの入力方法.....	295
詳細情報	295
IFDX_1	296
概要.....	296
論理表.....	296
デザインの入力方法.....	296
詳細情報	296
IFDX16	297
概要.....	297
論理表.....	297
デザインの入力方法.....	297
詳細情報	297
IFDX4	298
概要.....	298
論理表.....	298
デザインの入力方法.....	298
詳細情報	298
IFDX8	299
概要.....	299
論理表.....	299

デザインの入力方法.....	299
詳細情報	299
ILD.....	300
概要.....	300
論理表.....	300
デザインの入力方法.....	300
詳細情報	300
ILD_1.....	301
概要.....	301
論理表.....	301
デザインの入力方法.....	301
詳細情報	301
ILD16.....	302
概要.....	302
論理表.....	302
デザインの入力方法.....	302
詳細情報	302
ILD4.....	303
概要.....	303
論理表.....	303
デザインの入力方法.....	303
詳細情報	303
ILD8.....	304
概要.....	304
論理表.....	304
デザインの入力方法.....	304
詳細情報	304
ILDI.....	305
概要.....	305
論理表.....	305
デザインの入力方法.....	305
詳細情報	305
ILDI_1.....	306
概要.....	306
論理表.....	306
デザインの入力方法.....	306
詳細情報	306
ILDXI.....	307
概要.....	307
論理表.....	307
デザインの入力方法.....	307
詳細情報	307
ILDXI_1.....	308
概要.....	308
論理表.....	308
デザインの入力方法.....	308
詳細情報	308
INV.....	309
概要.....	309
デザインの入力方法.....	309
詳細情報	309
INV16.....	310
概要.....	310
デザインの入力方法.....	310
詳細情報	310
INV4.....	311
概要.....	311
デザインの入力方法.....	311
詳細情報	311

INV8	312
概要	312
デザインの入力方法	312
詳細情報	312
IOBUF	313
概要	313
論理表	313
ポートの説明	313
デザインの入力方法	313
使用可能な属性	313
詳細情報	314
IOBUFDS	315
概要	315
論理表	315
ポートの説明	315
デザインの入力方法	315
使用可能な属性	315
詳細情報	315
IODELAYE1	316
概要	316
ポートの説明	316
デザインの入力方法	317
使用可能な属性	317
詳細情報	318
ISERDESE1	319
概要	319
ポートの説明	319
デザインの入力方法	320
使用可能な属性	320
詳細情報	321
KEEPER	322
概要	322
ポートの説明	322
デザインの入力方法	322
詳細情報	322
KEY_CLEAR	323
概要	323
ポートの説明	323
デザインの入力方法	323
詳細情報	323
LD	324
概要	324
論理表	324
デザインの入力方法	324
使用可能な属性	324
詳細情報	324
LD_1	325
概要	325
論理表	325
デザインの入力方法	325
使用可能な属性	325
詳細情報	325
LD16	326
概要	326
論理表	326
デザインの入力方法	326
使用可能な属性	326
詳細情報	326
LD16CE	327

概要.....	327
論理表.....	327
デザインの入力方法.....	327
使用可能な属性.....	327
詳細情報	327
LD4	328
概要.....	328
論理表.....	328
デザインの入力方法.....	328
使用可能な属性.....	328
詳細情報	328
LD4CE	329
概要.....	329
論理表.....	329
デザインの入力方法.....	329
使用可能な属性.....	329
詳細情報	329
LD8	330
概要.....	330
論理表.....	330
デザインの入力方法.....	330
使用可能な属性.....	330
詳細情報	330
LD8CE	331
概要.....	331
論理表.....	331
デザインの入力方法.....	331
使用可能な属性.....	331
詳細情報	331
LDC	332
概要.....	332
論理表.....	332
デザインの入力方法.....	332
使用可能な属性.....	332
詳細情報	332
LDC_1	333
概要.....	333
論理表.....	333
デザインの入力方法.....	333
使用可能な属性.....	333
詳細情報	333
LDCE	334
概要.....	334
論理表.....	334
デザインの入力方法.....	334
使用可能な属性.....	334
詳細情報	334
LDCE_1	335
概要.....	335
論理表.....	335
デザインの入力方法.....	335
使用可能な属性.....	335
詳細情報	335
LDE	336
概要.....	336
論理表.....	336
デザインの入力方法.....	336
使用可能な属性.....	336
詳細情報	336

LDE_1	337
概要	337
論理表	337
デザインの入力方法	337
使用可能な属性	337
詳細情報	337
LDP	338
概要	338
論理表	338
デザインの入力方法	338
使用可能な属性	338
詳細情報	338
LDP_1	339
概要	339
論理表	339
デザインの入力方法	339
使用可能な属性	339
詳細情報	339
LDPE	340
概要	340
論理表	340
デザインの入力方法	340
使用可能な属性	340
詳細情報	340
LDPE_1	341
概要	341
論理表	341
デザインの入力方法	341
使用可能な属性	341
詳細情報	341
LUT1	342
概要	342
論理表	342
デザインの入力方法	342
使用可能な属性	342
詳細情報	342
LUT1_D	343
概要	343
論理表	343
デザインの入力方法	343
使用可能な属性	343
詳細情報	343
LUT1_L	344
概要	344
論理表	344
デザインの入力方法	344
使用可能な属性	344
詳細情報	344
LUT2	345
概要	345
論理表	345
デザインの入力方法	345
使用可能な属性	345
詳細情報	346
LUT2_D	347
概要	347
論理表	347
デザインの入力方法	347
使用可能な属性	347

詳細情報	348
LUT2_L	349
概要	349
論理表	349
デザインの入力方法	349
使用可能な属性	349
詳細情報	350
LUT3	351
概要	351
論理表	351
デザインの入力方法	351
使用可能な属性	352
詳細情報	352
LUT3_D	353
概要	353
論理表	353
デザインの入力方法	353
使用可能な属性	354
詳細情報	354
LUT3_L	355
概要	355
論理表	355
デザインの入力方法	355
使用可能な属性	356
詳細情報	356
LUT4	357
概要	357
論理表	358
デザインの入力方法	358
使用可能な属性	358
詳細情報	358
LUT4_D	359
概要	359
論理表	360
デザインの入力方法	360
使用可能な属性	360
詳細情報	360
LUT4_L	361
概要	361
論理表	362
デザインの入力方法	362
使用可能な属性	362
詳細情報	362
LUT5	363
概要	363
論理表	364
ポートの説明	365
デザインの入力方法	365
使用可能な属性	365
詳細情報	365
LUT5_D	366
概要	366
論理表	367
ポートの説明	368
デザインの入力方法	368
使用可能な属性	368
詳細情報	368
LUT5_L	369
概要	369

論理表.....	370
ポートの説明	371
デザインの入力方法.....	371
使用可能な属性.....	371
詳細情報	371
LUT6	372
概要.....	372
論理表.....	372
ポートの説明	374
デザインの入力方法.....	374
使用可能な属性.....	374
詳細情報	375
LUT6_2	376
概要.....	376
論理表.....	376
ポートの説明	378
デザインの入力方法.....	378
使用可能な属性.....	378
詳細情報	379
LUT6_D.....	380
概要.....	380
論理表.....	380
ポートの説明	382
デザインの入力方法.....	382
使用可能な属性.....	382
詳細情報	383
LUT6_L.....	384
概要.....	384
論理表.....	384
ポートの説明	386
デザインの入力方法.....	386
使用可能な属性.....	386
詳細情報	387
M16_1E	388
概要.....	388
論理表.....	389
デザインの入力方法.....	389
詳細情報	389
M2_1.....	390
概要.....	390
論理表.....	390
デザインの入力方法.....	390
詳細情報	390
M2_1B1	391
概要.....	391
論理表.....	391
デザインの入力方法.....	391
詳細情報	391
M2_1B2	392
概要.....	392
論理表.....	392
デザインの入力方法.....	392
詳細情報	392
M2_1E	393
概要.....	393
論理表.....	393
デザインの入力方法.....	393
詳細情報	393
M4_1E	394

概要.....	394
論理表.....	394
デザインの入力方法.....	394
詳細情報	394
M8_1E	395
概要.....	395
論理表.....	395
デザインの入力方法.....	395
詳細情報	395
MMCM_ADV	396
概要.....	396
ポートの説明	396
デザインの入力方法.....	398
使用可能な属性.....	398
詳細情報	399
MMCM_BASE	400
概要.....	400
ポートの説明	400
デザインの入力方法.....	401
使用可能な属性.....	401
詳細情報	402
MULT18X18	403
概要.....	403
論理表.....	403
デザインの入力方法.....	403
詳細情報	403
MULT18X18S.....	404
概要.....	404
論理表.....	404
デザインの入力方法.....	404
詳細情報	404
MUXCY.....	405
概要.....	405
論理表.....	405
デザインの入力方法.....	405
詳細情報	405
MUXCY_D	406
概要.....	406
論理表.....	406
デザインの入力方法.....	406
詳細情報	406
MUXCY_L.....	407
概要.....	407
論理表.....	407
デザインの入力方法.....	407
詳細情報	407
MUXF7	408
概要.....	408
論理表.....	408
ポートの説明	408
デザインの入力方法.....	408
詳細情報	408
MUXF7_D	409
概要.....	409
論理表.....	409
ポートの説明	409
デザインの入力方法.....	409
詳細情報	409
MUXF7_L	410

概要.....	410
論理表.....	410
ポートの説明.....	410
デザインの入力方法.....	410
詳細情報.....	410
MUXF8.....	411
概要.....	411
論理表.....	411
ポートの説明.....	411
デザインの入力方法.....	411
詳細情報.....	411
MUXF8_D.....	412
概要.....	412
論理表.....	412
ポートの説明.....	412
デザインの入力方法.....	412
詳細情報.....	412
MUXF8_L.....	413
概要.....	413
論理表.....	413
ポートの説明.....	413
デザインの入力方法.....	413
詳細情報.....	413
NAND12.....	414
概要.....	414
デザインの入力方法.....	414
詳細情報.....	414
NAND16.....	415
概要.....	415
デザインの入力方法.....	415
詳細情報.....	415
NAND2.....	416
概要.....	416
デザインの入力方法.....	416
詳細情報.....	416
NAND2B1.....	417
概要.....	417
デザインの入力方法.....	417
詳細情報.....	417
NAND2B2.....	418
概要.....	418
デザインの入力方法.....	418
詳細情報.....	418
NAND3.....	419
概要.....	419
デザインの入力方法.....	419
詳細情報.....	419
NAND3B1.....	420
概要.....	420
デザインの入力方法.....	420
詳細情報.....	420
NAND3B2.....	421
概要.....	421
デザインの入力方法.....	421
詳細情報.....	421
NAND3B3.....	422
概要.....	422
デザインの入力方法.....	422
詳細情報.....	422

NAND4.....	423
概要.....	423
デザインの入力方法.....	423
詳細情報	423
NAND4B1.....	424
概要.....	424
デザインの入力方法.....	424
詳細情報	424
NAND4B2.....	425
概要.....	425
デザインの入力方法.....	425
詳細情報	425
NAND4B3.....	426
概要.....	426
デザインの入力方法.....	426
詳細情報	426
NAND4B4.....	427
概要.....	427
デザインの入力方法.....	427
詳細情報	427
NAND5.....	428
概要.....	428
デザインの入力方法.....	428
詳細情報	428
NAND5B1.....	429
概要.....	429
デザインの入力方法.....	429
詳細情報	429
NAND5B2.....	430
概要.....	430
デザインの入力方法.....	430
詳細情報	430
NAND5B3.....	431
概要.....	431
デザインの入力方法.....	431
詳細情報	431
NAND5B4.....	432
概要.....	432
デザインの入力方法.....	432
詳細情報	432
NAND5B5.....	433
概要.....	433
デザインの入力方法.....	433
詳細情報	433
NAND6.....	434
概要.....	434
デザインの入力方法.....	434
詳細情報	434
NAND7.....	435
概要.....	435
デザインの入力方法.....	435
詳細情報	435
NAND8.....	436
概要.....	436
デザインの入力方法.....	436
詳細情報	436
NAND9.....	437
概要.....	437
デザインの入力方法.....	437

詳細情報	437
NOR12	438
概要	438
デザインの入力方法	438
詳細情報	438
NOR16	439
概要	439
デザインの入力方法	439
詳細情報	439
NOR2	440
概要	440
デザインの入力方法	440
詳細情報	440
NOR2B1	441
概要	441
デザインの入力方法	441
詳細情報	441
NOR2B2	442
概要	442
デザインの入力方法	442
詳細情報	442
NOR3	443
概要	443
デザインの入力方法	443
詳細情報	443
NOR3B1	444
概要	444
デザインの入力方法	444
詳細情報	444
NOR3B2	445
概要	445
デザインの入力方法	445
詳細情報	445
NOR3B3	446
概要	446
デザインの入力方法	446
詳細情報	446
NOR4	447
概要	447
デザインの入力方法	447
詳細情報	447
NOR4B1	448
概要	448
デザインの入力方法	448
詳細情報	448
NOR4B2	449
概要	449
デザインの入力方法	449
詳細情報	449
NOR4B3	450
概要	450
デザインの入力方法	450
詳細情報	450
NOR4B4	451
概要	451
デザインの入力方法	451
詳細情報	451
NOR5	452
概要	452

デザインの入力方法.....	452
詳細情報	452
NOR5B1	453
概要	453
デザインの入力方法.....	453
詳細情報	453
NOR5B2	454
概要	454
デザインの入力方法.....	454
詳細情報	454
NOR5B3	455
概要	455
デザインの入力方法.....	455
詳細情報	455
NOR5B4	456
概要	456
デザインの入力方法.....	456
詳細情報	456
NOR5B5	457
概要	457
デザインの入力方法.....	457
詳細情報	457
NOR6.....	458
概要	458
デザインの入力方法.....	458
詳細情報	458
NOR7.....	459
概要	459
デザインの入力方法.....	459
詳細情報	459
NOR8.....	460
概要	460
デザインの入力方法.....	460
詳細情報	460
NOR9.....	461
概要	461
デザインの入力方法.....	461
詳細情報	461
OBUF	462
概要	462
ポートの説明	462
デザインの入力方法.....	462
使用可能な属性.....	462
詳細情報	462
OBUF16.....	463
概要	463
デザインの入力方法.....	463
使用可能な属性.....	463
詳細情報	463
OBUF4.....	464
概要	464
デザインの入力方法.....	464
使用可能な属性.....	464
詳細情報	464
OBUF8.....	465
概要	465
デザインの入力方法.....	465
使用可能な属性.....	465
詳細情報	465

OBUFDS	466
概要.....	466
論理表.....	466
ポートの説明	466
デザインの入力方法.....	466
使用可能な属性.....	466
詳細情報	466
OBUFT	467
概要.....	467
論理表.....	467
ポートの説明	467
デザインの入力方法.....	467
使用可能な属性.....	467
詳細情報	467
OBUFT16.....	468
概要.....	468
論理表.....	468
デザインの入力方法.....	468
使用可能な属性.....	468
詳細情報	468
OBUFT4	469
概要.....	469
論理表.....	469
デザインの入力方法.....	469
使用可能な属性.....	469
詳細情報	469
OBUFT8	470
概要.....	470
論理表.....	470
デザインの入力方法.....	470
使用可能な属性.....	470
詳細情報	470
OBUFTDS	471
概要.....	471
論理表.....	471
ポートの説明	471
デザインの入力方法.....	471
使用可能な属性.....	471
詳細情報	471
ODDR.....	472
概要.....	472
ポートの説明	472
デザインの入力方法.....	472
使用可能な属性.....	473
詳細情報	473
OFD	474
概要.....	474
論理表.....	474
デザインの入力方法.....	474
詳細情報	474
OFD_1.....	475
概要.....	475
論理表.....	475
デザインの入力方法.....	475
詳細情報	475
OFD16.....	476
概要.....	476
論理表.....	476
デザインの入力方法.....	476

詳細情報	476
OFD4.....	477
概要.....	477
論理表.....	477
デザインの入力方法.....	477
詳細情報	477
OFD8.....	478
概要.....	478
論理表.....	478
デザインの入力方法.....	478
詳細情報	478
OFDE	479
概要.....	479
論理表.....	479
デザインの入力方法.....	479
詳細情報	479
OFDE_1.....	480
概要.....	480
論理表.....	480
デザインの入力方法.....	480
詳細情報	480
OFDE16.....	481
概要.....	481
論理表.....	481
デザインの入力方法.....	481
詳細情報	481
OFDE4.....	482
概要.....	482
論理表.....	482
デザインの入力方法.....	482
詳細情報	482
OFDE8.....	483
概要.....	483
論理表.....	483
デザインの入力方法.....	483
詳細情報	483
OFDI	484
概要.....	484
論理表.....	484
デザインの入力方法.....	484
詳細情報	484
OFDI_1.....	485
概要.....	485
論理表.....	485
デザインの入力方法.....	485
詳細情報	485
OFDT	486
概要.....	486
論理表.....	486
デザインの入力方法.....	486
詳細情報	486
OFDT_1.....	487
概要.....	487
論理表.....	487
デザインの入力方法.....	487
詳細情報	487
OFDT16.....	488
概要.....	488
論理表.....	488

デザインの入力方法.....	488
詳細情報	488
OFDT4.....	489
概要.....	489
論理表.....	489
デザインの入力方法.....	489
詳細情報	489
OFDT8.....	490
概要.....	490
論理表.....	490
デザインの入力方法.....	490
詳細情報	490
OFDX.....	491
概要.....	491
論理表.....	491
デザインの入力方法.....	491
詳細情報	491
OFDX_1.....	492
概要.....	492
論理表.....	492
デザインの入力方法.....	492
詳細情報	492
OFDX16.....	493
概要.....	493
論理表.....	493
デザインの入力方法.....	493
詳細情報	493
OFDX4.....	494
概要.....	494
論理表.....	494
デザインの入力方法.....	494
詳細情報	494
OFDX8.....	495
概要.....	495
論理表.....	495
デザインの入力方法.....	495
詳細情報	495
OFDXI.....	496
概要.....	496
論理表.....	496
デザインの入力方法.....	496
詳細情報	496
OFDXI1.....	497
概要.....	497
論理表.....	497
デザインの入力方法.....	497
詳細情報	497
OR12.....	498
概要.....	498
デザインの入力方法.....	498
詳細情報	498
OR16.....	499
概要.....	499
デザインの入力方法.....	499
詳細情報	499
OR2.....	500
概要.....	500
デザインの入力方法.....	500
詳細情報	500

OR2B1	501
概要	501
デザインの入力方法	501
詳細情報	501
OR2B2	502
概要	502
デザインの入力方法	502
詳細情報	502
OR2L	503
概要	503
論理表	503
ポートの説明	503
デザインの入力方法	503
詳細情報	503
OR3	504
概要	504
デザインの入力方法	504
詳細情報	504
OR3B1	505
概要	505
デザインの入力方法	505
詳細情報	505
OR3B2	506
概要	506
デザインの入力方法	506
詳細情報	506
OR3B3	507
概要	507
デザインの入力方法	507
詳細情報	507
OR4	508
概要	508
デザインの入力方法	508
詳細情報	508
OR4B1	509
概要	509
デザインの入力方法	509
詳細情報	509
OR4B2	510
概要	510
デザインの入力方法	510
詳細情報	510
OR4B3	511
概要	511
デザインの入力方法	511
詳細情報	511
OR4B4	512
概要	512
デザインの入力方法	512
詳細情報	512
OR5	513
概要	513
デザインの入力方法	513
詳細情報	513
OR5B1	514
概要	514
デザインの入力方法	514
詳細情報	514
OR5B2	515

概要.....	515
デザインの入力方法.....	515
詳細情報	515
OR5B3	516
概要.....	516
デザインの入力方法.....	516
詳細情報	516
OR5B4	517
概要.....	517
デザインの入力方法.....	517
詳細情報	517
OR5B5	518
概要.....	518
デザインの入力方法.....	518
詳細情報	518
OR6	519
概要.....	519
デザインの入力方法.....	519
詳細情報	519
OR7	520
概要.....	520
デザインの入力方法.....	520
詳細情報	520
OR8	521
概要.....	521
デザインの入力方法.....	521
詳細情報	521
OR9	522
概要.....	522
デザインの入力方法.....	522
詳細情報	522
OSERDESE1	523
概要.....	523
ポートの説明	523
デザインの入力方法.....	525
使用可能な属性.....	525
詳細情報	525
PCIE_2.0.....	526
概要.....	527
デザインの入力方法.....	527
詳細情報	527
PLL_ADV	528
概要.....	528
ポートの説明	528
デザインの入力方法.....	529
使用可能な属性.....	530
詳細情報	531
PLL_BASE	532
概要.....	532
ポートの説明	532
デザインの入力方法.....	532
使用可能な属性.....	533
詳細情報	533
PULLDOWN	534
概要.....	534
ポートの説明	534
デザインの入力方法.....	534
詳細情報	534
PULLUP	535

概要.....	535
ポートの説明.....	535
デザインの入力方法.....	535
詳細情報.....	535
RAM128X1D	536
概要.....	536
ポートの説明.....	536
デザインの入力方法.....	536
使用可能な属性.....	537
詳細情報.....	537
RAM16X1D.....	538
概要.....	538
論理表.....	538
デザインの入力方法.....	539
使用可能な属性.....	539
詳細情報.....	539
RAM16X1D_1	540
概要.....	540
論理表.....	540
ポートの説明.....	541
デザインの入力方法.....	541
使用可能な属性.....	541
詳細情報.....	541
RAM16X1S	542
概要.....	542
論理表.....	542
デザインの入力方法.....	542
使用可能な属性.....	542
詳細情報.....	542
RAM16X1S_1.....	543
概要.....	543
論理表.....	543
デザインの入力方法.....	543
使用可能な属性.....	543
詳細情報.....	544
RAM16X2S	545
概要.....	545
論理表.....	545
デザインの入力方法.....	545
使用可能な属性.....	546
詳細情報.....	546
RAM16X4S	547
概要.....	547
論理表.....	547
デザインの入力方法.....	547
使用可能な属性.....	547
詳細情報.....	548
RAM16X8S	549
概要.....	549
論理表.....	549
デザインの入力方法.....	549
使用可能な属性.....	549
詳細情報.....	549
RAM256X1S.....	550
概要.....	550
ポートの説明.....	550
デザインの入力方法.....	550
使用可能な属性.....	550
詳細情報.....	550

RAM32M	551
概要	551
ポートの説明	552
デザインの入力方法	552
使用可能な属性	553
詳細情報	553
RAM32X1D	554
概要	554
論理表	554
デザインの入力方法	554
使用可能な属性	554
詳細情報	555
RAM32X1S	556
概要	556
論理表	556
デザインの入力方法	556
使用可能な属性	556
詳細情報	557
RAM32X1S_1	558
概要	558
論理表	558
デザインの入力方法	558
使用可能な属性	558
詳細情報	559
RAM32X2S	560
概要	560
論理表	560
デザインの入力方法	560
使用可能な属性	561
詳細情報	561
RAM32X4S	562
概要	562
論理表	562
デザインの入力方法	562
使用可能な属性	563
詳細情報	563
RAM32X8S	564
概要	564
論理表	564
デザインの入力方法	564
使用可能な属性	565
詳細情報	565
RAM64M	566
概要	566
ポートの説明	566
デザインの入力方法	567
使用可能な属性	567
詳細情報	567
RAM64X1D	568
概要	568
論理表	568
デザインの入力方法	569
使用可能な属性	569
詳細情報	569
RAM64X1S	570
概要	570
論理表	570
デザインの入力方法	570
使用可能な属性	570

詳細情報	570
RAM64X1S_1	571
概要	571
論理表	571
デザインの入力方法	571
使用可能な属性	571
詳細情報	571
RAM64X2S	572
概要	572
論理表	572
デザインの入力方法	572
使用可能な属性	573
詳細情報	573
RAMB18E1	574
概要	574
ポートの説明	574
デザインの入力方法	576
使用可能な属性	576
詳細情報	579
RAMB36E1	580
概要	580
ポートの説明	581
デザインの入力方法	582
使用可能な属性	583
詳細情報	585
ROM128X1	586
概要	586
論理表	586
デザインの入力方法	586
使用可能な属性	587
詳細情報	587
ROM16X1	588
概要	588
論理表	588
デザインの入力方法	588
使用可能な属性	589
詳細情報	589
ROM256X1	590
概要	590
論理表	590
デザインの入力方法	591
使用可能な属性	591
詳細情報	591
ROM32X1	592
概要	592
論理表	592
デザインの入力方法	592
使用可能な属性	593
詳細情報	593
ROM64X1	594
概要	594
論理表	594
デザインの入力方法	594
使用可能な属性	595
詳細情報	595
SOP3	596
概要	596
デザインの入力方法	596
詳細情報	596

SOP3B1A	597
概要	597
デザインの入力方法	597
詳細情報	597
SOP3B1B	598
概要	598
デザインの入力方法	598
詳細情報	598
SOP3B2A	599
概要	599
デザインの入力方法	599
詳細情報	599
SOP3B2B	600
概要	600
デザインの入力方法	600
詳細情報	600
SOP3B3	601
概要	601
デザインの入力方法	601
詳細情報	601
SOP4	602
概要	602
デザインの入力方法	602
詳細情報	602
SOP4B1	603
概要	603
デザインの入力方法	603
詳細情報	603
SOP4B2A	604
概要	604
デザインの入力方法	604
詳細情報	604
SOP4B2B	605
概要	605
デザインの入力方法	605
詳細情報	605
SOP4B3	606
概要	606
デザインの入力方法	606
詳細情報	606
SOP4B4	607
概要	607
デザインの入力方法	607
詳細情報	607
SR16CE	608
概要	608
論理表	608
デザインの入力方法	608
詳細情報	608
SR16CLE	609
概要	609
論理表	609
デザインの入力方法	609
詳細情報	610
SR16CLED	611
概要	611
論理表	611
デザインの入力方法	611
詳細情報	612

SR16RE	613
概要.....	613
論理表.....	613
デザインの入力方法.....	613
詳細情報	613
SR16RLE	614
概要.....	614
論理表.....	614
デザインの入力方法.....	614
詳細情報	615
SR16RLED	616
概要.....	616
論理表.....	616
デザインの入力方法.....	616
詳細情報	617
SR4CE	618
概要.....	618
論理表.....	618
デザインの入力方法.....	618
詳細情報	618
SR4CLE.....	619
概要.....	619
論理表.....	619
デザインの入力方法.....	620
詳細情報	620
SR4CLED	621
概要.....	621
論理表.....	621
デザインの入力方法.....	622
詳細情報	622
SR4RE.....	623
概要.....	623
論理表.....	623
デザインの入力方法.....	623
詳細情報	623
SR4RLE	624
概要.....	624
論理表.....	624
デザインの入力方法.....	625
詳細情報	625
SR4RLED.....	626
概要.....	626
論理表.....	626
デザインの入力方法.....	627
詳細情報	627
SR8CE	628
概要.....	628
論理表.....	628
デザインの入力方法.....	628
詳細情報	628
SR8CLE.....	629
概要.....	629
論理表.....	629
デザインの入力方法.....	629
詳細情報	630
SR8CLED	631
概要.....	631
論理表.....	631
デザインの入力方法.....	631

詳細情報	632
SR8RE	633
概要	633
論理表	633
デザインの入力方法	633
詳細情報	633
SR8RLE	634
概要	634
論理表	634
デザインの入力方法	634
詳細情報	635
SR8RLED	636
概要	636
論理表	636
デザインの入力方法	636
詳細情報	637
SRL16	638
概要	638
論理表	638
デザインの入力方法	638
使用可能な属性	639
詳細情報	639
SRL16_1	640
概要	640
論理表	640
デザインの入力方法	640
使用可能な属性	641
詳細情報	641
SRL16E	642
概要	642
論理表	642
ポートの説明	643
デザインの入力方法	643
使用可能な属性	643
詳細情報	643
SRL16E_1	644
概要	644
論理表	644
デザインの入力方法	644
使用可能な属性	645
詳細情報	645
SRLC16	646
概要	646
論理表	646
デザインの入力方法	646
使用可能な属性	647
詳細情報	647
SRLC16_1	648
概要	648
論理表	648
デザインの入力方法	648
使用可能な属性	648
詳細情報	649
SRLC16E	650
概要	650
論理表	650
デザインの入力方法	650
使用可能な属性	651
詳細情報	651

SRLC16E_1	652
概要	652
論理表	652
デザインの入力方法	652
使用可能な属性	653
詳細情報	653
SRLC32E	654
概要	654
ポートの説明	654
デザインの入力方法	654
使用可能な属性	655
詳細情報	655
STARTUP_VIRTEX6	656
概要	656
ポートの説明	657
デザインの入力方法	657
使用可能な属性	657
詳細情報	658
SYSMON	659
概要	659
ポートの説明	659
デザインの入力方法	660
使用可能な属性	660
詳細情報	662
TEMAC_SINGLE	663
概要	663
デザインの入力方法	664
詳細情報	664
USR_ACCESS_VIRTEX6	665
概要	665
ポートの説明	665
デザインの入力方法	665
詳細情報	665
VCC	666
概要	666
デザインの入力方法	666
詳細情報	666
XNOR2	667
概要	667
論理表	667
デザインの入力方法	667
詳細情報	667
XNOR3	668
概要	668
論理表	668
デザインの入力方法	668
詳細情報	668
XNOR4	669
概要	669
論理表	669
デザインの入力方法	669
詳細情報	669
XNOR5	670
概要	670
論理表	670
デザインの入力方法	670
詳細情報	670
XNOR6	671
概要	671

論理表.....	671
デザインの入力方法.....	671
詳細情報	671
XNOR7	672
概要.....	672
論理表.....	672
デザインの入力方法.....	672
詳細情報	672
XNOR8	673
概要.....	673
論理表.....	673
デザインの入力方法.....	673
詳細情報	673
XNOR9	674
概要.....	674
論理表.....	674
デザインの入力方法.....	674
詳細情報	674
XOR2.....	675
概要.....	675
デザインの入力方法.....	675
詳細情報	675
XOR3.....	676
概要.....	676
デザインの入力方法.....	676
詳細情報	676
XOR4.....	677
概要.....	677
デザインの入力方法.....	677
詳細情報	677
XOR5.....	678
概要.....	678
デザインの入力方法.....	678
詳細情報	678
XOR6.....	679
概要.....	679
デザインの入力方法.....	679
詳細情報	679
XOR7.....	680
概要.....	680
デザインの入力方法.....	680
詳細情報	680
XOR8.....	681
概要.....	681
デザインの入力方法.....	681
詳細情報	681
XOR9.....	682
概要.....	682
デザインの入力方法.....	682
詳細情報	682
XORCY.....	683
概要.....	683
論理表.....	683
デザインの入力方法.....	683
詳細情報	683

第 1 章

このマニュアルについて

回路図用ライブラリ ガイドは、ISE のオンライン マニュアルの 1 つです。HDL を使用して設計する場合は、HDL 用ライブラリ ガイドを参照してください。

このマニュアルには、次の内容が含まれます。

- ・ 概要
- ・ このアーキテクチャでサポートされるプリミティブとマクロのファンクション別リスト
- ・ 各プリミティブの詳細説明

デザイン エLEMENT

このバージョンのライブラリ ガイドでは、このアーキテクチャのデザイン エLEMENTが記載されています。デザイン エLEMENTはいくつかのカテゴリに分類されています。

- ・ **プリミティブ**：ザイリンクス ライブラリで、ロジックの基本となる最も単純なデザイン エLEMENT。ザイリンクスのプリミティブの例として、BUF (バッファ)、FD (D フリップフロップ) などがあります。
- ・ **マクロ**：ザイリンクス ライブラリの基本となるデザイン エLEMENT。デザイン エLEMENTのプリミティブまたはマクロから作成することができます。たとえば、FD4CE フリップフロップ マクロは 4 つの FDCE プリミティブをまとめたものです。

ザイリンクスでは、さまざまなデバイス アーキテクチャに対応した多数のデザイン エLEMENT (マクロおよびプリミティブ) を含むソフトウェア ライブラリを提供しています。開発システム ソフトウェアのリリースごとに、新しいデザイン エLEMENT が組み込まれます。このマニュアルは、そのようなアーキテクチャ固有のライブラリの 1 つです。

ファンクション別分類

このセクションでは、デバイスに含まれるデザイン エLEMENTをファンクション別に分類して示します。ELEMENT (プリミティブおよびマクロのインプリメンテーション) は、各カテゴリでアルファベット順にリストしています。

アドバンス	デコーダ	ラッチ
演算ファンクション	フリップフロップ	ロジック
バッファ	汎用ELEMENT	LUT
キャリー ロジック	入力/出力ファンクション	メモリ
クロック リソース	I/O	マルチプレクサ
コンパレータ	I/O フリップフロップ	シフト レジスタ
カウンタ	I/O ラッチ	シフタ

アドバンス

デザイン ELEMENT	説明
GTHE1_QUAD	プリミティブ : Gigabit Transceiver
GTXE1	プリミティブ : Gigabit Transceiver
PCIE_2_0	プリミティブ : PCI Express version 2.0 Compliant.
TEMAC_SINGLE	プリミティブ : Tri-mode Ethernet Media Access Controller (MAC)

演算ファンクション

デザイン エlement	説明
ACC16	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset
ACC4	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset
ACC8	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset
ADD16	マクロ : 16-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADD4	マクロ : 4-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADD8	マクロ : 8-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADSU16	マクロ : 16-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADSU4	マクロ : 4-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADSU8	マクロ : 8-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
DSP48E1	プリミティブ : 25x18 Two's Complement Multiplier with Integrated 48-Bit, 3-Input Adder/Subtractor/Accumulator or 2-Input Logic Unit
MULT18X18	プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier
MULT18X18S	プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier -- Registered Version

バッファ

デザイン エlement	説明
BUF	プリミティブ : General Purpose Buffer
BUFCF	プリミティブ : Fast Connect Buffer
BUFG	プリミティブ : Global Clock Buffer
BUFGCE	プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable
BUFGCE_1	プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable and Output State 1
BUFGMUX_CTRL	プリミティブ : 2-to-1 Global Clock MUX Buffer

キャリー ロジック

デザイン エlement	説明
CARRY4	プリミティブ : Fast Carry Logic with Look Ahead
MUXCY	プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with General Output
MUXCY_D	プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Dual Output
MUXCY_L	プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Local Output
XORCY	プリミティブ : XOR for Carry Logic with General Output

クロック リソース

デザイン エLEMENT	説明
BUFGCTRL	プリミティブ : Global Clock MUX Buffer
BUFH	プリミティブ : Clock buffer for a single clocking region
BUFHCE	プリミティブ : Clock buffer for a single clocking region with clock enable
BUFIO	プリミティブ : Local Clock Buffer for I/O
BUFIODQS	プリミティブ : Differential Clock Input for Transceiver Reference Clocks
BUFR	プリミティブ : Regional Clock Buffer for I/O and Logic Resources
MMCM_ADV	プリミティブ : MMCM is a mixed signal block designed to support clock network deskew, frequency synthesis, and jitter reduction.
MMCM_BASE	プリミティブ : Mixed signal block designed to support clock network deskew, frequency synthesis, and jitter reduction.
PLL_ADV	プリミティブ : Advanced Phase Locked Loop Clock Circuit
PLL_BASE	プリミティブ : Basic Phase Locked Loop Clock Circuit
SYSMON	プリミティブ : System Monitor

コンパレータ

デザイン エLEMENT	説明
COMP16	マクロ : 16-Bit Identity Comparator
COMP2	マクロ : 2-Bit Identity Comparator
COMP4	マクロ : 4-Bit Identity Comparator
COMP8	マクロ : 8-Bit Identity Comparator
COMPM16	マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator
COMPM2	マクロ : 2-Bit Magnitude Comparator
COMPM4	マクロ : 4-Bit Magnitude Comparator
COMPM8	マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator
COMPMC16	マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator
COMPMC8	マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator

カウンタ

デザイン エLEMENT	説明
CB16CE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB16CLE	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB16CLED	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB16RE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CB2CE	マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear

デザイン エLEMENT	説明
CB2CLE	マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB2CLED	マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB2RE	マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CB4CE	マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB4CLE	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB4CLED	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB4RE	マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CB8CE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB8CLE	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB8CLED	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB8RE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CC16CE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC16CLE	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC16CLED	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC16RE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CC8CE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC8CLE	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC8CLED	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC8RE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CD4CE	マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CD4CLE	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CD4RE	マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CD4RLE	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CJ4CE	4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CJ4RE	マクロ : 4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CJ5CE	マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CJ5RE	マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CJ8CE	マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CJ8RE	マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset

デコーダ

デザイン エLEMENT	説明
D2_4E	マクロ : 2- to 4-Line Decoder/Demultiplexer with Enable
D3_8E	マクロ : 3- to 8-Line Decoder/Demultiplexer with Enable
D4_16E	マクロ : 4- to 16-Line Decoder/Demultiplexer with Enable
DEC_CC16	マクロ : 16-Bit Active Low Decoder
DEC_CC4	マクロ : 4-Bit Active Low Decoder
DEC_CC8	マクロ : 8-Bit Active Low Decoder

フリップフロップ

デザイン エLEMENT	説明
FD	プリミティブ : D Flip-Flop
FD_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock
FD16CE	マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
FD16RE	マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset
FD4CE	マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
FD4RE	マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset
FD8CE	マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
FD8RE	マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset
FDC	プリミティブ : D Flip-Flop with Asynchronous Clear
FDC_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Clear
FDCE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FDCE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Clear
FDE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable
FDE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Clock Enable
FDP	プリミティブ : D Flip-Flop with Asynchronous Preset
FDP_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Preset
FDPE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FDPE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Preset
FDR	プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Reset
FDR_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Reset
FDRE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset
FDRE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Synchronous Reset
FDS	プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Set
FDS_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Set
FDSE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set

デザイン エLEMENT	説明
FDSE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Synchronous Set
FJKC	マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Clear
FJKCE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FJKP	マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Preset
FJKPE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FJKRSE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set
FJKSRE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset
FTC	マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Clear
FTCE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FTCLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FTCLEX	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FTP	マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Preset
FTPE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FTPLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FTRSE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set
FTRSLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set
FTSRE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset
FTSRLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset

汎用ELEMENT

デザイン エLEMENT	説明
BSCAN_VIRTEX6	プリミティブ : Virtex®-6 JTAG Boundary-Scan Logic Access Circuit
CAPTURE_VIRTEX6	プリミティブ : Virtex®-6 Readback Register Capture Control
DNA_PORT	プリミティブ : Device DNA Data Access Port
EFUSE_USR	プリミティブ : 32-bit non-volatile design ID
FRAME_ECC_VIRTEX6	プリミティブ : Virtex®-6 Configuration Frame Error Detection and Correction Circuitry
GND	プリミティブ : Ground-Connection Signal Tag
ICAP_VIRTEX6	プリミティブ : Internal Configuration Access Port
KEEPER	プリミティブ : KEEPER Symbol
KEY_CLEAR	プリミティブ : Virtex-5 Configuration Encryption Key Erase
PULLDOWN	プリミティブ : Resistor to GND for Input Pads, Open-Drain, and 3-State Outputs
PULLUP	プリミティブ : Resistor to VCC for Input PADS, Open-Drain, and 3-State Outputs
STARTUP_VIRTEX6	プリミティブ : Virtex®-6 Configuration Start-Up Sequence Interface
USR_ACCESS_VIRTEX6	プリミティブ : Virtex-6 User Access Register
VCC	プリミティブ : VCC-Connection Signal Tag

入力/出力ファンクション

デザイン エLEMENT	説明
DCIRESET	プリミティブ : DCI State Machine Reset (After Configuration Has Been Completed)
IDDR	プリミティブ : Input Dual Data-Rate Register
IDDR_2CLK	プリミティブ : Input Dual Data-Rate Register with Dual Clock Inputs
IDELAY	プリミティブ : Input Delay Element
IDELAYCTRL	プリミティブ : IDELAY Tap Delay Value Control
IODELAYE1	プリミティブ : Input and Output Fixed or Variable Delay Element
ISERDESE1	プリミティブ : Input SERIAL/DESerializer
ODDR	プリミティブ : Dedicated Dual Data Rate (DDR) Output Register
OSERDESE1	プリミティブ : Dedicated IOB Output Serializer

I/O

デザイン エLEMENT	説明
IBUF	プリミティブ : Input Buffer
IBUF16	マクロ : 16-Bit Input Buffer
IBUF4	マクロ : 4-Bit Input Buffer
IBUF8	マクロ : 8-Bit Input Buffer
IBUFDS	プリミティブ : Differential Signaling Input Buffer
IBUFDS_GTHE1	プリミティブ : Differential Clock Input for the GTH Transceiver Reference Clocks
IBUFDS_GTXE1	プリミティブ : Differential Clock Input for the Transceiver Reference Clocks
IBUFG	プリミティブ : Dedicated Input Clock Buffer
IBUFGDS	プリミティブ : Differential Signaling Dedicated Input Clock Buffer and Optional Delay
IOBUF	プリミティブ : Bi-Directional Buffer
IOBUFDS	プリミティブ : 3-State Differential Signaling I/O Buffer with Active Low Output Enable
OBUF	プリミティブ : Output Buffer
OBUF16	マクロ : 16-Bit Output Buffer
OBUF4	マクロ : 4-Bit Output Buffer
OBUF8	マクロ : 8-Bit Output Buffer
OBUFDS	プリミティブ : Differential Signaling Output Buffer
OBUFFT	プリミティブ : 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable
OBUFFT16	マクロ : 16-Bit 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable
OBUFFT4	マクロ : 4-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable
OBUFFT8	マクロ : 8-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable
OBUFFTDS	プリミティブ : 3-State Output Buffer with Differential Signaling, Active-Low Output Enable

I/O フリップフロップ

デザイン エLEMENT	説明
IFD	マクロ : Input D Flip-Flop
IFD_1	マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)
IFD16	マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flop
IFD4	マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop
IFD8	マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop
IFDI	マクロ : Input D Flip-Flop (Asynchronous Preset)
IFDI_1	マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)
IFDX	マクロ : Input D Flip-Flop with Clock Enable
IFDX_1	マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable
IFDX16	マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flops with Clock Enable
IFDX4	マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable
IFDX8	マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable
OFD	マクロ : Output D Flip-Flop
OFD_1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock
OFD16	マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop
OFD4	マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop
OFD8	マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop
OFDE	マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDE_1	マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffer and Inverted Clock
OFDE16	マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDE4	マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDE8	マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDI	マクロ : Output D Flip-Flop (Asynchronous Preset)
OFDI_1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)
OFDT	マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer
OFDT_1	マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer and Inverted Clock
OFDT16	マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers
OFDT4	マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers
OFDT8	マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers
OFDX	マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDX_1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable
OFDX16	マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDX4	マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDX8	マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDXI	マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable (Asynchronous Preset)
OFDXI_1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable (Asynchronous Preset)

I/O ラッチ

デザイン エLEMENT	説明
ILD	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILD_1	マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate
ILD16	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILD4	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILD8	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILDI	マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)
ILDI_1	マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)
ILDXI	マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)
ILDXI_1	マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)

ラッチ

デザイン エLEMENT	説明
LD	プリミティブ : Transparent Data Latch
LD_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Inverted Gate
LD16	マクロ : Multiple Transparent Data Latch
LD16CE	マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LD4	マクロ : Multiple Transparent Data Latch
LD4CE	マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LD8	マクロ : Multiple Transparent Data Latch
LD8CE	マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LDC	プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear
LDC_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Inverted Gate
LDCE	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LDCE_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear, Gate Enable, and Inverted Gate
LDE	プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable
LDE_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable and Inverted Gate
LDP	プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset
LDP_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Inverted Gate
LDPE	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Gate Enable
LDPE_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset, Gate Enable, and Inverted Gate

ロジック

デザイン エレメント	説明
AND12	マクロ : 12- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND16	その他 : 16- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND2	プリミティブ : 2-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND2B1	プリミティブ : 2-Input AND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
AND2B1L	プリミティブ : Two input AND gate implemented in place of a Slice Latch
AND2B2	プリミティブ : 2-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND3	プリミティブ : 3-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND3B1	プリミティブ : 3-Input AND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
AND3B2	プリミティブ : 3-Input AND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
AND3B3	プリミティブ : 3-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND4	プリミティブ : 4-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND4B1	プリミティブ : 4-Input AND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
AND4B2	プリミティブ : 4-Input AND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
AND4B3	プリミティブ : 4-Input AND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
AND4B4	プリミティブ : 4-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND5	プリミティブ : 5-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND5B1	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
AND5B2	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
AND5B3	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
AND5B4	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
AND5B5	プリミティブ : 5-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND6	マクロ : 6-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND7	マクロ : 7-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND8	マクロ : 8-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND9	マクロ : 9-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
INV	プリミティブ : Inverter
INV16	マクロ : 16 Inverters
INV4	マクロ : Four Inverters
INV8	マクロ : Eight Inverters
NAND12	マクロ : 12- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND16	マクロ : 16- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND2	プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND2B1	プリミティブ : 2-Input NAND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND2B2	プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND3	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs

デザイン エLEMENT	説明
NAND3B1	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NAND3B2	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND3B3	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND4	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND4B1	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NAND4B2	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NAND4B3	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND4B4	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND5	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND5B1	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
NAND5B2	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NAND5B3	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NAND5B4	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND5B5	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND6	マクロ : 6-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND7	マクロ : 7-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND8	マクロ : 8-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND9	マクロ : 9-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NOR12	マクロ : 12-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR16	マクロ : 16-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR2	プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR2B1	プリミティブ : 2-Input NOR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR2B2	プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR3	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR3B1	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NOR3B2	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR3B3	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR4	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR4B1	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NOR4B2	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NOR4B3	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR4B4	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR5	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR5B1	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
NOR5B2	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NOR5B3	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs

デザイン エLEMENT	説明
NOR5B4	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR5B5	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR6	マクロ : 6-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR7	マクロ : 7-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR8	マクロ : 8-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR9	マクロ : 9-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
OR12	マクロ : 12-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR16	マクロ : 16-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR2	プリミティブ : 2-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR2B1	プリミティブ : 2-Input OR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR2B2	プリミティブ : 2-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR2L	プリミティブ : Two input OR gate implemented in place of a Slice Latch
OR3	プリミティブ : 3-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR3B1	プリミティブ : 3-Input OR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
OR3B2	プリミティブ : 3-Input OR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR3B3	プリミティブ : 3-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR4	プリミティブ : 4-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR4B1	プリミティブ : 4-Input OR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
OR4B2	プリミティブ : 4-Input OR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
OR4B3	プリミティブ : 4-Input OR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR4B4	プリミティブ : 4-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR5	プリミティブ : 5-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR5B1	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
OR5B2	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
OR5B3	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
OR5B4	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR5B5	プリミティブ : 5-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR6	マクロ : 6-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR7	マクロ : 7-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR8	マクロ : 8-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR9	マクロ : 9-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
SOP3	マクロ : 3-Input Sum of Products
SOP3B1A	マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option A)
SOP3B1B	マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option B)
SOP3B2A	マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)
SOP3B2B	マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)

デザイン エLEMENT	説明
SOP3B3	マクロ : 3-Input Sum of Products with Inverted Inputs
SOP4	マクロ : 4-Input Sum of Products
SOP4B1	マクロ : 4-Input Sum of Products with One Inverted Input
SOP4B2A	マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)
SOP4B2B	マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)
SOP4B3	マクロ : 4-Input Sum of Products with Three Inverted Inputs
SOP4B4	マクロ : 4-Input Sum of Products with Inverted Inputs
XNOR2	プリミティブ : 2-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR3	プリミティブ : 3-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR4	プリミティブ : 4-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR5	プリミティブ : 5-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR6	マクロ : 6-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR7	マクロ : 7-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR8	マクロ : 8-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR9	マクロ : 9-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR2	プリミティブ : 2-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR3	プリミティブ : 3-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR4	プリミティブ : 4-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR5	プリミティブ : 5-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR6	マクロ : 6-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR7	マクロ : 7-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR8	マクロ : 8-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR9	マクロ : 9-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs

LUT

デザイン エLEMENT	説明
CFGLUT5	プリミティブ : 5-input Dynamically Reconfigurable Look-Up Table (LUT)
LUT1	マクロ : 1-Bit Look-Up Table with General Output
LUT1_D	マクロ : 1-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT1_L	マクロ : 1-Bit Look-Up Table with Local Output
LUT2	マクロ : 2-Bit Look-Up Table with General Output
LUT2_D	マクロ : 2-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT2_L	マクロ : 2-Bit Look-Up Table with Local Output
LUT3	マクロ : 3-Bit Look-Up Table with General Output
LUT3_D	マクロ : 3-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT3_L	マクロ : 3-Bit Look-Up Table with Local Output
LUT4	マクロ : 4-Bit Look-Up-Table with General Output
LUT4_D	マクロ : 4-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT4_L	マクロ : 4-Bit Look-Up Table with Local Output
LUT5	プリミティブ : 5-Input Lookup Table with General Output
LUT5_D	プリミティブ : 5-Input Lookup Table with General and Local Outputs
LUT5_L	プリミティブ : 5-Input Lookup Table with Local Output
LUT6	プリミティブ : 6-Input Lookup Table with General Output
LUT6_2	プリミティブ : Six-input, 2-output, Look-Up Table
LUT6_D	プリミティブ : 6-Input Lookup Table with General and Local Outputs
LUT6_L	プリミティブ : 6-Input Lookup Table with Local Output

メモリ

デザイン エレメント	説明
FIFO18E1	プリミティブ : 18 k-bit FIFO (First In, First Out) Block RAM Memory
FIFO36E1	プリミティブ : 36 kb FIFO (First In, First Out) Block RAM Memory
RAM128X1D	プリミティブ : 128-Deep by 1-Wide Dual Port Random Access Memory (Select RAM)
RAM16X1D	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM
RAM16X1D_1	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM16X1S	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM
RAM16X1S_1	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM16X2S	プリミティブ : 16-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM
RAM16X4S	プリミティブ : 16-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM
RAM16X8S	プリミティブ : 16-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM
RAM256X1S	プリミティブ : 256-Deep by 1-Wide Random Access Memory (Select RAM)
RAM32M	プリミティブ : 32-Deep by 8-bit Wide Multi Port Random Access Memory (Select RAM)
RAM32X1D	プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM
RAM32X1S	プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM
RAM32X1S_1	プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM32X2S	プリミティブ : 32-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM
RAM32X4S	プリミティブ : 32-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM
RAM32X8S	プリミティブ : 32-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM
RAM64M	プリミティブ : 64-Deep by 4-bit Wide Multi Port Random Access Memory (Select RAM)
RAM64X1D	プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Dual Port Static Synchronous RAM
RAM64X1S	プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM
RAM64X1S_1	プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM64X2S	プリミティブ : 64-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM
RAMB18E1	プリミティブ : 18K-bit Configurable Synchronous Block RAM
RAMB36E1	プリミティブ : 36K-bit Configurable Synchronous Block RAM
ROM128X1	プリミティブ : 128-Deep by 1-Wide ROM
ROM16X1	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide ROM
ROM256X1	プリミティブ : 256-Deep by 1-Wide ROM
ROM32X1	プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide ROM
ROM64X1	プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide ROM

マルチプレクサ

デザイン エLEMENT	説明
M16_1E	マクロ : 16-to-1 Multiplexer with Enable
M2_1	マクロ : 2-to-1 Multiplexer
M2_1B1	マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 Inverted
M2_1B2	マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 and D1 Inverted
M2_1E	マクロ : 2-to-1 Multiplexer with Enable
M4_1E	マクロ : 4-to-1 Multiplexer with Enable
M8_1E	マクロ : 8-to-1 Multiplexer with Enable
MUXF7	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output
MUXF7_D	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output
MUXF7_L	プリミティブ : 2-to-1 look-up table Multiplexer with Local Output
MUXF8	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output
MUXF8_D	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output
MUXF8_L	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output

シフトレジスタ

デザイン エレメント	説明
SR16CE	マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR16CLE	マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR16CLED	マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR16RE	マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR16RLE	マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR16RLED	マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR4CE	マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR4CLE	マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR4CLED	マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR4RE	マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR4RLE	マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR4RLED	マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR8CE	マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR8CLE	マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR8CLED	マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR8RE	マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR8RLE	マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR8RLED	マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SRL16	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT)
SRL16_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock
SRL16E	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Clock Enable
SRL16E_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock and Clock Enable
SRLC16	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry
SRLC16_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Negative-Edge Clock
SRLC16E	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Clock Enable
SRLC16E_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry, Negative-Edge Clock, and Clock Enable
SRLC32E	プリミティブ : 32 Clock Cycle, Variable Length Shift Register Look-Up Table (LUT) with Clock Enable

シフタ

デザイン エLEMENT	説明
BRLSHFT4	マクロ : 4-Bit Barrel Shifter
BRLSHFT8	マクロ : 8-Bit Barrel Shifter

デザイン エLEMENT

このセクションでは、このアーキテクチャで利用できるデザイン エLEMENTについて説明します。デザイン エLEMENTは、アルファベット順に並べられています。

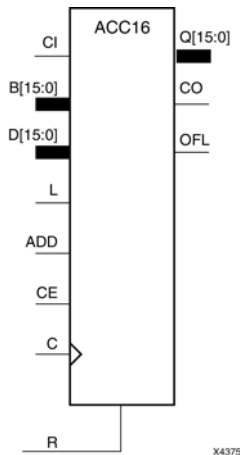
各ライブラリ エLEMENTについて、次の情報を示します。

- ・ 名称
- ・ 説明
- ・ 回路図シンボル (該当するELEMENTでのみ)
- ・ 論理表 (該当するELEMENTでのみ)
- ・ ポートの説明 (該当するELEMENTでのみ)
- ・ デザインの入力方法
- ・ 使用可能な属性 (該当するELEMENTでのみ)
- ・ その他のリソース

VHDL および Verilog のインスタンス化コードの例は、ISE ソフトウェア ([Edit] → [Language Templates]) またはこのアーキテクチャの HDL 用のライブラリ ガイドから入手できます。

ACC16

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、16 ビット データレジスタの値に対して 16 ビットの符号なし 2 進数または 2 の補数ワードを加算または減算して、その結果をレジスタに保存します。レジスタには、16 ビットワードでロードできます。

ロード入力 (L) が High になると、CE が無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がレジスタにロードされます。ACC16 では、入力 D15 ~ D0 の値が 16 ビットレジスタにロードされます。

このデザイン エLEMENTは、16 ビットの符号なし 2 進数または 16 ビットの 2 の補数を処理します。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数ではキャリー出力 (CO) が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

- ・ 符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボロアウトで、Low になります。CO は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。CO には、入力 B15 ~ B0 入力の値の加算値が常に出力されます。このため、各 ACC16 の CO を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

- ・ 2 の補数演算の場合、-8 ~ +7 までの数を表現できます。加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。オーバーフロー (OFL) は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。OFL には、B 入力 (B15 ~ B0) とレジスタの値の合計が常に出力されます。このため、各 ACC4 の OFL を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。

2 の補数演算では、CO は無視されます。

同期リセット (R) は、ほかのすべての入力よりも優先され、R が High になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が Low の場合は、C の遷移は無視されます。

電力を供給すると、このデザイン エLEMENTは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	L	CE	ADD	D	C	Q
1	x	x	x	x	↑	0
0	1	x	x	D _n	↑	D _n
0	0	1	1	x	↑	Q ₀ + B _n + CI
0	0	1	0	x	↑	Q ₀ - B _n - CI
0	0	0	x	x	↑	変化なし
Q ₀ : Q の以前の値 B _n : データ入力 B の値 CI : 入力 CI の値						

デザインの入力方法

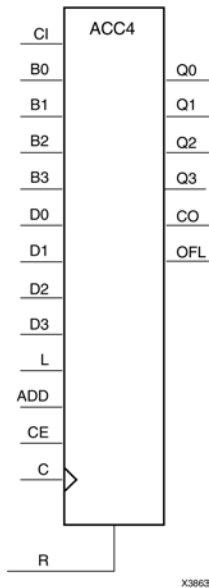
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ACC4

マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビット データレジスタの値に対して 4 ビットの符号なし 2 進数または 2 の補数ワードを加算または減算して、その結果をレジスタに保存します。レジスタには、4 ビット ワードでロードできます。

ロード入力 (L) が High になると、CE が無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がレジスタにロードされます。ACC4 では、入力 D3 ~ D0 の値が 4 ビットレジスタにロードされます。

このデザイン エLEMENTは、4 ビットの符号なし 2 進数または 4 ビットの 2 の補数を処理します。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数ではキャリー出力 (CO) が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

- ・ 符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。CO は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。CO には、入力 B3 ~ B0 入力の値の加算値が常に出力されます。このため、各 ACC4 の CO を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

- ・ 2 の補数演算の場合、-8 ~ +7 までの数を表現できます。加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。オーバーフロー (OFL) は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。OFL には、B 入力 (B3 ~ B0) とレジスタの値の合計が常に出力されます。このため、各 ACC4 の OFL を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。

2 の補数演算では、CO は無視されます。

同期リセット (R) は、ほかのすべての入力よりも優先され、R が High になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が Low の場合は、C の遷移は無視されます。

電力を供給すると、このデザイン エLEMENTは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	L	CE	ADD	D	C	Q
1	x	x	x	x	↑	0
0	1	x	x	Dn	↑	Dn
0	0	1	1	x	↑	$Q0 + Bn + CI$
0	0	1	0	x	↑	$Q0 - Bn - CI$
0	0	0	x	x	↑	変化なし
Q0 : Q の以前の値 Bn : データ入力 B の値 CI : 入力 CI の値						

デザインの入力方法

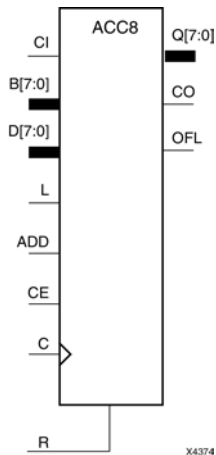
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ACC8

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビット データレジスタの値に対して 8 ビットの符号なし 2 進数または 2 の補数ワードを加算または減算して、その結果をレジスタに保存します。レジスタには、8 ビット ワードでロードできます。

ロード入力 (L) が High になると、CE が無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がレジスタにロードされます。ACC8 では、入力 D7 ~ D0 の値が 8 ビットレジスタにロードされます。

このデザイン エLEMENTは、8 ビットの符号なし 2 進数または 8 ビットの 2 の補数を処理します。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数ではキャリー出力 (CO) が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

- ・ 符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 255 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。CO は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。CO には、入力 B3 ~ B0 入力の値の加算値が常に出力されます。このため、各 ACC8 の CO を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

- ・ 2 の補数演算の場合、-128 ~ +127 までの数を表現できます。加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。オーバーフロー (OFL) は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。OFL には、B 入力 (B3 ~ B0) とレジスタの値の合計が常に出力されます。このため、各 ACC8 の OFL を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。

2 の補数演算では、CO は無視されます。

同期リセット (R) は、ほかのすべての入力よりも優先され、R が High になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が Low の場合は、C の遷移は無視されます。

電力を供給すると、このデザイン エLEMENTは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	L	CE	ADD	D	C	Q
1	x	x	x	x	↑	0
0	1	x	x	D _n	↑	D _n
0	0	1	1	x	↑	Q ₀ + B _n + CI
0	0	1	0	x	↑	Q ₀ - B _n - CI
0	0	0	x	x	↑	変化なし
Q ₀ : Q の以前の値 B _n : データ入力 B の値 CI : 入力 CI の値						

デザインの入力方法

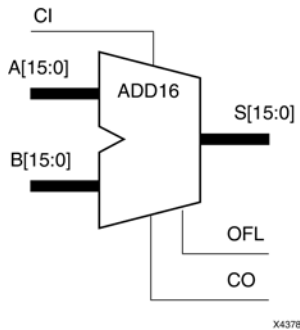
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ADD16

マクロ : 16-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

このエレメントは、2 つのワードとキャリー入力 (CI) を加算して、その和とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。A15 ~ A0、B15 ~ B0、および CI が加算され、その和 S15 ~ S0 および CO (または OFL) が出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	S
A _n	B _n	A _n + B _n + CI
CI : 入力 CI の値		

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エレメントは、16 ビットの符号なし 2 進数または 16 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。したがって、符号なし 2 進数が入力された場合は CO 出力を確認し、2 の補数が入力された場合は OFL 出力を確認します。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 65535 までの数を表現できます。符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-32768 から +32767 までの数を表現できます。合計値が加算器の範囲を超えると、OFL がアクティブ (High) になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

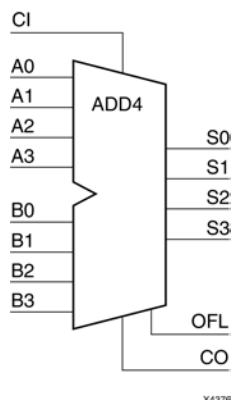
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ADD4

マクロ : 4-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

このエレメントは、2 つのワードとキャリー入力 (CI) を加算して、その和とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。A3 ~ A0、B3 ~ B0、および CI が加算され、その和 S3 ~ S0 および CO (または OFL) が出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	S
A _n	B _n	A _n + B _n + CI
CI : 入力 CI の値		

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、4 ビットの符号なし 2 進数または 4 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。したがって、符号なし 2 進数が入力された場合は CO 出力を確認し、2 の補数が入力された場合は OFL 出力を確認します。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-8 から +7 までの数を表現できます。合計値が加算器の範囲を超えると、OFL がアクティブ (High) になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

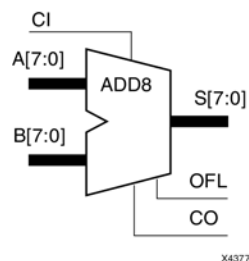
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ADD8

マクロ : 8-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

このエレメントは、2 つのワードとキャリー入力 (CI) を加算して、その和とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。A7 ~ A0、B7 ~ B0、および CI が加算され、その和 S7 ~ S0 および CO (または OFL) が出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	S
A _n	B _n	A _n + B _n + CI
CI : 入力 CI の値		

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、8 ビットの符号なし 2 進数または 8 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。したがって、符号なし 2 進数が入力された場合は CO 出力を確認し、2 の補数が入力された場合は OFL 出力を確認します。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 255 までの数を表現できます。符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-128 から +127 までの数を表現できます。合計値が加算器の範囲を超えると、OFL がアクティブ (High) になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

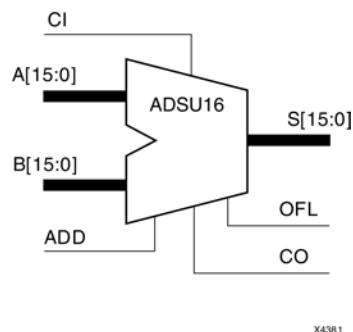
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ADSU16

マクロ : 16-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

ADD が High の場合、2 つの 16 ビットワード (A15 ~ A0 と B15 ~ B0) とキャリー入力 (CI) を加算し、16 ビットの和 (S15 ~ S0) とキャリー出力 (CO) (またはオーバーフロー (OFL)) を出力します。

ADD 入力 が Low の場合、A15 ~ A0 から B15 ~ B0 を減算し、その差とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。

加算モードでは、CO と CI はアクティブ High になります。減算モードでは、CO と CI はアクティブ Low になります。OFL は、モードにかかわらず常にアクティブ High です。

論理表

入力			出力
ADD	A	B	S
1	A _n	B _n	A _n +B _n +CI*
0	A _n	B _n	A _n -B _n -CI*
CI* : ADD = 0、CI、CO アクティブ Low			
CI* : ADD = 1、CI、CO アクティブ High			

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、16 ビットの符号なし 2 進数または 16 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

加減算器では、符号なし 2 進演算でも 2 の補数演算でもオーバーフローが発生します。演算結果がオーバーフローになる場合、オーバーフローが生成されます。同様に、演算結果が桁上がりする場合、キャリー出力が生成されます。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ～ 65535 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。

符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-32768 から +32767 までの数を表現できます。

加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

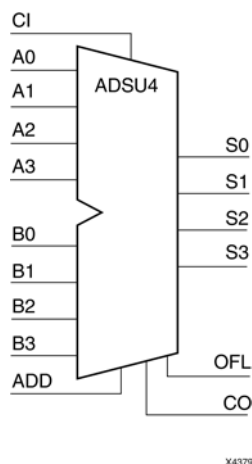
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ADSU4

マクロ : 4-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

ADD が High の場合、2 つの 4 ビットワード (A3 ~ A0 と B3 ~ B0) とキャリー入力 (CI) を加算し、4 ビットの和 (S3 ~ S0) とキャリー出力 (CO) (またはオーバーフロー (OFL)) を出力します。

ADD 入力が Low の場合、A3 ~ A0 から B3 ~ B0 を減算し、4 ビットの差 (S3 ~ S0) とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。

加算モードでは、CO と CI はアクティブ High になります。減算モードでは、CO と CI はアクティブ Low になります。OFL は、モードにかかわらず常にアクティブ High です。

論理表

入力			出力
ADD	A	B	S
1	A _n	B _n	A _n + B _n + CI*
0	A _n	B _n	A _n - B _n - CI*
CI* : ADD = 0、CI、CO アクティブ Low			
CI* : ADD = 1、CI、CO アクティブ High			

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、4 ビットの符号なし 2 進数または 4 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

加減算器では、符号なし 2 進演算でも 2 の補数演算でもオーバーフローが発生します。演算結果がオーバーフローになる場合、オーバーフローが生成されます。同様に、演算結果が桁上がりする場合、キャリー出力が生成されます。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。

符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-8 から +7 までの数を表現できます。

加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

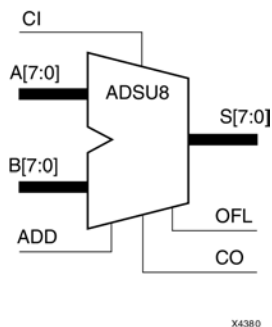
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ADSU8

マクロ : 8-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

ADD が High の場合、2 つの 8 ビットワード (A7 ～ A0 と B7 ～ B0) とキャリー入力 (CI) を加算し、8 ビットの和 (S7 ～ S0) とキャリー出力 (CO) (またはオーバーフロー (OFL)) を出力します。

ADD 入力が Low の場合、A7 ～ A0 から B7 ～ B0 を減算し、8 ビットの差 (S7 ～ S0) とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。

加算モードでは、CO と CI はアクティブ High になります。減算モードでは、CO と CI はアクティブ Low になります。OFL は、モードにかかわらず常にアクティブ High です。

論理表

入力			出力
ADD	A	B	S
1	A _n	B _n	A _n + B _n + CI*
0	A _n	B _n	A _n - B _n - CI*
CI* : ADD = 0、CI、CO アクティブ Low			
CI* : ADD = 1、CI、CO アクティブ High			

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、8 ビットの符号なし 2 進数または 8 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

加減算器では、符号なし 2 進演算でも 2 の補数演算でもオーバーフローが発生します。演算結果がオーバーフローになる場合、オーバーフローが生成されます。同様に、演算結果が桁上がりする場合、キャリー出力が生成されます。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ～ 255 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。

符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-128 から +127 までの数を表現できます。

加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

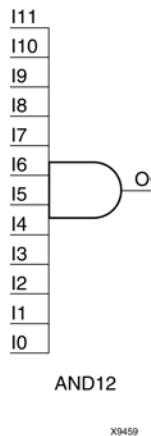
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND12

マクロ : 12- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

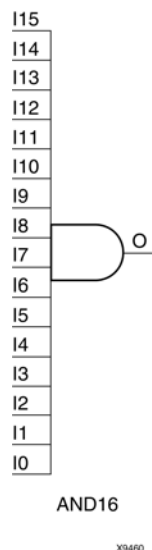
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND16

16- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

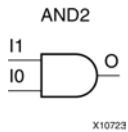
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND2

プリミティブ : 2-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

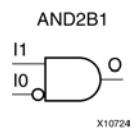
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND2B1

プリミティブ : 2-Input AND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

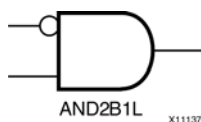
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND2B1L

プリミティブ : Two input AND gate implemented in place of a Slice Latch



概要

このデザイン エLEMENTでは、コンフィギュレーション可能なスライス ラッチで 1 入力反転される 2 入力 AND ゲートのファンクションが使用されます。このELEMENTを使用すると、ロジックのレジスタ/ラッチ リソース数をトレードオフにすることで、ロジック レベルを削減して、デバイスのロジック集積度を高めることができます。このELEMENTはレジスタのパックおよび集積度に影響を与えるので注意してください。AND2B1L または OR2L ELEMENTをスライスに指定すると、残りのレジスタおよびラッチが使用できなくなります。

論理表

入力		出力
DI	SRI	O
0	0	0
0	1	0
1	0	1
1	1	0

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
O	出力	1	AND ゲートの出力
DI	入力	1	同じスライスにあるソース LUT に通常接続されるアクティブ High の入力
SRI	入力	1	通常スライス外からソースされるアクティブ Low の入力 メモ: 複数の AND2B1L または OR2B1L を 1 つのスライスにパックするには、この入力に共通の信号を接続する必要があります。

デザインの入力方法

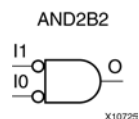
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND2B2

プリミティブ : 2-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

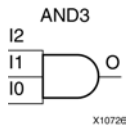
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND3

プリミティブ : 3-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

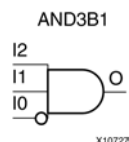
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND3B1

プリミティブ : 3-Input AND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

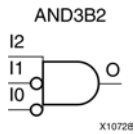
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND3B2

プリミティブ : 3-Input AND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

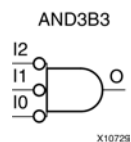
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND3B3

プリミティブ : 3-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

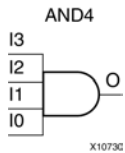
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND4

プリミティブ : 4-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

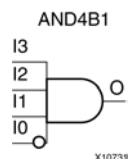
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND4B1

プリミティブ : 4-Input AND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

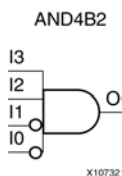
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND4B2

プリミティブ : 4-Input AND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

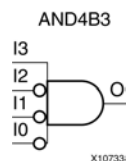
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND4B3

プリミティブ : 4-Input AND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

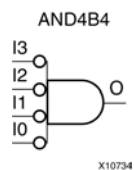
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND4B4

プリミティブ : 4-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

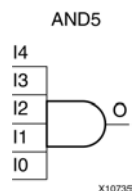
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND5

プリミティブ : 5-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

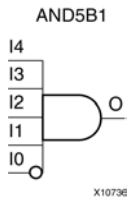
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND5B1

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

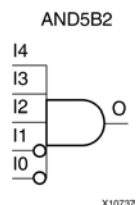
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND5B2

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

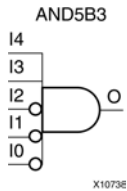
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND5B3

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

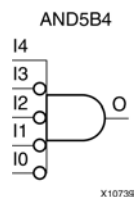
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND5B4

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

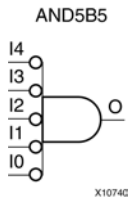
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND5B5

プリミティブ : 5-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

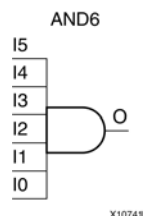
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND6

マクロ : 6-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

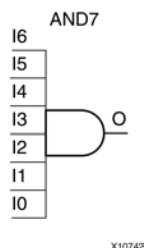
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND7

マクロ : 7-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

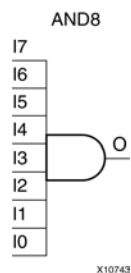
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND8

マクロ : 8-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

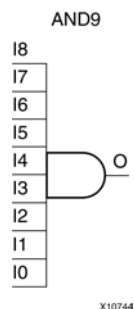
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

AND9

マクロ : 9-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

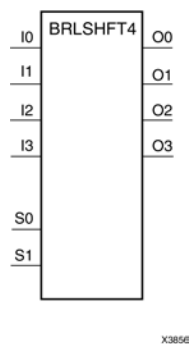
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BRLSHFT4

マクロ : 4-Bit Barrel Shifter



概要

このデザイン エLEMENTは 4 ビットのバレル シフタで、4 つの入力 (I3 ~ I0) を 4 回までローテーションできます。制御入力 (S1 と S0) は、データをローテーションする回数 (1 ~ 4) を指定します。4 つの出力 (O3 ~ O0) には、ローテーションされたデータ入力が出力されます。

論理表

入力						出力			
S1	S0	I0	I1	I2	I3	O0	O1	O2	O3
0	0	a	b	c	d	a	b	c	d
0	1	a	b	c	d	b	c	d	a
1	0	a	b	c	d	c	d	a	b
1	1	a	b	c	d	d	a	b	c

デザインの入力方法

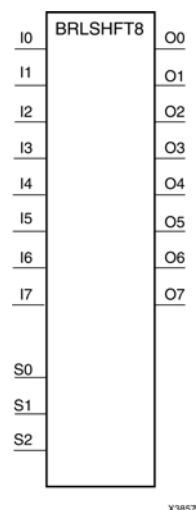
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BRLSHFT8

マクロ : 8-Bit Barrel Shifter



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビットのバレル シフタで、8 つの入力 (I7 ~ I0) を 8 回までローテーションできます。制御入力 (S2 ~ S0) は、データをローテーションする回数 (1 ~ 8) を指定します。8 つの出力 (O7 ~ O0) には、ローテーションされたデータ入力が出力されます。

論理表

入力											出力							
S2	S1	S0	I0	I1	I2	I3	I4	I5	I6	I7	O0	O1	O2	O3	O4	O5	O6	O7
0	0	0	a	b	c	d	e	f	g	h	a	b	c	d	e	f	g	h
0	0	1	a	b	c	d	e	f	g	h	b	c	d	e	f	g	h	a
0	1	0	a	b	c	d	e	f	g	h	c	d	e	f	g	h	a	b
0	1	1	a	b	c	d	e	f	g	h	d	e	f	g	h	a	b	c
1	0	0	a	b	c	d	e	f	g	h	e	f	g	h	a	b	c	d
1	0	1	a	b	c	d	e	f	g	h	f	g	h	a	b	c	d	e
1	1	0	a	b	c	d	e	f	g	h	g	h	a	b	c	d	e	f
1	1	1	a	b	c	d	e	f	g	h	h	a	b	c	d	e	f	g

デザインの入力方法

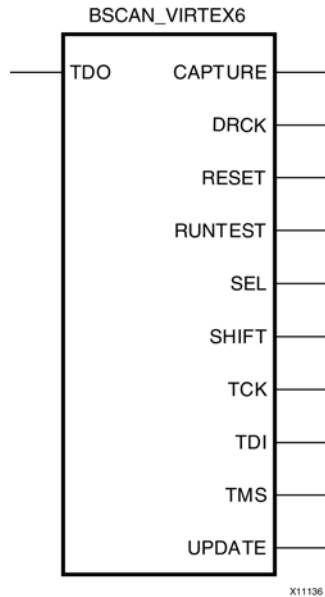
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BSCAN_VIRTEX6

プリミティブ : Virtex®-6 JTAG Boundary-Scan Logic Access Circuit



概要

このデザイン エLEMENTを使用すると、JTAG バウンダリ スキャン ロジック コントローラを介して内部ロジックへアクセスできるので、内部実行デザインと FPGA の専用 JTAG ピン間の通信を可能にします。

このデザイン エLEMENTの各インスタンスでは、JTAG_CHAIN 属性の設定に従い、JTAG USER 命令 1 つ (USER1 から USER4 まで) が処理されます。USER 命令の 4 つすべてを処理するには、ELEMENTを 4 つインスタンス化し JTAG_CHAIN 属性を設定します。

メモ : 各アーキテクチャのバウンダリ スキャンの詳細については、データシートを参照してください。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CAPTURE	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが CAPTURE-DR ステートになると High にアサートされます。
DRCK	出力	1	JTAG_CHAIN によって割り当てられた JTAG USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが SHIFT-DR ステートまたは CAPTURE-DR ステートになると TCK ピンと同じ値を出力します。
RESET	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが TEST-LOGIC-RESET ステートになると High にアサートされます。
RUNTEST	出力	1	JTAG が Run Test/Idle ステートであることを示します。JTAG TAP コントローラが RTI ステートマシンになると High にアサートされます。
SEL	出力	1	JTAG 命令レジスタに USER 命令が読み込まれたことを示します。UPDATE-IR ステートになるとアクティブになり、新しい命令が読み込まれるまでアクティブのままになります。
SHIFT	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが SHIFT-DR ステートになると High にアサートされます。
TCK	出力	1	FGPA への TCK 入力値と同じ値を出力します。
TDI	出力	1	TDI ピンと同じ値を出力します。
TMS	出力	1	TDI ピンと同じ値を出力します。
UPDATE	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが UPDATE-DR ステートになると High にアサートされます。
TDO	入力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、外部 JTAG TDO ピンには、マクロの TDO1 ピンへのデータ入力の値が示されます。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

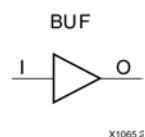
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DISABLE_JTAG	ブール 代数	TRUE、FALSE	FALSE	BSCAN_VIRTEX6 インスタンス 1 に付けられます。
JTAG_CHAIN	整数	1、2、3、4	1	エレメントのインスタンスで処理可能な JTAG USER 命令数を設定します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUF

プリミティブ : General Purpose Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、汎用の非反転バッファです。

このELEMENTは不要なので、MAP によって削除されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

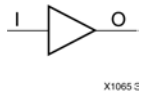
詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFCF

プリミティブ : Fast Connect Buffer

BUFCF



概要

このデザイン エLEMENTは、一部の専用ロジックと LUT の出力を別の LUT の入力に直接接続するために使用する、単一の高速結合バッファです。このバッファを使用すると、CLB パックも行われます。LUT は、4 つまで 1 つのグループとして接続できます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

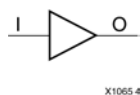
詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFG

プリミティブ : Global Clock Buffer

BUFG



概要

このデザイン エLEMENTは、ファンアウトが大きいバッファで、スキューを抑えて信号を分散するために、グローバル配線リソースへの信号に接続します。BUFG は通常クロック ネットで使用されます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
I	入力	1	クロック バッファ出力
O	出力	1	クロック バッファ入力

デザインの入力方法

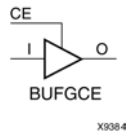
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFGCE

プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブル付きグローバル クロック バッファです。O 出力は、クロック イネーブル (CE) が Low (非アクティブ) のときに 0 になります。CE が High になると、I 入力の値が O に出力されます。

論理表

入力		出力
I	CE	O
X	0	0
I	1	I

デザインの入力方法

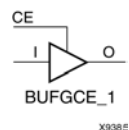
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFGCE_1

プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable and Output State 1



概要

このデザイン エレメントは、クロック イネーブル付きグローバル クロック バッファです。O 出力は、クロック イネーブル (CE) が Low (非アクティブ) のときに High (1) になります。CE が High になると、I 入力の値が O に出力されます。

論理表

入力		出力
I	CE	O
X	0	1
I	1	I

デザインの入力方法

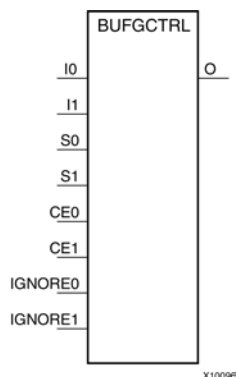
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFGCTRL

プリミティブ : Global Clock MUX Buffer



概要

BUFGCTRL は、2 つのクロック入力を持つ同期/非同期のグリッチのない 2:1 マルチプレクサとして機能するグローバル クロック バッファです。Virtex-4 以前の FPGA に含まれるグローバル クロック バッファに比べ、制御ピンが追加されており、さまざまな機能の使用および効率的な入力の切り替えが可能です。BUFGCTRL は、クロック供給以外の用途にも使用できます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
O	出力	1	クロック出力ピン
I	入力	1	クロック入力 : I0 : クロック入力ピン I1 : クロック入力ピン
CE0、CE1	入力	1 (それぞれ)	クロック イネーブル入力。CE ピンは、各クロック入力ピンのクロック イネーブル入力で、クロック入力を選択するときに使用します。入力を選択するために CE ピンを使用する場合は、セットアップ/ホールド タイムを設定する必要があります。要件を満たさない場合、クロックでグリッチが発生する可能性があります。
S0、S1	入力	1 (それぞれ)	クロック セレクト入力。S ピンは、各クロック入力ピンのクロック セレクト入力です。入力を選択するために S ピンを使用する場合は、セットアップおよびホールド タイム要件を満たす必要があります。CE ピンとは異なり、要件を満たさなくてもクロック グリッチが発生することはありませんが、出力クロックがピンに現れるのが 1 クロック サイクル後になる場合があります。
IGNORE0、IGNORE1	入力	1 (それぞれ)	クロック IGNORE 入力。IGNORE ピンは、BUFGCTRL により実行されるスイッチ アルゴリズムをバイパスする場合に使用します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_OUT	整数	0、1	0	コンフィギュレーション後の BUFGCTRL 出力の初期値を指定
PRESELECT_I0	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、コンフィギュレーション後に I0 入力が出力されます。
PRESELECT_I1	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、コンフィギュレーション後に I1 入力が出力されます。

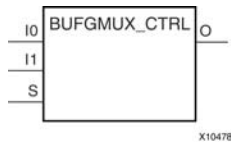
メモ : 2 つの PRESELECT 属性を同時に TRUE にすることはできません。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFGMUX_CTRL

プリミティブ : 2-to-1 Global Clock MUX Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、2 つのクロック入力、1 つのクロック出力、セレクト入力を持つクロック バッファです。このセレクト入力は、グローバル クロック リソースを駆動する 2 つのクロックのいずれかを選択するときに使用します。このコンポーネントは BUFGCTRL に基づいており、一部のピンが High または Low に接続されています。このELEMENTは、S ピンを 2:1 マルチプレクサのセレクトピンとして使用します。この S ピンは、バッファの出力にグリッチを発生させることなく、いつでも切り替えることができます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1 ビット	クロック出力
I0	入力	1 ビット	2 つのクロック入力の 1 つ
I1	入力	1 ビット	2 つのクロック入力の 1 つ
S	入力	1 ビット	I0 (S=0) または I1 (S=1) クロック出力の選択

デザインの入力方法

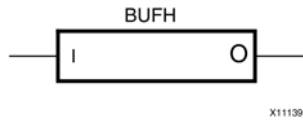
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFH

プリミティブ : Clock buffer for a single clocking region



概要

インスタンス化で HCLK クロック バッファ リソースを使用するための機能を提供します。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
I	入力	1	クロック入力
O	出力	1	クロック出力

デザインの入力方法

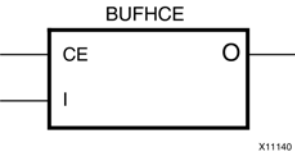
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFHCE

プリミティブ : Clock buffer for a single clocking region with clock enable



概要

このデザイン エLEMENTでは、インスタンス化で HCLK クロック バッファ リソースを使用するための機能を提供します。また、CE を介してクロック イネーブル (CE) をディスエーブルにする電力消費量低減機能もあります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CE	入力	1	I から O まで信号を伝播します。Low の場合出力を 0 に設定します。
I	入力	1	BUFH への入力
O	出力	1	BUFH の出力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

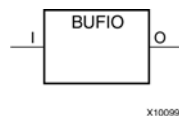
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_OUT	10 進数	0、1	0	初期出力値で、停止が Low か High かを示します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFIO

プリミティブ : Local Clock Buffer for I/O



概要

このデザイン エLEMENTはクロック バッファです。単にクロック信号を入力し、出力します。I/O 列の専用クロック ネットを駆動し、グローバル クロック リソースからは独立しているため、ソース同期データ キャプチャ (転送/受信クロック分配) に適しています。これらのELEMENTを駆動できるのは、同じクロック領域内のクロック信号を処理できる I/O のみです。これらのELEMENTでは、隣接する 2 つの I/O クロック ネット (最大 3 クロック領域まで) とリージョナル クロック バッファ (BUFR) を駆動できます。ただし、I/O クロック ネットワークの範囲は I/O 列までなので、CLB やブロック RAM などのロジック リソースは駆動できません。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
O	出力	1	クロック出力
I	入力	1	クロック入力

デザインの入力方法

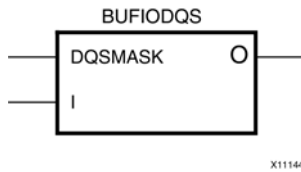
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFIODQS

プリミティブ : Differential Clock Input for Transceiver Reference Clocks



概要

メモリ アプリケーションの使用に理想的な追加専用回路付き BUFIO と同じクロック バッファで、オプションで余分な BUFIO 遅延を削除し、ストロブからのバースト長の後に I/O クロックをスケルチします。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
DQSMASK	入力	1	ストロブからのバースト長の後に I/O クロックをスケルチします。
I	入力	1	クロック入力ポート
O	出力	1	クロック出力ポート

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

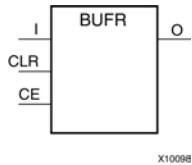
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DQSMASK_ENABLE	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	スケルチ回路を有効にします。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

BUFR

プリミティブ : Regional Clock Buffer for I/O and Logic Resources



概要

BUFR はクロック バッファです。グローバル クロック ツリーからは独立しており、クロック領域内の専用クロック ネットにクロック信号を供給します。BUFR は I/O ロジックだけでなく、同じクロック領域および隣接するクロック領域のロジックリソース (CLB、ブロック RAM など) も駆動できます。BUFR はクロック対応ピンまたはローカル インターコネクトで駆動できます。クロック入力信号を分周したクロックを出力することもできます。分周の除算値は、1 ～ 8 の整数です。BUFR は、クロックドメインの切り替えやシリアルからパラレルへの変換が必要なソース同期アプリケーションに適しています。通常、1 つのクロック領域 (リージョナル クロック ネットワーク 2 つ) には BUFR が 2 つ含まれます。中央列には BUFR は含まれません。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CE	入力	1	クロック イネーブル ポート Low でアサートされる場合、ポート O で出力クロックがディスエーブルになります。High でアサートされる場合、分周されたクロック出力を生成するのに使用されるカウンタがリセットされます。
CLR	入力	1	分周クロック出力用のカウンタリセット。High でアサートされる場合、分周されたクロック出力を生成するのに使用されるカウンタがリセットされます。
I	入力	1	クロック入力ポート。BUFR のクロックソース ポートです。BUFIO の出力またはローカル インターコネクトで駆動できます。
O	出力	1	クロック出力ポート BUFR と同じクロック領域および 2 つの隣接するクロック領域 (最大 3 クロック領域) のクロック ネットを駆動できます。FPGA および IOB を駆動します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

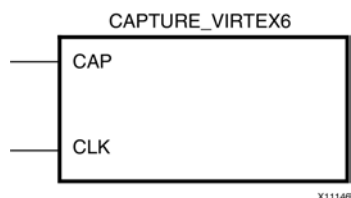
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
BUFR_DIVIDE	文字列	BYPASS、1、2、3、4、5、6、7、8	BYPASS	出力クロックが入力クロックを分周したものであるかを定義します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CAPTURE_VIRTEX6

プリミティブ : Virtex®-6 Readback Register Capture Control



概要

このデザイン エLEMENTは、レジスタ (フリップフロップとラッチ) 情報のキャプチャ方法およびそのタイミングを制御します。リードバック機能は、専用のコンフィギュレーション ポート命令により提供されます。このELEMENTを使用しない場合は、データはコンフィギュレーション クロックに同期してリードバックされます。レジスタ (フリップフロップとラッチ) の値のみをキャプチャできます。LUT RAM、SRL、ブロック RAM の値もリードバックされますが、キャプチャできません。

CAP 信号を High にアサートすると、次にクロックが Low から High に切り替わる時にデバイス内のレジスタがキャプチャされます。デフォルトでは、トリガ (CAP をアサートしているときの CLK の遷移) のたびにデータがキャプチャされます。リードバック処理を 1 回のデータ キャプチャだけに制限するには、このELEMENTに ONESHOT=TRUE 属性を追加します。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
CAP	入力	1	リードバック キャプチャトリガ
CLK	入力	1	リードバック キャプチャ クロック

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

正しく動作するように、入力および出力をすべてデザインに接続します。

使用可能な属性

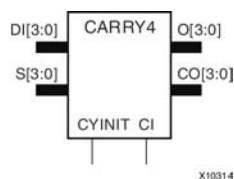
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ONESHOT	ブール代数	TRUE、FALSE	TRUE	CAPトリガごとに 1 回のリードバックを実行します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CARRY4

プリミティブ : Fast Carry Logic with Look Ahead



概要

このデザイン エLEMENTは、スライスの高速キャリー ロジックです。キャリー チェーンには MUX および XOR がそれぞれ 4 個含まれています。これらの MUX および XOR はさらに複雑なファンクションを形成するために、専用配線を介してスライス内のその他のロジック (LUT) に接続されます。高速キャリー ロジックは、加算器、カウンタ、減算器、加減算器などの演算ファンクションの構築に加え、幅広のコンパレータ、アドレス デコーダ、ロジック ゲート (AND、OR、XOR など) などのその他のロジック ファンクションに使用できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	4	キャリー チェーン XOR の通常のデータ出力ポート
CO	出力	4	キャリー チェーンの各段のキャリー出力ポート
DI	入力	4	キャリー MUX のデータ入力
S	入力	4	キャリー MUX のセレクト入力
CYINIT	入力	1	キャリー初期化入力ポート
CI	入力	1	キャリー カスケード入力ポート

デザインの入力方法

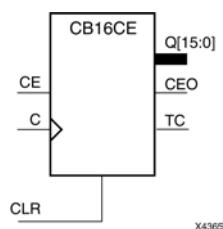
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB16CE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高レベルになると、TC 出力が高レベルになります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

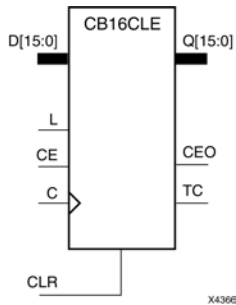
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB16CLE

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

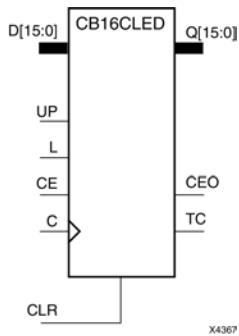
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB16CLED

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP)$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

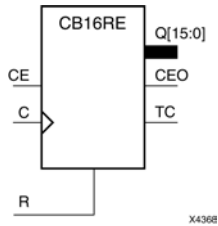
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB16RE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	OE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1					
$TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$					
$CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

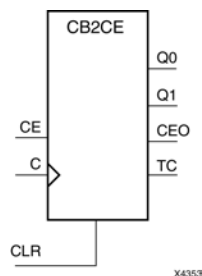
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB2CE

マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高レベルになると、TC 出力が高レベルになります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

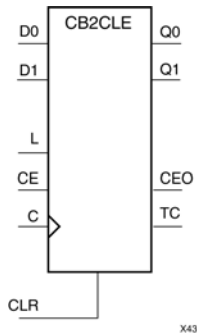
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB2CLE

マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エレメントは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D0	Q _z - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

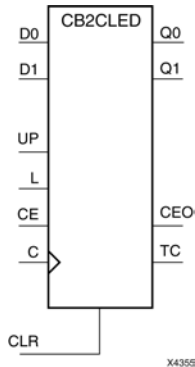
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB2CLED

マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウント アップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウント ダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP)$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

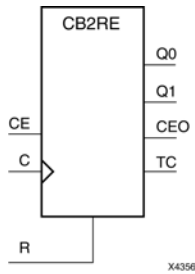
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB2RE

マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エレメントは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

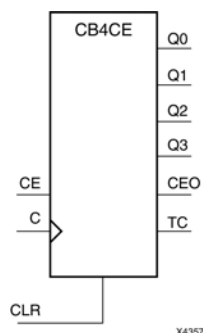
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB4CE

マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

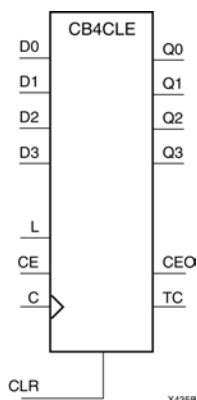
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB4CLE

マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

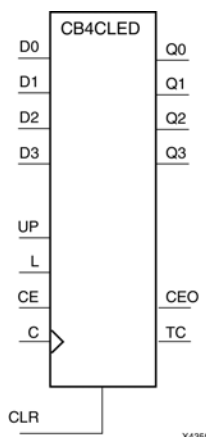
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB4CLED

マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot \overline{UP})$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

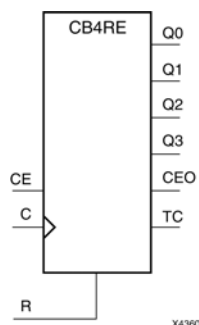
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB4RE

マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリカウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

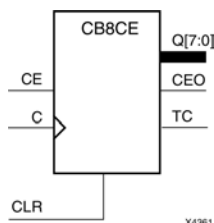
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB8CE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

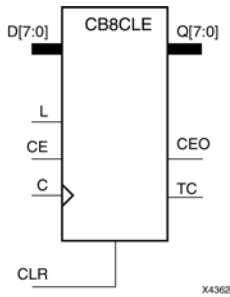
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB8CLE

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

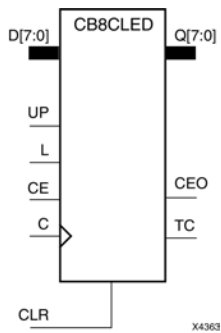
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB8CLED

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO

z = ビット幅 - 1

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
$TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP)$								
CEO = TC · CE								

デザインの入力方法

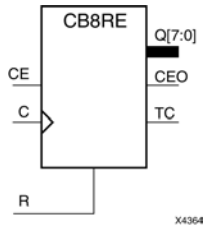
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CB8RE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1					
$TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$					
$CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

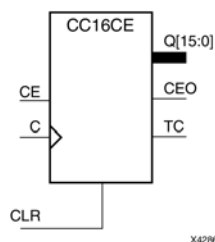
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC16CE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

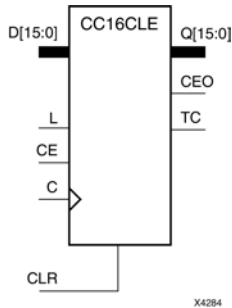
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC16CLE

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

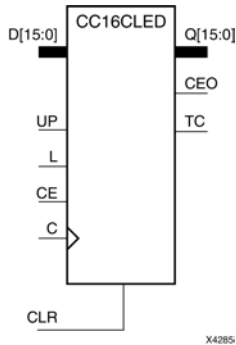
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC16CLED

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot \overline{UP})$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

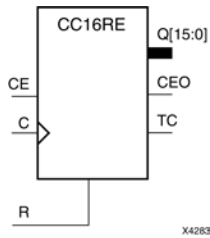
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC16RE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エレメントは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。これらのカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。同期リセット 入力 (R) は最も優先される入力で、R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力と CE が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1					
$TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$					
CEO = TC · CE					

デザインの入力方法

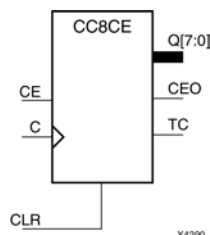
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC8CE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

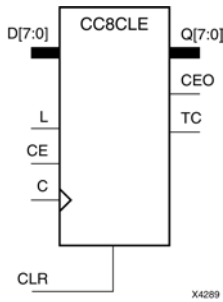
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC8CLE

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エレメントは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

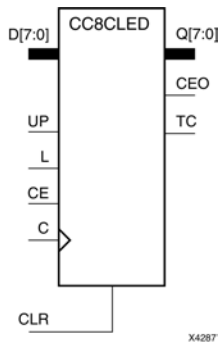
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC8CLED

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot \overline{UP})$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

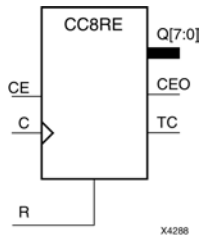
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CC8RE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エレメントは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。これらのカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。同期リセット 入力 (R) は最も優先される入力で、R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力と CE が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

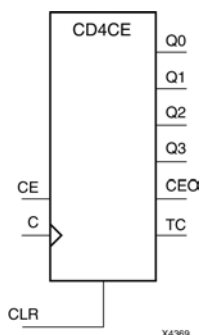
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CD4CE

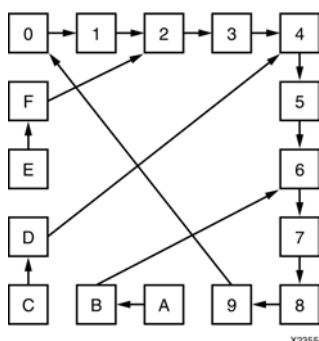
マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

CD4CE は、4 ビットの非同期、クリア可能、カスケード可能な 2 進法 10 進法 (BCD) のカウンタです。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウントシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力					
CLR	CE	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	X	0	0	0	0	0	0
0	1	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	1	X	1	0	0	1	1	1
TC = Q3·!Q2·!Q1·Q0								
CEO = TC·CE								

デザインの入力方法

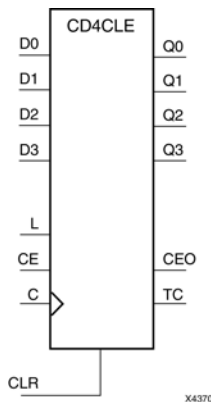
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CD4CLE

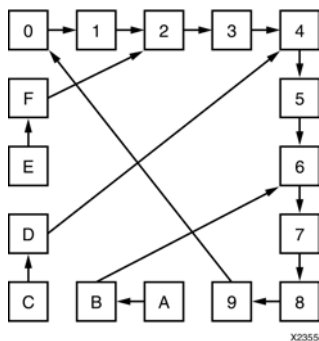
マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

CD4CLE は、4 ビットの同期ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がカウンタにロードされます。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウントシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力					
CLR	L	CE	D3 : D0	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0	0	0	0
0	1	X	D3 : D0	↑	D3	D2	D1	D0	TC	CEO
0	0	1	X	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	0	1	X	X	1	0	0	1	1	1
TC = Q3·!Q2·!Q1·Q0										
CEO = TC·CE										

デザインの入力方法

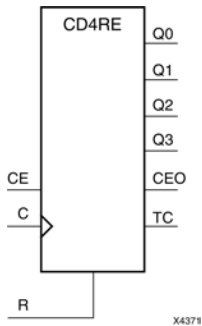
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CD4RE

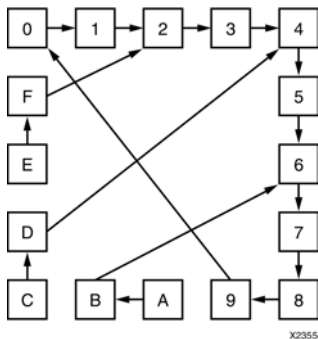
マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

CD4RE は、4 ビットの同期、リセット可能、カスケード可能な 2 進法 10 進法 (BCD) のカウンタです。同期リセット入力 (R) は最も優先される入力であり、R が High になるとほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウントシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期的にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力					
R	CE	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0	0	0	0
0	1	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	1	X	1	0	0	1	1	1
TC = Q3·!Q2·!Q1·Q0								
CEO = TC·CE								

デザインの入力方法

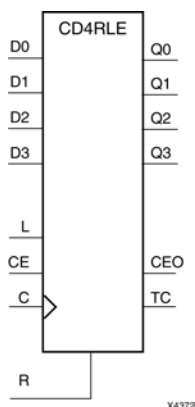
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CD4RLE

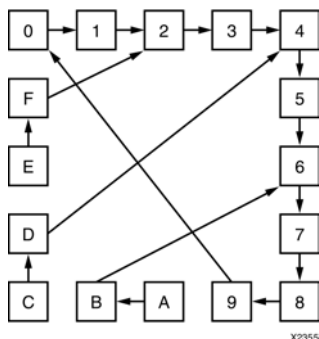
マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

CD4RLE は、4 ビットの同期、ロード可能、リセット可能な 2 進法 10 進法 (BCD) カウンタです。同期リセット入力 (R) は最も優先される入力で、R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロックが Low から High に切り替わるたびに、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに D 入力の値がカウンタにロードされます。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウントシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力					
R	L	CE	D3 : D0	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	X	X	↑	0	0	0	0	0	0
0	1	X	D3 : D0	↑	D3	D	D	D0	TC	CEO
0	0	1	X	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	0	1	X	X	1	0	0	1	1	1
TC = $Q3 \cdot !Q2 \cdot !Q1 \cdot Q0$										
CEO = TC · CE										

デザインの入力方法

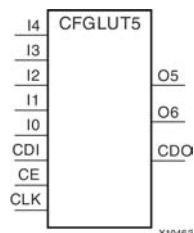
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CFGLUT5

プリミティブ : 5-input Dynamically Reconfigurable Look-Up Table (LUT)



概要

このデザイン エLEMENTは、ランタイムのダイナミックリコンフィギュレーションが可能な 5 入力ルックアップ テーブル (LUT) で、回路の動作中に LUT のロジック ファンクションを変更できます。CDI ピンを使用すると、クロックに同期して新しい INIT 値がシリアルにシフトされ、ロジック ファンクションが変更されます。O6 出力ピンでは、LUT に読み込まれた現在の INIT 値と現在選択されている I0 ~ I4 の入力ピンに基づいてロジック ファンクションが生成されます。オプションで O5 出力と O6 出力を使用して、同じ入力を共有する 4 入力ファンクションを 2 つ作成するか、または 5 入力ファンクション 1 つとその 5 入力ロジックのサブセットを使用する 4 入力ファンクションを作成できます (下の表を参照)。このELEMENTには、1 つのスライスに含まれる 6 入力 LUT 4 個のうちの 1 つが含まれます。

このELEMENTをカスケード接続する場合は、CDO ピンを次のELEMENTの CDI ピンに接続することで、1 つのシリアルチェーンのデータ (LUT ごとに 32 ビット) で複数のELEMENTをリコンフィギュレーションできます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O6	出力	1	5 入力 LUT 出力
O5	出力	1	4 入力 LUT 出力
I0、I1、I2、I3、I4	入力	1	LUT 入力
CDO	出力	1	リコンフィギュレーション データのカスケード出力 (オプションで後続の LUT の CDI 入力に接続)
CDI	入力	1	リコンフィギュレーション データ シリアル入力
CLK	入力	1	リコンフィギュレーション クロック
CE	入力	1	アクティブ High リコンフィギュレーション クロック イネーブル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

- ・ CLK 入力をリコンフィギュレーション データを供給するのに使用するクロック ソースに接続します。
- ・ CDI 入力をリコンフィギュレーション データのソースに接続します。
- ・ CE ピンを LUT のリコンフィギュレーションをイネーブルまたはディスエーブルにするには、アクティブ High のロジックに接続します。
- ・ I4 ~ I0 ピンを論理式のソース入力に接続します。ロジック ファンクションは、O6 および O5 から出力されます。
- ・ このELEMENTをカスケード接続する場合は、CDO ピンを次のELEMENTの CDI ピンに接続することで、1 つのシリアルチェーンのデータで複数のELEMENTをリコンフィギュレーションできます。

INIT 属性をこのデザイン エLEMENT に設定して、LUT の初期ロジック ファンクションを指定する必要があります。新しい INIT 値は、チェーンに含まれる LUT に 32 ビットずつシフトさせることで、回路の作動中いつでも読み込むことができます。O6 および O5 の出力値は、新しい 32 ビットの INIT 値が LUT に入力されるまで無視します。LUT のロジック ファンクションは、新しい INIT 値が LUT にシフトされるときに変化します。データは MSB (INIT[31]) から順に LSB (INIT[0]) までシフトされる必要があります。

次の表に示すように、O6 および O5 の論理値は、現在の INIT 値に基づいています。

I4 I3 I2 I1 I0	O6 値	O5 値
1 1 1 1 1	INIT[31]	INIT[15]
1 1 1 1 0	INIT[30]	INIT[14]
...
1 0 0 0 1	INIT[17]	INIT[1]
1 0 0 0 0	INIT[16]	INIT[0]
0 1 1 1 1	INIT[15]	INIT[15]
0 1 1 1 0	INIT[14]	INIT[14]
...
0 0 0 0 1	INIT[1]	INIT[1]
0 0 0 0 0	INIT[0]	INIT[0]

たとえば INIT 値が FFFF8000 の場合は、次の論理式を表します。

- ・ O6 = I4 または (I3、I2、I1、および I0)
- ・ O5 = I3、I2、I1、および I0

入力を共有するが機能は異なる 2 つの 4 入力 LUT として使用するには、I4 信号の論理値を 1 にします。INIT[31:16] が O6 出力の論理値に、INIT [15:0] の値が O5 出力の論理値に適用されます。

使用可能な属性

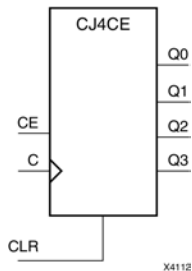
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	このELEMENTの初期値を指定します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CJ4CE

4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クリア可能なジョンソン/シフト カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときにカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q3 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
CLR	CE	C	Q0	Q1 - Q3
1	X	X	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q3	q0 - q2
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

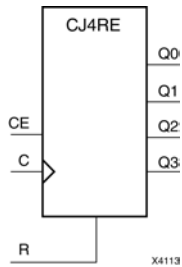
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CJ4RE

マクロ : 4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能なジョンソン/シフト カウンタです。同期 R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q3 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
R	CE	C	Q0	Q1 - Q3
1	X	↑	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q3	q0 - q2
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

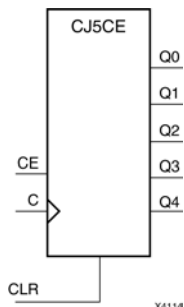
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CJ5CE

マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クリア可能なジョンソン/シフト カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q4 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
CLR	CE	C	Q0	Q1 - Q4
1	X	X	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q4	q0 - q3

q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

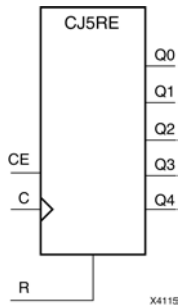
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CJ5RE

マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能なジョンソン/シフト カウンタです。同期 R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q4 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
R	CE	C	Q0	Q1 - Q4
1	X	↑	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q4	q0 - q3
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

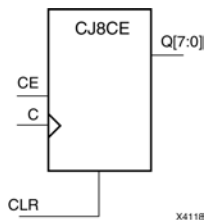
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CJ8CE

マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クリア可能なジョンソン/シフト カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときにカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q7 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
CLR	CE	C	Q0	Q1 - Q8
1	X	X	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q7	q0 - q7
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

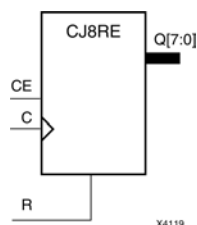
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

CJ8RE

マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能なジョンソン/シフトカウンタです。同期 R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときにカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q7 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
R	CE	C	Q0	Q1 - Q7
1	X	↑	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q7	q0 - q6
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

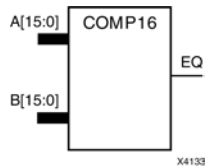
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMP16

マクロ : 16-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、16 ビットのアイデンティティ コンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A15 ~ A0 および B15 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

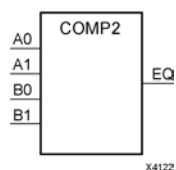
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMP2

マクロ : 2-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、2 ビットのアイデンティティ コンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A1 ~ A0 および B1 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

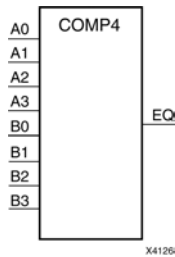
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMP4

マクロ : 4-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビットのアイデンティティ コンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A3 ~ A0 および B3 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

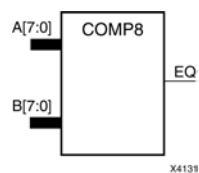
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMP8

マクロ : 8-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビットのアイデンティティコンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A7 ~ A0 および B7 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

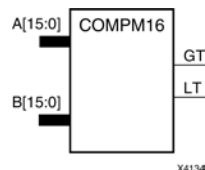
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMPM16

マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 16 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A15 ~ A0 と B15 ~ B0 を比較します。この場合、A15 と B15 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
A7>B7	X	X	X	X	X	X	X	1	0
A7<B7	X	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6>B6	X	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6<B6	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5>B5	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5<B5	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4>B4	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4<B4	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3>B3	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3<B3	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2>B2	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2<B2	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1>B1	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1<B1	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0>B0	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0<B0	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0=B0	0	0

デザインの入力方法

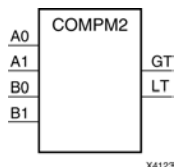
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMPM2

マクロ : 2-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 2 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A1 ~ A0 と B1 ~ B0 を比較します。この場合、A1 と B1 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力				出力	
A1	B1	A0	B0	GT	LT
0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	1	0
0	0	0	1	0	1
0	0	1	1	0	0
1	1	0	0	0	0
1	1	1	0	1	0
1	1	0	1	0	1
1	1	1	1	0	0
1	0	X	X	1	0
0	1	X	X	0	1

デザインの入力方法

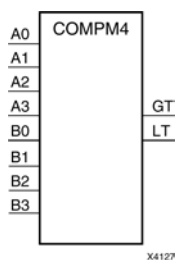
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMPM4

マクロ : 4-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 4 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A3 ~ A0 と B3 ~ B0 を比較します。この場合、A3 と B3 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力				出力	
A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
$A3 > B3$	X	X	X	1	0
$A3 < B3$	X	X	X	0	1
$A3 = B3$	$A2 > B2$	X	X	1	0
$A3 = B3$	$A2 < B2$	X	X	0	1
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 > B1$	X	1	0
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 < B1$	X	0	1
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 > B0$	1	0
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 < B0$	0	1
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 = B0$	0	0

デザインの入力方法

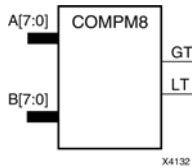
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMP8

マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 8 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A7 ~ A0 と B7 ~ B0 を比較します。この場合、A7 と B7 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
A7>B7	X	X	X	X	X	X	X	1	0
A7<B7	X	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6>B6	X	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6<B6	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5>B5	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5<B5	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4>B4	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4<B4	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3>B3	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3<B3	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2>B2	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2<B2	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1>B1	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1<B1	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0>B0	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0<B0	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0=B0	0	0

デザインの入力方法

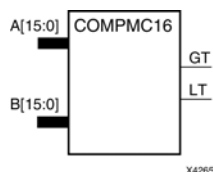
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMPMC16

マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 16 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A15 ~ A0 と B15 ~ B0 を比較します。この場合、A15 と B15 が最上位ビットです。

このコンパレータは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートに接続します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
A7>B7	X	X	X	X	X	X	X	1	0
A7<B7	X	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6>B6	X	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6<B6	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5>B5	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5<B5	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4>B4	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4<B4	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3>B3	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3<B3	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2>B2	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2<B2	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1>B1	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1<B1	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0>B0	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0<B0	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0=B0	0	0

デザインの入力方法

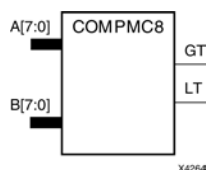
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

COMP8

マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 8 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A7 ~ A0 と B7 ~ B0 を比較します。この場合、A7 と B7 が最上位ビットです。

このコンパレータは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートに接続します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
A7>B7	X	X	X	X	X	X	X	1	0
A7<B7	X	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6>B6	X	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6<B6	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5>B5	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5<B5	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4>B4	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4<B4	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3>B3	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3<B3	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2>B2	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2<B2	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1>B1	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1<B1	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0>B0	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0<B0	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0=B0	0	0

デザインの入力方法

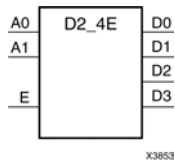
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

D2_4E

マクロ : 2- to 4-Line Decoder/Demultiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、デコーダ/デマルチプレクサです。イネーブル (E) 入力が高の場合、2 ビットのバイナリ アドレス (A1 ~ A0) 入力に応じて 4 つのアクティブ High の出力 (D3 ~ D0) のいずれかが High になります。それ以外の出力は、Low になります。E 入力が高の場合は、すべての出力が Low になります。デマルチプレクサ アプリケーションでは、E 入力が入力値になります。

論理表

入力			出力			
A1	A0	E	D3	D2	D1	D0
X	X	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	0	1
0	1	1	0	0	1	0
1	0	1	0	1	0	0
1	1	1	1	0	0	0

デザインの入力方法

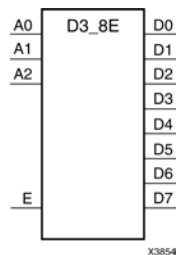
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

D3_8E

マクロ : 3- to 8-Line Decoder/Demultiplexer with Enable



概要

D3_8E デコーダ/デマルチプレクサのイネーブル (E) 入力が高の場合、3 ビットのバイナリアドレス (A2 ~ A0) 入力によって 8 つのアクティブ High の出力 (D7 ~ D0) のいずれかが High になります。それ以外の出力は、Low になります。E 入力が高の場合は、すべての出力が Low になります。デマルチプレクサ アプリケーションでは、E 入力が入力値になります。

論理表

入力				出力							
A2	A1	A0	E	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
X	X	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0

デザインの入力方法

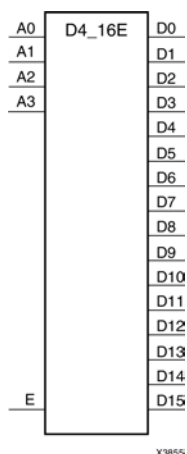
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

D4_16E

マクロ : 4- to 16-Line Decoder/Demultiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、デコーダ/デマルチプレクサです。D4_16E デコーダ/デマルチプレクサのイネーブル (E) 入力が High になると、4 ビットのバイナリ アドレス (A3 ~ A0) 入力に応じて 16 のアクティブ High の出力 (D15 ~ D0) のいずれかが High になります。それ以外の出力は、Low になります。E 入力が Low の場合は、すべての出力が Low になります。デマルチプレクサ アプリケーションでは、E 入力が入力値になります。

デザインの入力方法

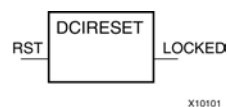
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

DCIRESET

プリミティブ : DCI State Machine Reset (After Configuration Has Been Completed)



概要

このデザイン エLEMENTは、コンフィギュレーション後に DCI ステート マシンをリセットするために使用します。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
LOCKED	出力	1	リセット後に DCI ステート マシンが安定状態になったことを示します。
RST	入力	1	DCI ステート マシンを初期ステートから開始します。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

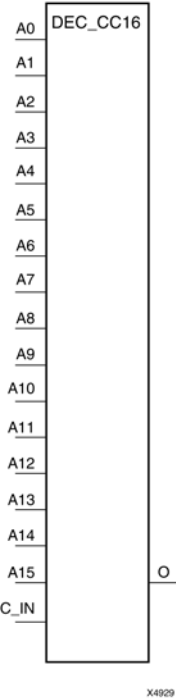
使用可能な属性

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

DEC_CC16

マクロ : 16-Bit Active Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、多入力デコーダ ファンクションを作成するために使用される 16 ビットのデコーダで、ルックアップ テーブル (LUT) で駆動される CY_MUX エLEMENTをカスケードしてインプリメントされます。C_IN ピンは、前段のデコードの出力 (O) によってのみ駆動されます。1 つ以上の入力 (A) が Low になると、出力が Low になります。すべての A 入力と C_IN 入力が High になると、出力が High になります。入力にインバータを追加すると、パターンをデコードできます。

論理表

入力					出力
A0	A1	...	Az	C_IN	O
1	1	1	1	1	1
X	X	X	X	0	0
0	X	X	X	X	0
X	0	X	X	X	0
X	X	X	0	X	0
DEC_CC4 の場合 z = 3、DEC_CC8 の場合 z = 7、DEC_CC16 の場合 z = 15					

デザインの入力方法

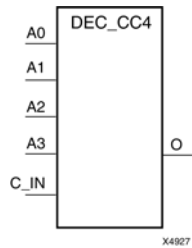
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

DEC_CC4

マクロ : 4-Bit Active Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、多入力デコーダ ファンクションを作成するために使用される 4 ビットのデコーダで、ルックアップ テーブル (LUT) で駆動される CY_MUX ELEMENTをカスケードしてインプリメントされます。C_IN ピンは、前段のデコードの出力 (O) によってのみ駆動されます。1 つ以上の入力 (A) が Low になると、出力が Low になります。すべての A 入力と C_IN 入力が High になると、出力が High になります。入力にインバータを追加すると、パターンをデコードできます。

論理表

入力					出力
A0	A1	...	Az	C_IN	O
1	1	1	1	1	1
X	X	X	X	0	0
0	X	X	X	X	0
X	0	X	X	X	0
X	X	X	0	X	0

DEC_CC4 の場合 z = 3、DEC_CC8 の場合 z = 7、DEC_CC16 の場合 z = 15

デザインの入力方法

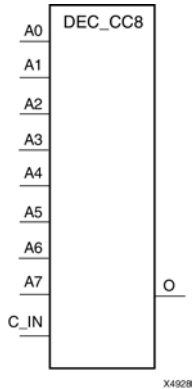
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

DEC_CC8

マクロ : 8-Bit Active Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、多入力デコーダ ファンクションを作成するために使用される 8 ビットのデコーダで、ルックアップ テーブル (LUT) で駆動される CY_MUX ELEMENTをカスケードしてインプリメントされます。C_IN ピンは、前段のデコードの出力 (O) によってのみ駆動されます。1 つ以上の入力 (A) が Low になると、出力が Low になります。すべての A 入力と C_IN 入力が High になると、出力が High になります。入力にインバータを追加すると、パターンをデコードできます。

論理表

入力					出力
A0	A1	...	Az	C_IN	O
1	1	1	1	1	1
X	X	X	X	0	0
0	X	X	X	X	0
X	0	X	X	X	0
X	X	X	0	X	0

DEC_CC4 の場合 $z = 3$ 、DEC_CC8 の場合 $z = 7$ 、DEC_CC16 の場合 $z = 15$

デザインの入力方法

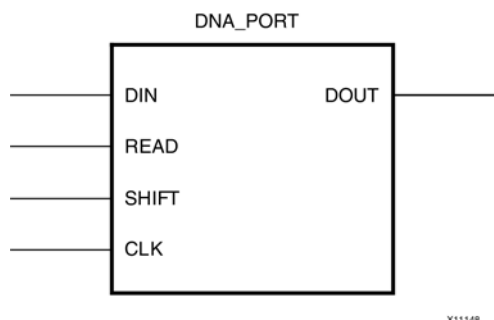
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

DNA_PORT

プリミティブ : Device DNA Data Access Port



概要

DNA_PORT を使用すると専用のシフトレジスタにアクセスできます。このシフトレジスタにはデバイスの Device DNA データビット (重複しない ID) が読み込まれます。このコンポーネントを使用すると、DNA データビットがシフトアウトできるだけでなく、補足データビットを含めたり、DNA データをロールオーバー (シフトアウト後の DNA データの反復) することもできます。このコンポーネントは主に FPGA ビットストリームの不正なコピー防止用に、ほかの回路と合わせて使用されます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CLK	入力	1	シフトレジスタへの入力クロック
DIN	入力	1	シフトレジスタへのユーザー データ入力
DOUT	出力	1	シリアル シフト出力レジスタ
READ	入力	1	シフトレジスタの同期ロード
SHIFT	入力	1	アクティブ High のシフトイネーブル入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

正しく動作するように、入力および出力をすべてデザインに接続します。

Device DNA データにアクセスするにはまず、アクティブ High の READ 信号を 1 クロック サイクル間 High にしてシフトレジスタを読み込む必要があります。シフトレジスタが読み込まれると、アクティブ High の SHIFT 入力がイネーブルになり、DOUT 出力ポートからデータが取り込まれ、データが同期シフトアウトします。追加のデータがある場合は、適切なロジックを DIN ポートに接続すると、57 ビットのシフトレジスタの終わりに追加できます。DNA データをロールオーバーする場合は、DOUT ポートを直接 DIN ポートに接続し、57 ビットのシフト操作の後で同じデータがシフトアウトされるようにします。追加データが必要ない場合は、DIN ポートを論理値 0 に固定できます。属性 SIM_DNA_VALUE はオプションで、DNA データシーケンスをシミュレーションするように設定できます。デフォルトでは、シミュレーションモデルの Device DNA データビットはすべて 0 です。

使用可能な属性

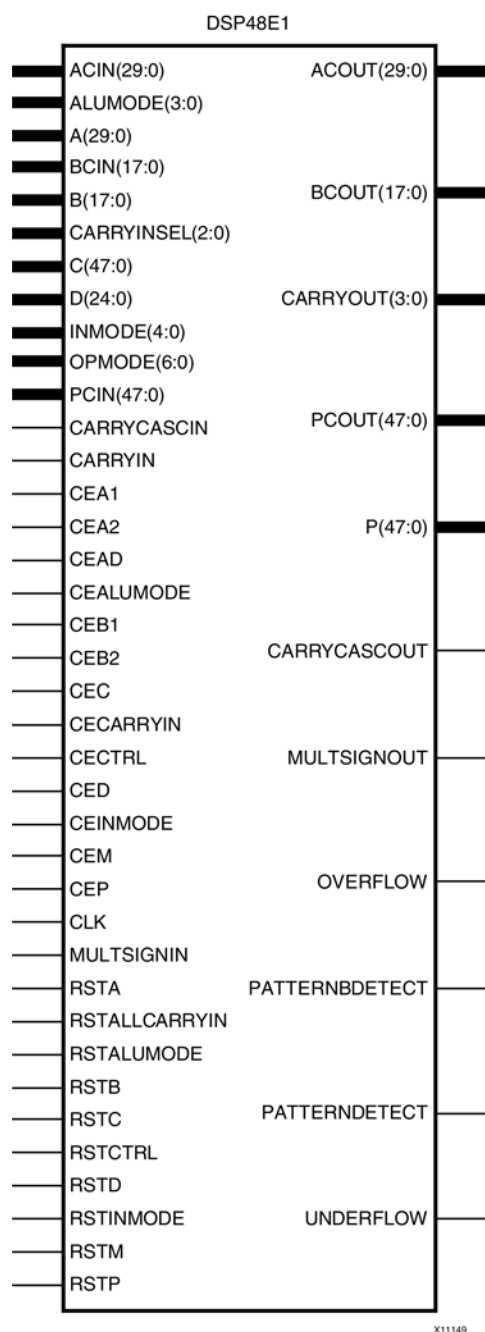
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
SIM_DNA_VALUE	16 進数	57'h00000000 0000000 ~ 57'h1fffffffff	57'h00000000 0000000	シミュレーションに使用する DNA 値を指定 (実際の値は使用デバイス特有)

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

DSP48E1

プリミティブ : 25x18 Two's Complement Multiplier with Integrated 48-Bit, 3-Input Adder/Subtractor/Accumulator or 2-Input Logic Unit



概要

このデザイン エLEMENTは、Virtex®-6 に含まれる柔軟性が高い多用途のハード IP ブロックで、多くの DSP アルゴリズムで見られる小型で高速な演算処理を作成できます。このブロックでは、乗算、加算（前置加算器を含む）、減算、累積、シフト、論理処理、およびパターン検出などが実行できます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
A[29:0]	入力	30	乗算器/前置加算器への 25 ビット データ入力または加算器/ロジック ユニット (LU) への 30 ビット MSB データ入力
ACIN[29:0]	入力	30	ポート A のカスケード入力で、カスケード接続されている上位の DSP スライスの ACOUT に接続します。使用しない場合は、ポートをすべてゼロにします。
ACOUT[29:0]	出力	30	ポート A のカスケード出力で、カスケード接続されている下位の DSP スライスの ACIN に接続します。使用しない場合は未接続にします。
ALUMODE[3:0]	入力	4	加算および減算を含むロジック ユニット (LU) ファンクションを選択する制御入力です。
B[17:0]	入力	18	乗算器への 18 ビット データ入力または加算器/ロジック ユニット (LU) への 18 ビット LSB データ入力
BCIN[17:0]	入力	18	ポート B のカスケード入力で、カスケード接続されている上位の DSP スライスの BCOUT に接続します。使用しない場合は、ポートをすべてゼロにします。
BCOUT[17:0]	出力	18	ポート B のカスケード出力で、カスケード接続されている下位の DSP スライスの BCIN に接続します。使用しない場合は未接続にします。
C[47:0]	入力	48	加算器/ロジック ユニット (LU) への 48 ビット データ入力および (または) パターン検出
CARRYCASCIN	入力	1	上位 DSP スライスからのカスケード キャリー出力
CARRYCASCOUT	出力	1	下位 DSP スライスへのカスケード キャリー出力
CARRYIN	入力	1	加算器/ロジック ユニット (LU) への外部キャリー入力
CARRYINSEL[2:0]	入力	3	DSP スライスへのキャリー入力ソースを選択します。
CARRYOUT[3:0]	出力	4	演算処理 (加算、減算など) のキャリー出力信号。 <ul style="list-style-type: none"> USE_SIMD が FOUR12 の場合、CARRYOUT は累積器/加算器/ロジック ユニット (LU) それぞれからの 12 ビットのキャリー出力を指します。 USE_SIMD が TWO24 の場合、CARRYOUT は累積器/加算器それぞれからの 24 ビットのキャリー出力を指します。 USE_SIMD が ONE48 の場合、CARRYOUT は累積器/加算器/ロジック ユニット (LU) からの唯一の有効なキャリー出力です。
CEAD	入力	1	前置加算器出力 AD パイプライン レジスタのアクティブ High のクロック イネーブルです。使用しない場合と ADREG=1 の場合は論理値を 1 に、ADREG=0 の場合は論理値を 0 にします。
CEALUMODE	入力	1	ALUMODE 入力レジスタ (ALUMODEREG=1) のアクティブ High のクロック イネーブルです。使用しない場合は論理値を 1 にします。
CEA1	入力	1	A ポートレジスタ (AREG=2) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合と AREG=2 の場合は論理値を 1 に、AREG=0 または 1 の場合は論理値を 0 にします。2 つのレジスタを使用する場合は、このレジスタが 1 段目になります。ダイナミック AB アクセスが使用されている場合、このクロック イネーブルは INMODE=1 に適用されます。
CEA2	入力	1	A ポートレジスタのアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合と AREG=2 の場合は論理値を 1 に、AREG=0 または 1 の場合は論理値を 0 にします。2 つのレジスタを使用する場合は、このレジスタが 2 段目になります。レジスタが使用されている場合 (AREG=1)、CEA2 がクロック イネーブルです。

ポート名	タイプ	幅	機能
CEB1	入力	1	B ポートレジスタ (BREG=2) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合と BREG=2 の場合は論理値を 1 に、BREG=0 または 1 の場合は論理値を 0 にします。2 つのレジスタを使用する場合は、このレジスタが 1 段目になります。ダイナミック AB アクセスが使用されている場合、このクロック イネーブルは INMODE=1 に適用されます。
CEB2	入力	1	B ポートレジスタのアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合と BREG=2 の場合は論理値を 1 に、BREG=0 または 1 の場合は論理値を 0 にします。2 つのレジスタを使用する場合は、このレジスタが 2 段目になります。レジスタが使用されている場合 (BREG=1)、CEB2 がクロック イネーブルです。
CEC	入力	1	C ポートレジスタ (CREG=1) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合は論理値を 1 にします。
CECARRYIN	入力	1	キャリー入力レジスタ (CARRYINREG=1) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合は論理値を 1 にします。
CECTRL	入力	1	OPMODE および CARRYINSEL レジスタのアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合は論理値を 1 にします。
CED	入力	1	D ポートレジスタ (DREG=1) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合は論理値を 1 にします。
CEINMODE	入力	1	INMODE 入力レジスタ (INMODEREG=1) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合は論理値を 1 にします。
CEM	入力	1	乗算のレジスタ (MREG=1) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合は論理値を 1 にします。
CEP	入力	1	出力ポートレジスタ (PREG=1) のアクティブ High のクロック イネーブルで、使用しない場合は論理値を 1 にします。
CLK	入力	1	DSP スライスのクロック入力
D[24:0]	入力	25	前置加算器への 25 ビット データ入力、または乗算器への入力
INMODE[4:0]	入力	5	ALUMODE および OPMODE と共に使用する DSP スライスの演算処理を選択する制御入力です。INMODE 信号は乗算器 (前置加算器を含む) の前にある信号およびブロックの機能を制御します。
MULTSIGNIN	入力	1	カスケードされた上位 DSP スライスからの乗算器符号出力。48 ビットを超える出力が必要な場合に加算器/累積器 (MACC) の出力の符号拡張のために使用します。MULTSIGNOUT 出力ピンにのみ接続します。
MULTSIGNOUT	出力	1	カスケードされた下位 DSP スライスへの乗算器符号出力。48 ビットを超える出力が必要な場合に加算器/累積器 (MACC) の出力の符号拡張のために使用します。MULTSIGNIN 入力ピンにのみ接続します。
OPMODE[6:0]	入力	7	ALUMODE および INMODE と共に使用する DSP スライスの演算処理を選択する制御入力です。
OVERFLOW	出力	1	パターン検出器が使用され PREG=1 のときに、加算器/累積でオーバーフローを検出するアクティブ High の出力です。
P[47:0]	出力	48	プライマリ データ出力
PATTERNBDETECT	出力	1	アクティブ High のパターン検出で、MASK 属性で指定した箇所で PATTERN の反転した値と P の値が一致したときに High になります。結果は P と同じクロック サイクルで出力されます。
PATTERNDETECT	出力	1	アクティブ High のパターン検出で、MASK 属性で指定した箇所で PATTERN の反転した値と P の値が一致したときに High になります。結果は P と同じクロック サイクルで出力されます。

ポート名	タイプ	幅	機能
PCIN[47:0]	入力	48	ポート P のカスケード入力で、カスケード接続されている上位の DSP スライスの PCOUT に接続します。使用しない場合は、ポートをすべてゼロにします。
PCOUT[47:0]	出力	48	ポート P のカスケード出力で、カスケード接続されている下位の DSP スライスの PCIN に接続します。使用しない場合は未接続にします。
RSTA	入力	1	A ポートレジスタ (AREG=1 または 2) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTALLCARRYIN	入力	1	全キャリー入力レジスタ (CARRYINREG=1) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTALUMODE	入力	1	ALUMODE レジスタ (ALUMODEREG=1) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTB	入力	1	B ポートレジスタ (BREG=1 または 2) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTC	入力	1	C ポートレジスタ (CREG=1 または 2) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTCTRL	入力	1	OPMODE および CARRYINSEL レジスタ (OPMODEREG=1 および CARRYINSELREG=1) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTD	入力	1	D ポートレジスタ (DREG=1) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTINMODE	入力	1	INMODE レジスタ (INMODEREG=1) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTM	入力	1	乗算器レジスタ (MREG=1) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
RSTP	入力	1	出力レジスタ (PREG=1) のアクティブ High の同期リセットで、使用しない場合は論理値を 0 にします。
UNDERFLOW	出力	1	パターン検出器が使用され PREG=1 のときに、加算器/累積でアンダーフローを検出するアクティブ High の出力です。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ACASCREG	整数	1、0、2	1	AREG 属性と組み合わせて使用し、A カスケード ACOUT の A 入力レジスタの数を指定します。AREG の値以下にする必要があります。
ADREG	整数	1、0	1	前置加算器出力 (AD) パイプライン レジスタの使用を選択します。AD パイプライン レジスタを使用する場合は 1 に設定します。
A_INPUT	文字列	DIRECT、CASCADE	DIRECT	A または ACIN のいずれかを選択します。
ALUMODEREG	整数	1、0	1	ALUMODE 入力をレジスタに格納する場合は 1 に設定します。
AREG	整数	1、0、2	1	A 入力にレジスタを付けるかを指定します。

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
AUTORESET_PATDET	文字列	NO_RESET、 RESET_MATCH、 RESET_NOT_MATCH	NO_RESET	パターン検出イベントがこのクロック サイクルで発生した場合、DSP スライスの R レジスタ (累積値またはカウンタ値) を次のクロック サイクルで自動的にリセットします。 RESET_MATCH および RESET_NOT_MATCH 設定で、1) パターンが一致したとき、2) パターンが現在のサイクルで一致しないが、前のサイクルでは一致していたとき、DSP スライスで P レジスタを次のクロック サイクルで自動的にリセットするべきかを決定します。
BCASCREG	整数	1、0、2	1	BREG 属性と組み合わせて使用し、B カスケード BCOUT の B 入力レジスタの数を指定します。ただし、BREG の値以下にする必要があります。
B_INPUT	文字列	DIRECT、 CASCADE	DIRECT	B または BCIN のいずれかを選択します。A 入力にレジスタを付けるかを指定します。
BREG	整数	1、0、2	1	B 入力にレジスタを付けるかを指定します。
CARRYINREG	整数	1、0	1	CARRYIN 入力をレジスタに格納する場合は 1 に設定します。
CARRYINSELREG	整数	1、0	1	CARRYINSEL 入力をレジスタに格納する場合は 1 に設定します。
CREG	整数	1、0	1	C 入力にレジスタを付けるかを指定します。
DREG	整数	1、0	1	D 入力にレジスタを付けるかを指定します。
INMODEREG	整数	1、0	1	INMODE 入力をレジスタに格納する場合は 1 に設定します。
MASK	16 進数	48'h000000 000000 ~ 48'hffffffff	48'h3fff ffffff	パターン検出器で使用するマスクを指定します。
MREG	整数	1、0	1	乗算器の段にレジスタを付けるかを指定します。イネーブル = 1/ディスエーブル = 0
OPMODEREG	整数	1、0	1	OPMODE 入力をレジスタに格納する場合は 1 に設定します。
PATTERN	16 進数	48'h0000000 00000 ~ 48'hffffffff	すべてゼロ	パターン検出器で使用するパターンを指定します。
PREG	整数	1、0	1	P 入力にレジスタを付けるかを指定します。
SEL_MASK	文字列	MASK、C、 ROUNDING_ MODE1、 ROUNDING_ MODE2	MASK	パターン検出器で使用するマスクを指定します。C および MASK はパターン検出器で標準的に使用される値です (カウンタ、オーバーフロー検出など)。ROUNDING_MODE1 (C バー 1 つ左にシフト) および ROUNDING_MODE2 (C バー 2 つ左にシフト) は、オプションでレジスタを付けた C ポートに基づき、特別マスクを選択します。これらの丸めモードは、Virtex-6 FPGA DSP48E1 ブロック ユーザー ガイドにあるようにパターン検出器を使用して DSP スライスでの収束丸め機能をインプリメントするのに使用します。
SEL_PATTERN	文字列	PATTERN、C	PATTERN	パターン検出器で使用するパターンを指定します。

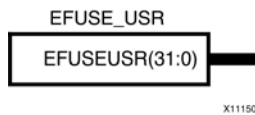
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
USE_DPORT	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	前置加算器および D ポートの使用を選択します。
USE_MULT	文字列	MULTIPLY、 DYNAMIC、NONE	MULTIPLY	乗算器の使用方法を選択します。NONE に設定すると、加算器/ロジック ユニットののみを使用するときに電力を節約できます。DYNAMIC は、ユーザーが $A*B$ と $A:B$ をダイナミックに切り替えていて、この 2 つのパスのワーストケース タイミングを取得することが必要であることを示します。
USE_PATTERN_DETECT	文字列	NO_PATDET、 PATDET	NO_PATDET	PATDET を設定するとパターン検出器がシミュレーション モデルおよびスピード ファイルで有効になります。
USE_SIMD	文字列	ONE48、FOUR12、 TWO24	ONE48	SIMD (Single Instruction Multiple Data) 加算器/ロジック ユニットの使用方法を選択します。48 ビットのロジック ユニット 1 個、24 ビットのロジック ユニット 2 個、または 12 ビットのロジック ユニット 4 個から選択します。12 ビットのロジック ユニット 4 個では、同じ命令が実行されることに注意してください。つまり、すべてのロジック ユニットで減算または加算が同サイクルで実行されます。これにより、計算量の比較的少ないアプリケーション向けに 48 ビットの加算器を小型の加算器に分割できます。SIMD は、加算、累積、減算などの演算処理にのみに影響し、論理処理には影響しません。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

EFUSE_USR

プリミティブ : 32-bit non-volatile design ID



概要

このデザイン エLEMENTは、デザインに固有のビット (各デザインに関連した ID など) を格納することができる 32 の不揮発ヒューズに内部アクセスするために使用します。これらのヒューズは JTAG を介して外部に書き込む必要があります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
EFUSEUSR[31:0]	出力	32	ユーザー E ヒューズ レジスタの値

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

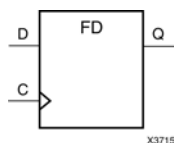
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
SIM_EFUSE_VALUE	16 進数	32'h00000000 ~ 32'hffffff	32'h00000000	INIT が High になった後にシミュレーション モデルでスタティック値がピンで駆動されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD

Primitive: D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D) とデータ出力 (Q) がある D フリップフロップです。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↑	0
1	↑	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

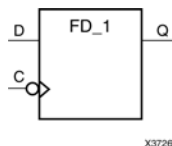
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D) とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↓	0
1	↓	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

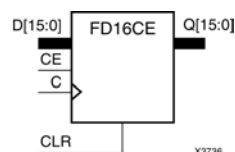
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD16CE

マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある 16 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかの入力はすべて無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

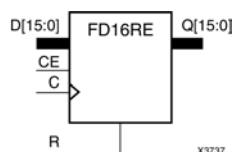
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD16RE

マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、16 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル入力 (CE) が High、同期リセット入力 (R) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに入力 (D) の値が対応する出力 (Q) に送られます。R が High になると、ほかの入力はすべて無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

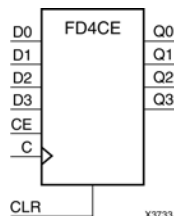
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD4CE

マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある 4 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかの入力はすべて無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

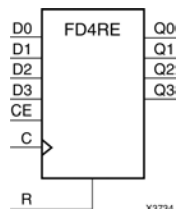
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD4RE

マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル入力 (CE) が High、同期リセット入力 (R) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに入力 (D) の値が対応する出力 (Q) に送られます。R が High になると、ほかの入力はすべて無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

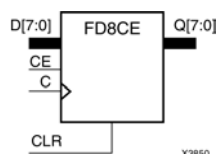
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD8CE

マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある 8 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかの入力はすべて無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

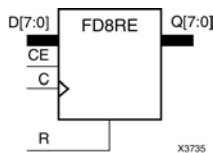
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FD8RE

マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル入力 (CE) が High、同期リセット入力 (R) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに入力 (D) の値が対応する出力 (Q) に送られます。R が High になると、ほかの入力はすべて無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

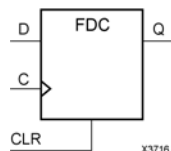
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDC

Primitive: D Flip-Flop with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D)、非同期クリア入力 (CLR)、データ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期 CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low になります。CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	D	C	Q
1	X	X	0
0	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

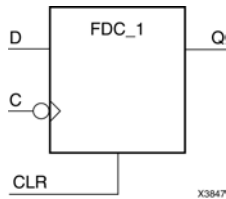
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDC_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Clear



概要

FDC_1 は、入力 (D)、非同期クリア入力 (CLR)、出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。非同期 CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low になります。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	D	C	Q
1	X	X	0
0	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

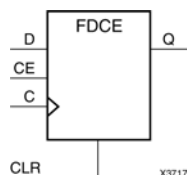
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDCE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある単一の D タイプ フリップフロップです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	D	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

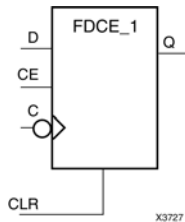
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDCE の場合、INIT 値は 0 である必要があります。1 に設定する場合は、この動作を表す非同期回路を作成する必要がありますが、ザイリンクスでは推奨されていません。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDCE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) のある単一の D タイプ フリップフロップです。非同期 CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low になります。CLR が Low、CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	D	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

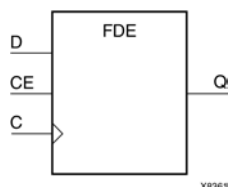
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D)、クロック イネーブル (CE)、データ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。クロック イネーブルが High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
0	X	X	変化なし
1	0	↑	0
1	1	↑	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

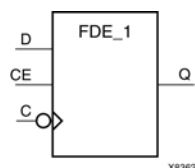
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D)、クロック イネーブル (CE)、データ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。クロック イネーブルが High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
0	X	X	変化なし
1	0	↓	0
1	1	↓	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

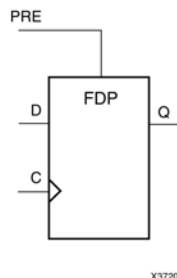
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDP

Primitive: D Flip-Flop with Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期 PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にプリセットされます。PRE が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	C	D	Q
1	X	X	1
0	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

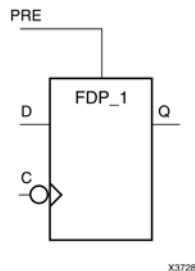
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDP_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期 PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にプリセットされます。PRE が Low の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	C	D	Q
1	X	X	1
0	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

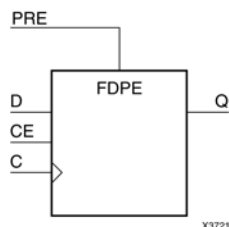
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDPE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期の PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low、CE が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	CE	D	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

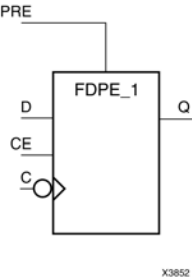
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDPE の場合、INIT 値は 1 である必要があります。0 に設定する場合は、この動作を表す非同期回路を作成する必要がありますが、ザイリンクスでは推奨されていません。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDPE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期の PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low、CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	CE	D	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

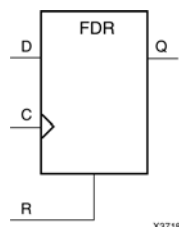
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDR

Primitive: D Flip-Flop with Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
R	D	C	Q
1	X	↑	0
0	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

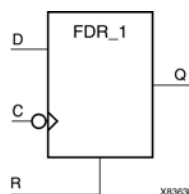
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDR_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が High から Low に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
R	D	C	Q
1	X	↓	0
0	D	↓	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

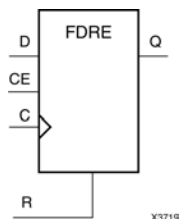
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDRE

Primitive: D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low、CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	D	C	Q
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

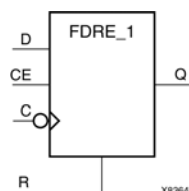
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDRE の場合、INIT 値を 0 に設定する必要があります。1 に設定すると余分なロジックが挿入されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDRE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Clock Edge, Clock Enable, and Synchronous Reset



概要

FDRE_1 は、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low で CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	D	C	Q
1	X	X	↓	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

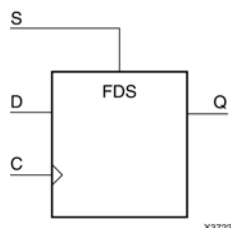
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDS

プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Set



概要

FDS は、データ (D)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期セット入力が高になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に Q 出力が高にセットされます。S が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が高になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
S	D	C	Q
1	X	↑	1
0	D	↑	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

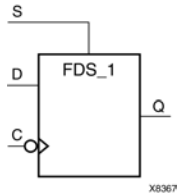
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDS_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Set



概要

FDS は、データ (D)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期セット入力が高になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に Q 出力が高にセットされます。S が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が高になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
S	D	C	Q
1	X	↓	1
0	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

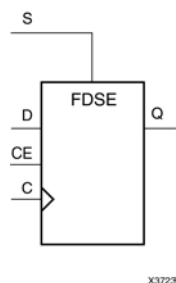
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDSE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set



概要

FDSE は、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期セット (S) 入力が高レベルになると、クロック イネーブル (CE) 入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q 出力が高レベルにセットされます。S が Low、CE が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が高レベルになります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
S	CE	D	C	Q
1	X	X	↑	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

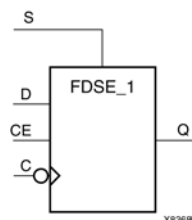
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDSE の場合、INIT 値を 1 に設定する必要があります。0 に設定すると余分なロジックが挿入されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FDSE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Synchronous Set



概要

FDSE_1 は、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。同期セット (S) 入力が高になると、クロック イネーブル (CE) 入力は無視され、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに Q 出力が高にセットされます。S が Low、CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が高になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
S	CE	D	C	Q
1	X	X	↓	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

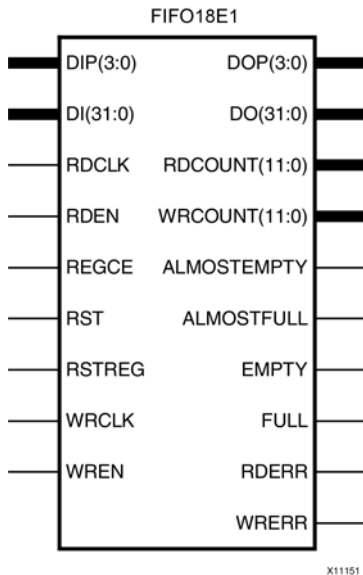
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FIFO18E1

プリミティブ : 18 k-bit FIFO (First In, First Out) Block RAM Memory



概要

Virtex®-6 デバイスにはブロック RAM が数個含まれ、これらの RAM を個別に FIFO、自動エラー訂正 RAM、または汎用 RAM/ROM (36Kb または 18Kb) としてコンフィギュレーションできます。これらのブロック RAM には、大量のオンチップ データを高速かつ柔軟に格納できます。FIFO18E1 では、FIFO 制御ロジックおよび 18Kb ブロック RAM が使用されます。このプリミティブは、4 ビット X 4K、9 ビット X 2K、18 ビット X 1K、または 36 ビット X 512 コンフィギュレーションで使用できます。また、このプリミティブは関連するすべての FIFO フラグおよびステータス信号と共に、同期モードまたはデュアルレート (非同期) モードのいずれにもコンフィギュレーションできます。独立したクロックでデュアル クロック モードを使用する場合、読み出しクロック エッジと書き込みクロック エッジ間のオフセットによっては、Empty、Almost Empty、Full、および Almost Full フラグが 1 クロック サイクル後にディアサートされることがあります。クロックが非同期のため、シミュレーション モデルではユーザー ガイドに示されているディアサートレイテンシ サイクルのみが反映されます。

メモ : 36 ビット X 512 ワードの FIFO には、FIFO18_36 を使用する必要があります。ワード数が多く、データ幅の広いコンフィギュレーションには、FIFO36E1 を使用できます。ただし、エラー修正回路が必用な場合は、FIFO36_72 の FIFO36E1 を使用する必要があります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
ALMOSTEMPTY	出力	1	FIFO がほぼ空であることを示します。このフラグのしきい値は ALMOST_EMPTY_OFFSET 属性で指定します。
ALMOSTFULL	出力	1	FIFO がほぼフルであることを示します。このフラグのしきい値は ALMOST_FULL_OFFSET 属性で指定します。
DI[31:0]	入力	32	FIFO データ入力バス
DIP[3:0]	入力	4	FIFO パリティ データ入力バス
DO[31:0]	出力	32	FIFO データ出力バス

ポート名	タイプ	幅	機能
DOP[3:0]	出力	4	FIFO パリティ データ出力バス
EMPTY	出力	1	FIFO が空であることを示します。
FULL	出力	1	FIFO がフルであることを示します。
RDEN	入力	1	アクティブ High の FIFO リード イネーブル
REGCE	入力	1	パイプライン化された同期 FIFO の出力レジスタ クロック イネーブル
RST	入力	1	3 クロック サイクル間アクティブ High の (FIFO ロジック) の非同期リセット (デュアル レートの FIFO 向け)、同期リセット (同期 FIFO)
RSTREG	入力	1	出力レジスタの同期セット/リセット
WRCLK、RDCLK	入力	1	FIFO リード クロックおよびライト クロック (立ち上がりエッジで動作)
WRCOUNT、RDCOUNT	出力	12	FIFO 書き込み/読み出しポインタ
WREN	入力	1	アクティブ High の FIFO ライト イネーブル
WRERR、RDERR	出力	1	<ul style="list-style-type: none"> WRERR は FIFO がフルの間に書き込みが実行されたことを示します。 RDERR は FIFO が空の間に読み出しが実行されたことを示します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ALMOST_EMPTY_OFFSET	16 進数	13'h0000 ~ 13'h8191	13'h0080	ALMOST_EMPTY フラグをトリガする RAM のデータ量を指定します。
ALMOST_FULL_OFFSET	16 進数	13'h0000 ~ 13'h8191	13'h0080	ALMOST_FULL フラグをトリガする RAM のデータ量を指定します。
DATA_WIDTH	整数	4、9、18、36	4	FIFO に必要なデータ幅を指定
DO_REG	整数	1、0	1	EN_SYN のデータ パイプライン レジスタ
EN_SYN	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	FIFO がデュアル クロック (独立した 2 つのクロック) または同期 (1 つのクロック) のいずれで動作しているかを示します。デュアル クロックの場合は DO_REG=1 である必要があります。
FIFO_MODE	文字列	FIFO18、FIFO18_36	FIFO18	FIFO18 または FIFO18_36 モードを選択します。
FIRST_WORD_FALL_THROUGH	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、RDEN がアサートされずに FIFO に最初に書き込まれた値が DO に出力されます。
INIT	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の DO 出力の初期値を指定します。

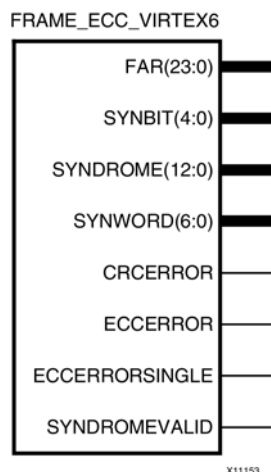
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
SRVAL	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	同期リセット信号 (RSTREG) がアサートされたときの FIFO の出力値を指定します。DO_REG=1 の場合のみ有効です。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FIFO36E1

プリミティブ : 36 kb FIFO (First In, First Out) Block RAM Memory



概要

Virtex®-6 デバイスにはブロック RAM が数個含まれ、FIFO、自動エラー訂正 RAM、または汎用 RAM/ROM (36 Kb または 18 Kb) としてコンフィギュレーションできます。これらのブロック RAM には、大量のオンチップ データを高速かつ柔軟に格納できます。FIFO36E1 を使用すると、36Kb の FIFO のブロック RAM へアクセスできます。このコンポーネントは、関連 FIFO フラグと共に、4 ビット X 8K ワード、9 ビット X 4K ワード、18 ビット X 2K ワード、36 ビット X 1K ワード、72 ビット X 512 ワードの同期またはデュアル クロック (非同期) FIFO RAM としてコンフィギュレーションできます。

独立したクロックでデュアル クロック モードを使用する場合、読み出しクロック エッジと書き込みクロック エッジ間のオフセットによっては、Empty、Almost Empty、Full、および Almost Full フラグが 1 クロック サイクル後にディアサートされることがあります。クロックが非同期のため、シミュレーション モデルではユーザー ガイドに示されているディアサートレイテンシ サイクルのみが反映されます。

メモ : 72 ビット X 512 ワードの FIFO には、FIFO36_72 を使用する必要があります。ワード数が少なく、データ幅の狭いコンフィギュレーションには、FIFO18E1 を使用します。ただし、エラー修正回路が必要な場合は、FIFO36_72 を使用する必要があります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
ALMOSTEMPTY	出力	1	FIFO がほぼ空であることを示します。このフラグの値は ALMOST_EMPTY_OFFSET 属性で指定します。
ALMOSTFULL	出力	1	FIFO がほぼフルであることを示します。このフラグの値は ALMOST_FULL_OFFSET 属性で指定します。
DBITERR	出力	1	ダブル ビット エラーが検出されたことを示す ECC ファンクションからのステータス出力。使用する場合は、EN_ECC_READ を TRUE にする必要があります。
DI[63:0]	入力	64	FIFO データ入力バス
DIP[7:0]	入力	8	FIFO パリティ データ入力バス
DO[63:0]	出力	64	FIFO データ出力バス

ポート名	タイプ	幅	機能
DOP[7:0]	出力	8	FIFO パリティ データ出力バス
ECCPARITY[7:0]	出力	8	メモリ エラー検出と訂正を行う ECC デコーダで使用される ECC エンコーダから生成された 8 ビット データ
EMPTY	出力	1	FIFO が空であることを示します。
FULL	出力	1	FIFO がフルであることを示します。
INJECTDBITERR	入力	1	ECC 機能が使用されている場合はダブル ビット エラーが挿入されます。
INJECTSBITERR	入力	1	ECC 機能が使用されている場合はシングル ビット エラーが挿入されます。
RDEN	入力	1	アクティブ High の FIFO リード イネーブル
REGCE	入力	1	パイプライン化された同期 FIFO の出力レジスタ クロック イネーブル
RST	入力	1	3 クロック サイクル間アクティブ High の (FIFO ロジック) の非同期リセット (デュアル レートの FIFO 向け)、同期リセット (同期 FIFO)
RSTREG	入力	1	出力レジスタの同期セット/リセット
SBITERR	出力	1	シングル ビット エラーが検出されたことを示す ECC ファクションからのステータス出力。使用する場合は、EN_ECC_READ を TRUE にする必要があります。
WRCLK、RDCLK	入力	1	FIFO リード クロックおよびライト クロック (立ち上がりエッジで動作)
WRCOUNT、 RDCOUNT	出力	13	FIFO 書き込み/読み出しポインタ
WREN	入力	1	アクティブ High の FIFO ライト イネーブル
WRERR、 RDERR	出力	1	<ul style="list-style-type: none"> WRERR は FIFO がフルの間に書き込みが実行されたことを示します。 RDERR は FIFO が空の間に読み出しが実行されたことを示します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ALMOST_EMPTY_OFFSET	16 進数	13'h0000 ~ 13'h8191	13'h0080	ALMOST_EMPTY フラグをトリガする RAM のデータ量を指定します。
ALMOST_FULL_OFFSET	16 進数	13'h0000 ~ 13'h8191	13'h0080	ALMOST_FULL フラグをトリガする RAM のデータ量を指定します。
DATA_WIDTH	整数	4、9、18、36、72	4	FIFO に必要なデータ幅を指定
DO_REG	整数	1、0	1	読み出しレイテンシ (パイプライン遅延 1 つ) 追加することで clock-to-out のタイミングを向上するように、FIFO の出力レジスタをイネーブルします。EN_SYN が FALSE

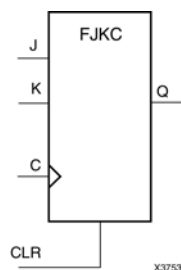
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
				のときは DO_REG を 1 にする必要があります。
EN_ECC_READ	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	ECC デコーダ回路をイネーブルにします。
EN_ECC_WRITE	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	ECC エンコーダ回路をイネーブルにします。
EN_SYN	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	FALSE のときは非同期モード、TRUE のときは同期 (1 クロック) モードで FIFO が使用されることを示します。
FIFO_MODE	文字列	FIFO36、FIFO36_72	FIFO36	FIFO36 または FIFO36_72 モードを選択します。
FIRST_WORD_FALL_THROUGH	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、RDEN がアサートされずに FIFO に最初に書き込まれた値が DO に出力されます。
INIT	16 進数	72 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の DO 出力の初期値を指定します。
SRVAL	16 進数	72 ビット値	すべてゼロ	同期リセット信号 (RSTREG) がアサートされたときの FIFO の出力値を指定します。DO_REG=1 の場合のみ有効です。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FJKC

マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K タイプ フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low にリセットされます。CLR が Low になると、次の論理表に示すように、クロックが Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて出力の値が変化します。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	J	K	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	0	↑	変化なし
0	0	1	↑	0
0	1	0	↑	1
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

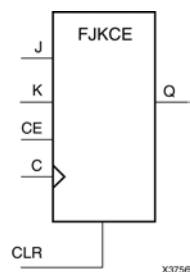
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FJKCE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K タイプ フリップフロップです。非同期クリア (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low にリセットされます。CLR が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロックが Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q の値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
CLR	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	0
0	0	X	X	X	変化なし
0	1	0	0	X	変化なし
0	1	0	1	↑	0
0	1	1	0	↑	1
0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

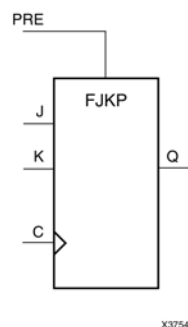
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FJKP

マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Preset



X3754

概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low の場合、次の論理表に示すように、クロックが Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q の値が変化します。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	J	K	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	0	X	変化なし
0	0	1	↑	0
0	1	0	↑	1
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

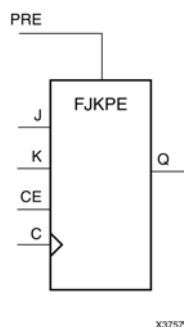
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FJKPE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K フリップフロップです。非同期プリセット (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q 出力の値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
PRE	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	1
0	0	X	X	X	変化なし
0	1	0	0	X	変化なし
0	1	0	1	↑	0
0	1	1	0	↑	1
0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

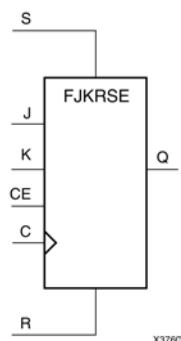
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FJKRSE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、同期リセット (R)、同期セット (S)、クロック イネーブル (CE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K フリップフロップです。同期リセット (R) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。同期セット (S) が High、R が Low の場合、Q 出力が High にセットされます。R と S が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q 出力が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	S	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	↑	0
0	1	X	X	X	↑	1
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	0	X	変化なし
0	0	1	0	1	↑	0
0	0	1	1	0	↑	1
0	0	1	1	0	↑	1
0	0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

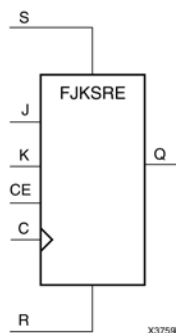
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FJKSRE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、同期セット (S)、同期リセット (R)、クロック イネーブル (CE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K タイプ フリップフロップです。同期セット (S) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に Q が High にセットされます。同期リセット (R) が High、S が Low の場合、出力 Q が Low にリセットされます。S と R が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、J および K 入力の値に応じて Q 出力が変化します。CE が Low の場合、クロック 遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
S	R	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	↑	1
0	1	X	X	X	↑	0
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	0	X	変化なし
0	0	1	0	1	↑	0
0	0	1	1	0	↑	1
0	0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

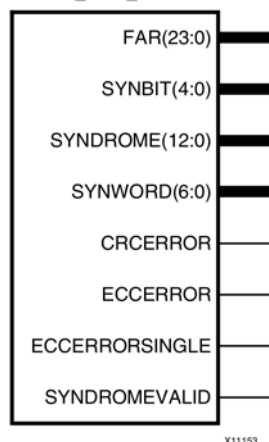
詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FRAME_ECC_VIRTEX6

プリミティブ : Virtex®-6 Configuration Frame Error Detection and Correction Circuitry

FRAME_ECC_VIRTEX6



X11153

概要

このデザイン エLEMENTでは、FPGA のコンフィギュレーション メモリ向けの専用ビルトイン ECC (エラー検出および修正回路) が提供されます。このELEMENTには、ECC 回路のステータスおよびリードバック CRC 回路のステータスを監視する出力が含まれています。

SEU 修正機能では、シングル ビット エラーの自動修正を行うためのハードウェア バージョンが提供されます。この修正機能で使用する追加出力には、ソフト コアで使用するハミング コード シンドロームのデコードが含まれます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CRCERROR	出力	1	リードバック CRC エラーを示します。
ECCERROR	出力	1	フレーム ECC エラーが見つかったことを示します。SYNDROME が 0 以外のときは 1、SYNDROME がすべて 0 のときは 0 になり、エラーが検出されなかったことを示します。
ECCERRORSINGLE	出力	1	シングル ビット フレーム ECC エラが検出されたことを示します。
FAR[23:0]	出力	24	SEU 修正/投入および ICAP アプリケーションでは FAR レジスタを確認できます。この出力は、FARSRC 属性により EFAR または FAR コンフィギュレーション レジスタをポイントします。
SYNBIT[4:0]	出力	5	フレーム内の SYNWORD でポイントされているワード内のエラーのあるビットのインデックス (0 → 31) が検出されたことを示します。ECCERRORSINGLE が High のとき有効です。
SYNDROME[12:0]	出力	13	フレーム ECC エラーの発生場所を示します。 <ul style="list-style-type: none"> S[12] = 0, S[11:0] = 0 : エラーなし S[12] = 1, S[11:0] ≠ 0 : シングル ビット (SED) エラー。S[11:0] でエラー位置が示されます。 S[12] = 1, S[11:0] = 0 : シングル ビット エラー。全体パリティビット p[11] がエラー S[12] = 0, S[11:0] ≠ 0 : ダブルビット エラー、修正不可能

ポート名	タイプ	幅	機能
SYNDROMEVALID	出力	1	SYNDROME の値が有効であることを示します。
SYNWORD[6:0]	出力	7	ECC エラーが検出されたフレームでの 32 ビットワードのインデックス (0 → 80)。SYNDROME からデコードされます。ECCERRORSINGLE が High のとき有効です。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

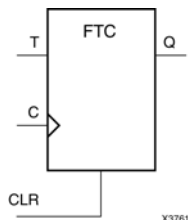
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
FARSRC	文字列	EFAR、FAR	EFAR	FAR または EFAR コンフィギュレーション レジスタのどちらを FAR[23:0] の出力でポイントするかを決定します。コンフィギュレーション オプションレジスタビット CTL0[7] を設定します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTC

マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能な同期トグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。トグル イネーブル入力 (T) が High、CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がトグルし、値が変化します。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	T	C	Q
1	X	X	0
0	0	X	変化なし
0	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、CPLD を使用しているときはインスタンスエートできますが、FPGA を使用しているときはインスタンスエートできません。

使用可能な属性

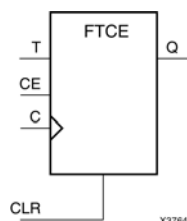
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTCE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期クリアがあるトグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CLR が Low、トグル イネーブル (T) とクロック イネーブル (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q 出力がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	T	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	X	変化なし
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

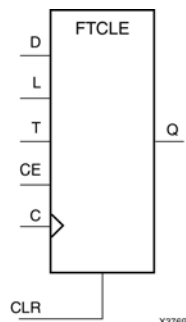
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTCLe

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期クリアがあるロード可能なトグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が Low にリセットされます。ロード イネーブル入力 (L) が High、CLR が Low の場合、クロック イネーブル (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、データ入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。トグル イネーブル (T) と CE が High、L と CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
CLR	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	0
0	1	X	X	D	↑	D
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

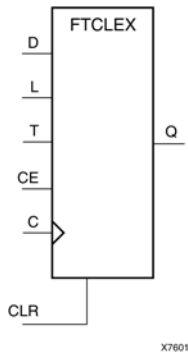
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTCLEX

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エレメントは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期クリアがあるロード可能なトグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が Low にリセットされます。ロード イネーブル入力 (L) と CE が High、CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。トグル イネーブル (T) と CE が High、L と CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
CLR	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	0
0	1	X	X	D	↑	D
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

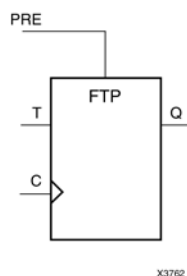
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTP

マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブルと非同期プリセットがあるトグル フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が High にセットされます。トグル イネーブル入力 (T) が High、PRE が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 Q がトグルし、値が変化します。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	T	C	Q
1	X	X	1
0	0	X	変化なし
0	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

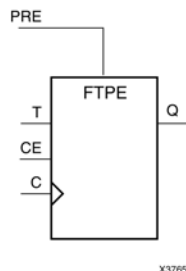
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTPE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期プリセットがあるトグル フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が High にセットされます。トグル イネーブル入力 (T) とクロック イネーブル入力 (CE) が High、PRE が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	CE	T	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	X	変化なし
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

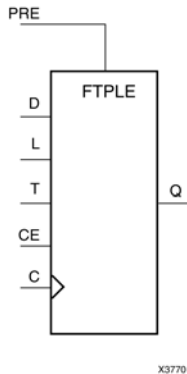
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTPLE

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期プリセットがあるロード可能なトグル フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が High にセットされます。ロード イネーブル入力 (L) が High、PRE が Low の場合、クロック イネーブル (CE) は無視され、クロックが Low から High に切り替わる時に、D の値がフリップフロップにロードされます。L と PRE が Low、トグル イネーブル入力 (T) と CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
PRE	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	1
0	1	X	X	D	↑	D
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

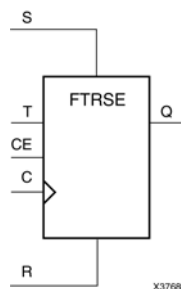
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTRSE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるトグル フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 (Q) の値が Low にリセットされます。R が Low、同期セット入力 (S) が High の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 Q が High にセットされます (リセットがセットよりも優先される)。トグル イネーブル入力 (T) と CE が High、S と R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグルし、値が変化します。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
R	S	CE	T	C	Q
1	X	X	X	↑	0
0	1	X	X	↑	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	変化なし
0	0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

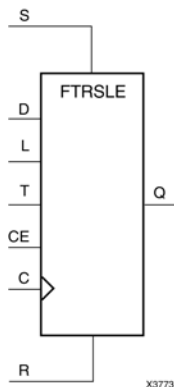
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTRSLE

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるロード可能なトグル フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 (Q) が Low にリセットされます (リセットがセットよりも優先される)。R が Low、同期セット入力 (S) が High の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 Q が High にセットされます。R と S が Low、ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、CE は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。R、S、L が Low、CE とトグル イネーブル (T) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグル し、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力							出力
R	S	L	CE	T	D	C	Q
1	0	X	X	X	X	↑	0
0	1	X	X	X	X	↑	1
0	0	1	X	X	1	↑	1
0	0	1	X	X	0	↑	0
0	0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

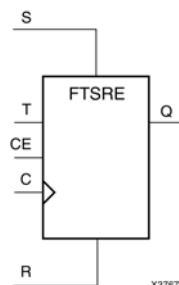
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTSRE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるトグル フリップフロップです。同期セット入力 (S) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、データ出力 (Q) が High にセットされます (セットがリセットよりも優先される)。同期リセット (R) が High、S が Low の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、出力 Q が Low にリセットされます。トグル イネーブル入力 (T) と CE が High、S と R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
S	R	CE	T	C	Q
1	X	X	X	↑	1
0	1	X	X	↑	0
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	変化なし
0	0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

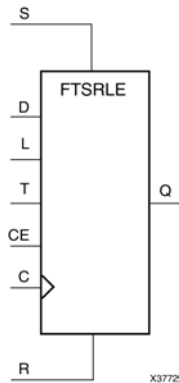
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

FTSRLE

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるロード可能なトグル フリップフロップです。同期セット入力 (S) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、データ出力 (Q) が High にセットされます (セットがリセットよりも優先される)。同期リセット (R) が High、S が Low の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 Q が Low にリセットされます。ロード イネーブル入力 (L) が High、S と R が Low の場合、CE は無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに、入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。トグル イネーブル入力 (T) と CE が High、S、R、L が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力							出力
S	R	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	↑	1
0	1	X	X	X	X	↑	0
0	0	1	X	X	1	↑	1
0	0	1	X	X	0	↑	0
0	0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

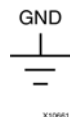
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

GND

プリミティブ : Ground-Connection Signal Tag



概要

GND 信号タグは、ネットまたは入力ファンクションの論理レベルを Low にします。GND に接続されたネットは、ほかのソースに接続できません。

ロジックトリム ソフトウェアまたはフィタでは、GND に接続されたネットまたは入力ファンクションがあると、GND 信号でディスエーブルになるロジックが削除されます。ディスエーブルになるロジックを削除できない場合のみ、GND 信号がインプリメントされます。

デザインの入力方法

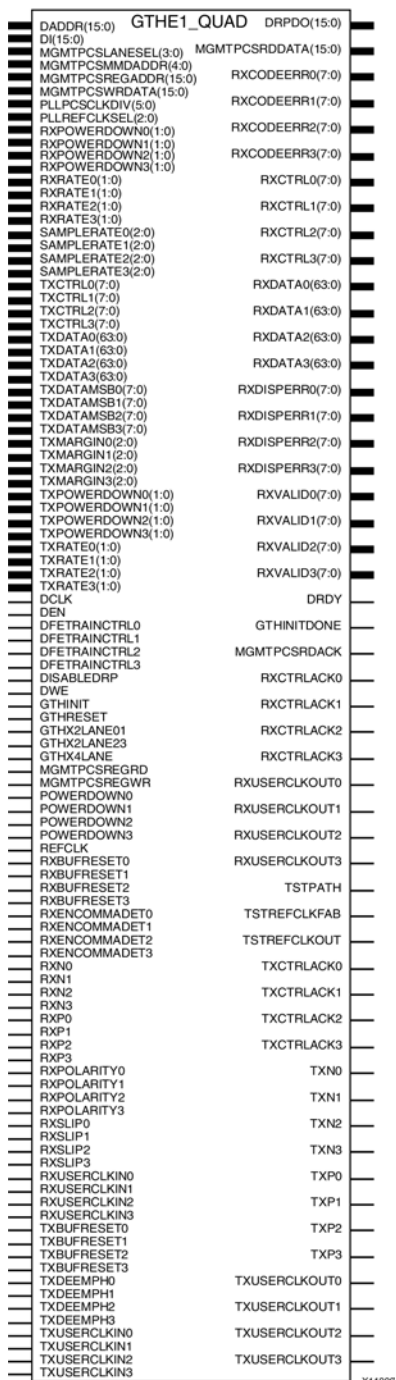
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

GTHE1_QUAD

ブリミティブ : Gigabit Transceiver



X11000

概要

Virtex®-6 FPGA GTH トランシーバのデザイン エLEMENT です。GTH は HTX ファミリの Virtex-6 FPGA の中で最高速、10G で最適化されたコンフィギュレーション可能なトランシーバです。このELEMENTの詳細は、Virtex-6 FPGA GTH トランシーバ ユーザー ガイドを参照してください。Virtex-6 FPGA GTX Transceiver Wizard は、GTHE1_QUAD プリミティブをインスタンスエートするラッパの生成に使用されるツールです。このウィザードは、ザイリンクス CORE Generator™ ツールに含まれています。

デザインの入力方法

このELEMENTをインスタンスエートするには、Virtex-6 FPGA GTH Transceiver Wizard またはこのELEMENTを含む関連コアを使用します。このELEMENTは直接インスタンスエートしないでください。

詳細情報

- ・ [Virtex-6 FPGA GTH トランシーバ ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

プリミティブ : Gigabit Transceiver



概要

このデザイン エLEMENTでは、効率性に優れ詳細にコンフィギュレーション可能なトランシーバである Virtex®-6 FPGA RocketIO™ GTX トランシーバが表現されます。このELEMENTの詳細は、Virtex-6 FPGA RocketIO GTX トランシーバ ユーザー ガイドを参照してください。Virtex-6 FPGA RocketIO GTX Transceiver Wizard は、GTXE1 プリミティブをインスタンス化してラッパの生成に使用されるツールです。このウィザードは、ザイリンクス CORE Generator™ ツールに含まれています。

デザインの入力方法

このELEMENTをインスタンス化するには、Virtex-6 FPGA RocketIO GTX Transceiver Wizard またはこのELEMENTを含む関連コアを使用します。このELEMENTは直接インスタンス化しないでください。

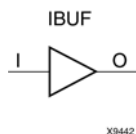
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-6 FPGA RocketIO GTX トランシーバ ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUF

プリミティブ : Input Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、最上位の入力ポートまたは入出力ポートに接続されている信号に自動的に挿入されます。このバッファは通常、合成ツールで推論しますが、必要に応じてインスタンスエートすることも可能です。インスタンスエートするには、入力ポート (I) を関連する最上位の入力ポートまたは入出力ポートに接続し、出力ポート (O) をそのポートをソースとする FPGA ロジックに接続します。必要なジェネリック マップ (VHDL) またはパラメータ値代入 (Verilog) に変更を加えて、コンポーネントのデフォルトのビヘイビアを変更します。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファの出力
I	入力	1	バッファの入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソースコードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンスエートできます。このコンポーネントをインスタンスエートするには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンスエーション コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力供給されるロジックに直接接続します。generic/default 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

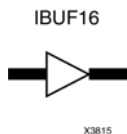
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUF16

マクロ : 16-Bit Input Buffer



概要

IBUF は、チップに入力される信号から内部回路を分離します。このデザイン エLEMENTは I/O ブロック (IOB) に含まれており、I/O の I/O 規格を指定できます。通常シングルエンドのデータ入力ピンまたは双方向ピンに使用されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソースコードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンスエートできます。このコンポーネントをインスタンスエートするには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンスエーション コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力 that 供給されるロジックに直接接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

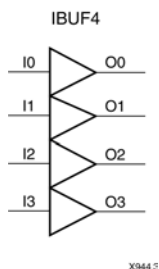
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUF4

マクロ : 4-Bit Input Buffer



概要

IBUF は、チップに入力される信号から内部回路を分離します。このデザイン エLEMENTは I/O ブロック (IOB) に含まれており、I/O の I/O 規格を指定できます。通常シングルエンドのデータ入力ピンまたは双方向ピンに使用されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソースコードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンス化できます。このコンポーネントをインスタンス化するには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンス化コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力 that 供給されるロジックに直接接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

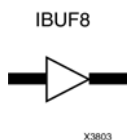
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUF8

マクロ : 8-Bit Input Buffer



概要

IBUF は、チップに入力される信号から内部回路を分離します。このデザイン エLEMENTは I/O ブロック (IOB) に含まれており、I/O の I/O 規格を指定できます。通常シングルエンドのデータ入力ピンまたは双方向ピンに使用されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソースコードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンス化できます。このコンポーネントをインスタンス化するには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンス化コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力 that 供給されるロジックに直接接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

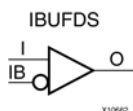
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUFDS

プリミティブ : Differential Signaling Input Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、低電圧差動信号を使用する入力バッファです。IBUFDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方がマスタで、もう一方がスレーブとなる 2 つの異なるポート (I、IB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。オプションで、プログラム可能な差動終端機能を使用すると、シグナル インテグリティが向上し、外部コンポーネントの数を減らすことができます。

論理表

入力		出力
I	IB	O
0	0	変化なし
0	1	0
1	0	1
1	1	変化なし

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
I	入力	1	Diff_p バッファの入力
IB	入力	1	Diff_p バッファの入力
O	出力	1	バッファの出力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートを直接デザインの最上位のマスタとなる入力ポートに、IB ポートを最上位のスレーブとなる入力ポートに、O ポートをこの入力 that 供給されるロジックに接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

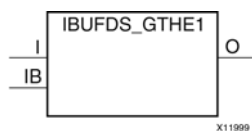
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUFDS_GTHE1

プリミティブ : Differential Clock Input for the GTH Transceiver Reference Clocks



概要

GTH トランシーバ リファレンス クロックの専用差動クロック入力です。4 区画ある GTH の区画ごとに IBUFDS_GTHE1 コンポーネントが 1 つあり、GTHE1_QUAD プリミティブの REFCLK ピンに直接接続されます。

デザインの入力方法

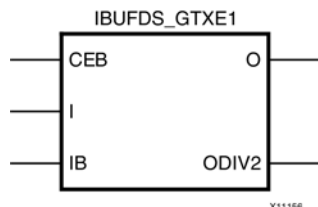
このエレメントをインスタンス化するには、Virtex-6 FPGA GTH Transceiver Wizard またはこのエレメントを含む関連コアを使用します。このエレメントは直接インスタンス化しないでください。

詳細情報

- ・ [Virtex-6 FPGA GTH トランシーバ ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUFDS_GTXE1

プリミティブ : Differential Clock Input for the Transceiver Reference Clocks



概要

GT のリファレンス クロック入力だけでなく BUFG/MMCM などのクロック リソースを駆動することもできる、トランシーバ リファレンス クロックの差動クロック入力です。IBUFDS_GTXE1 に関連したクワッドの 4 GTXE1にある MGTREFCLKRX/TX ピン、その上のクワッドの 4 GTXE1にある NORTHREFCLKRX/TX ピン、または下のクワッドの 4 GTXE1 にある SOUTHREFCLKRX/TX ピンに接続します。

IBUFDS_GTXE1 エLEMENTが接続できるデスティネーション ピンは Virtex®-6 には複数あります。GT のリファレンス クロックが接続されている場合、最適化された配線に基づき、どのピンの GT にもソフトウェアによるフル コントロールのもと配線接続ができます。複数のクロックが GT に接続されている場合、ソフトウェアにより各 IBUFDS が GT 上の指定ピンに配線されます。つまり、IBUFDS_GTXE1 の O ピンは、GT の MGTREFCLKRX/TX ピンまたは NORTH/SOUTHREFCLKRX/TX ピンに接続されます。

メモ : RX および TX のマルチプレクサはそれぞれ別を選択できますが、配線はシリコン上で共有されます。

デザインの入力方法

このELEMENTをインスタンスエートするには、RocketIO™ Wizard またはこのELEMENTを含む関連コアを使用します。このELEMENTは直接インスタンスエートしないでください。

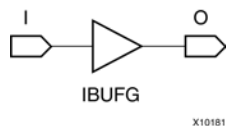
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUFG

プリミティブ : Dedicated Input Clock Buffer



概要

IBUFG は、FPGA への入力クロックをグローバル クロック配線リソースに接続するために使用する専用入力です。IBUFG は最上位ポートから MMCM または BUFG への専用接続となり、デバイスのクロック遅延とジッタが最小限に抑えられます。IBUFG の入力、グローバル ケーパブル (CC) ピンまたはグローバル クロック (GC) ピンでのみ駆動できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	クロック バッファ出力
I	入力	1	クロック バッファ入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

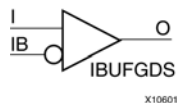
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をエレメントに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IBUFGDS

プリミティブ : Differential Signaling Dedicated Input Clock Buffer and Optional Delay



概要

このデザイン エLEMENT は、クロック バッファ (BUFG) または MMCM に接続するための専用の差動信号入力バッファです。IBUFGDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方が「マスタ」で、もう一方が「スレーブ」となる 2 つの異なるポート (I、IB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。オプションで、プログラム可能な差動終端機能を使用すると、シグナル インテグリティが向上し、外部コンポーネントの数を減らすことができます。デバイスへの入力データの取り込みには、プログラマブル遅延を使用することもできます。

論理表

入力		出力
I	IB	O
0	0	変化なし
0	1	0
1	0	1
1	1	変化なし

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	クロック バッファ出力
IB	入力	1	Diff_n クロック バッファの入力
I	入力	1	Diff_p クロック バッファの入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートを直接デザインの最上位のマスタとなる入力ポートに、IB ポートを最上位のスレーブとなる入力ポートに、O ポートをこの入力をソースとする MMCM、BUFG、またはロジックに接続してください。一部の合成ツールでは、IBUFG を FPGA のクロックリソースに接続すると、必要に応じて BUFG が自動的に推論されます。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

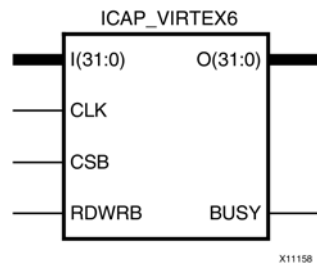
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ICAP_VIRTEX6

プリミティブ : Internal Configuration Access Port



概要

このデザイン エLEMENTからは、FPGA ファブリックから FPGA のコンフィギュレーション機能にアクセスできます。このコンポーネントを使用すると、FPGA アレイのコンフィギュレーション ロジックにコマンドおよびデータを書き込んだり、コンフィギュレーション ロジックからデータを読み出したりすることができます。このファンクションを正しく使用しないと FPGA の機能および信頼性に悪影響を与えるため、この機能に精通していない限りこのELEMENTは使用しないでください。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
BUSY	出力	1	Busy/Ready 出力
CLK	入力	1	クロック入力
CSB	入力	1	アクティブ Low の ICAP イネーブル
I[31:0]	入力	32	コンフィギュレーション データ入力バス
O[31:0]	出力	32	コンフィギュレーション データ出力バス
RDWRB	入力	1	読み出し/書き込みの選択

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

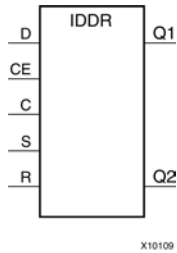
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ICAP_WIDTH	文字列	X8、X16、X32	X8	ICAP_VIRTEX6 で使用する入力および出力データ幅を指定します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IDDR

プリミティブ : Input Dual Data-Rate Register



概要

このデザイン エLEMENTは、ザイリンクス FPGA で外部デュアル データレート (DDR) 信号を受信するための専用入力レジスタです。このプリミティブでは、データが取り込まれるクロック エッジごとにデータを転送するだけでなく、同じクロック エッジで同時にデータを転送することもできます。これにより、タイミングが複雑にならず、追加のリソースも必要ありません。

- OPPOSITE_EDGE モード :** 通常の DDR 方式でデータが受信されます。Q1 はクロック C の各立ち上がりエッジの後に変化し、Q2 は各立ち下がりエッジの後に変化します。
- SAME_EDGE モード :** データはクロック C の反対のエッジで受信されますが、立ち下がりエッジ データレジスタの前にレジスタが追加されるので、DDR データは同じクロック エッジで FPGA に送信されます。ただし、データ ペアは分離されているように見えます。Q1 と Q2 にはペア 1 および 2 が同時に送信されず、最初のペアがペア 1 とドントケアとなり、次のクロック サイクルでペア 2 と 3 が送信されます。
- SAME_EDGE_PIPELINED モード :** SAME_EDGE モードと同様にデータが受信されますが、SAME_EDGE モードでのデータ ペアの分離を回避するため、立ち上がりエッジ データレジスタの前にもレジスタが追加されます。これにより、データ ペアが Q1 と Q2 ピンに同時に送信されます。ただし、このモードを使用すると、Q1 と Q2 信号が変化するレイテンシが 1 サイクル分増加します。

IDDR は IODELAY などの SelectIO™ 機能とも使用できます。

メモ : 高速インターフェイスには、IDDR_2CLK コンポーネントを使用して データの取り込みに 2 つの独立したクロックを指定できます。このコンポーネントは、IDDR のパフォーマンス要件が不十分のときに使用します。IDDR_2CLK では、必要なクロック リソース数が増え、IDDR コンポーネントを使用するときには不要な配置制限が発生する可能性があります。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q1 ~ Q2	出力	1	FPGA に接続する IDDR 出力です。Q1 は最初のデータ ペア、Q2 は 2 番目のデータ ペアです。
C	入力	1	クロック入力ピンです。
CE	入力	1	Low になると、ポート O の出力クロックがディスエーブルになります。
D	入力	1	DDR データを IDDR モジュールに入力するピン。 このピンは、最上位の入力または双方向ポート、入力遅延が設定された IODELAY、または適切な入力または双方向バッファに接続します。
R	入力	1	アクティブ High のリセットで Q1 および Q2 を論理値 0 にします。SRTYPE 属性に基づき、同期または非同期に設定できます。
S	入力	1	アクティブ High のリセットで Q1 および Q2 を論理値 1 にします。SRTYPE 属性に基づき、同期または非同期に設定できます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

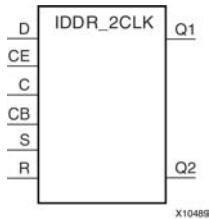
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DDR_CLK_EDGE	文字列	OPPOSITE_EDGE、 SAME_EDGE、 SAME_EDGE_ PIPELINED	OPPOSITE_ EDGE	クロック エッジに相対させた IDDR 操作モードを選択します。
INIT_Q1	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーションのスタートアップ後または GSR がアサートされたときの Q1 ピンの初期値を指定します。
INIT_Q2	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーションのスタートアップ後または GSR がアサートされたときの Q2 ピンの初期値を指定します。
SRTYPE	文字列	SYNC、ASYNC	SYNC	セット/リセットのタイプを選択します。SYNC では、リセット (R) およびセット (S) ピンの動作が C クロック ピンの立ち上がりエッジに同期するように指定し、ASYNC では非同期のセット/リセット機能を指定します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IDDR_2CLK

プリミティブ : Input Dual Data-Rate Register with Dual Clock Inputs



概要

このデザイン エLEMENTは、ザイリンクス FPGA で外部デュアル データレート (DDR) 信号を受信するための専用入力レジスタです。通常は、高速インターフェイスにのみこのプリミティブを使用します。このプリミティブでは、必用なクロックリソース数および消費電力が増加し、IDDR コンポーネントを使用するときには不要な配置配線での制限も発生するためです。代わりに IDDR コンポーネントを使用すると、動作速度は多少遅くなるものの、簡単に使用でき、リソース数も抑えられ、制限も低減します。このプリミティブでは、データが取り込まれるクロック エッジごとにデータを転送するだけではなく、同じクロック エッジで同時にデータを転送することもできます。これにより、タイミングが複雑にならず、追加のリソースも必要ありません。

- OPPOSITE_EDGE モード** : 通常の DDR 方式でデータが受信されます。Q1 はクロック C の各立ち上がりエッジの後に変化し、Q2 はクロック CB の各立ち下がりエッジの後に変化します。
- SAME_EDGE モード** : データは、各クロックの立ち上がりエッジで受信されますが、CB クロック データレジスタの前にレジスタが 1 つ追加されます。この追加されたレジスタにもクロック信号 C の立ち上がりエッジでクロックが供給されるため、DDR データは同じクロック エッジで FPGA に送信されます。ただし、データ ペアは分離されているように見えます。Q1 と Q2 にはペア 1 および 2 が同時に送信されず、最初のペアがペア 1 とドントケアとなり、次のクロック サイクルでペア 2 と 3 が送信されます。
- SAME_EDGE_PIPELINED モード** : SAME_EDGE モードと同様にデータが受信されますが、SAME_EDGE モードでのデータ ペアの分離を回避するため、C のクロック データレジスタの前にもレジスタが追加されます。これにより、データ ペアが Q1 と Q2 ピンに同時に送信されます。ただし、このモードを使用すると、Q1 と Q2 信号が変化するレイテンシが 1 サイクル分増加します。

IDDR は IODELAY などの SelectIO™ 機能とも使用できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q1 : Q2	出力	1	FPGA に接続する IDDR 出力です。Q1 は最初のデータ ペア、Q2 は 2 番目のデータ ペアです。
C	入力	1	立ち上がりエッジのデータをキャプチャするプライマリ クロック入力ピン
CB	入力	1	立ち下がりエッジのデータをキャプチャするセカンダリ クロック入力ピン (通常プライマリ クロックと 180 度位相がずれています)
CE	入力	1	Low になると、ポート O の出力クロックがディスエーブルになります。
D	入力	1	DDR データを IDDR モジュールに入力するピン。 このピンは、最上位の入力または双方向ポート、入力遅延が設定された IODELAY、または適切な入力または双方向バッファに接続します。
R	入力	1	アクティブ High のリセットで Q1 および Q2 を論理値 0 にします。SRTYPE 属性に基づき、同期または非同期に設定できます。

ポート名	方向	幅	機能
S	入力	1	アクティブ High のリセットで Q1 および Q2 を論理値 1 にします。SRTYPE 属性に基づき、同期または非同期に設定できます。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

- ・ C ピンを立ち上がりクロック エッジを示すクロック ソースへ、CB ピンを立ち下がりクロック エッジを示すクロック ソースへ接続します。
- ・ D ピンは最上位の入力または双方向ポート、IODELAY、またはインスタンス化された入力または双方向バッファへ接続します。
- ・ Q1 および Q2 ピンは、適切なデータ ソースへ接続する必要があります。
- ・ CE ピンは、未使用のときに High にするか、または適切なクロック イネーブル ロジックに接続します。
- ・ R および S ピンは未使用のときに Low にするか、または適切なセット/リセット生成ロジックに接続します。
- ・ 目的の動作になるように、コンポーネントに属性を設定します。
- ・ このペアのコンポーネントは同じクロックを使用してインスタンス化し、使用可能な I/O リソースを無駄にしないように、I/O ペアの P および N に LOC 制約を使用して固定します。
- ・ このコンポーネントは常にほかの I/O コンポーネントと共にコードの最上位の階層にインスタンス化します。これにより、階層デザイン フローが促進されます。
- ・ CLK スキューを最小限に抑えるには、CLK および CLKB の両方が、ローカル反転ではなく、グローバル配線 (DCM / MMCM) から来るようにする必要があります。ローカル反転はクロックにスキューを追加しますが、DCM / PLL はスキューを抑えます。

使用可能な属性

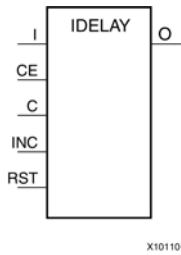
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DDR_CLK_EDGE	文字列	OPPOSITE_EDGE、 SAME_EDGE、 SAME_EDGE_PIPELINED	OPPOSITE_EDGE	DDR のデータ送信モードを選択します。詳細は、「概要」を参照してください。
INIT_Q1	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーションのスタートアップ後または GSR がアサートされたときの Q1 ピンの初期値を指定します。
INIT_Q2	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーションのスタートアップ後または GSR がアサートされたときの Q2 ピンの初期値を指定します。
SRTYPE	文字列	SYNC、ASYNC	SYNC	セット/リセットのタイプを選択します。SYNC では、リセット (R) およびセット (S) ピンの動作が C クロック ピンの立ち上がりエッジに同期するように指定し、ASYNC では非同期のセット/リセット機能を指定します。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IDELAY

プリミティブ : Input Delay Element



概要

Virtex® および上記のデバイスには、各ユーザー I/O の入力パスに IDELAY モジュールがあります。このモジュールは、入力データを正しく取り込むためのスキュー調整アルゴリズムをインプリメントします。IDELAY は、データ信号、クロック信号、またはその両方に適用でき、その機能は 64 タップ遅延ラインで制御されます。IDELAYCTRL コンポーネントと共に使用すると、プロセス、電圧、温度の変化にかかわらず、正確に増分された遅延を追加できます。3 つの動作モードがあります。

- ・ **ゼロ ホールド タイム遅延モード** : このモードは、および デバイスのゼロ ホールド タイム遅延機能を使用して、あるデザインでも使用できます。このモードを使用する場合、IDELAYCTRL プリミティブをインスタンスエートする必要はありません。
- ・ **固定タップ遅延モード** : 遅延値は IOBDELAY_VALUE 属性で指定した値に固定されます。この値をランタイムで変更することはできません。このモードを使用する場合、IDELAYCTRL プリミティブをインスタンスエートする必要があります。
- ・ **可変タップ遅延モード** : 制御信号 CE と INC を変更することにより、遅延値をランタイムで変更できます。このモードを使用する場合、IDELAYCTRL プリミティブをインスタンスエートする必要があります。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
I	入力	1	IOB からのシリアル入力データ
C	入力	1	クロック入力
INC	入力	1	タップ遅延のインクリメント/デクリメント数
CE	入力	1	インクリメント/デクリメントをイネーブル
RST	入力	1	遅延チェーンをあらかじめ設定された値にリセット。値が設定されていない場合は、0 にリセット。
O	出力	1	組み合わせ出力

データ入力および出力 - I および O

IDELAY プリミティブは、3 種類の IOB ロケーションに配置されています。入力と出力の接続は、IOB ロケーションのタイプにより異なります。

- ・ **汎用 IOB** : 汎用 IOB にある IDELAY の入力は、入力バッファ IBUF から直接供給されます。IDELAY (O) の出力は、直接ユーザー ロジックに接続します。入力および出力データパスは組み合わせパスであり、クロック信号 (C) の影響は受けませんが、IOB の出力信号 (O) をレジスタに接続できます。
- ・ **リージョナル クロックを使用可能な IOB** : リージョナル クロックを使用可能な IOB は、HCLK IOB の上下にある I/O ペアに配置されています。この IOB にある IDELAY の入力は、入力バッファ IBUF から直接供給され、出力は次のコンポーネントに接続できます。

- ユーザー ロジック
- BUFIO (リージョナル クロック信号の場合)

リージョナル クロック バッファ BUFIO は、入力されるリージョナル クロック信号をリージョナル I/O クロック ツリー IOCLK に接続します。また、BUFIO は、リージョナル クロック バッファ BUFR に接続してリージョナル クロック ツリー rclk にも接続できます。入力および出力データパスは組み合わせパスであり、クロック信号 (C) の影響は受けませんが、IOB の出力信号 (O) をレジスタに接続できます。

- ・ **グローバル クロックを使用可能な IOB** : グローバル クロックを使用可能な IOB は、中央の I/O 列に配置されています。この IOB にある IDELAY の入力は、入力グローバル クロック バッファ IBUFG から直接供給され、出力は次のコンポーネントに接続できます。

- ユーザー ロジック
- BUFG (グローバル クロック信号の場合)

グローバル クロック バッファ BUFG は、入力されるリージョナル クロック信号をグローバル I/O クロック ツリー gclk に接続します。入力および出力データパスは組み合わせパスであり、クロック信号 (C) の影響は受けませんが、IOB の出力信号 (O) をレジスタに接続できます。

クロック入力 - C

IDELAY の制御入力 (RST、CE、INC) は、すべてクロック入力 (C) に同期しています。IDELAY のデータ入力および出力 (I および O) は、クロック信号の影響は受けません。このクロック入力は、ISERDES の CLKDIV 入力と同じです。このため、CLKDIV を駆動するために使用されるクロックソースは、すべて IDELAY クロック入力 (C) を駆動します。クロック入力 (C) で駆動可能なクロックソースは、次のとおりです。

- ・ 8 個の gclk (グローバル クロック ツリー)
- ・ 2 個の rclk (リージョナル クロック ツリー)

モジュール リセット - RST

IDELAY のリセット信号 RST は、タップ遅延ラインを IOBDELAY_VALUE 属性で設定された値にリセットします。IOBDELAY_VALUE 属性を指定しない場合は、タップ遅延ラインは 0 にリセットされます。

インクリメント/デクリメント信号 - CE、INC

インクリメント/デクリメント イネーブル信号 (CE) は、インクリメント/デクリメント信号 (INC) をイネーブルにします。INC は、タップ遅延ラインをインクリメントするか、デクリメントするかを指定します。CE = 0 の場合、INC の値にかかわらず、遅延は変化しません。CE = 1 の場合、INC の値に応じてタップ遅延値がインクリメントまたはデクリメントします。タップ遅延のインクリメント/デクリメントは、入力クロック (C) に同期して行われます。CE = 1 である限り、各クロック サイクルでタップ遅延が 1 ずつインクリメント/デクリメントされます。次の表に、インクリメント/デクリメントの動作を示します。

動作	RST	CE	INC
設定されたタップ数にリセット	1	X	X
タップ数を増分	0	1	1
タップ数を減分	0	1	0
変化なし	0	0	X

メモ :

1. RST は、遅延チェーンを IOBDELAY_VALUE 属性で指定された値にリセットします。値が設定されていない場合は、0 にリセットされます。
2. RST、CE、INC は、クロック入力 (C) に同期しています。

CE が High になると、次の立ち上がりクロックでインクリメント/デクリメントが開始します。CE が Low になると、次の立ち上がりクロックでインクリメント/デクリメントが停止します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOBDELAY_TYPE	文字列	DEFAULT、FIXED、VARIABLE	DEFAULT	タップ遅延のタイプを指定
IOBDELAY_VALUE	整数	0 ~ 63	0	タップ遅延の初期値を指定

IOBDELAY_TYPE 属性

IOBDELAY_TYPE 属性は、使用する遅延のタイプを指定します。指定可能な値は DEFAULT、FIXED、または VARIABLE で、デフォルト値は DEFAULT です。DEFAULT に設定すると、ゼロ ホールド タイム遅延エレメントが選択されます。この遅延エレメントは、pad-to-pad ホールド タイムを削減し、遅延をデバイスの内部クロック分配遅延と一致させます。この遅延エレメントを使用すると、pad-to-pad ホールド タイムは 0 になります。

FIXED に設定した場合、タップ遅延値は IOBDELAY_VALUE 属性で指定したタップ数に固定されます。この値は、動作中に変更することはできません。

VARIABLE に設定した場合、タップ遅延を動作中に変更できます。CE = 1 および INC = 1 に設定するとタップ遅延がインクリメントされ、CE = 1 および INC = 0 に設定するとデクリメントされます。インクリメント/デクリメントは、入力クロック信号 C に同期して行われます。

IOBDELAY_VALUE 属性

タップ遅延の初期値を指定します。指定可能な値は 0 ~ 63 で、デフォルト値は 0 です。0 に設定すると、合計遅延は出力マルチプレクサの遅延 (約 400ps) になります。

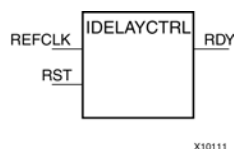
タップ遅延がリセットされた場合 (RST = 1)、IOBDELAY_TYPE が FIXED の場合、タップ遅延は IOBDELAY_VALUE で設定した値になります。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IDELAYCTRL

プリミティブ : IDELAY Tap Delay Value Control



概要

このデザイン エLEMENTは、タップ遅延ラインを使用する場合にインスタンス化する必要があります。これは、IDELAY または ISERDES プリミティブがインスタンス化されており、IOBDELAY_TYPE 属性が FIXED または VARIABLE に設定されている場合です。このモジュールは、一定の周波数リファレンス クロック REFCLK を使用する場合に、プロセス、電圧、および温度の変化にかかわらず、タップ遅延ラインに電圧バイアスを供給します。これにより、正確な遅延調整が可能になります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
RDY	出力	1	リファレンス クロック入力 が有効であることを示します。REFCLK.REFCLK が停止する (REFCLK が High または Low に 1 クロック周期以上保持される) と、RDY 信号がデassertされます。
REFCLK	入力	1	プロセス、電圧、温度の変化にかかわらず、タップ遅延ラインに電圧バイアスを供給します。タップ遅延をデータシートに記載された値にするには、REFCLK の周波数を 200MHz にする必要があります。
RST	入力	1	IDELAYCTRL 回路をリセットします。RST 信号は、アクティブ High の非同期リセットです。IDELAYCTRL をリセットするには、このポートを 50ns 以上 High にアassertする必要があります。

RST (モジュール リセット) : IDELAYCTRL 回路をリセットします。RST 信号は、アクティブ High の非同期リセットです。IDELAYCTRL をリセットするには、このポートを 50ns 以上 High にアassertする必要があります。

REFCLK (リファレンス クロック) : プロセス、電圧、温度の変化にかかわらず、タップ遅延ラインに電圧バイアスを供給します。タップ遅延をデータシートに記載された値にするには、REFCLK の周波数を 200MHz にする必要があります。

RDY (Ready 出力) : リファレンス クロック入力 REFCLK が有効になったことを示します。REFCLK が停止する (REFCLK が High または Low に 1 クロック周期以上保持される) と、RDY 信号がデassertされます。

デザインの入力方法

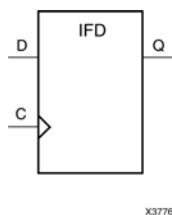
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFD

マクロ : Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

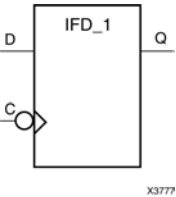
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFD_1

マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。また、入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時に、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↓	0
1	↓	1

デザインの入力方法

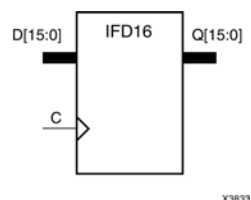
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFD16

マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力は、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

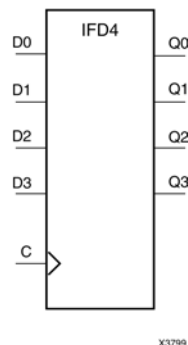
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFD4

マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

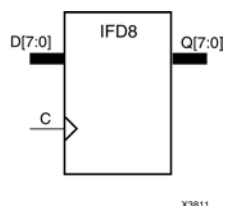
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFD8

マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力は、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

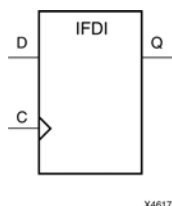
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFDI

マクロ : Input D Flip-Flop (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力が同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

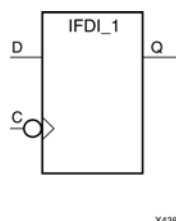
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFDI_1

マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力が同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↓	D

デザインの入力方法

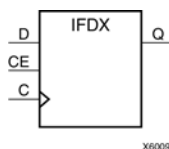
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFDX

マクロ : Input D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

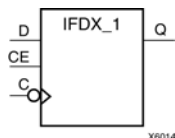
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFDX_1

マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。また、入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロックイネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↓	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

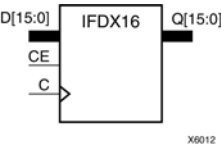
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFDX16

マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flops with Clock Enable



概要

このELEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

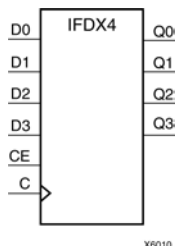
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFDX4

マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

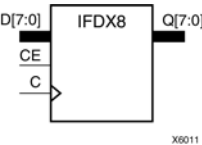
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IFDX8

マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このELEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

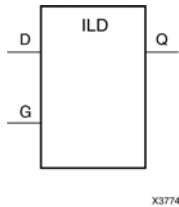
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILD

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは単一の透過データラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。このラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) のデータが出力 (Q) に出力されます。入力 D のデータは、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	D	D
0	X	変化なし
↓	D	D

デザインの入力方法

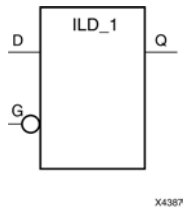
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILD_1

マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が Low になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が Low から High に切り替わる時にラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
0	D	D
1	X	変化なし
↑	D	D

デザインの入力方法

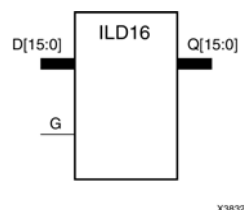
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILD16

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは複数の透過データ ラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ILD ラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれています。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

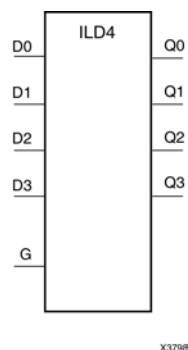
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILD4

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは複数の透過データラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ILD ラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれています。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

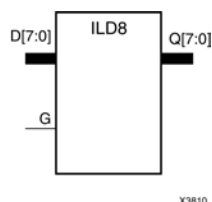
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILD8

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは複数の透過データ ラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ILD ラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれています。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

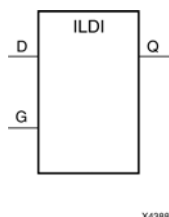
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILDI

マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) のデータが出力 (Q) に出力されます。入力 D のデータは、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

ILDI は、入力フリップフロップのマスタラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの異なる出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDI) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDL1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDI1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDI) に対応します。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	D	D
0	X	D
↓	D	D

デザインの入力方法

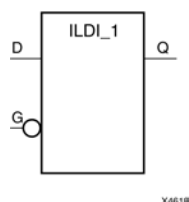
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILDI_1

マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エレメントは透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が Low になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
0	1	1
0	0	0
1	X	変化なし
↑	D	D

デザインの入力方法

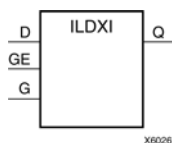
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILDXI

マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) のデータが出力 (Q) に出力されます。入力 D のデータは、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

ILDXI は、入力フリップフロップのマスタ ラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDXI) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDXI_1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDXI_1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDXI) に対応します。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	X	変化なし
1	1	D	D
1	↓	D	D

デザインの入力方法

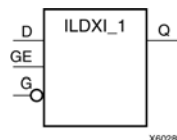
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ILDXI_1

マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	1	X	変化なし
1	0	D	D
1	↑	D	D

デザインの入力方法

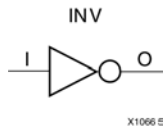
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

INV

プリミティブ : Inverter



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する単一のインバータです。

デザインの入力方法

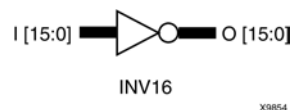
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

INV16

マクロ : 16 Inverters



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する複数のインバータです。

デザインの入力方法

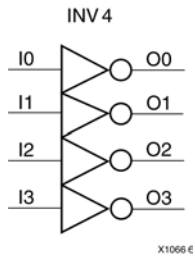
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

INV4

マクロ : Four Inverters



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する複数のインバータです。

デザインの入力方法

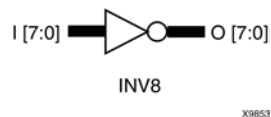
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

INV8

マクロ : Eight Inverters



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する複数のインバータです。

デザインの入力方法

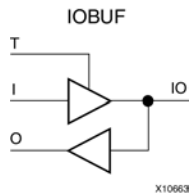
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IOBUF

プリミティブ : Bi-Directional Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは双方向でシングルエンドの I/O バッファで、内部ロジックを外部双方向ピンに接続する場合に使用します。

論理表

入力		双方向	出力
T	I	I/O	O
1	X	Z	X
0	1	1	1
0	0	0	0

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファの出力
I/O	入出力	1	バッファの入出力
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トリステート イネーブル入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

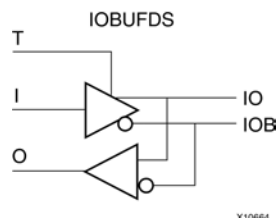
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	I/O 規格として LVTTTL、LVC MOS12、LVC MOS15、LVC MOS18、LVC MOS25 または LVC MOS33 を使用する SelectIO™ バッファの出力の駆動電流 (mA) を選択
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST、QUIETIO	SLOW	出力の立ち上がり時間と立ち下がり時間を設定 この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IOBUFDS

プリミティブ : 3-State Differential Signaling I/O Buffer with Active Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、低電圧差動信号を使用する双方向バッファです。IOBUFDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方が「マスタ」で、もう一方が「スレーブ」となる 2 つの異なるポート (IO、IOB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。オプションで、プログラム可能な差動終端機能を使用すると、シグナル インテグリティが向上し、外部コンポーネントの数を減らすことができます。デバイスへの入力データの取り込みには、プログラマブル遅延を使用することもできます。

論理表

入力		双方向		出力
I	T	I/O	IOB	O
X	1	Z	Z	変化なし
0	0	0	1	0
1	0	1	0	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファの出力
I/O	入出力	1	Diff_p 入出力
IOB	入出力	1	Diff_n 入出力
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トライステート イネーブル入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

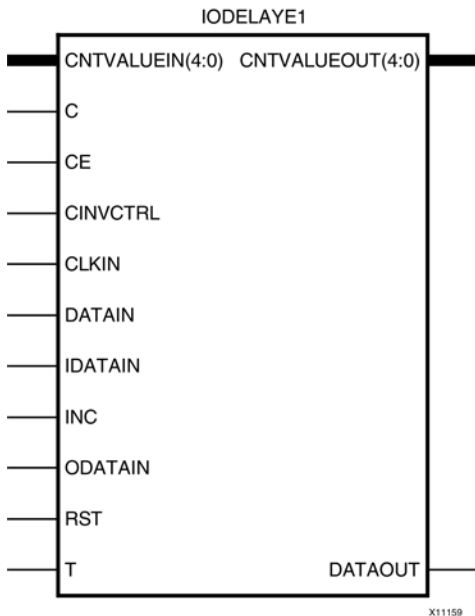
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

IODELAYE1

プリミティブ : Input and Output Fixed or Variable Delay Element



概要

このデザイン エLEMENTは、Virtex®-6 FPGA の入力パスに固定遅延または可変遅延を、出力パスに固定遅延を追加します。この遅延は、チップへ入力されるデータ、またはチップから出力されるデータをアライメントするのに有効で、プロセス、温度、電圧の影響を受けずにデータ アライメントを監視できます。VARIABLE モードでは、入力パスを調整して遅延の量を増分または減分できます。出力遅延パスは、固定遅延でのみ使用できます。IODELAY は、FPGA の内部パスに一定の遅延または可変遅延を追加する場合にも使用できます。ただし、このように使用する場合、入力パス遅延または出力パス遅延に関連する I/O に使用できなくなります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
C	入力	1	クロック入力 (必ず VARIABLE モードに設定)
CE	入力	1	アクティブ High になるとインクリメント/デクリメントを有効にします。
CINVCTRL	入力	1	クロック (C) の極性をダイナミックに反転させます。
CLKIN	入力	1	クロックが IODELAY にアクセスします (IO CLKMUX から)。
CNTVALUEIN[4:0]	入力	5	ロード可能なカウンタ アプリケーションに対するデバイスからのカウンタ値
CNTVALUEOUT[4:0]	出力	5	監視目的のデバイスへのカウンタ値
DATAIN	入力	1	内部データ パス遅延のデータ入力。DATAIN を使用する場合、IDATAIN および ODATAIN は論理値 0 (グラウンドに接続) にする必要があります。
DATAOUT	出力	1	入力ポートで遅延されたデータ出力 (入力データ パス ロジックに接続)
IDATAIN	入力	1	I/O からのデータ入力 (ポートの I/O バッファに直接接続)。IDATAIN を使用する場合、DATAIN は論理値 0 (グラウンドに接続) にする必要があります。

ポート名	タイプ	幅	機能
INC	入力	1	インクリメント/デクリメント タップ遅延
ODATAIN	入力	1	出力データ パスのデータ入力 (出力データ ソースに接続)。 ODATAIN を使用する場合、DATAIN は論理値 0 (グラウンドに接続) する必要があります。
RST	入力	1	アクティブ High の同期リセット。遅延チェーンを IDELAY_VALUE/ODELAY_VALUE タップにリセットします。 値を指定しない場合は、デフォルトは 0 です。
T	入力	1	トライステート入力制御ピン。入力のみまたは内部遅延の場合は High に、出力のみの場合は Low にします。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CINVCTRL_SEL	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	クロック (C) の極性をダイナミックに反転させます。
DELAY_SRC	文字列	I、CLKIN、DATAIN、IO、O	I	IODELAY コンポーネントのソースを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> I は入力ポートまたは IBUF (入力モード) に直接接続します。 O は出力ポートまたは OBUF (出力モード) に接続します。 IO はポートに接続します。 DATAIN はどのポート (内部モード) にも接続しません。
HIGH_PERFORMANCE_MODE	ブール代数	TRUE、FALSE	TRUE	TRUE の場合は、出力ジッタを減少させます。
IDELAY_TYPE	文字列	DEFAULT、FIXED、VARIABLE、VAR_LOADABLE	DEFAULT	入力遅延タイプに DEFAULT (ホールド タイムの削除)、FIXED、VARIABLE のいずれかを指定
IDELAY_VALUE	整数	0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31	0	FIXED モードでは入力パス遅延のタップ数、VARIABLE モードでは初期遅延タップ値を指定
ODELAY_TYPE	文字列	FIXED、VARIABLE、VAR_LOADABLE	FIXED	出力遅延タイプに DEFAULT (ホールド タイムの削除)、FIXED、VARIABLE のいずれかを指定
ODELAY_VALUE	整数	0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31	0	出力パス遅延のタップ数を指定

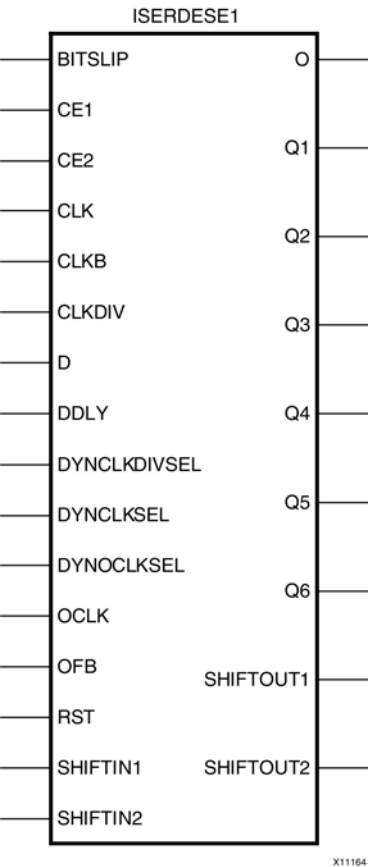
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
REFCLK_FREQUENCY	1 上位ビット FLOAT	175.0 ~ 225.0	200.0	IDELAYCTRL を使用する場合は、IODELAY の入力ファレンス周波数を指定
SIGNAL_PATTERN	文字列	DATA、CLOCK	DATA	ディレイ カリキュレータ で使用され、設定に基づいて IODELAY ブロックを介した伝搬遅延が決定されます。DATA を指定すると、タップあたりの遅延およびジッタが追加されます。クロック同様の信号では、ジッタは増加しません。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ISERDESE1

プリミティブ : Input SERial/DESerializer



概要

このELEMENTは、高速ソース同期アプリケーションのインプリメンテーションに特化したクロックおよびロジック機能を持つ、専用シリアル/パラレル コンバータです。FPGA でデシリアライザを設計する際の複雑なタイミング問題を避けるために使用します。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
BITSLLIP	入力	1	入力データ BITSLLIP イネーブル
CE1	入力	1	入力データ レジスタのクロック イネーブル
CE2	入力	1	入力データ レジスタのクロック イネーブル
CLK	入力	1	プライマリ クロック入力
CLKB	入力	1	セカンダリ クロック入力 <ul style="list-style-type: none">1 クロック DDR モード (DATA_RATE="DDR") を使用する場合は、CLK ピンに接続されているクロックを反転し、CLKB ピンに接続します。

ポート名	タイプ	幅	機能
			<ul style="list-style-type: none"> 2 クロック DDR モードを使用する場合は、独立した位相シフトクロックを CLKB ピンに接続します。 シングル データレート モード (DATA_RATE="SDR") を使用する場合は、このピンを未接続にするかグランドの接続します。
CLKDIV	入力	1	パラレル データに使用する分周クロック
D	入力	1	追加の入力遅延が必要な場合に、デザイン最上位の入力ポート、I/O ポート、または IODELAY に直接接続する入力データ
DDLY	入力	1	IODELAY からのシリアル入力
DYNCLKDIVSEL	入力	1	オプションの反転を使用し CLKDIV または CLKDIV_B をダイナミックに選択します。
DYNCLKSEL	入力	1	オプションの反転を使用し CLK または CLK_B をダイナミックに選択します。
O	出力	1	組み合わせ出力
OCLK	入力	1	通常メモリ インターフェイスに使用される高速の出力クロック
OCLKB	入力	1	非同期オーバーサンプリングに使用されます。
OFB	入力	1	OLOGIC/OSERDES 出力 (ODELAY があるものまたはないもの) からのフィードバック パス
Q1 ~ Q6	出力	1	レジスタ付きパラレル入力データ
RST	入力	1	SERDES のレジスタのアクティブ High の非同期リセット
SHIFTIN1/ SHIFTIN2	入力	1	ISERDES_MODE が SLAVE の場合は、マスタの SHIFTOUT1 と SHIFTOUT2 出力に接続します。このピンはグランドに接続する必要があります。
SHIFTOUT1/ SHIFTOUT2	出力	1	ISERDES_MODE が MASTER で、2 つの ISERDES_NODELAY をカスケード接続する場合は、スレーブの SHIFTIN1 と SHIFTIN2 入力に接続します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DATA_RATE	文字列	DDR、SDR	DDR	シングル データレートまたはダブル データレートを指定
DATA_WIDTH	整数	4、2、3、5、6、7、8、10	4	パラレル データ幅を選択
DYN_CLKDIV_INV_EN	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE の場合、メモリ インターフェイスのダイナミック CLKDIV 反転をオン
DYN_CLK_INV_EN	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE の場合、メモリ インターフェイスのダイナミック CLK 反転をオン
DYN_OCLK_INV_EN	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE の場合、メモリ インターフェイスのダイナミック OCLK 反転をオン

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_Q1	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	Q1 出力の初期値を指定
INIT_Q2	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	Q2 出力の初期値を指定
INIT_Q3	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	Q3 出力の初期値を指定
INIT_Q4	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	Q4 出力の初期値を指定
INTERFACE_TYPE	文字列	MEMORY、 MEMORY_DDR3、 MEMORY_QDR、 NETWORKING	MEMORY	メモリ インターフェイスまたはネットワーク インターフェイスを指定
IOBDelay	文字列	NONE、 BOTH、 IBUF、 IFD	NONE	レジスタを介した (Q1 ~ Q6) 出力または組み合わせパス (O) 出力への入力に遅延のあるもの、または遅延のないものを使用することができます。
NUM_CE	整数	2、1	2	ISERDES_NODELAY に使用するクロック イネーブルの数を指定
OFB_USED	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	OLOGIC、OSERDES からのスニーク パスを選択
SERDES_MODE	文字列	MASTER、 SLAVE	MASTER	カスケード接続してデータ幅を拡張する場合に ISERDES をマスタ モードかスレーブ モードに設定するかどうかを指定
SRVAL_Q1	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	SR をアサートした場合の Q1 出力の値を指定
SRVAL_Q2	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	SR をアサートした場合の Q2 出力の値を指定
SRVAL_Q3	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	SR をアサートした場合の Q3 出力の値を指定
SRVAL_Q4	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	SR をアサートした場合の Q4 出力の値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

KEEPER

プリミティブ : KEEPER Symbol



概要

このデザイン エLEMENTは、双方向出力ピンに接続されるネットの値を保持するウィークキーパ ELEMENTです。たとえば、ネットに対して論理値 1 を駆動すると、KEEPER はそのネットにウィーク/抵抗値 1 を駆動します。その後、ネットドライバがトライステートになっても、KEEPER はウィーク/抵抗値 1 を駆動し続けます。

ポートの説明

属性	方向	幅	機能
O	出力	1 ビット	キーパ出力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは、最上位の回路図ファイルで次のネットに接続できます。

- ・ 入力 I/O マーカーに接続されたネット
- ・ 出力 I/O マーカーおよび OBUFT のようなトライステートにできる I/O ELEMENTの両方に接続されたネット

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

KEY_CLEAR

プリミティブ : Virtex-5 Configuration Encryption Key Erase



概要

このデザイン エLEMENTでは、内部ロジックからコンフィギュレーション暗号回路キー レジスタの内容を消去できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
KEYCLEARB	入力	1	アクティブ Low の入力で、コンフィギュレーション暗号キーを消去します。

デザインの入力方法

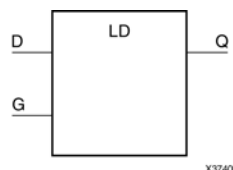
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LD

プリミティブ : Transparent Data Latch



概要

LD は透過データラッチです。ゲートイネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバルセット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	D	D
0	X	変化なし
↓	D	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

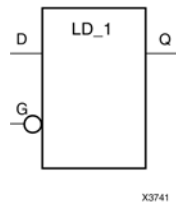
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LD_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、反転ゲート (G) 付き透過データ ラッチです。ゲート (G) 入力 が Low の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
0	D	D
1	X	変化なし
↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

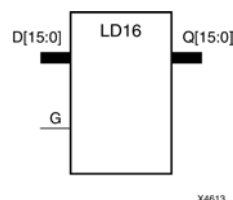
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LD16

マクロ : Multiple Transparent Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチ 16 個で構成されており、共通のゲート イネーブル (G) が 1 つあります。ゲート イネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、`STARTUP_architecture` シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

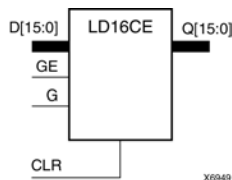
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

Virtex-6 FPGA の資料 (ユーザー ガイドおよびデータシート)

LD16CE

マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは 16 個の透過データ ラッチで構成されており、非同期クリア (CLR) とゲート イネーブル (GE) があります。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	Dn	Qn
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	Dn	Dn
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

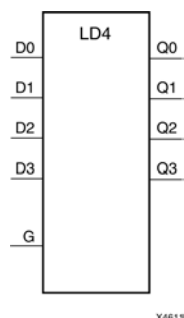
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LD4

マクロ : Multiple Transparent Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチ 4 個で構成されており、共通のゲート イネーブル (G) が 1 つあります。ゲート イネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

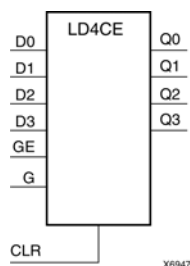
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LD4CE

マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは 4 個の透過データ ラッチで構成されており、非同期クリア (CLR) とゲート イネーブル (GE) があります。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	Dn	Qn
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	Dn	Dn
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

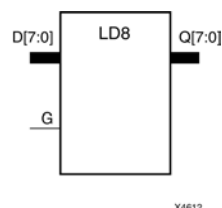
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LD8

マクロ : Multiple Transparent Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチ 8 個で構成されており、共通のゲート イネーブル (G) が 1 つあります。ゲート イネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

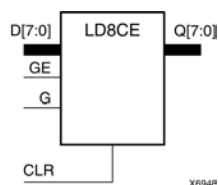
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LD8CE

マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは 8 個の透過データ ラッチで構成されており、非同期クリア (CLR) とゲート イネーブル (GE) があります。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	Dn	Qn
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	Dn	Dn
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

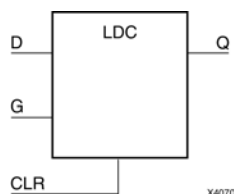
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDC

プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア (CLR) がある透過データラッチです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート イネーブル入力 (G) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	G	D	Q
1	X	X	0
0	1	D	D
0	0	X	変化なし
0	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

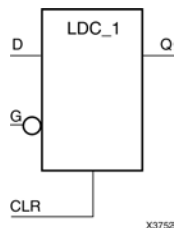
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDC_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア (CLR) および反転ゲート (G) 付き透過データラッチです。CLR が High になると、ほかの入力 (D、G) は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート (G) 入力および CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	G	D	Q
1	X	X	0
0	0	D	D
0	1	X	変化なし
0	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

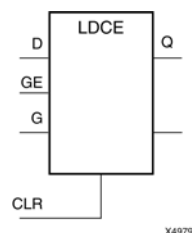
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDCE

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エレメントは、非同期クリア (CLR) およびゲートイネーブル (GE) 付き透過データラッチです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲートイネーブル (GE) が High で、CLR が Low のとき、Q にはデータ入力 (D) が使用されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	D	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	D	D
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	D	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

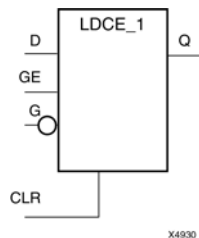
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDCE_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear, Gate Enable, and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア (CLR)、ゲート イネーブル (GE)、反転ゲート (G) 付きの透過データ ラッチです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。G および CLR が Low、GE が High のとき、Q にはデータ入力 (D) が使用されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	D	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	D	D
0	1	1	X	変化なし
0	1	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

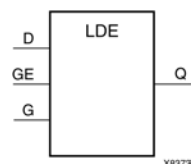
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDE

プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D) とゲート イネーブル入力 (GE) がある透過データ ラッチです。ゲート入力 (G) とゲート イネーブル (GE) が High の場合、Q 出力にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	1	D	D
1	0	X	変化なし
1	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

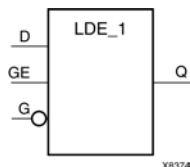
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0, 1	0	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDE_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D) とゲート イネーブル入力 (GE)、反転ゲート (G) がある透過データ ラッチです。G が Low で GE が High の場合、Q 出力にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	D	D
1	1	X	変化なし
1	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

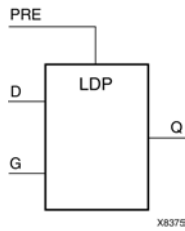
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDP

プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE) がある透過データ ラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。ゲート入力 (G) が High で PRE が Low の場合、Q にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	G	D	Q
1	X	X	1
0	1	0	0
0	1	1	1
0	0	X	変化なし
0	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

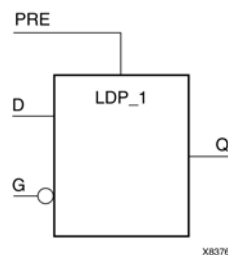
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDP_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE)、反転ゲート (G) がある透過データラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。G と PRE が Low の場合、Q にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High の間は変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	G	D	Q
1	X	X	1
0	0	D	D
0	1	X	変化なし
0	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

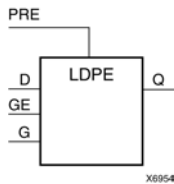
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDPE

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE) およびゲート イネーブル (GE) 付き透過データラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	GE	G	D	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	D	D
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

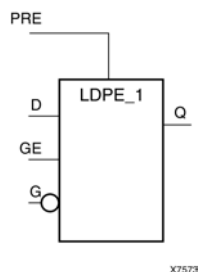
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LDPE_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset, Gate Enable, and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE)、ゲート イネーブル (GE)、反転ゲート (G) 付きの透過データ ラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。G および PRE が Low で、GE が High の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High または GE が Low の間に変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	GE	G	D	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	D	D
0	1	1	X	変化なし
0	1	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

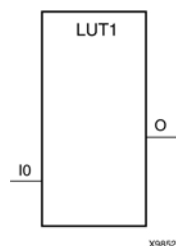
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT1

マクロ : 1-Bit Look-Up Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 1 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力	出力
I0	O
0	INIT[0]
1	INIT[1]
INIT = INIT 属性に割り当てられた 2 進数値	

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

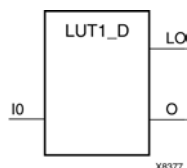
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	2 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT1_D

マクロ : 1-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 1 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力	出力	
I0	O	LO
0	INIT[0]	INIT[0]
1	INIT[1]	INIT[1]
INIT = INIT 属性に割り当てられた 2 進数値		

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

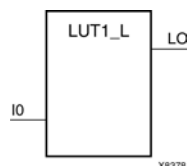
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	2 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT1_L

マクロ : 1-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エレメント は、1 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このエレメントはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力	出力
IO	LO
0	INIT[0]
1	INIT[1]
INIT = INIT 属性に割り当てられた 2 進数値	

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

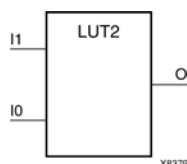
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	2 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT2

マクロ : 2-Bit Look-Up Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 2 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力		出力
I1	I0	O
0	0	INIT[0]
0	1	INIT[1]
1	0	INIT[2]
1	1	INIT[3]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値		

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

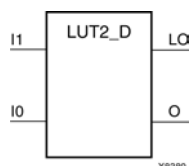
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	4 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT2_D

マクロ : 2-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 2 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力		出力	
I1	I0	O	LO
0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	1	INIT[1]	INIT[1]
1	0	INIT[2]	INIT[2]
1	1	INIT[3]	INIT[3]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

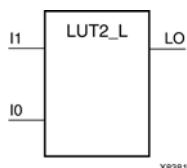
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	4 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT2_L

マクロ : 2-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENT は、2 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力		出力
I1	I0	LO
0	0	INIT[0]
0	1	INIT[1]
1	0	INIT[2]
1	1	INIT[3]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値		

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

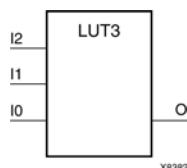
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	4 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT3

マクロ : 3-Bit Look-Up Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 3 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力			出力
I2	I1	I0	O
0	0	0	INIT[0]
0	0	1	INIT[1]
0	1	0	INIT[2]
0	1	1	INIT[3]
1	0	0	INIT[4]
1	0	1	INIT[5]
1	1	0	INIT[6]
1	1	1	INIT[7]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

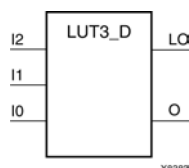
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	8 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT3_D

マクロ : 3-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 3 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力			出力	
I2	I1	I0	O	LO
0	0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	0	1	INIT[1]	INIT[1]
0	1	0	INIT[2]	INIT[2]
0	1	1	INIT[3]	INIT[3]
1	0	0	INIT[4]	INIT[4]
1	0	1	INIT[5]	INIT[5]
1	1	0	INIT[6]	INIT[6]
1	1	1	INIT[7]	INIT[7]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

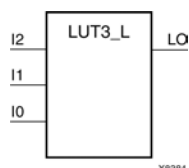
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	8 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT3_L

マクロ : 3-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENT は、3 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力			出力
I2	I1	I0	LO
0	0	0	INIT[0]
0	0	1	INIT[1]
0	1	0	INIT[2]
0	1	1	INIT[3]
1	0	0	INIT[4]
1	0	1	INIT[5]
1	1	0	INIT[6]
1	1	1	INIT[7]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

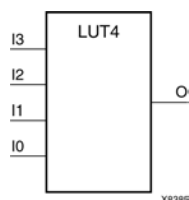
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	8 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT4

マクロ : 4-Bit Look-Up-Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 4 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力				出力
I3	I2	I1	I0	O
0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	1	INIT[1]
0	0	1	0	INIT[2]
0	0	1	1	INIT[3]
0	1	0	0	INIT[4]
0	1	0	1	INIT[5]
0	1	1	0	INIT[6]
0	1	1	1	INIT[7]
1	0	0	0	INIT[8]
1	0	0	1	INIT[9]
1	0	1	0	INIT[10]
1	0	1	1	INIT[11]
1	1	0	0	INIT[12]
1	1	0	1	INIT[13]
1	1	1	0	INIT[14]
1	1	1	1	INIT[15]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値				

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

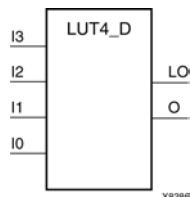
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT4_D

マクロ : 4-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 4 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力				出力	
I3	I2	I1	I0	O	LO
0	0	0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	0	0	1	INIT[1]	INIT[1]
0	0	1	0	INIT[2]	INIT[2]
0	0	1	1	INIT[3]	INIT[3]
0	1	0	0	INIT[4]	INIT[4]
0	1	0	1	INIT[5]	INIT[5]
0	1	1	0	INIT[6]	INIT[6]
0	1	1	1	INIT[7]	INIT[7]
1	0	0	0	INIT[8]	INIT[8]
1	0	0	1	INIT[9]	INIT[9]
1	0	1	0	INIT[10]	INIT[10]
1	0	1	1	INIT[11]	INIT[11]
1	1	0	0	INIT[12]	INIT[12]
1	1	0	1	INIT[13]	INIT[13]
1	1	1	0	INIT[14]	INIT[14]
1	1	1	1	INIT[15]	INIT[15]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値					

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

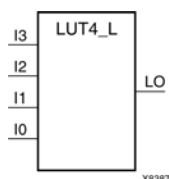
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT4_L

マクロ : 4-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENT は、4 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力				出力
I3	I2	I1	I0	LO
0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	1	INIT[1]
0	0	1	0	INIT[2]
0	0	1	1	INIT[3]
0	1	0	0	INIT[4]
0	1	0	1	INIT[5]
0	1	1	0	INIT[6]
0	1	1	1	INIT[7]
1	0	0	0	INIT[8]
1	0	0	1	INIT[9]
1	0	1	0	INIT[10]
1	0	1	1	INIT[11]
1	1	0	0	INIT[12]
1	1	0	1	INIT[13]
1	1	1	0	INIT[14]
1	1	1	1	INIT[15]

INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

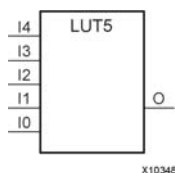
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT5

プリミティブ : 5-Input Lookup Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 5 個、出力 1 個のルックアップ テーブル (LUT) で、非同期 32 ビット ROM (5 ビットのアドレス指定) として動作するか、5 入力のロジック ファンクションをインプリメントできます。LUT は基本的なロジック構築ブロックで、デザインに含まれる多くのロジック ファンクションをインプリメントするときに使用します。LUT5 が 1 つの場合はスライス内に含まれる LUT6 に、2 つの場合は 1 つの LUT6 に多少の制限はありますがパックできます。LUT5、LUT5_L、および LUT5_D の機能は同じですが、LUT5_L および LUT5_D では、LUT5 の出力信号を内部スライスに接続したり、LO 出力を使用して CLB に接続することができます。LUT5_L では LUT5 からの接続のみが 1 つのスライスまたは CLB に含まれるように指定できるのに対し、LUT5_D では LUT5 の出力を内部スライス/CLB ロジックと外部ロジックの両方に接続するように指定できます。LUT5 では出力の接続は特定されないため、内部スライスまたは CLB 信号の接続を暗示的に指定する必要がない限り、いつでも使用できます。

LUT のロジック ファンクションを指定するために 32 ビットの 16 進数で INIT 属性を設定する必要があります。INIT 値は、関連する入力適用されるときに、対応する INIT ビット値に 1 を割り当てることで計算されます。たとえば Verilog で INIT 値が 32'h8000000000000000 (VHDL では X"8000000000000000") の場合、入力すべてが 1 ではない限り、出力が 0 になります (5 入力の AND ゲート)。Verilog で 32'hfffffffffffffffe (VHDL では X"FFFFFFFFFFFFFFFFFE") の場合、入力がすべてゼロではない限り、出力は 1 になります (5 入力 OR ゲート)。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力					出力
I4	I3	I2	I1	I0	LO
0	0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	0	1	INIT[1]
0	0	0	1	0	INIT[2]
0	0	0	1	1	INIT[3]
0	0	1	0	0	INIT[4]
0	0	1	0	1	INIT[5]
0	0	1	1	0	INIT[6]
0	0	1	1	1	INIT[7]
0	1	0	0	0	INIT[8]
0	1	0	0	1	INIT[9]
0	1	0	1	0	INIT[10]
0	1	0	1	1	INIT[11]
0	1	1	0	0	INIT[12]
0	1	1	0	1	INIT[13]
0	1	1	1	0	INIT[14]
0	1	1	1	1	INIT[15]
1	0	0	0	0	INIT[16]
1	0	0	0	1	INIT[17]
1	0	0	1	0	INIT[18]
1	0	0	1	1	INIT[19]
1	0	1	0	0	INIT[20]
1	0	1	0	1	INIT[21]
1	0	1	1	0	INIT[22]
1	0	1	1	1	INIT[23]
1	1	0	0	0	INIT[24]
1	1	0	0	1	INIT[25]
1	1	0	1	0	INIT[26]
1	1	0	1	1	INIT[27]
1	1	1	0	0	INIT[28]
1	1	1	0	1	INIT[29]
1	1	1	1	0	INIT[30]
1	1	1	1	1	INIT[31]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値					

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	5 入力 LUT 出力
I0、I1、I2、I3、I4	入力	1	LUT 入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

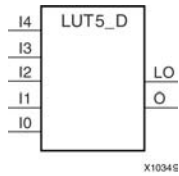
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの論理値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT5_D

プリミティブ : 5-Input Lookup Table with General and Local Outputs



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 5 個、出力 1 個のルックアップ テーブル (LUT) で、非同期 32 ビット ROM (5 ビットのアドレス指定) として動作するか、5 入力のロジック ファンクションをインプリメントできます。LUT は基本的なロジック構築ブロックで、デザインに含まれる多くのロジック ファンクションをインプリメントするときに使用します。LUT5 が 1 つの場合はスライス内に含まれる LUT6 に、2 つの場合は 1 つの LUT6 に多少の制限はありますがパックできます。LUT5、LUT5_L、および LUT5_D の機能は同じですが、LUT5_L および LUT5_D では、LUT5 の出力信号を内部スライスに接続したり、LO 出力を使用して CLB に接続することができます。LUT5_L では LUT5 からの接続のみが 1 つのスライスまたは CLB に含まれるように指定できるのに対し、LUT5_D では LUT5 の出力を内部スライス/CLB ロジックと外部ロジックの両方に接続するように指定できます。LUT5 では出力の接続は特定されないため、内部スライスまたは CLB 信号の接続を暗示的に指定する必要がない限り、いつでも使用できます。

LUT のロジック ファンクションを指定するために 32 ビットの 16 進数で INIT 属性を設定する必要があります。INIT 値は、関連する入力が適用されるときに、対応する INIT ビット値に 1 を割り当てることで計算されます。たとえば Verilog で INIT 値が 32'h8000000000000000 (VHDL では X"8000000000000000") の場合は、入力すべてが 1 ではない限り、出力が 0 になります (5 入力の AND ゲート)。また、Verilog で INIT 値が 32'hffffffff (VHDL では X"FFFFFFFFFFFFFFFF") の場合は、入力がすべてゼロではない限り、出力は 1 になります (5 入力 OR ゲート)。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力					出力	
I4	I3	I2	I1	I0	O	LO
0	0	0	0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	0	0	0	1	INIT[1]	INIT[1]
0	0	0	1	0	INIT[2]	INIT[2]
0	0	0	1	1	INIT[3]	INIT[3]
0	0	1	0	0	INIT[4]	INIT[4]
0	0	1	0	1	INIT[5]	INIT[5]
0	0	1	1	0	INIT[6]	INIT[6]
0	0	1	1	1	INIT[7]	INIT[7]
0	1	0	0	0	INIT[8]	INIT[8]
0	1	0	0	1	INIT[9]	INIT[9]
0	1	0	1	0	INIT[10]	INIT[10]
0	1	0	1	1	INIT[11]	INIT[11]
0	1	1	0	0	INIT[12]	INIT[12]
0	1	1	0	1	INIT[13]	INIT[13]
0	1	1	1	0	INIT[14]	INIT[14]
0	1	1	1	1	INIT[15]	INIT[15]
1	0	0	0	0	INIT[16]	INIT[16]
1	0	0	0	1	INIT[17]	INIT[17]
1	0	0	1	0	INIT[18]	INIT[18]
1	0	0	1	1	INIT[19]	INIT[19]
1	0	1	0	0	INIT[20]	INIT[20]
1	0	1	0	1	INIT[21]	INIT[21]
1	0	1	1	0	INIT[22]	INIT[22]
1	0	1	1	1	INIT[23]	INIT[23]
1	1	0	0	0	INIT[24]	INIT[24]
1	1	0	0	1	INIT[25]	INIT[25]
1	1	0	1	0	INIT[26]	INIT[26]
1	1	0	1	1	INIT[27]	INIT[27]
1	1	1	0	0	INIT[28]	INIT[28]
1	1	1	0	1	INIT[29]	INIT[29]
1	1	1	1	0	INIT[30]	INIT[30]
1	1	1	1	1	INIT[31]	INIT[31]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値						

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	5 入力 LUT 出力
L0	出力	1	内部 CLB 接続用の 5 入力 LUT 出力
I0、I1、I2、I3、I4	入力	1	LUT 入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

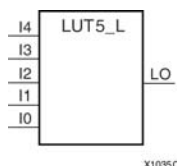
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの論理値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT5_L

プリミティブ : 5-Input Lookup Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 5 個、出力 1 個のルックアップ テーブル (LUT) で、非同期 32 ビット ROM (5 ビットのアドレス指定) として動作するか、5 入力のロジック ファンクションをインプリメントできます。LUT は基本的なロジック構築ブロックで、デザインに含まれる多くのロジック ファンクションをインプリメントするときに使用します。LUT5 が 1 つの場合はスライス内に含まれる LUT6 に、2 つの場合は 1 つの LUT6 に多少の制限はありますがパックできます。LUT5、LUT5_L、および LUT5_D の機能は同じですが、LUT5_L および LUT5_D では、LUT5 の出力信号を内部スライスに接続したり、LO 出力を使用して CLB に接続することができます。LUT5_L では LUT5 からの接続のみが 1 つのスライスまたは CLB に含まれるように指定できるのに対し、LUT5_D では LUT5 の出力を内部スライス/CLB ロジックと外部ロジックの両方に接続するように指定できます。LUT5 では出力の接続は特定されないため、内部スライスまたは CLB 信号の接続を暗黙的に指定する必要がない限り、いつでも使用できます。

LUT のロジック ファンクションを指定するために 32 ビットの 16 進数で INIT 属性を設定する必要があります。INIT 値は、関連する入力適用されるときに、対応する INIT ビット値に 1 を割り当てることで計算されます。たとえば Verilog で INIT 値が 32'h8000000000000000 (VHDL では X"8000000000000000") の場合、入力すべてが 1 ではない限り、出力が 0 になります (5 入力の AND ゲート)。Verilog で 32'hffffffff (VHDL では X"FFFFFFFFFFFFFFFF") の場合、入力がすべてゼロではない限り、出力は 1 になります (5 入力 OR ゲート)。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの真理値表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた論理表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力					出力
I4	I3	I2	I1	I0	LO
0	0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	0	1	INIT[1]
0	0	0	1	0	INIT[2]
0	0	0	1	1	INIT[3]
0	0	1	0	0	INIT[4]
0	0	1	0	1	INIT[5]
0	0	1	1	0	INIT[6]
0	0	1	1	1	INIT[7]
0	1	0	0	0	INIT[8]
0	1	0	0	1	INIT[9]
0	1	0	1	0	INIT[10]
0	1	0	1	1	INIT[11]
0	1	1	0	0	INIT[12]
0	1	1	0	1	INIT[13]
0	1	1	1	0	INIT[14]
0	1	1	1	1	INIT[15]
1	0	0	0	0	INIT[16]
1	0	0	0	1	INIT[17]
1	0	0	1	0	INIT[18]
1	0	0	1	1	INIT[19]
1	0	1	0	0	INIT[20]
1	0	1	0	1	INIT[21]
1	0	1	1	0	INIT[22]
1	0	1	1	1	INIT[23]
1	1	0	0	0	INIT[24]
1	1	0	0	1	INIT[25]
1	1	0	1	0	INIT[26]
1	1	0	1	1	INIT[27]
1	1	1	0	0	INIT[28]
1	1	1	0	1	INIT[29]
1	1	1	1	0	INIT[30]
1	1	1	1	1	INIT[31]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値					

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
L0	出力	1	内部 CLB 接続用の 6/5 入力 LUT 出力
I0、I1、I2、I3、I4	入力	1	LUT 入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

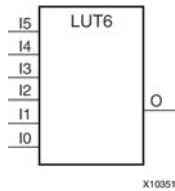
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの論理値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT6

プリミティブ : 6-Input Lookup Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 6 個、出力 1 個のルックアップ テーブル (LUT) で、非同期 64 ビット ROM (6 ビットのアドレス指定) として動作するか、6 入力のロジック ファンクションをインプリメントできます。LUT は基本的なロジック構築ブロックで、デザインに含まれる多くのロジック ファンクションをインプリメントするときに使用します。LUT6 はルックアップ テーブル (LUT) 4 個のうちの 1 つにマップされます。LUT6、LUT6_L、および LUT6_D の機能は同じですが、LUT6_L および LUT6_D では、LUT6 の出力信号を内部スライスに接続したり、LO 出力を使用して CLB に接続することができます。LUT6_L では LUT6 からの接続のみが 1 つのスライスまたは CLB に含まれるように指定できるのに対し、LUT6_D では LUT6 の出力を内部スライス/CLB ロジックと外部ロジックの両方に接続するように指定できます。LUT6 では出力の接続は特定されないため、内部スライスまたは CLB 信号の接続を暗示的に指定する必要がない限り、いつでも使用できます。

LUT のロジック ファンクションを指定するために 64 ビットの 16 進数で INIT 属性を設定する必要があります。INIT 値は、関連する入力が適用されるときに、対応する INIT ビット値に 1 を割り当てることで算出されます。たとえば Verilog で INIT 値が `64'h8000000000000000` (VHDL では `X"8000000000000000"`) の場合は、入力すべてが 1 ではない限り、出力が 0 になります (6 入力の AND ゲート)。また、Verilog で INIT 値が `64'hffffffff` (VHDL では `X"FFFFFFFFFFFFFFFF"`) の場合は、入力がすべてゼロではない限り、出力は 1 になります (6 入力 OR ゲート)。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力						出力
I5	I4	I3	I2	I1	I0	O
0	0	0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	0	0	1	INIT[1]
0	0	0	0	1	0	INIT[2]
0	0	0	0	1	1	INIT[3]
0	0	0	1	0	0	INIT[4]
0	0	0	1	0	1	INIT[5]
0	0	0	1	1	0	INIT[6]

入力						出力
I5	I4	I3	I2	I1	I0	O
0	0	0	1	1	1	INIT[7]
0	0	1	0	0	0	INIT[8]
0	0	1	0	0	1	INIT[9]
0	0	1	0	1	0	INIT[10]
0	0	1	0	1	1	INIT[11]
0	0	1	1	0	0	INIT[12]
0	0	1	1	0	1	INIT[13]
0	0	1	1	1	0	INIT[14]
0	0	1	1	1	1	INIT[15]
0	1	0	0	0	0	INIT[16]
0	1	0	0	0	1	INIT[17]
0	1	0	0	1	0	INIT[18]
0	1	0	0	1	1	INIT[19]
0	1	0	1	0	0	INIT[20]
0	1	0	1	0	1	INIT[21]
0	1	0	1	1	0	INIT[22]
0	1	0	1	1	1	INIT[23]
0	1	1	0	0	0	INIT[24]
0	1	1	0	0	1	INIT[25]
0	1	1	0	1	0	INIT[26]
0	1	1	0	1	1	INIT[27]
0	1	1	1	0	0	INIT[28]
0	1	1	1	0	1	INIT[29]
0	1	1	1	1	0	INIT[30]
0	1	1	1	1	1	INIT[31]
1	0	0	0	0	0	INIT[32]
1	0	0	0	0	1	INIT[33]
1	0	0	0	1	0	INIT[34]
1	0	0	0	1	1	INIT[35]
1	0	0	1	0	0	INIT[36]
1	0	0	1	0	1	INIT[37]
1	0	0	1	1	0	INIT[38]
1	0	0	1	1	1	INIT[39]
1	0	1	0	0	0	INIT[40]
1	0	1	0	0	1	INIT[41]
1	0	1	0	1	0	INIT[42]

入力						出力
I5	I4	I3	I2	I1	I0	O
1	0	1	0	1	1	INIT[43]
1	0	1	1	0	0	INIT[44]
1	0	1	1	0	1	INIT[45]
1	0	1	1	1	0	INIT[46]
1	0	1	1	1	1	INIT[47]
1	1	0	0	0	0	INIT[48]
1	1	0	0	0	1	INIT[49]
1	1	0	0	1	0	INIT[50]
1	1	0	0	1	1	INIT[51]
1	1	0	1	0	0	INIT[52]
1	1	0	1	0	1	INIT[53]
1	1	0	1	1	0	INIT[54]
1	1	0	1	1	1	INIT[55]
1	1	1	0	0	0	INIT[56]
1	1	1	0	0	1	INIT[57]
1	1	1	0	1	0	INIT[58]
1	1	1	0	1	1	INIT[59]
1	1	1	1	0	0	INIT[60]
1	1	1	1	0	1	INIT[61]
1	1	1	1	1	0	INIT[62]
1	1	1	1	1	1	INIT[63]

INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	6/5 LUT 出力
I0、I1、I2、I3、I4、I5	入力	1	LUT 入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

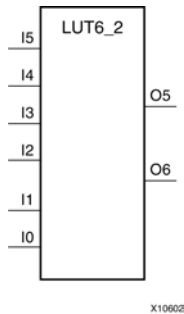
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの論理値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT6_2

プリミティブ : Six-input, 2-output, Look-Up Table



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 6 個、出力 2 個のルックアップ テーブル (LUT) で、非同期 32 ビット デュアル ROM (5 ビットのアドレス指定) として動作するか、共有入力の付き 5 入力のロジック ファンクションのいずれか 2 つをインプリメントできます。または、共有入力とロジック値の付いた 6 入力および 5 入力のロジック ファンクションをインプリメントすることもできます。LUT は基本的なロジック構築ブロックで、デザインに含まれる多くのロジック ファンクションをインプリメントするときに使用します。LUT6_2 は、Virtex-5 スライスに含まれるルックアップ テーブル (LUT) 4 個のうちの 1 つにマップされます。

LUT のロジック ファンクションを指定するために 64 ビットの 16 進数で INIT 属性を設定する必要があります。INIT 値は、関連する入力適用されるときに、対応する INIT ビット値に 1 を割り当てることで算出されます。たとえば、Verilog で INIT 値が 64'hXXXXXXXXXXXX (VHDL では X"FFFFFFFFFFFFFFFE") の場合は、入力がすべてゼロではない限り、O6 出力は 1 になり、I[4:0] がすべてゼロでない限り O5 出力は 1 になります (5 または 6 入力の OR ゲート)。INIT 値の下半分 (ビット 31:0) は O5 出力のロジック ファンクションに適用されます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力						出力	
I5	I4	I3	I2	I1	I0	O5	O6
0	0	0	0	0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	0	0	0	0	1	INIT[1]	INIT[1]
0	0	0	0	1	0	INIT[2]	INIT[2]
0	0	0	0	1	1	INIT[3]	INIT[3]
0	0	0	1	0	0	INIT[4]	INIT[4]
0	0	0	1	0	1	INIT[5]	INIT[5]
0	0	0	1	1	0	INIT[6]	INIT[6]

入力						出力	
0	0	0	1	1	1	INIT[7]	INIT[7]
0	0	1	0	0	0	INIT[8]	INIT[8]
0	0	1	0	0	1	INIT[9]	INIT[9]
0	0	1	0	1	0	INIT[10]	INIT[10]
0	0	1	0	1	1	INIT[11]	INIT[11]
0	0	1	1	0	0	INIT[12]	INIT[12]
0	0	1	1	0	1	INIT[13]	INIT[13]
0	0	1	1	1	0	INIT[14]	INIT[14]
0	0	1	1	1	1	INIT[15]	INIT[15]
0	1	0	0	0	0	INIT[16]	INIT[16]
0	1	0	0	0	1	INIT[17]	INIT[17]
0	1	0	0	1	0	INIT[18]	INIT[18]
0	1	0	0	1	1	INIT[19]	INIT[19]
0	1	0	1	0	0	INIT[20]	INIT[20]
0	1	0	1	0	1	INIT[21]	INIT[21]
0	1	0	1	1	0	INIT[22]	INIT[22]
0	1	0	1	1	1	INIT[23]	INIT[23]
0	1	1	0	0	0	INIT[24]	INIT[24]
0	1	1	0	0	1	INIT[25]	INIT[25]
0	1	1	0	1	0	INIT[26]	INIT[26]
0	1	1	0	1	1	INIT[27]	INIT[27]
0	1	1	1	0	0	INIT[28]	INIT[28]
0	1	1	1	0	1	INIT[29]	INIT[29]
0	1	1	1	1	0	INIT[30]	INIT[30]
0	1	1	1	1	1	INIT[31]	INIT[31]
1	0	0	0	0	0	INIT[0]	INIT[32]
1	0	0	0	0	1	INIT[1]	INIT[33]
1	0	0	0	1	0	INIT[2]	INIT[34]
1	0	0	0	1	1	INIT[3]	INIT[35]
1	0	0	1	0	0	INIT[4]	INIT[36]
1	0	0	1	0	1	INIT[5]	INIT[37]
1	0	0	1	1	0	INIT[6]	INIT[38]
1	0	0	1	1	1	INIT[7]	INIT[39]
1	0	1	0	0	0	INIT[8]	INIT[40]
1	0	1	0	0	1	INIT[9]	INIT[41]
1	0	1	0	1	0	INIT[10]	INIT[42]
1	0	1	0	1	1	INIT[11]	INIT[43]

入力						出力	
1	0	1	1	0	0	INIT[12]	INIT[44]
1	0	1	1	0	1	INIT[13]	INIT[45]
1	0	1	1	1	0	INIT[14]	INIT[46]
1	0	1	1	1	1	INIT[15]	INIT[47]
1	1	0	0	0	0	INIT[16]	INIT[48]
1	1	0	0	0	1	INIT[17]	INIT[49]
1	1	0	0	1	0	INIT[18]	INIT[50]
1	1	0	0	1	1	INIT[19]	INIT[51]
1	1	0	1	0	0	INIT[20]	INIT[52]
1	1	0	1	0	1	INIT[21]	INIT[53]
1	1	0	1	1	0	INIT[22]	INIT[54]
1	1	0	1	1	1	INIT[23]	INIT[55]
1	1	1	0	0	0	INIT[24]	INIT[56]
1	1	1	0	0	1	INIT[25]	INIT[57]
1	1	1	0	1	0	INIT[26]	INIT[58]
1	1	1	0	1	1	INIT[27]	INIT[59]
1	1	1	1	0	0	INIT[28]	INIT[60]
1	1	1	1	0	1	INIT[29]	INIT[61]
1	1	1	1	1	0	INIT[30]	INIT[62]
1	1	1	1	1	1	INIT[31]	INIT[63]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値							

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O6	出力	1	6/5 LUT 出力
O5	出力	1	5 入力 LUT 出力
I0、I1、I2、I3、I4、I5	入力	1	LUT 入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

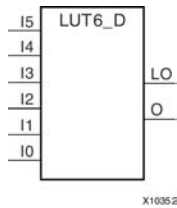
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	LUT5/6 の出力ファンクションを指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT6_D

プリミティブ : 6-Input Lookup Table with General and Local Outputs



概要

このデザイン エレメントは、入力 6 個、出力 1 個のルックアップ テーブル (LUT) で、非同期 64 ビット ROM (6 ビットのアドレス指定) として動作するか、6 入力のロジック ファンクションをインプリメントできます。LUT は基本的なロジック構築ブロックで、デザインに含まれる多くのロジック ファンクションをインプリメントするときに使用します。LUT6 はルックアップ テーブル (LUT) 4 個のうちの 1 つにマップされます。LUT6、LUT6_L、および LUT6_D の機能は同じですが、LUT6_L および LUT6_D では、LUT6 の出力信号を内部スライスに接続したり、LO 出力を使用して CLB に接続することができます。LUT6_L では LUT6 からの接続のみが 1 つのスライスまたは CLB に含まれるように指定できるのに対し、LUT6_D では LUT6 の出力を内部スライス/CLB ロジックと外部ロジックの両方に接続するように指定できます。LUT6 では出力の接続は特定されないため、内部スライスまたは CLB 信号の接続を暗示的に指定する必要がない限り、いつでも使用できます。

LUT のロジック ファンクションを指定するために 64 ビットの 16 進数で INIT 属性を設定する必要があります。INIT 値は、関連する入力が適用されるときに、対応する INIT ビット値に 1 を割り当てることで算出されます。たとえば Verilog で INIT 値が 64'h8000000000000000 (VHDL では X"8000000000000000") の場合は、入力すべてが 1 ではない限り、出力が 0 になります (6 入力の AND ゲート)。また、Verilog で INIT 値が 64'hffffffff (VHDL では X"FFFFFFFFFFFFFFFF") の場合は、入力がすべてゼロではない限り、出力は 1 になります (6 入力 OR ゲート)。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力						出力	
I5	I4	I3	I2	I1	I0	O	LO
0	0	0	0	0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	0	0	0	0	1	INIT[1]	INIT[1]
0	0	0	0	1	0	INIT[2]	INIT[2]
0	0	0	0	1	1	INIT[3]	INIT[3]
0	0	0	1	0	0	INIT[4]	INIT[4]
0	0	0	1	0	1	INIT[5]	INIT[5]
0	0	0	1	1	0	INIT[6]	INIT[6]

入力						出力	
I5	I4	I3	I2	I1	I0	O	LO
0	0	0	1	1	1	INIT[7]	INIT[7]
0	0	1	0	0	0	INIT[8]	INIT[8]
0	0	1	0	0	1	INIT[9]	INIT[9]
0	0	1	0	1	0	INIT[10]	INIT[10]
0	0	1	0	1	1	INIT[11]	INIT[11]
0	0	1	1	0	0	INIT[12]	INIT[12]
0	0	1	1	0	1	INIT[13]	INIT[13]
0	0	1	1	1	0	INIT[14]	INIT[14]
0	0	1	1	1	1	INIT[15]	INIT[15]
0	1	0	0	0	0	INIT[16]	INIT[16]
0	1	0	0	0	1	INIT[17]	INIT[17]
0	1	0	0	1	0	INIT[18]	INIT[18]
0	1	0	0	1	1	INIT[19]	INIT[19]
0	1	0	1	0	0	INIT[20]	INIT[20]
0	1	0	1	0	1	INIT[21]	INIT[21]
0	1	0	1	1	0	INIT[22]	INIT[22]
0	1	0	1	1	1	INIT[23]	INIT[23]
0	1	1	0	0	0	INIT[24]	INIT[24]
0	1	1	0	0	1	INIT[25]	INIT[25]
0	1	1	0	1	0	INIT[26]	INIT[26]
0	1	1	0	1	1	INIT[27]	INIT[27]
0	1	1	1	0	0	INIT[28]	INIT[28]
0	1	1	1	0	1	INIT[29]	INIT[29]
0	1	1	1	1	0	INIT[30]	INIT[30]
0	1	1	1	1	1	INIT[31]	INIT[31]
1	0	0	0	0	0	INIT[32]	INIT[32]
1	0	0	0	0	1	INIT[33]	INIT[33]
1	0	0	0	1	0	INIT[34]	INIT[34]
1	0	0	0	1	1	INIT[35]	INIT[35]
1	0	0	1	0	0	INIT[36]	INIT[36]
1	0	0	1	0	1	INIT[37]	INIT[37]
1	0	0	1	1	0	INIT[38]	INIT[38]
1	0	0	1	1	1	INIT[39]	INIT[39]
1	0	1	0	0	0	INIT[40]	INIT[40]
1	0	1	0	0	1	INIT[41]	INIT[41]
1	0	1	0	1	0	INIT[42]	INIT[42]

入力						出力	
I5	I4	I3	I2	I1	I0	O	LO
1	0	1	0	1	1	INIT[43]	INIT[43]
1	0	1	1	0	0	INIT[44]	INIT[44]
1	0	1	1	0	1	INIT[45]	INIT[45]
1	0	1	1	1	0	INIT[46]	INIT[46]
1	0	1	1	1	1	INIT[47]	INIT[47]
1	1	0	0	0	0	INIT[48]	INIT[48]
1	1	0	0	0	1	INIT[49]	INIT[49]
1	1	0	0	1	0	INIT[50]	INIT[50]
1	1	0	0	1	1	INIT[51]	INIT[51]
1	1	0	1	0	0	INIT[52]	INIT[52]
1	1	0	1	0	1	INIT[53]	INIT[53]
1	1	0	1	1	0	INIT[54]	INIT[54]
1	1	0	1	1	1	INIT[55]	INIT[55]
1	1	1	0	0	0	INIT[56]	INIT[56]
1	1	1	0	0	1	INIT[57]	INIT[57]
1	1	1	0	1	0	INIT[58]	INIT[58]
1	1	1	0	1	1	INIT[59]	INIT[59]
1	1	1	1	0	0	INIT[60]	INIT[60]
1	1	1	1	0	1	INIT[61]	INIT[61]
1	1	1	1	1	0	INIT[62]	INIT[62]
1	1	1	1	1	1	INIT[63]	INIT[63]

INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O6	出力	1	6/5 LUT 出力
O5	出力	1	5 入力 LUT 出力
I0、I1、I2、I3、I4、I5	入力	1	LUT 入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの論理値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

LUT6_L

プリミティブ : 6-Input Lookup Table with Local Output



概要

このデザイン エレメントは、入力 6 個、出力 1 個のルックアップ テーブル (LUT) で、非同期 64 ビット ROM (6 ビットのアドレス指定) として動作するか、6 入力のロジック ファンクションをインプリメントできます。LUT は基本的なロジック構築ブロックで、デザインに含まれる多くのロジック ファンクションをインプリメントするときに使用します。LUT6 はルックアップ テーブル (LUT) 4 個のうちの 1 つにマップされます。LUT6、LUT6_L、および LUT6_D の機能は同じですが、LUT6_L および LUT6_D では、LUT6 の出力信号を内部スライスに接続したり、LO 出力を使用して CLB に接続することができます。LUT6_L では LUT6 からの接続のみが 1 つのスライスまたは CLB に含まれるように指定できるのに対し、LUT6_D では LUT6 の出力を内部スライス/CLB ロジックと外部ロジックの両方に接続するように指定できます。LUT6 では出力の接続は特定されないため、内部スライスまたは CLB 信号の接続を暗示的に指定する必要がない限り、いつでも使用できます。

LUT のロジック ファンクションを指定するために 64 ビットの 16 進数で INIT 属性を設定する必要があります。INIT 値は、関連する入力が適用されるときに、対応する INIT ビット値に 1 を割り当てることで計算されます。たとえば Verilog で INIT 値が 64'h8000000000000000 (VHDL では X"8000000000000000") の場合は、入力すべてが 1 ではない限り、出力が 0 になります (6 入力の AND ゲート)。また、Verilog で INIT 値が 64'hffffffff (VHDL では X"FFFFFFFFFFFFFFFF") の場合は、入力がすべてゼロではない限り、出力は 1 になります (6 入力 OR ゲート)。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの真理値表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力						出力
I15	I14	I13	I12	I11	I10	LO
0	0	0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	0	0	1	INIT[1]
0	0	0	0	1	0	INIT[2]
0	0	0	0	1	1	INIT[3]
0	0	0	1	0	0	INIT[4]
0	0	0	1	0	1	INIT[5]
0	0	0	1	1	0	INIT[6]

入力						出力
I5	I4	I3	I2	I1	I0	LO
0	0	0	1	1	1	INIT[7]
0	0	1	0	0	0	INIT[8]
0	0	1	0	0	1	INIT[9]
0	0	1	0	1	0	INIT[10]
0	0	1	0	1	1	INIT[11]
0	0	1	1	0	0	INIT[12]
0	0	1	1	0	1	INIT[13]
0	0	1	1	1	0	INIT[14]
0	0	1	1	1	1	INIT[15]
0	1	0	0	0	0	INIT[16]
0	1	0	0	0	1	INIT[17]
0	1	0	0	1	0	INIT[18]
0	1	0	0	1	1	INIT[19]
0	1	0	1	0	0	INIT[20]
0	1	0	1	0	1	INIT[21]
0	1	0	1	1	0	INIT[22]
0	1	0	1	1	1	INIT[23]
0	1	1	0	0	0	INIT[24]
0	1	1	0	0	1	INIT[25]
0	1	1	0	1	0	INIT[26]
0	1	1	0	1	1	INIT[27]
0	1	1	1	0	0	INIT[28]
0	1	1	1	0	1	INIT[29]
0	1	1	1	1	0	INIT[30]
0	1	1	1	1	1	INIT[31]
1	0	0	0	0	0	INIT[32]
1	0	0	0	0	1	INIT[33]
1	0	0	0	1	0	INIT[34]
1	0	0	0	1	1	INIT[35]
1	0	0	1	0	0	INIT[36]
1	0	0	1	0	1	INIT[37]
1	0	0	1	1	0	INIT[38]
1	0	0	1	1	1	INIT[39]
1	0	1	0	0	0	INIT[40]
1	0	1	0	0	1	INIT[41]
1	0	1	0	1	0	INIT[42]

入力						出力
I5	I4	I3	I2	I1	I0	LO
1	0	1	0	1	1	INIT[43]
1	0	1	1	0	0	INIT[44]
1	0	1	1	0	1	INIT[45]
1	0	1	1	1	0	INIT[46]
1	0	1	1	1	1	INIT[47]
1	1	0	0	0	0	INIT[48]
1	1	0	0	0	1	INIT[49]
1	1	0	0	1	0	INIT[50]
1	1	0	0	1	1	INIT[51]
1	1	0	1	0	0	INIT[52]
1	1	0	1	0	1	INIT[53]
1	1	0	1	1	0	INIT[54]
1	1	0	1	1	1	INIT[55]
1	1	1	0	0	0	INIT[56]
1	1	1	0	0	1	INIT[57]
1	1	1	0	1	0	INIT[58]
1	1	1	0	1	1	INIT[59]
1	1	1	1	0	0	INIT[60]
1	1	1	1	0	1	INIT[61]
1	1	1	1	1	0	INIT[62]
1	1	1	1	1	1	INIT[63]

INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
LO	出力	1	6/5 入力 LUT 出力または内部 CLB 接続
I0、I1、I2、I3、I4、I5	入力	1	LUT 入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

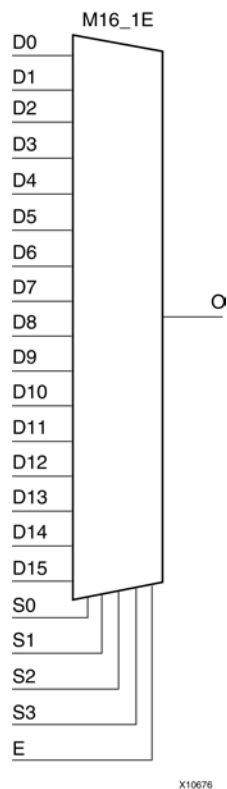
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの論理値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

M16_1E

マクロ : 16-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 16:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S3 ~ S0) の値に応じて、16 個の入力 (D15 ~ D0) のうち 1 つのデータビットが選択されます。出力 (O) には、次の論理表に示すように、選択された入力の値が出力されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力						出力
E	S3	S2	S1	S0	D15 ~ D0	O
0	X	X	X	X	X	0
1	0	0	0	0	D0	D0
1	0	0	0	1	D1	D1
1	0	0	1	0	D2	D2
1	0	0	1	1	D3	D3
.
.
.
1	1	1	0	0	D12	D12
1	1	1	0	1	D13	D13
1	1	1	1	0	D14	D14
1	1	1	1	1	D15	D15

デザインの入力方法

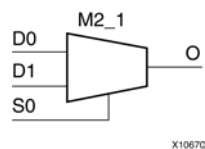
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

M2_1

マクロ : 2-to-1 Multiplexer



概要

このデザイン エLEMENTは、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータビットを選択します。出力 (O) には、選択された入力の値が出力されます。S0 が Low の場合は D0 が選択され、High の場合は D1 が選択されます。

論理表

入力			出力
S0	D1	D0	O
1	D1	X	D1
0	X	D0	D0

デザインの入力方法

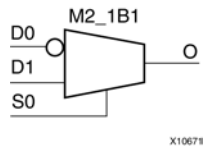
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

M2_1B1

マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 Inverted



概要

このデザイン エLEMENTは、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータビットを選択します。S0 が Low の場合は O に D0 の反転値が出力され、S0 が High の場合は D1 の値が出力されます。

論理表

入力			出力
S0	D1	D0	O
1	1	X	1
1	0	X	0
0	X	1	0
0	X	0	1

デザインの入力方法

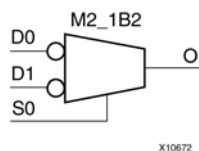
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

M2_1B2

マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 and D1 Inverted



概要

このデザイン エLEMENTは、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータビットを選択します。S0 が Low の場合は O に D0 の反転値が出力され、S0 が High の場合は D1 の反転値が出力されます。

論理表

入力			出力
S0	D1	D0	O
1	1	X	0
1	0	X	1
0	X	1	0
0	X	0	1

デザインの入力方法

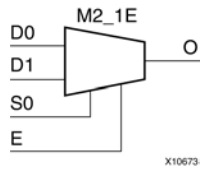
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

M2_1E

マクロ : 2-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 2:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータ ビットが選択されます。S0 が Low の場合は D0 が選択され、High の場合は D1 が選択されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力				出力
E	S0	D1	D0	O
0	X	X	X	0
1	0	X	1	1
1	0	X	0	0
1	1	1	X	1
1	1	0	X	0

デザインの入力方法

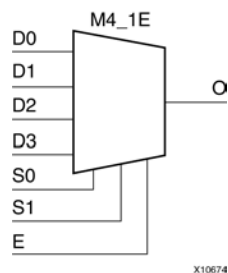
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

M4_1E

マクロ : 4-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 4:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S1 ~ S0) の値に応じて、4 つの入力 (D3、D2、D1、D0) のうち 1 つのデータビットが選択されます。出力 (O) には、次の論理表に示すように、選択された入力の値が出力されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力							出力
E	S1	S0	D0	D1	D2	D3	O
0	X	X	X	X	X	X	0
1	0	0	D0	X	X	X	D0
1	0	1	X	D1	X	X	D1
1	1	0	X	X	D2	X	D2
1	1	1	X	X	X	D3	D3

デザインの入力方法

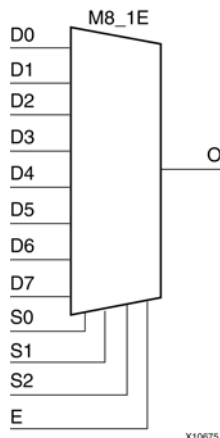
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

M8_1E

マクロ : 8-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 8:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S2 ~ S0) の値に応じて、8 つの入力 (D7 ~ D0) のうち 1 つのデータビットが選択されます。出力 (O) には、次の論理表に示すように、選択された入力の値が出力されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力					出力
E	S2	S1	S0	D7 - D0	O
0	X	X	X	X	0
1	0	0	0	D0	D0
1	0	0	1	D1	D1
1	0	1	0	D2	D2
1	0	1	1	D3	D3
1	1	0	0	D4	D4
1	1	0	1	D5	D5
1	1	1	0	D6	D6
1	1	1	1	D7	D7

デザインの入力方法

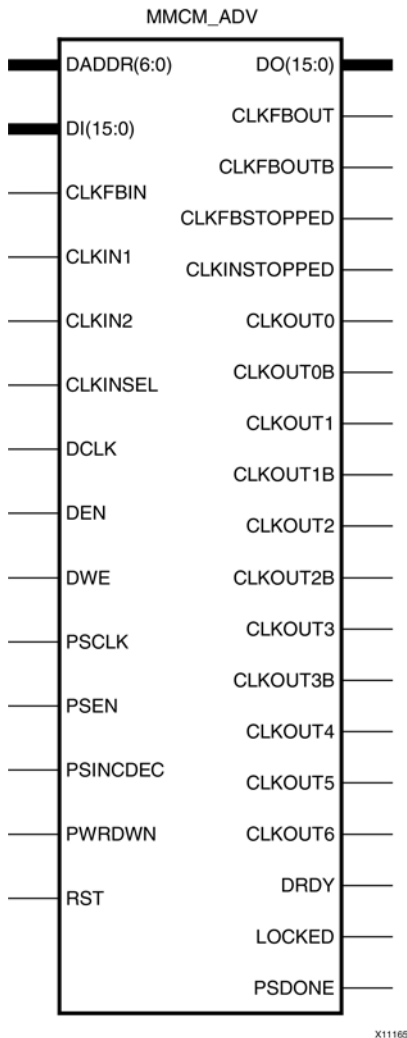
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MMCM_ADV

プリミティブ : MMCM is a mixed signal block designed to support clock network deskew, frequency synthesis, and jitter reduction.



概要

このコンポーネントは混合信号ブロックで、クロック ネットワーク デスキュー、周波数合成、ジッタ低減をサポートするために設計されています。7 つの O カウンタを独立してプログラムすることができます。つまり O0 は 2、O1 は 3 で分周するようプログラムできます。ただし、1 つの VCO ですべてのカウンタを駆動するため、VCO 動作周波数をすべての出力カウンタと同じにする必要があります。CLKFBOUT および CLKFBOUTB はロジックを駆動するのに使用できますが、DIVCLK_DIVIDE の値で分周される CLKin 周波数と同じにする必要があります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CLKFBIN	入力	1	クロック フィードバック入力
CLKFBOUT	出力	1	専用 MMCM フィードバック出力
CLKFBOUTB	出力	1	反転した MMCM フィードバック クロック出力

ポート名	タイプ	幅	機能
CLKFBSTOPPED	出力	1	フィードバック クロックが停止したことを示すステータス ピン
CLKINSEL	入力	1	クロック入力マルチプレクサのステートを制御する信号で、High = CLKIN1、Low = CLKIN2 です。MMCM リファレンス クロックをダイナミックに切り替えます。
CLKINSTOPPED	出力	1	入力クロックが停止したことを示すステータス ピン
CLKIN1	入力	1	汎用クロック入力
CLKIN2	入力	1	MMCM リファレンス クロックのセカンダリ クロック入力
CLKOUT[0:6]	出力	7、1 ビット	ユーザー コンフィギュラブル クロック出力 (0 ~ 6) で、1 (バイパスされたもの) から 128 までの VCO 位相出力 (ユーザー制御可能) を除算したものです。出力クロックは、位相シフトしない限り相互に位相アラインし、正しいフィードバック コンフィギュレーションの入力クロックにアラインしています。
CLKOUT[0:3]B	出力	4、1 ビット	CLKOUT[0:3] を反転したものです。
DADDR[6:0]	入力	7	ダイナミック リコンフィギュレーション アドレス (DADDR) 入力バスは、ダイナミック リコンフィギュレーション用のリコンフィギュレーション アドレスを提供します。このバスを使用しない場合は、すべてのビットを 0 にする必要があります。
DCLK	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーション ポートのリファレンス クロックです。
DEN	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーション イネーブル (DEN) は、ダイナミック リコンフィギュレーション機能へのアクセスを提供します。ダイナミック リコンフィギュレーションが使用されていない場合は、DEN が Low に接続されます。
DI[15:0]	入力	16	ダイナミック リコンフィギュレーション データ入力 (DI) バスはリコンフィギュレーション データを提供します。このバスを使用しない場合は、すべてのビットを 0 にする必要があります。
DO[15:0]	出力	16	ダイナミック リコンフィギュレーション出力バスは、ダイナミック リコンフィギュレーションを使用する場合に MMCM データ出力を提供します。
DRDY	出力	1	ダイナミック リコンフィギュレーション準備完了 (DRDY) 出力は、MMCM のダイナミック リコンフィギュレーション機能用の DEN 信号への応答を提供します。
DWE	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーション ライト イネーブル (DWE) 入力ピンは、DADDR アドレスへの DI データの書き込みを制御するライト イネーブル信号を提供します。使用しない場合は、Low に接続する必要があります。
LOCKED	出力	1	MMCM からの出力で、MMCM で、定義されている時間枠内で位相アライメントが完了したこと、PPM 範囲内で周波数が一致したことを示します。MMCM は、電源投入時に自動的にロックします。余分なリセットは不要です。入力クロックが停止した場合、または位相アライメントに違反が起きた場合 (入力クロック位相シフトなど) に、LOCKED がディアサートされます。MMCM は LOCKED がディアサートされた後に自動的にロックします。
PSCLK	入力	1	位相シフト クロック
PSDONE	出力	1	位相シフト終了
PSEN	入力	1	位相シフト イネーブル
PSINCDEC	入力	1	位相シフト インクリメント/デクリメント制御
PWRDWN	入力	1	パワー ダウンがインスタンス化されますが、MMCM は未使用です。

ポート名	タイプ	幅	機能
RST	入力	1	非同期リセット信号。RST 信号は、MMCM の非同期信号です。この信号が解放されると、MMCM は同期して再イネーブルになります。入力クロックのコンディション (周波数など) が変わる場合、リセットは不要です。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
BANDWIDTH	文字列	OPTIMIZED、HIGH、LOW	OPTIMIZED	ジッタ、位相マージンなどの MMCM 特性に影響する MMCM プログラム アルゴリズムを指定します。
CLKFBOUT_MULT_F	3 上位ビット 浮動小数点	1.000 ~ 64.000	1.000	別の周波数を使用する場合に、すべての CLKOUT クロック出力を通倍する値を指定します。この値、CLKOUT#_DIVIDE 値および DIVCLK_DIVIDE 値により出力周波数が決まります。
CLKFBOUT_PHASE	3 上位ビット 浮動小数点	-360.000 ~ 360.000	0.000	クロック フィードバック出力の位相オフセットを度数で指定します。フィードバック クロックをシフトすると、MMCM の出力クロックがすべて負の値に位相シフトします。
CLKFBOUT_USE_FINE_PS	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	CLKFBOUT カウンタ ファイン可変位相シフトイネーブル。CLKFBOUT_MULT は整数である必要があり、小数の除算はできません。
CLKIN1_PERIOD	フロート (nS)	1.000 ~ 1000.000	0.000	MMCM CLKIN1 入力の入力周期を指定します。ps まで指定できます。この値は必ず設定する必要があります。
CLKIN2_PERIOD	フロート (nS)	1.000 ~ 1000.000	0.000	MMCM CLKIN2 入力の入力周期を指定します。ps まで指定できます。この値は必ず設定する必要があります。
CLKOUT0_DIVIDE_F	3 上位ビット 浮動小数点	1.000 ~ 128.000	1.000	別の周波数を使用する場合に、CLKOUT クロック出力を分周する値を指定します。この値、CLKFBOUT_MULT 値および DIVCLK_DIVIDE 値により出力周波数が決まります。
CLKOUT[0:6]_DUTY_CYCLE	3 上位ビット 浮動小数点	0.001 ~ 0.999	0.500	CLKOUT クロック出力のデューティサイクルをパーセントで指定します。0.50 の場合、デューティサイクルは 50% になります。
CLKOUT[0:6]_PHASE	3 上位ビット 浮動小数点	-360.000 ~ 360.000	0.000	CLKOUT クロック出力との位相オフセットを度数で指定します。90 は 90 度または 4 分の 1 サイクルの位相オフセット、180 は 180 度または 2 分の 1 サイクルの位相オフセットを示します。
CLKOUT0_USE_FINE_PS	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	CLKOUT0 カウンタ ファイン可変位相シフトイネーブル。CLKOUT0_DIVIDE は整数である必要があり、小数の除算はできません。

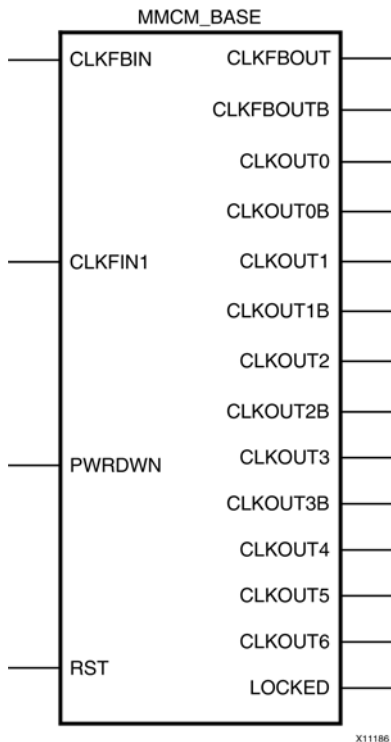
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CLKOUT[1:6]_DIVIDE	整数	1 ~ 128	1	別の周波数を使用する場合に、CLKOUT クロック出力を分周する値を指定します。この値、CLKFBOUT_MULT 値および DIVCLK_DIVIDE 値により出力周波数が決まります。
CLOCK_HOLD	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE の場合、VCO 周波数を CLKIN を損失する前の近似値に保持します。
DIVCLK_DIVIDE	整数	1 ~ 128	1	入力クロックに対するすべての出力クロックの分周比を指定し、PFD に入力される CLKIN を分周します。
REF_JITTER2	3 上位ビット 浮動小数点	0.000 ~ 0.999	0.010	リファレンス クロック 2 ジッタは、リファレンス クロックの割合で示した UI (ユニット インターバル) で指定します。この値は、入力クロックの最大ピークトゥピーク値にします。デフォルトは 0.1UI です。このパラメータは小数 3 桁をサポートします。
STARTUP_WAIT	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE の場合、DONE が High になる前にロックするため、この属性が設定されている MMCM を待ちます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MMCM_BASE

プリミティブ : Mixed signal block designed to support clock network deskew, frequency synthesis, and jitter reduction.



概要

このコンポーネントは混合信号ブロックで、クロック ネットワーク デスキュー、周波数合成、ジッタ低減をサポートするために設計されています。7 つの O カウンタを独立してプログラムすることができます。つまり O0 は 2、O1 は 3 で分周するようプログラムできます。ただし、1 つの VCO ですべてのカウンタを駆動するため、VCO 動作周波数をすべての出力カウンタと同じにする必要があります。CLKFBOUT および CLKFBOUTB はロジックを駆動するのに使用できますが、CLKin 周波数と同じにする必要があります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CLKFBIN	入力	1	クロック フィードバック入力
CLKFBOUT	出力	1	専用 MMCM フィードバック出力
CLKFBOUTB	出力	1	反転した MMCM フィードバック クロック出力
CLKIN1	入力	1	汎用クロック入力
CLKOUT[0:6]	出力	7、1 ビット	ユーザー コンフィギュラブル クロック出力 (0 ~ 6) で、1 (バイパスされたもの) から 128 までの VCO 位相出力 (ユーザー制御可能) を除算したものです。出力クロックは、位相シフトしない限り相互に位相アラインし、正しいフィードバック コンフィギュレーションの入力クロックにアラインしています。
CLKOUT[0:3]B	出力	4、1 ビット	CLKOUT[0:3] を反転したものです。
LOCKED	出力	1	MMCM からの出力で、MMCM で、定義されている時間枠内で位相アライメントが完了したこと、PPM 範囲内で周波数が一致したことを示します。MMCM は、電源投入時に自動的にロックします。余分なり

ポート名	タイプ	幅	機能
			セットは不要です。入力クロックが停止した場合、または位相アライメントに違反が起きた場合（入力クロック位相シフトなど）に、LOCKED がディアサートされます。MMCM は LOCKED がディアサートされた後に自動的にロックします。
PWRDWN	入力	1	パワー ダウンがインスタシエートされますが、MMCM は未使用です。
RST	入力	1	非同期リセット信号。RST 信号は、MMCM の非同期信号です。この信号が解放されると、MMCM は同期して再イネーブルになります。入力クロックのコンディション（周波数など）が変わる場合、リセットは不要です。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
BANDWIDTH	文字列	OPTIMIZED、HIGH、LOW	OPTIMIZED	ジッタ、位相マージンなどの MMCM 特性に影響する MMCM プログラム アルゴリズムを指定します。
CLKFBOUT_MULT_F	3 上位ビット 浮動小数点	1.000 ～ 64.000	1.000	別の周波数を使用する場合に、すべての CLKOUT クロック出力を通倍する値を指定します。この値、CLKOUT#_DIVIDE 値および DIVCLK_DIVIDE 値により出力周波数が決まります。
CLKFBOUT_PHASE	3 上位ビット 浮動小数点	-360.000 ～ 360.000	0.000	クロック フィードバック出力の位相オフセットを度数で指定します。フィードバック クロックをシフトすると、MMCM の出力クロックがすべて負の値に位相シフトします。
CLKIN1_PERIOD	フロート (nS)	1.000 ～ 1000.000	0.000	MMCM CLKIN1 入力の入力周期を指定します。ps まで指定できます。この値は必ず設定する必要があります。
CLKOUT0_DIVIDE_F	3 上位ビット 浮動小数点	1.000 ～ 128.000	1.000	別の周波数を使用する場合に、CLKOUT クロック出力を分周する値を指定します。この値、CLKFBOUT_MULT 値および DIVCLK_DIVIDE 値により出力周波数が決まります。
CLKOUT[0:6]_DUTY_CYCLE	3 上位ビット 浮動小数点	0.001 ～ 0.999	0.500	CLKOUT クロック出力のデューティ サイクルをパーセントで指定します。0.50 の場合、デューティ サイクルは 50% になります。
CLKOUT[0:6]_PHASE	3 上位ビット 浮動小数点	-360.000 ～ 360.000	0.000	CLKOUT クロック出力との位相オフセットを度数で指定します。90 は 90 度または 4 分の 1 サイクルの位相オフセット、180 は 180 度または 2 分の 1 サイクルの位相オフセットを示します。
CLOCK_HOLD	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE の場合、VCO 周波数を CLKIN を損失する前の近似値に保持します。
DIVCLK_DIVIDE	整数	1 ～ 128	1	入力クロックに対するすべての出力クロックの分周比を指定し、PFD に入力される CLKIN を分周します。

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
REF_JITTER1	3 上位ビット 浮動小数点	0.000 ~ 0.999	0.010	MMCM パフォーマンスを最適化するため、リファレンス クロックの期待ジッタ値を指定します。バンド幅設定が OPTIMIZED になっていると、値が既知のものでない場合は入力クロックに最適なパラメータが選択されます。値が既知のものである場合、値は、入力クロックの期待ジッタの UI パーセンテージ (最大ピークトゥピーク) により指定される必要があります。
STARTUP_WAIT	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE の場合、DONE が High になる前にロックするため、この属性が設定されている MMCM を待ちます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MULT18X18

プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier



概要

MULT18X18 は、組み合わせ符号付き 18 X 18 ビット乗算器です。18 ビット入力 A の値に 18 ビット入力 B の値を掛け合わせた積が、出力 P に 36 ビットで出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	P
A	B	A X B
A、B、および P は 2 の補数です。		

デザインの入力方法

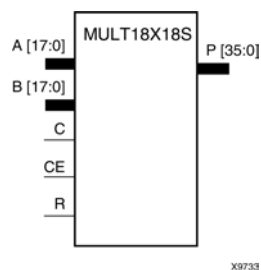
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MULT18X18S

プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier -- Registered Version



概要

MULT18X18S は、符号付き 18 X 18 乗算器 (MULT18X18) にレジスタを追加したもので、出力 (P)、データ入力 (A、B、C)、クロック イネーブル入力 (CE)、および同期リセット入力 (R) があります。レジスタは、GSR パルス後 0 に初期化されます。

18 ビット入力 A の値に 18 ビット入力 B の値を掛け合わせた積が、出力 P に 36 ビットで出力されます。

論理表

入力					出力
C	CE	Am	Bn	R	P
↑	X	X	X	1	0
↑	1	Am	Bn	0	A X B
X	0	X	X	0	変化なし

A、B、および P は 2 の補数です。

デザインの入力方法

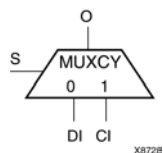
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXCY

プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with General Output



概要

スライスの直接入力 (DI) は、MUXCY の DI 入力に接続します。LC のキャリー入力 (CI) は、MUXCY の CI 入力に接続します。セレクト入力 (S) は、ルックアップ テーブル (LUT) の出力で駆動し、MUX ファンクションとしてコンフィギュレーションします。キャリー出力 (O) には選択された入力の値が出力され、各 LC のキャリー出力ファンクションをインプリメントします。S が Low の場合は DI が選択され、High の場合は CI が選択されます。

このほか、ローカル出力を持つ MUXCY_D および MUXCY_L があり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

論理表

入力			出力
S	DI	CI	O
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

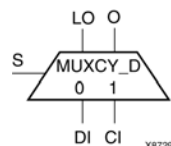
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXCY_D

プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、1 ビットの高速キャリー伝搬ファンクションをインプリメントするために使用します。このようなファンクションは、1 つのロジック セル (LC) に 1 つずつインプリメントできるので、1 つの CLB に合計 4 ビットをインプリメントできます。LC の直接入力 (DI) は MUXCY_D の DI 入力に接続し、LC のキャリー入力 (CI) は MUXCY_D の CI 入力に接続します。セレクト入力 (S) は、ルックアップ テーブル (LUT) の出力で駆動し、XOR ファンクションとしてコンフィギュレーションします。キャリー出力 (O と LO) には選択された入力の値が出力され、各 LC のキャリー出力ファンクションをインプリメントします。S が Low の場合は DI が選択され、High の場合は CI が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。「MUXCY」および「MUXCY_L」も参照してください。

論理表

入力			出力	
S	DI	CI	O	LO
0	1	X	1	1
0	0	X	0	0
1	X	1	1	1
1	X	0	0	0

デザインの入力方法

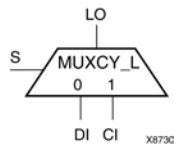
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXCY_L

プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、1 ビットの高速キャリー伝搬ファンクションをインプリメントするために使用します。このようなファンクションは、1 つのロジック セル (LC) に 1 つずつインプリメントできるので、1 つの CLB に合計 4 ビットをインプリメントできます。LC の直接入力 (DI) は MUXCY_L の DI 入力に接続し、LC のキャリー入力 (CI) は MUXCY_L の CI 入力に接続します。セレクト入力 (S) は、ルックアップ テーブル (LUT) の出力で駆動し、XOR ファンクションとしてコンフィギュレーションします。キャリー出力 (LO) には選択された入力の値が出力され、各 LC のキャリー出力ファンクションをインプリメントします。S が Low の場合は DI が選択され、High の場合は CI が選択されます。

「MUXCY」および「MUXCY_D」も参照してください。

論理表

入力			出力
S	DI	CI	LO
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

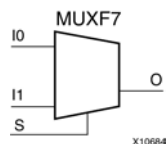
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXF7

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと組み合わせて、7 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 8:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションをインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF6 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

このほか、ローカル出力を持つ MUXF7_D および MUXF7_L があり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	O
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

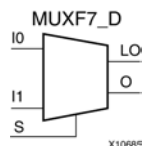
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXF7_D

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと組み合わせて、7 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 16:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションをインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF6 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力	
S	I0	I1	O	LO
0	I0	X	I0	I0
1	X	I1	I1	I1
X	0	0	0	0
X	1	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

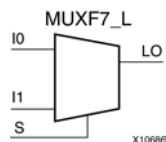
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXF7_L

プリミティブ : 2-to-1 look-up table Multiplexer with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと組み合わせて、7 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 16:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションをインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF6 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	LO
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力
I1	入力	1	入力
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

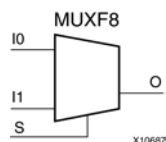
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXF8

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと MUXF5、MUXF6、および MUXF7 を組み合わせて、8 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 16:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB 2 個 (スライス 8 個) にインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF7 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	O
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

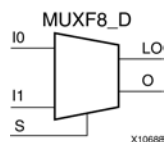
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXF8_D

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブル 4 つと MUXF8 を 2 つ組み合わせて、8 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 32:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB 2 個 (スライス 8 個) にインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF7 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力	
S	I0	I1	O	LO
0	I0	X	I0	I0
1	X	I1	I1	I1
X	0	0	0	0
X	1	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

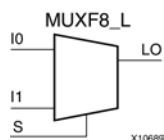
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

MUXF8_L

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブル 4 つと MUXF8 を 2 つ組み合わせて、8 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 32:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB 2 個 (スライス 8 個) にインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF7 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	LO
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

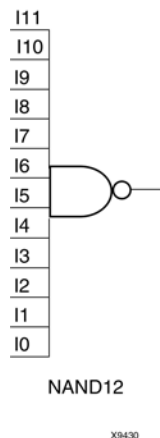
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND12

マクロ : 12- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

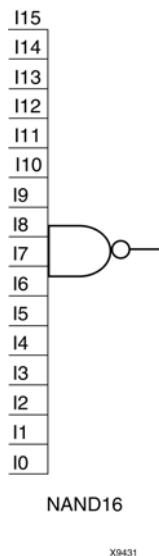
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND16

マクロ : 16- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

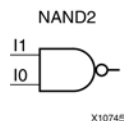
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND2

プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

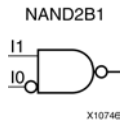
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND2B1

プリミティブ : 2-Input NAND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

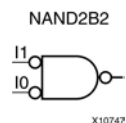
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND2B2

プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

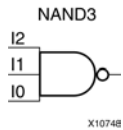
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND3

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

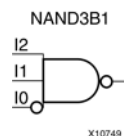
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND3B1

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

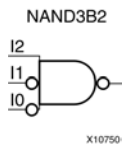
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND3B2

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

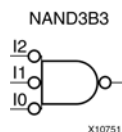
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND3B3

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

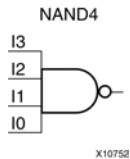
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND4

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

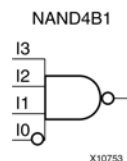
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND4B1

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

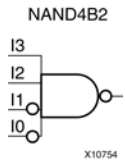
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND4B2

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

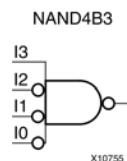
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND4B3

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

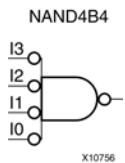
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND4B4

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

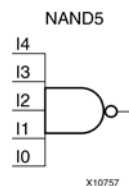
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND5

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

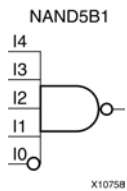
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND5B1

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

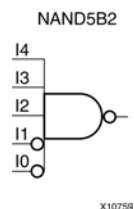
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND5B2

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

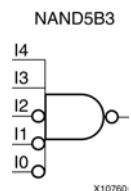
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND5B3

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

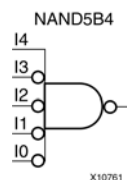
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND5B4

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

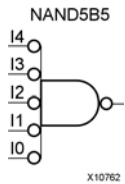
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND5B5

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

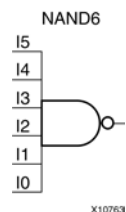
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND6

マクロ : 6-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

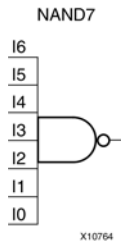
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND7

マクロ : 7-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

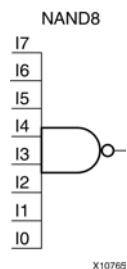
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND8

マクロ : 8-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

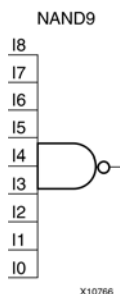
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NAND9

マクロ : 9-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

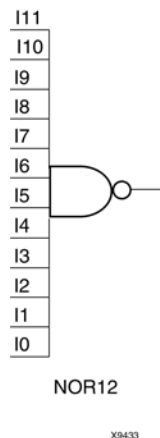
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR12

マクロ : 12-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

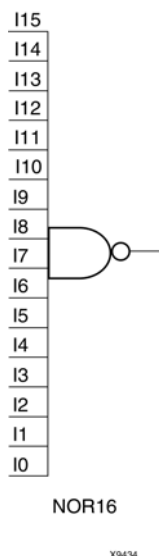
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR16

マクロ : 16-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

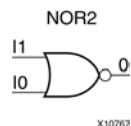
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR2

プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

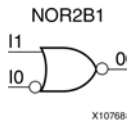
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR2B1

プリミティブ : 2-Input NOR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

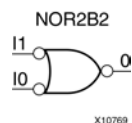
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR2B2

プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

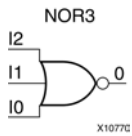
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR3

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

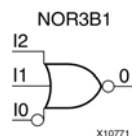
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR3B1

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

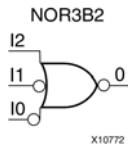
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR3B2

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

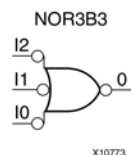
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR3B3

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

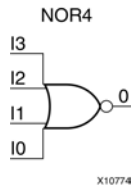
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR4

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

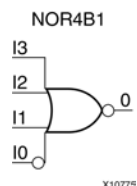
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR4B1

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

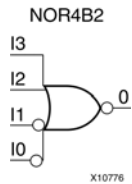
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR4B2

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

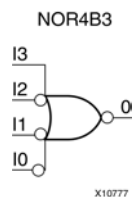
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR4B3

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

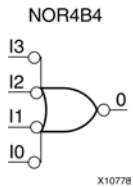
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR4B4

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

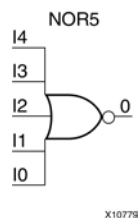
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR5

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

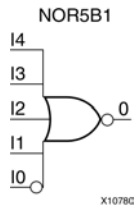
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR5B1

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

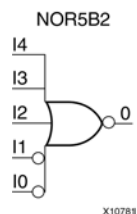
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR5B2

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

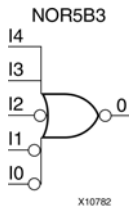
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR5B3

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

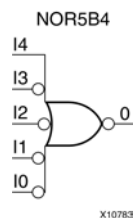
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR5B4

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

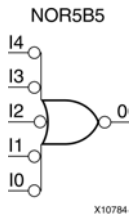
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR5B5

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

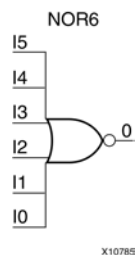
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR6

マクロ : 6-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

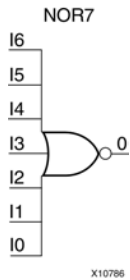
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR7

マクロ : 7-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

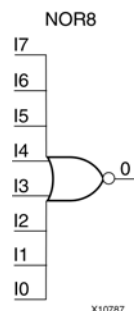
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR8

マクロ : 8-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

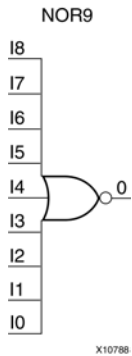
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

NOR9

マクロ : 9-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

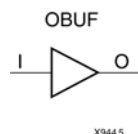
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUF

プリミティブ : Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは単純な出力バッファで、出力信号を、トリステートでない FPGA デバイス ピンに駆動するために使用します。デザインのすべての出力ポートに OBUF、OBUFT、OBUFDS、OBUFTDS のいずれかを接続する必要があります。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	最上位出力ポートに直接接続される OBUF の出力
I	入力	1	OBUF の入力。出力ポートを駆動するロジックに接続

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

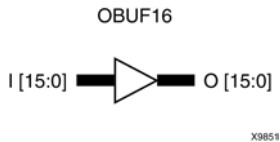
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUF16

マクロ : 16-Bit Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、複数の出力バッファです。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

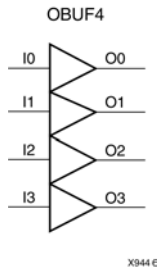
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUF4

マクロ : 4-Bit Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、複数の出力バッファです。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

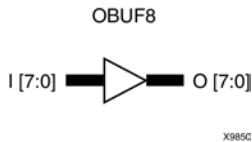
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUF8

マクロ : 8-Bit Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、複数の出力バッファです。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

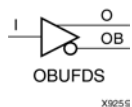
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUFDS

プリミティブ : Differential Signaling Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、低電圧の差動信号 (1.8V CMOS) をサポートする単一の出力バッファです。内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。出力には 2 つの異なるポート (O および OB) があり、これらのポートをそれぞれ「マスタ」、「スレーブ」と呼びます。マスタとスレーブは MYNET と MYNETB のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。

論理表

入力	出力	
I	O	OB
0	0	1
1	1	0

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	Diff_p 出力 (最上位ポートに直接接続)
OB	出力	1	Diff_n 出力 (最上位ポートに直接接続)
I	入力	1	バッファの入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

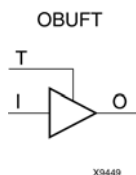
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUFT

プリミティブ : 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ単一のトライステート出力バッファです。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイインピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トライステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファ出力 (最上位ポートに直接接続)
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トライステートイネーブル入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

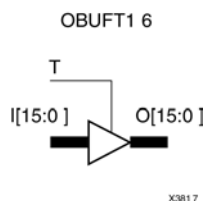
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUFT16

マクロ : 16-Bit 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable



概要

このデザイン エレメントは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ複数のトライステート出力バッファです。このエレメントでは、LVTTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイ インピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トライステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

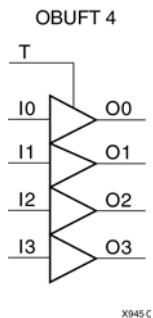
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をエレメントに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUFT4

マクロ : 4-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ複数のトライステート出力バッファです。このELEMENTでは、LVTTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイ インピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トライステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

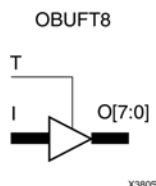
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUFT8

マクロ : 8-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ複数のトリステート出力バッファです。このELEMENTでは、LVTTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイ インピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トリステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

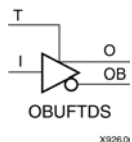
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OBUFTDS

プリミティブ : 3-State Output Buffer with Differential Signaling, Active-Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、低電圧差動信号を使用する出力バッファです。OBUFTDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方が「マスタ」で、もう一方が「スレーブ」となる 2 つの異なるポート (O、OB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。

論理表

入力		出力	
I	T	O	OB
X	1	Z	Z
0	0	0	1
1	0	1	0

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	Diff_p 出力 (最上位ポートに直接接続)
OB	出力	1	Diff_n 出力 (最上位ポートに直接接続)
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トリステート イネーブル入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

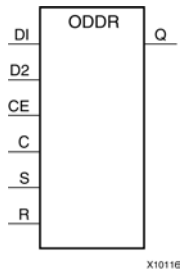
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ODDR

プリミティブ : Dedicated Dual Data Rate (DDR) Output Register



概要

このデザイン エLEMENTは、FPGA デバイスからデュアル データ レート (DDR) 信号を送信するための専用出力レジスタです。ODDR プリミティブでは、FPGA からのデータを送信するのに反対のクロック エッジだけではなく、同じクロック エッジを使用することも可能です。これにより、タイミングが複雑にならず、追加の CLB リソースも必要ありません。また ODDR は SelectIO™ 機能と共に使用されます。

ODDR のモード

このELEMENTは 2 つのモードで動作します。これらのモードは、DDR_CLK_EDGE 属性で設定します。

- ・ **OPPOSITE_EDGE モード** : 通常の DDR 方式でデータを送信します。D1 はクロック C の立ち上がりエッジごとにサンプリングされ、D2 は立ち下がりエッジごとにサンプリングされます。Q は各クロック エッジで変化します。
- ・ **SAME_EDGE モード** : データはクロック C の反対のエッジで ODDR 出力から送信されますが、ODDR への 2 入力からクロック信号 C の立ち上がりエッジで動作し、追加されたレジスタがクロック信号 C の立ち下がりエッジで動作します。この機能を使用すると、DDR データは同じクロック エッジで ODDR に取り込まれます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
Q	出力	1	データ出力 (DDR)。IOB パッドに接続されます。
C	入力	1	クロック入力。クロック入力ピンです。
CE	入力	1	クロック イネーブル入力。High になると、ポート C のクロック入力がいネーブルになります。
D1 : D2	入力	1 (それぞれ)	データ入力。DDR データを ODDR モジュールに入力するピンです。
R	入力	1	リセット。SRTYPE の設定によって異なります。
S	入力	1	セット。アクティブ High の非同期セット ピンです。SRTYPE 属性の設定により、同期にもなります。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

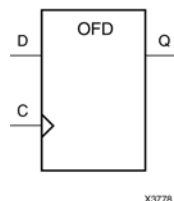
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DDR_CLK_EDGE	文字列	OPPOSITE_EDGE、 SAME_EDGE	OPPOSITE_EDGE	DDR のデータ送信モードを選択します。
INIT	整数	0, 1	1	Q の初期値
SRTYPE	文字列	SYNC、ASYN	SYNC	セット/リセットのタイプを選択

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFD

マクロ : Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは単一出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

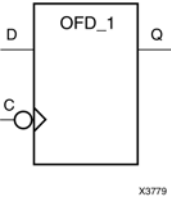
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFD_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↓	D

デザインの入力方法

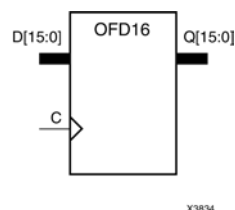
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFD16

マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

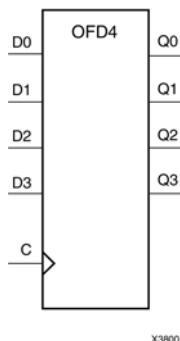
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFD4

マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

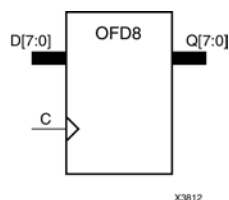
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFD8

マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

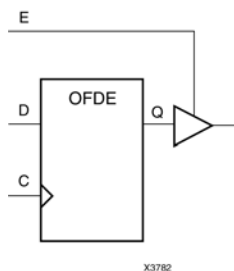
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDE

マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは単一の D フリップフロップで、出力はトライステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High の場合、フリップフロップの出力 (Q) の値は OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

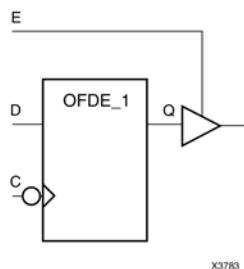
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDE_1

マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffer and Inverted Clock



概要

このデザイン エLEMENTとその出力バッファは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファまたは OBUFE の入力に接続されます。OBUFE の出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High の場合、フリップフロップの出力 (Q) の値は OBUFT の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	D	↓	D

デザインの入力方法

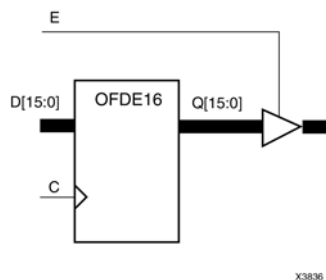
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDE16

マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

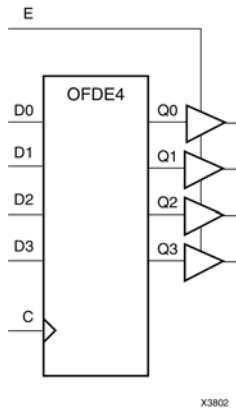
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDE4

マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

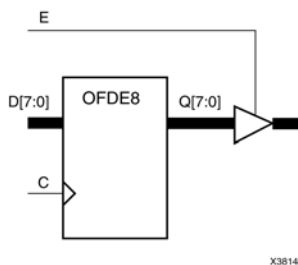
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDE8

マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

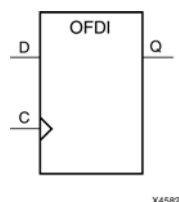
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDI

マクロ : Output D Flip-Flop (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

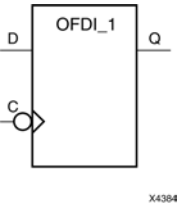
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDI_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エレメントは、I/O ブロック (IOB) 内に配置されます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↓	D

デザインの入力方法

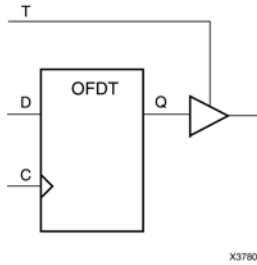
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDT

マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは単一の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が O に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

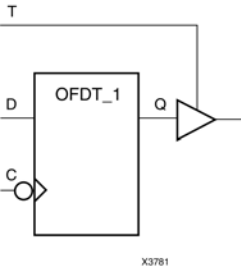
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDT_1

マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer and Inverted Clock



概要

このデザイン エLEMENTとその出力バッファは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が 0 に出力されます。T が High になると、出力はハイインピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↓	D

デザインの入力方法

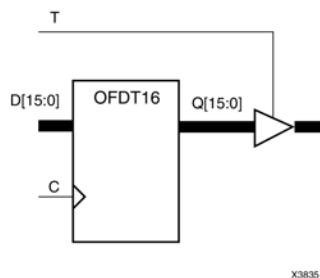
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDT16

マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が O に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

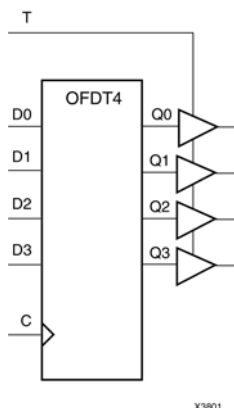
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDT4

マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が O に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

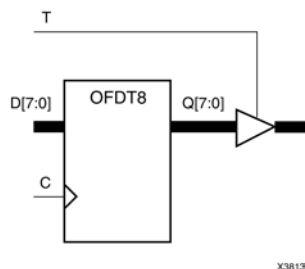
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDT8

マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が 0 に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

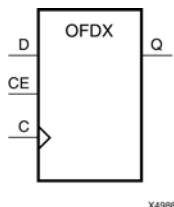
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDX

マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは単一出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

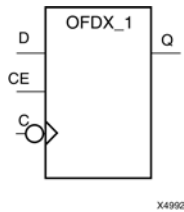
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDX_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↓	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

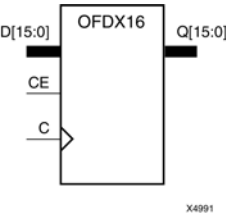
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDX16

マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

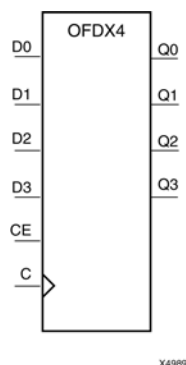
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDX4

マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

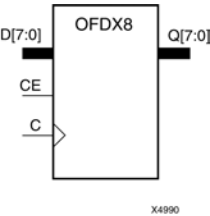
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDX8

マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

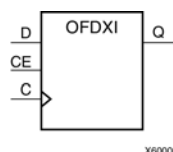
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDXI

マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

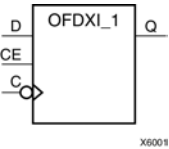
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OFDXI_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↓	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

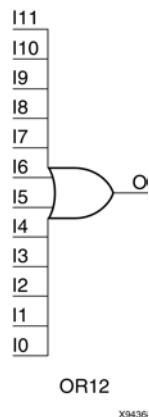
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR12

マクロ : 12-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

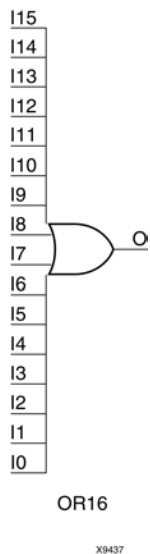
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR16

マクロ : 16-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

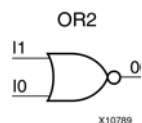
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR2

プリミティブ : 2-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

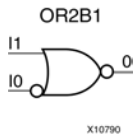
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR2B1

プリミティブ : 2-Input OR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

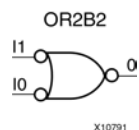
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR2B2

プリミティブ : 2-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

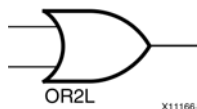
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR2L

プリミティブ : Two input OR gate implemented in place of a Slice Latch



概要

このデザイン エLEMENTでは、コンフィギュレーション可能なスライス ラッチで 2 入力 OR ゲートのファンクションが使用されます (論理表を参照)。このELEMENTを使用すると、ロジックのレジスタ/ラッチ リソース数をトレードオフにすることで、ロジック レベルを削減して、デバイスのロジック集積度を高めることができます。このELEMENTはレジスタのバック および集積度に影響を与えるので注意してください。AND2B1L または OR2L ELEMENTをスライスに指定すると、残りのレジスタおよびラッチが使用できなくなります。

論理表

入力		出力
DI	SRI	O
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	1

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
O	出力	1	OR ゲートの出力
DI	入力	1	同じスライスにあるソース LUT に通常接続されるアクティブ High の入力
SRI	入力	1	通常スライス外からソースされるアクティブ Low の入力 メモ : 複数の AND2B1L または OR2B1L を 1 つのスライスにパックするには、この入力に共通の信号を接続する必要があります。

デザインの入力方法

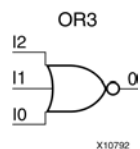
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR3

プリミティブ : 3-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

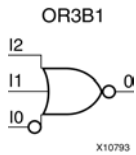
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR3B1

プリミティブ : 3-Input OR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

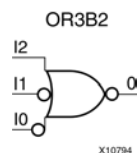
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR3B2

プリミティブ : 3-Input OR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

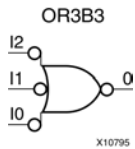
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR3B3

プリミティブ : 3-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

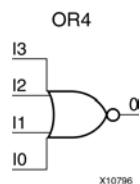
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR4

プリミティブ : 4-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

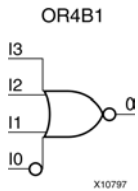
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR4B1

プリミティブ : 4-Input OR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

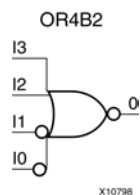
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR4B2

プリミティブ : 4-Input OR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

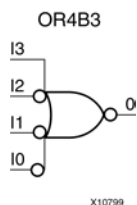
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR4B3

プリミティブ : 4-Input OR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

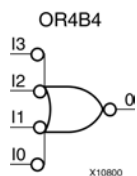
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR4B4

プリミティブ : 4-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

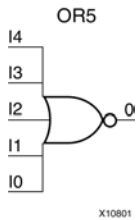
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR5

プリミティブ : 5-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

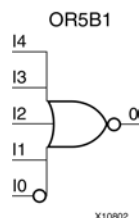
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR5B1

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

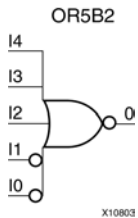
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR5B2

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

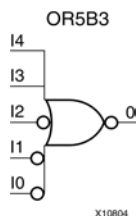
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR5B3

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

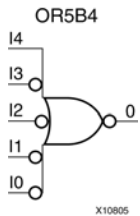
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR5B4

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

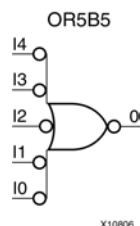
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR5B5

プリミティブ : 5-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

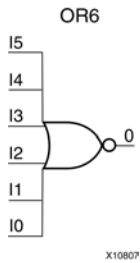
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR6

マクロ : 6-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

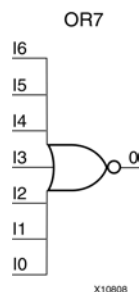
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR7

マクロ : 7-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

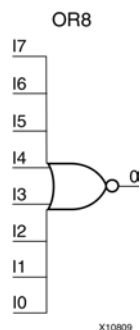
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR8

マクロ : 8-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

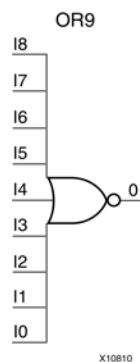
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OR9

マクロ : 9-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

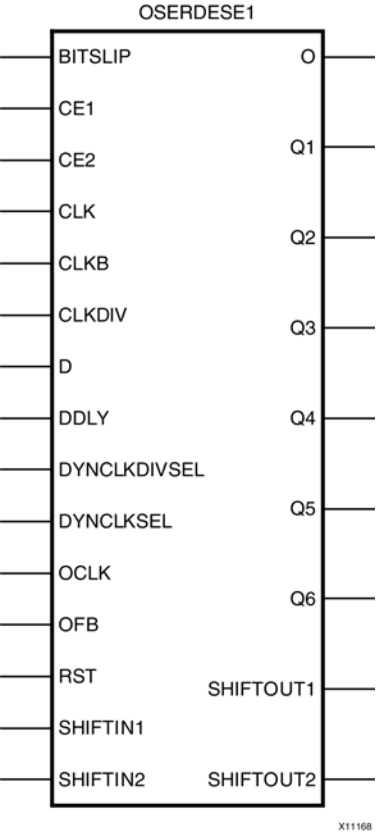
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

OSERDESE1

プリミティブ : Dedicated IOB Output Serializer



概要

このプリミティブを使用すると、ソース同期インターフェイスを簡単にインプリメントできます。このモジュールを使用すると、FPGA のロジックリソースを節約でき、タイミングが複雑になるのを防ぎます。また、さまざまアプリケーションに対応した複数のクロック入力があり、ザイリンクス FPGA の SelectIO™ 機能と共に使用できます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CLK	入力	1	高速クロック入力。パラレル/シリアル コンバータを駆動するのに使用します。CLK ポートは、次のいずれかのクロックリソースで駆動します。 <ul style="list-style-type: none">・ クロック領域内の 10 個のグローバル クロック ライン・ 4 個のリージョナル クロック ライン・ 4 個のクロック I/O (隣接したクロック領域内)・ FPGA (バイパスを介す)
CLKB	入力	1	高速クロック入力

ポート名	タイプ	幅	機能
CLKDIV	入力	1	高速分周クロック入力。パラレル/シリアル コンバータを駆動するのに使用します。CLK ポートに接続されたクロックよりも低周波数に分周したクロックを入力する必要があります。CLKDIV のソースには、次のクロック リソースのいずれかを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クロック領域内の 10 個のグローバル クロック ライン ・ 4 個のリージョナル クロック ライン
CLKPERF	入力	1	MMCM からのパフォーマンス パスの入力
CLKPERFDELAY	入力	1	IODELAY からの BUFO の遅延バージョン
D1 ~ D6	入力	1	パラレル データ入力。OSERDES モジュールにパラレル データが入力されるポート。このポートは FPGA に接続され、2 ~ 6 ビットにコンフィギュレーションできます。データ幅拡張モードでは、10 ビットまで拡張できます。
IOCLKGLITCH	出力	1	高速クロックでグリッチが発生したことを示します。アクティブ High です。
OCBEXTEND	出力	1	DDR3 モードで使用し、CLK を CLKPERF または CLKPERFDELAY に一致させるために 出力巡回バッファ (OCB) がレイテンシを拡大したことを示します。
OCE	入力	1	パラレル/シリアル コンバータ (データ) クロック イネーブル。High の場合、データ パラレル/シリアル コンバータの出力がイネーブルになります。
ODV	入力	1	DDR3 に使用。ODELAY 値がクロック周期の 180 度を越える場合、1 に設定されます。
OFB	出力	1	データ出力のフィードバック パス
OQ	出力	1	データ パス出力。OSERDES モジュールのデータ出力です。このポートは、データ パラレル/シリアル コンバータの出力と IOB パッドのデータ入力を接続します。また、OSERDES モジュール内のすべてのサブモジュールをバイパスするようにコンフィギュレーションすることも可能です。
RST	入力	1	リセット
SHIFTIN1/ SHIFTIN2	入力	1	データ入力を拡張するためのキャリー入力です。スレーブの SHIFTOUT1、SHIFTOUT2 に接続します。
SHIFTOUT1/ SHIFTOUT2	出力	1	データ入力を拡張するためのキャリー出力です。マスタの SHIFTIN1、SHIFTIN2 に接続します。
TCE	入力	1	パラレル/シリアル コンバータ (トライステート) クロック イネーブル。High の場合、トライステート信号パラレル/シリアル コンバータの出力がイネーブルになります。
TFB	出力	1	トライステート制御出力。トライステート パラレル/シリアル コンバータの出力を IODELAY の制御/トライステート入力に接続します。
TQ	出力	1	トライステート パス出力。OSERDES モジュールのトライステート出力です。このポートは、トライステート パラレル/シリアル コンバータの出力と IOB パッドの制御入力を接続します。
T1 ~ T4	入力	1	パラレル トライステート入力。OSERDES モジュールにパラレル トライステート信号が入力されるポートです。このポートは FPGA に接続され、1 ~ 4 ビットにコンフィギュレーションできます。この機能は、データ幅拡張モードではサポートされません。
WC	入力	1	DDR3 に使用。FIFO カウンタをリセットし、IDELAY から ODELAY へと IODELAY を切り替えます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DATA_RATE_OQ	文字列	DDR、SDR	DDR	データを CLK の各エッジで変化させるか、各立ち上がりエッジで変化させるかを指定します。
DATA_RATE_TQ	文字列	DDR、BUF、SDR	DDR	トリステートを CLK の各エッジで変化させるか、各立ち上がりエッジで変化させるか、バッファのコンフィギュレーションで変化させるかを指定します。
DATA_WIDTH	整数	4、2、3、5、6、7、8、10	4	<ul style="list-style-type: none"> DATA_RATE_OQ = DDR の場合、値は 4、6、8、または 10 になります。 DATA_RATE_OQ = SDR の場合、値は 2、3、4、5、6、7、または 8 になります。
DDR3_DATA	整数	1、0	1	DDR3 では、I/O が DQ または DQS ピンの場合は 1 に、制御、アドレス、クロックなどの場合は 0 に設定されます。
INIT_OQ	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	OQ 出力の初期値を指定
INIT_TQ	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	TQ 出力の初期値を指定
INTERFACE_TYPE	文字列	DEFAULT、MEMORY_DDR3	DEFAULT	DDR3 回路をバイパスします。
ODELAY_USED	整数	0、1	0	書き込みまたは BUFO アライメントのために BUFO は IODELAY を駆動します。
SERDES_MODE	文字列	MASTER、SLAVE	MASTER	データ幅を拡張する場合に OSERDES モジュールがマスタかスレーブかを指定
SRVAL_OQ	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	リセットをアサートした場合の OQ 出力の値を指定
SRVAL_TQ	2 進数	1'b0 ~ 1'b1	1'b0	リセットをアサートした場合の TQ 出力の値を指定
TRISTATE_WIDTH	整数	4、1	4	DATA_RATE_TQ = DDR、DATA_WIDTH = 4、および DATA_RATE_OQ = DDR の場合、値は 1 または 4 に制限されます。DATA_RATE_TQ、DATA_WIDTH、および DATA_RATE_OQ がそれ以外の値に設定されている場合、値は 1 になります。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

PCIE_2_0

プリミティブ : PCI Express version 2.0 Compliant.



概要

このELEMENTは、RocketIO™ トランシーバ、ブロック RAM、さまざまなクロックリソースなど、FPGA のほかのリソースと併用します。エンドポイント、ルートポート、またはカスタム PCI EXPRESS® デザインを PCIe_2_0 を使用してインプリメントするには、必ず CORE Generator™ (ISE® Design Suite に含まれる) を使用して PCI EXPRESS デザイン用の LogiCORE™ IP コアを作成してください。LogiCORE は、PCIE_2_0 ソフトウェア プリミティブをインスタンス化し、インターフェイスを FPGA リソースに接続し、すべての属性を設定して、シンプルでユーザーにとって使いやすいインターフェイスを提供します。

デザインの入力方法

このELEMENTをインスタンス化するには、PCI EXPRESS コアまたはこのELEMENTを含む関連コアを使用します。このELEMENTは直接インスタンス化しないでください。

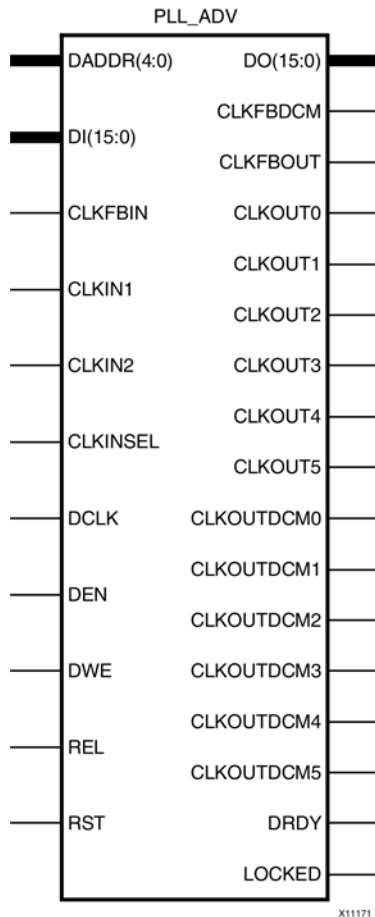
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-6 FPGA RocketIO GTP トランシーバ ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

PLL_ADV

プリミティブ : Advanced Phase Locked Loop Clock Circuit



概要

このデザイン エLEMENTは、FPGA 内部と外部回路の両方に対するクロック合成およびクロック管理機能を備えたエンベデッド位相ロック ループ クロック回路です。PLL 回路を使用すると、クロックの多重化、位相一致、位相シフト、逡倍、分周が可能になり、またデューティ サイクルやジッタ フィルタを変更できます。PLL は、DCM (デジタル クロック マネージャ) と共に、または DCM の代わりに使用でき、FPGA などの回路のクロック供給を制御します。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CLKFBDCM	出力	1	DCM を駆動する場合に調整に使用する PLL フィードバック
CLKFBIN	入力	1	クロック フィードバック入力。このポートの接続は、フィードバック モード属性設定と一致する必要があります。
CLKFBOUT	出力	1	クロック ネットワークの遅延調整方法を指定するために使用する専用 PLL フィードバック出力。ユーザー コンフィギュレーション可能なクロック出力で、1 (バイパス) から 128 までの VCO 位相出力 (ユーザー制御可能) の分割値であることが可能です。デザインにより、位相は入力クロックおよび出力クロックに相対しています。

ポート名	タイプ	幅	機能
CLKINSEL	入力	1	入力マルチプレクサのステートを制御するコア配線からの信号。 High = CLKIN1、Low = CLKIN2 です。
CLKIN1	入力	1	入力クロック
CLKIN2	入力	1	セカンダリ クロック入力で、リファレンス クロックを PLL にダイナミックに切り替えられるようにします。
CLKOUTDCM0	出力	1	ユーザー コンフィギュレーション可能なクロックで、PLL と同じ CMT 内で DCM のみに接続することができます。
CLKOUTDCM1 ~ CLKOUTDCM5	出力	1	ユーザー コンフィギュレーション可能なクロック出力で、1 (バイパス) から 128 までの VCO 位相出力 (ユーザー制御可能) の分割値であることが可能です。デザインにより、位相は入力クロックおよび出力クロックに相対しています。
CLKOUT0 ~ CLKOUT5	出力	1	ユーザー コンフィギュレーション可能なクロック出力で、1 (バイパス) から 128 までの VCO 位相出力 (ユーザー制御可能) の分割値であることが可能です。デザインにより、位相は入力クロックおよび出力クロックに相対しています。
DADDR[4:0]	入力	5	ダイナミック リコンフィギュレーションのアドレスを提供します。このバスを使用しない場合は、すべてのビットを 0 にする必要があります。
DCLK	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーション ポートのリファレンス クロック
DEN	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーション機能にアクセスするための制御信号を提供します。ダイナミック リコンフィギュレーションが使用されていない場合は、DEN が Low に接続されます。DEN が Low の場合 DO 出力がステータス信号を反映します。
DI[15:0]	入力	16	リコンフィギュレーション データを提供。このバスを使用しない場合は、すべてのビットを 0 にする必要があります。
DO[15:0]	出力	16	ダイナミック リコンフィギュレーションを使用する場合、PLL ステータスまたはデータ出力を提供します。DO バスが PLL ステータスを表すには、DEN および DWE がそれぞれ GND に接続されていて、DADDR バスおよび DI バスがすべてゼロである必要があります。
DRDY	出力	1	PLL ダイナミック リコンフィギュレーション用に DEN 信号への応答を提供します。
DWE	入力	1	DI データの DADDR アドレスへの書き込みを制御するライト イネーブル信号です。使用しない場合は、Low に接続する必要があります。
LOCKED	出力	1	PLL からの同期出力で、PLL の位相アライメントが定義されていたウィンドウ内で行われ、定義されていた PPM 範囲内の周波数で達成されたことを示します。
REL	入力	1	未使用
RST	入力	1	リセット

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
BANDWIDTH	文字列	OPTIMIZED、HIGH、LOW	OPTIMIZED	PLL バンド幅制御。PLL バンド幅を設定します。 ・ HIGH に設定すると、良好な PLL パフォーマンスを維持しながら PLL プログラミング アルゴリズムが最も高い設定で実行されます (低ジッタ、低ジッタ ピーク、最大位相マージンなど)。 ・ LOW に設定すると、良好な PLL パフォーマンスを維持しながら PLL プログラミング アルゴリズムが最も低い設定で実行されます。
CLKFBOUT_DESKEW_ADJUST	文字列	NONE、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31	NONE	該当ユーザー ガイドを参照。
CLKFBOUT_MULT	整数	1 ~ 64	1	カウンタ乗算値。常に 50% デューティ サイクルにコンフィギュレーションされています。
CLKFBOUT_PHASE	1 上位ビット 浮動 小数点	0.0 ~ 360.0	0.0	出力クロックに相対したカウンタ出力位相
CLK_FEEDBACK	文字列	CLKFBOUT、CLKOUT0	CLKFBOUT	CLKFB_IN を駆動するクロック ソース。
CLKIN1_PERIOD ~ CLKIN2_PERIOD	文字列	0 ビット文字列	0	LOCK 検出回路をコンフィギュレーションし、VCO が有効範囲内で動作していることを確認するために必要なリファレンス クロック周波数です。値が指定されていない場合、エラー チェックが行われなことを知らせる警告が出されます。単位ナノ秒 (0.001ns と小数点第 3 桁まで)。

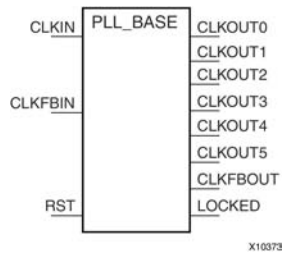
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CLKOUT0_DESKEW_ADJUST ~ CLKOUT5_DESKEW_ADJUST	文字列	NONE、 1、2、3、4、5、6、7、 8、9、10、11、12、13、 14、15、16、17、18、 19、20、21、22、23、 24、25、26、27、28、 29、30、31	NONE	後方互換性のために使用。Spartan®-6 では使用されていません。
CLKOUT0_DIVIDE ~ CLKOUT5_DIVIDE	整数	1 ~ 128	1	カウンタ除算値
CLKOUT0_DUTY_CYCLE ~ CLKOUT5_DUTY_CYCLE	2 上位 ビット 浮動 小数点	0.01 ~ 0.99	0.50	カウンタ出力デューティ サイクル
CLKOUT0_PHASE ~ CLKOUT5_PHASE	1 上位 ビット 浮動 小数点	0.0 ~ 360.0	0.0	出力クロックに相対したカウンタ出力位相
COMPENSATION	文字列	SYSTEM_ SYNCHRONOUS、 SOURCE_ SYNCHRONOUS	SYSTEM_ SYNCHRONOUS	入力クロックの PLL 位相調整を指定します。 ・ SYSTEM_SYNCHRONOUS は、ホールド タイム 0 ですべてのクロック遅延の調整を 試みます。 ・ SOURCE_SYNCHRONOUS は、クロックが データと共に供給されて位相が揃っている 場合に使用します。
DIVCLK_DIVIDE	整数	1 ~ 52	1	カウンタ除算値。常に 50% デューティ サイクルにコンフィギュレーションされています。
EN_REL	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	後方互換性のために使用。Spartan-6 では使用されていません。
PLL_PMCD_MODE	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	後方互換性のために使用。Spartan-6 では使用されていません。
REF_JITTER	3 上位 ビット 浮動 小数点	0.000 ~ 1.000	0.100	リファレンス クロック ジッタは、リファレンス クロックの割合で示した UI (ユニット インターバル) で指定します。この値は、入力クロックの最大ピークトゥピーク値にします。デフォルトは 0.1UI、または REF_CLK_FREQ、DIVCLK_DIVIDE、および REF_CLK_JITTER_MAX (PLL_SPEED_FILE.xls) の値に基づいた等価の UI。このパラメータは小数 3 桁までサポートします。
RESET_ON_LOSS_OF_LOCK	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	後方互換性のために使用。Spartan-6 では使用されていません。
RST_DEASSERT_CLK	文字列	CLKIN1、CLKFBIN	CLKIN1	後方互換性のために使用。Spartan-6 では使用されていません。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

PLL_BASE

プリミティブ : Basic Phase Locked Loop Clock Circuit



概要

このデザイン エLEMENTは、FPGA 内部と外部回路の両方に対するクロック合成およびクロック管理機能を備えたエンベデッド位相ロック ループ クロック回路で、PLL_ADV デザイン エLEMENTのサブセットです。PLL_BASE を使用すると、ほとんどの PLL クロック回路において統合が簡単になります。このコンポーネントには PLL で提供可能なすべての機能は備わっていませんが、入力クロックの位相をシフト、通倍、分周でき、またデューティ サイクルやジッタ フィルタを変更する機能があります。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
クロック出力/入力			
CLKOUT0 ~ 5	出力	1	位相が制御される 6 個の出力クロックの 1 つ
CLKFBOUT	出力	1	クロック ネットワークの遅延調整方法を指定するために使用する専用 PLL フィードバック出力。この出力の接続の有無は、調整方法によって異なります。
CLKIN	入力	1	PLL のクロック ソース入力。FPGA の専用クロックピン、DCM 出力クロックピン、または BUFG 出力ピンによって駆動されます。
CLKFBIN	入力	1	クロック フィードバック入力。CLKFBOUT ポートからのみ接続できます。
ステータス出力/制御入力			
LOCKED	出力	1	位相アライメントが完了し、操作が開始可能であることを示す同期出力
RST	入力	1	非同期リセット

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
COMPENSATION	文字列	SYSTEM_ SYNCHRONOUS、SOURCE_ SYNCHRONOUS	SYSTEM_ SYNCHRONOUS	入力クロックの PLL 位相調整を指定します。すべてのクロック遅延を調整する場合は SYSTEM_ SYNCHRONOUS を、クロックがデータと共に供給されて位相が揃っているときには SOURCE_ SYNCHRONOUS を使用します。
BANDWIDTH	文字列	HIGH、LOW、OPTIMIZED	OPTIMIZED	ジッタ、位相マージンなどの PLL 特性に影響する PLL プログラム アルゴリズムを指定
CLKOUT0_DIVIDE、CLKOUT1_DIVIDE、CLKOUT2_DIVIDE、CLKOUT3_DIVIDE、CLKOUT4_DIVIDE、CLKOUT5_DIVIDE	整数	1 ~ 128	1	別の周波数を使用する場合に、CLKOUT クロック出力を分周する値を指定します。この値と FBCLKOUT_MULT 値から出力周波数が決まります。
CLKOUT0_PHASE、CLKOUT1_PHASE、CLKOUT2_PHASE、CLKOUT3_PHASE、CLKOUT4_PHASE、CLKOUT5_PHASE	実数	0.01 ~ 360.0	0.0	CLKOUT クロック出力との位相オフセットを度数で指定します。90 は 90 度または 4 分の 1 サイクルの位相オフセット、180 は 180 度または 2 分の 1 サイクルの位相オフセットを示します。
CLKOUT0_DUTY_CYCLE、CLKOUT1_DUTY_CYCLE、CLKOUT2_DUTY_CYCLE、CLKOUT3_DUTY_CYCLE、CLKOUT4_DUTY_CYCLE、CLKOUT5_DUTY_CYCLE	実数	0.01 ~ 0.99	0.50	CLKOUT クロック出力のデューティサイクルをパーセントで指定します。0.50 の場合、デューティサイクルは 50% になります。
CLKFBOUT_MULT	整数	1 ~ 64	1	別の周波数を使用する場合に、すべての CLKOUT クロック出力を通倍する値を指定します。この値と CLKOUT#_DIVIDE 値から出力周波数が決まります。
DIVCLK_DIVIDE	整数	1 ~ 52	1	すべての出力クロックの分周比を指定
CLKFBOUT_PHASE	実数	0.0 ~ 360	0.0	クロック フィードバック出力の位相オフセットを度数で指定します。
REF_JITTER	実数	0.000 ~ 0.999	0.100	リファレンス クロック ジッタは、リファレンス クロックの割合で示した UI (ユニット インターバル) で指定します。この値は、入力クロックの最大ピーク トゥ ピーク値にします。
CLKIN_PERIOD	実数	1.000 ~ 52.630	0.000	PLL CLKIN 入力への入力周期を指定 (ns)

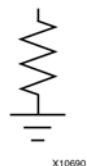
詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

PULLDOWN

プリミティブ : Resistor to GND for Input Pads, Open-Drain, and 3-State Outputs

PULLDOWN



概要

この抵抗エレメントは、入力、出力、双方向のパッドに接続し、フロートする可能性のあるノードのロジックレベルを Low にします。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	プルダウン出力 (最上位ポートに直接接続)

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

このエレメントは、最上位の回路図ファイルで次のネットに接続できます。

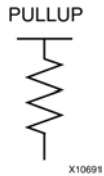
- ・ 入力 I/O マーカーに接続されたネット
- ・ 出力 I/O マーカーおよび OBUFT のようなトライステートにできる I/O エLEMENTの両方に接続されたネット

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

PULLUP

プリミティブ : Resistor to VCC for Input PADs, Open-Drain, and 3-State Outputs



概要

このデザイン エLEMENTは、1 つの入力、トリステート出力、または双方向ポートが内部または外部ソースで駆動されないときに、値、weak High で駆動できます。このELEMENTは、すべてのドライバが使用されていないときにオープンドレイン ELEMENTおよびマクロのロジック レベルを 1 (High) にします。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	プルアップ出力 (最上位ポートに直接接続)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは、最上位の回路図ファイルで次のネットに接続できます。

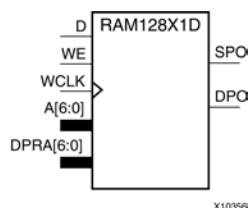
- ・ 入力 I/O マーカーに接続されたネット
- ・ 出力 I/O マーカーおよび OBUFT のようなトリステートにできる I/O ELEMENTの両方に接続されたネット

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM128X1D

プリミティブ : 128-Deep by 1-Wide Dual Port Random Access Memory (Select RAM)



概要

このデザイン エLEMENTは 128 ワード X 1 ビットの RAM で読み出し/書き込みポートがあり、ライト イネーブル (WE) が High のときにアドレス バス A で指定されたロケーションに D 入力データピンの値が書き込まれます。この書き込みは WCLK の立ち上がりエッジの直後に実行され、同じ値が SPO に出力されます。WE が Low のときは非同期読み出しが実行され、アドレス バス A で指定されたメモリ ロケーションの値が SPO に非同期で出力されます。アドレス バス DPRA の値を変更することにより、読み出しポートでは非同期読み出しを実行できます。DPO にその値が出力されます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
SPO	出力	1	アドレス バス A で指定された読み出し/書き込みポートのデータ出力
DPO	出力	1	アドレス バス DPRA で指定された読み出しポートのデータ出力
D	入力	1	アドレス バス A で指定された書き込みデータ入力
A	入力	7	読み出し/書き込みポートのアドレス バス
DPRA	入力	7	読み出しポートのアドレス バス
WE	入力	1	ライト イネーブル
WCLK	入力	1	ライト クロック (読み出しは非同期)

インスタンス化する場合、このコンポーネントを次のように接続します。

- ・ WCLK 入力をクロックソースに、D 入力を格納するデータソースに、DPO 出力を FDCE の D 入力などの適切なデスティネーションに接続します。
- ・ オプションで、SPO 出力を適切なデスティネーションに接続するか、または未接続にすることもできます。
- ・ クロック イネーブル ピン (WE) は、適切なライト イネーブル ソースに接続します。
- ・ 7 ビット バス A は読み出し/書き込みアドレスに、7 ビット バス DPRA は読み出しアドレスに接続する必要があります。
- ・ 128 ビットの 16 進数で構成される INIT 属性で、RAM の初期値を指定できます。

指定しない場合は、初期値はすべてゼロになります。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

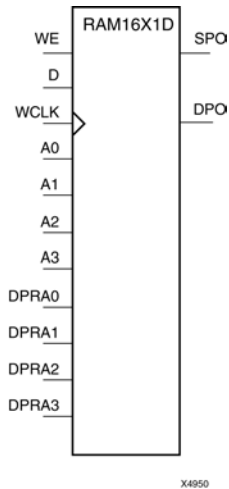
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	128 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM16X1D

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 1 ビットのデュアル ポート SRAM で、同期書き込み機能を備えています。デバイスには、読み出しアドレス (DPRA3 ~ DPRA0) と書き込みアドレス (A3 ~ A0) の 2 種類のアドレスポートがあります。この 2 種類のアドレスポートは非同期です。読み出しアドレスによって出力ピン (DPO) に出力される値が指定され、書き込みアドレスによって書き込みを行う位置が指定されます。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。

WE が High の場合、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 4 ビットの書き込みアドレスで選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

SPO 出力には、A3 ~ A0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。DPO 出力には、DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。

メモ : 書き込み処理は、読み出しアドレスポートのアドレスには影響されません。

INIT 属性を使用すると、RAM を直接初期化できます。値は、INIT=ABAC のように、16 進数で指定してください。INIT 属性を指定しない場合は、RAM は 0 に初期化されます。

論理表

モード選択を次の論理表に示します。

入力			出力	
WE (モード)	WCLK	D	SPO	DPO
0 (読み出し)	X	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	0	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	1	X	data_a	data_d
1 (書き込み)	↑	D	D	data_d
1 (読み出し)	↓	X	data_a	data_d
data_a = A3 ~ A0 で指定されたワード				
data_d = DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたワード				

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

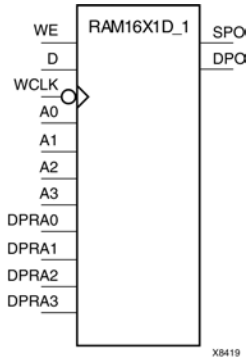
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM16X1D_1

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このエレメントは、クロックのネガティブ エッジで動作する 16 ワード X 1 ビットのデュアル ポート SRAM で、同期書き込み機能を備えています。デバイスには、読み出しアドレス (DPRA3 ~ DPRA0) と書き込みアドレス (A3 ~ A0) の独立した 2 種類のアドレス ポートがあります。この 2 種類のアドレス ポートは非同期です。読み出しアドレスによって出力ピン (DPO) に出力される値が指定され、書き込みアドレスによって書き込みを行う位置が指定されます。

ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High の場合、WCLK が High から Low に切り替わるときに、4 ビットの書き込みアドレスで選択されているワードにデータ入力 (D) の値がロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM16X1D_1 を初期化できます。

SPO 出力には、A3 ~ A0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。DPO 出力には、DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。

メモ : 書き込み処理は、読み出しアドレス ポートのアドレスには影響されません。

論理表

モード選択を次の論理表に示します。

入力			出力	
WE (モード)	WCLK	D	SPO	DPO
0 (読み出し)	X	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	0	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	1	X	data_a	data_d
1 (書き込み)	↓	D	D	data_d
1 (読み出し)	↑	X	data_a	data_d
data_a = A3 ~ A0 で指定されたワード				
data_d = DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたワード				

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
DPO	出力	1	読み出し専用 1 ビット データ出力
SPO	出力	1	読み出し/書き込み 1 ビット データ出力
A0	入力	1	読み出し/書き込み address[0] 入力
A1	入力	1	読み出し/書き込み address[1] 入力
A2	入力	1	読み出し/書き込み address[2] 入力
A3	入力	1	読み出し/書き込み address[3] 入力
D	入力	1	書き込み 1 ビット データ入力
DPRA0	入力	1	読み出し専用 address[0] 入力
DPRA1	入力	1	読み出し専用 address[1] 入力
DPRA2	入力	1	読み出し専用 address[2] 入力
DPRA3	入力	1	読み出し専用 address[3] 入力
WCLK	入力	1	書き込みクロック入力
WE	入力	1	書き込みイネーブル入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

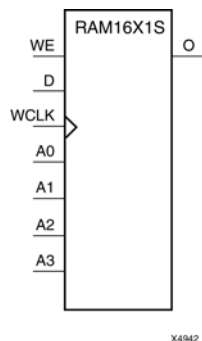
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM16X1S

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わる時に、データ入力 (D) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM16X1S を初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D	D
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

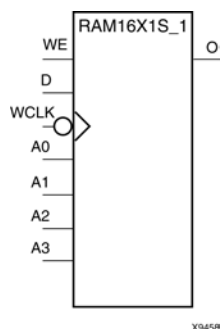
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM16X1S_1

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このエレメントはクロックの立ち下がりエッジで動作する 16 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High の場合、WCLK が High から Low に切り替わる時に、データ入力 (D) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ Low ですが、インバータを使用してアクティブ High にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中にこのエレメントを初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

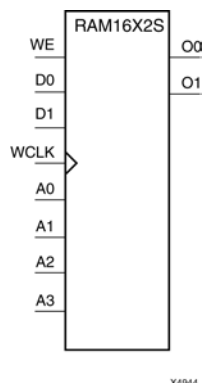
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM16X2S

プリミティブ : 16-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 2 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High の場合、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D1 ~ D0) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O1 ~ O0) に出力される値は、アドレスピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT_xx 属性を使用すると、の RAM の初期値を指定できます。INIT_00 は出力 (O0) に対応する RAM のセルを初期化し、INIT_01 は出力 (O1) に対応するセルを初期化します。たとえば、RAM16X2S インスタンスは、INIT_00 および INIT_01 にそれぞれ 4 つの 16 進数値を指定して初期化します。RAM16X8S インスタンスは、INIT_00 ~ INIT_07 の 8 個の属性にそれぞれ 4 個の 16 進数値を指定して初期化します。RAM64X2S インスタンスは、INIT_00 および INIT_01 にそれぞれ 16 個の 16 進数値を指定して初期化します。

Virtex-4 デバイス以外では、このエレメントの初期値を直接指定することはできません。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D1 ~ D0	O1 ~ O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D1 ~ D0	D1 ~ D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

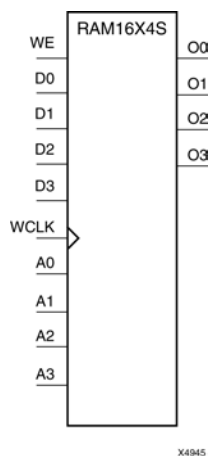
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00 ~ INIT_01	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM16X4S

プリミティブ : 16-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 4 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D3 ~ D0) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O3 ~ O0) に出力される値は、アドレスピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D3:D0	O3:O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D3:D0	D3:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

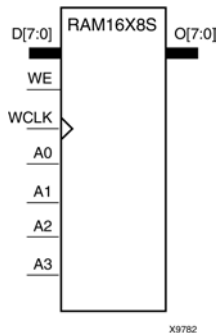
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00 ~ INIT_03	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM16X8S

プリミティブ : 16-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 8 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D7 ~ D0) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O7 ~ O0) に出力される値は、アドレスピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D7:D0	O7:O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D7:D0	D7:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

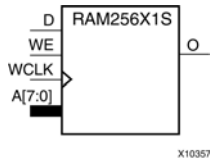
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00 ~ INIT_07	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM256X1S

プリミティブ : 256-Deep by 1-Wide Random Access Memory (Select RAM)



概要

このデザイン エLEMENTは、256 ワード X 1 ビットの RAM で、同期書き込みと非同期読み出し機能を備えています。この RAM は、デバイスの LUT (Select RAM と呼ばれる) を使用してインプリメントされるため、ブロック RAM リソースを使用しません。同期読み出しを行う場合は、出力にレジスタを付けて同じスライスに配置できます。ただし、この場合は RAM とレジスタで同じクロックを使用する必要があります。RAM256X1S には、アクティブ High のライト イネーブル (WE) があり、この信号が High になると、WCLK ピンの立ち上がりエッジで D 入力データピンの値がメモリ アレイに書き込まれます。出力 O は、WE の値にかかわらず、アドレス バス A で指定されたメモリ ロケーションの値を出力します。書き込みが実行されると、出力の値が更新されます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	アドレス バス A で指定された読み出し/書き込みポートのデータ出力
D	入力	1	アドレス バス A で指定された書き込みデータ入力
A	入力	8	読み出し/書き込みポートのアドレス バス
WE	入力	1	ライト イネーブル
WCLK	入力	1	ライト クロック (読み出しは非同期)

デザインの入力方法

インスタンス化する場合、このコンポーネントを次のように接続します。

- WCLK 入力をクロック ソースに、D 入力を格納するデータ ソースに、O 出力を FDCE の D 入力などの適切なデスティネーションに接続します。
- クロック イネーブル ピン (WE) は、適切なライト イネーブル ソースに接続します。
- 8 ビット バス A は、読み出し/書き込みのソースに接続します。
- 256 ビットの 16 進数で構成される INIT 属性で、RAM の初期値を指定できます。

指定しない場合は、初期値はすべてゼロになります。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM32M

プリミティブ : 32-Deep by 8-bit Wide Multi Port Random Access Memory (Select RAM)



概要

このデザイン エLEMENTは、32 ワード X 8 ビットのマルチポート RAM で、同期書き込みと非同期読み出し機能を備えています。この RAM は、デバイスの LUT (SelectRAM™) を使用してインプリメントされるため、デバイスのブロック RAM リソースを使用しません。RAM32M は、1 つのスライスにインプリメントされます。含まれるのは、8 ビット書き込み、2 ビット読み出しのポート 1 つと、同じメモリからの 2 ビットの読み出しポートが 3 つです。これにより、バイト幅の書き込みと独立した 2 ビットの読み出しが可能な RAM ができます。DIA、DIB、DIC、および DID 入力が入力がすべて同じデータ入力に接続されると、この RAM は読み出し/書き込みポート 1 つ、独立した読み出しポート 3 つの 32x2 クワッドポートメモリになります。DID がグランドに接続される場合、DOD は使用されません。ADDRA、ADDRb、ADDRC が同じアドレスに接続されると、この RAM は 32x6 の単純なデュアルポート RAM になります。ADDRd が ADDRA、ADDRb、ADDRC に接続されると、32x8 のシングルポート RAM になります。この RAM には、ほかにも可能なコンフィギュレーションがあります。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
DOA	出力	2	アドレス バス ADDR _A で指定された読み出しポートのデータ出力
DOB	出力	2	アドレス バス ADDR _B で指定された読み出しポートのデータ出力
DOC	出力	2	アドレス バス ADDR _C で指定された読み出しポートのデータ出力
DOD	出力	2	アドレス バス ADDR _D で指定された読み出し/書き込みポートのデータ出力
DIA	入力	2	ADDR _D で指定された書き込みデータ入力 (読み出し出力は ADDR _A で指定)
DIB	入力	2	ADDR _D で指定された書き込みデータ入力 (読み出し出力は ADDR _B で指定)
DIC	入力	2	ADDR _D で指定された書き込みデータ入力 (読み出し出力は ADDR _C で指定)
DID	入力	2	アドレス バス ADDR _D で指定された書き込みデータ入力
ADDR _A	入力	5	読み出しアドレス バス A
ADDR _B	入力	5	読み出しアドレス バス B
ADDR _C	入力	5	読み出しアドレス バス C
ADDR _D	入力	5	8 ビットのデータ書き込みポート、2 ビットのデータ読み出しポートのアドレス バス D
WE	入力	1	ライト イネーブル
WCLK	入力	1	ライト クロック (読み出しは非同期)

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

このエレメントは、同期書き込みと非同期読み出し機能を備えた RAM を記述することにより、合成ツールで推論できるようになることがあります。RAM の推論およびコード例の詳細は、合成ツールのマニュアルを参照してください。RAM32M のインスタンス化は、RAM ファンクションを暗示的に指定する必要がある場合、コンポーネントを手動でまたは相対的に配置する必要がある場合に実行することをお勧めします。同期読み出しを行う場合は、RAM32M の出力を FDRSE に接続してファンクションの出力タイミングを向上させることも可能ですが、通常の RAM の操作では不要です。

インバータをこのコンポーネントのクロック入力に追加すると、クロックの立ち下がりエッジでデータを入力できます。このインバータはブロック内に組み込まれ、クロックの立ち下がりエッジで RAM への書き込みを実行できます。

インスタンス化する場合、このコンポーネントは、次のように接続します。WCLK 入力をクロックソースに、DIA、DIB、DIC、DID 入力を格納するデータソースに、DOA、DOB、DOC、DOD 出力を FDCE の D 入力などの適切なデスティネーションに接続するか、使用しない場合は未接続のままにします。クロック イネーブル ピン (WE) は、適切なライト イネーブル ソースに接続します。5 ビット バス ADDR_D は読み出し/書き込みアドレスに、5 ビット バス ADDR_A、ADDR_B、ADDR_C は読み出しアドレスに接続する必要があります。オプションで INIT_A、INIT_B、INIT_C、INIT_D 属性を使用すると、各ポートの初期メモリ内容を 64 ビット (16 進数) で指定できます。RAM の INIT 値は、ADDR_y[z] = INIT_y[2*z+1:2*z] で計算されます。たとえば、RAM の ADDR_C ポートが 00001 の場合、INIT_C[3:2] 値がそのアドレスで最初の書き込みが行われる前の DOC ポートの初期値になります。指定しない場合は、初期値はすべてゼロになります。

使用可能な属性

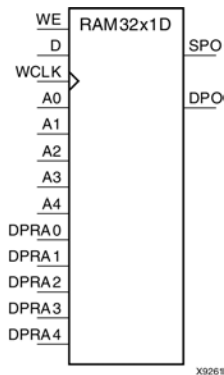
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_A	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	A ポートの RAM の初期値を指定
INIT_B	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	B ポートの RAM の初期値を指定
INIT_C	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	C ポートの RAM の初期値を指定
INIT_D	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	D ポートの RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM32X1D

プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM



概要

このデザイン エレメントは 32 ワード X 1 ビットのデュアル ポート SRAM で、同期書き込み機能を備えています。デバイスには、読み出しアドレス (DPRA4 ~ DPRA0) と書き込みアドレス (A4 ~ A0) の独立した 2 種類のアドレス ポートがあります。この 2 種類のアドレス ポートは完全に非同期です。読み出しアドレスによって出力ピン (DPO) に出力される値が指定され、書き込みアドレスによって書き込みを行う位置が指定されます。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High の場合、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 5 ビットの書き込みアドレスで選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM32X1D を初期化できます。モード選択を次の論理表に示します。

SPO 出力には、A4 ~ A0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。DPO 出力には、DPRA4 ~ DPRA0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。書き込み処理は、読み出しアドレス ポートのアドレスには影響されません。

論理表

入力			出力	
WE (モード)	WCLK	D	SPO	DPO
0 (読み出し)	X	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	0	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	1	X	data_a	data_d
1 (書き込み)	↑	D	D	data_d
1 (読み出し)	↓	X	data_a	data_d

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

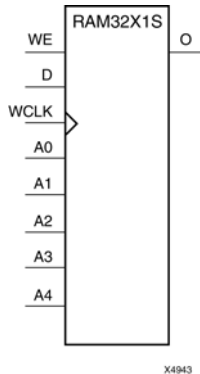
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM32X1S

プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM32X1S を初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

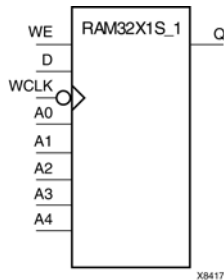
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM32X1S_1

プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が High から Low に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ Low ですが、インバータを使用してアクティブ High にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM32X1S_1 を初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

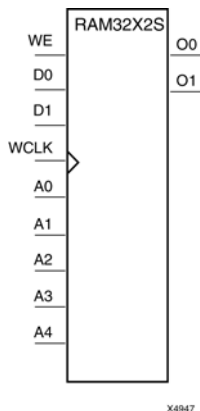
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	0	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM32X2S

プリミティブ : 32-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 2 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D1 ~ D0) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。出力ピン (O1 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT_00 および INIT_01 属性を使用して RAM32X2S の初期値を指定できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O0-O1
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D1:D0	D1:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

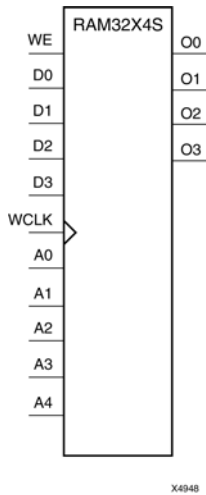
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_01	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM32X4S

プリミティブ : 32-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 4 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D3 ~ D0) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O3 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE	WCLK	D3 - D0	O3 - O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D3:D0	D3:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

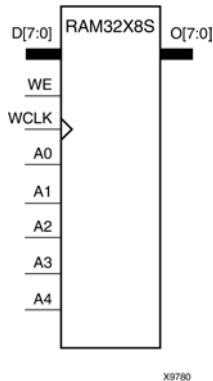
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_01	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_02	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_03	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM32X8S

プリミティブ : 32-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 8 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D7 ~ D0) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O7 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D7:D0	O7:O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D7:D0	D7:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

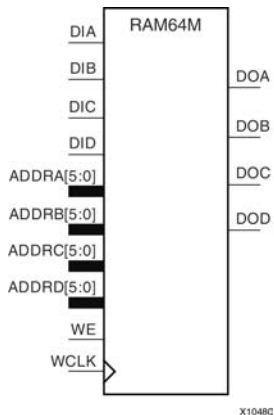
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_01	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_02	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_03	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_04	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_05	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_06	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_07	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM64M

プリミティブ : 64-Deep by 4-bit Wide Multi Port Random Access Memory (Select RAM)



概要

このデザイン エLEMENTは、64 ワード X 4 ビットのマルチポート RAM で、同期書き込みと非同期読み出し機能を備えています。この RAM は、デバイスの LUT (SelectRAM™ と呼ばれる) を使用してインプリメントされるため、ブロック RAM リソースを使用しません。RAM64M は、1 つのスライスにインプリメントされます。含まれるのは、4 ビット書き込み、1 ビット読み出しのポート 1 つと、同じメモリからの 1 ビットの読み出しポートが 3 つです。DIA、DIB、DIC、および DID 入力すべてが同じデータ入力に接続されると、この RAM は読み出し/書き込みポート 1 つ、独立した読み出しポート 3 つの 64x1 クワッド ポート メモリにできます。DID がグランドに接続される場合、DOD は使用されません。ADDRA、ADDRb、ADDRC が同じアドレスに接続されると、この RAM は 64x3 の単純なデュアル ポート RAM になります。ADDRd が ADDRA、ADDRb、ADDRC に接続されると、64x4 のシングル ポート RAM になります。この RAM には、ほかにも可能なコンフィギュレーションがあります。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
DOA	出力	1	アドレス バス ADDRA で指定された読み出しポートのデータ出力
DOB	出力	1	アドレス バス ADDRb で指定された読み出しポートのデータ出力
DOC	出力	1	アドレス バス ADDRC で指定された読み出しポートのデータ出力
DOD	出力	1	アドレス バス ADDRd で指定された読み出し/書き込みポートのデータ出力
DIA	入力	1	ADDRd で指定された書き込みデータ入力 (読み出し出力は ADDRA で指定)
DIB	入力	1	ADDRd で指定された書き込みデータ入力 (読み出し出力は ADDRb で指定)
DIC	入力	1	ADDRd で指定された書き込みデータ入力 (読み出し出力は ADDRC で指定)
DID	入力	1	アドレス バス ADDRd で指定された書き込みデータ入力
ADDRA	入力	6	読み出しアドレス バス A
ADDRb	入力	6	読み出しアドレス バス B
ADDRC	入力	6	読み出しアドレス バス C
ADDRd	入力	6	4 ビットのデータ書き込みポート、1 ビットのデータ読み出しポートのアドレス バス D
WE	入力	1	ライト イネーブル
WCLK	入力	1	ライト クロック (読み出しは非同期)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは、同期書き込みと非同期読み出し機能を備えた RAM を記述することにより、合成ツールで推論できるようになることがあります。RAM の推論およびコード例の詳細は、合成ツールのマニュアルを参照してください。RAM64M のインスタンス化は、RAM ファンクションを暗示的に指定する必要がある場合、コンポーネントを手動でまたは相対的に配置する必要がある場合に実行することをお勧めします。同期読み出しを行う場合は、RAM64M の出力を FDRSE に接続してファンクションの出力タイミングを向上させることも可能ですが、通常の RAM の操作では不要です。インバータをこのコンポーネントのクロック入力に追加すると、クロックの立ち下がりエッジでデータを入力できます。このインバータはブロック内に組み込まれ、クロックの立ち下がりエッジで RAM への書き込みを実行できます。

インスタンス化する場合、このコンポーネントは、次のように接続します。WCLK 入力をクロックソースに、DIA、DIB、DIC、DID 入力を格納するデータソースに、DOA、DOB、DOC、DOD 出力を FDCE の D 入力などの適切なデスティネーションに接続するか、使用しない場合は未接続のままにします。クロックイネーブルピン (WE) は、適切なライトイネーブルソースに接続します。5 ビットバス ADDR0 は読み出し/書き込みアドレスに、5 ビットバス ADDR1、ADDR2、ADDR3 は読み出しアドレスに接続する必要があります。オプションで INIT_A、INIT_B、INIT_C、INIT_D 属性を使用すると、各ポートの初期メモリ内容を 64 ビット (16 進数) で指定できます。RAM の INIT 値は、ADDR_y[z] = INIT_y[z] で計算されます。

たとえば、RAM の ADDR3 ポートが 00001 の場合、INIT_C[1] 値がそのアドレスで最初の書き込みが行われる前の DOC ポートの初期値になります。指定しない場合は、初期値はすべてゼロになります。

使用可能な属性

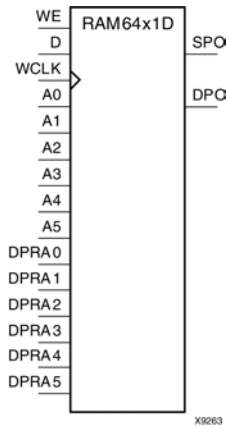
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_A	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	A ポートの RAM の初期値を指定
INIT_B	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	B ポートの RAM の初期値を指定
INIT_C	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	C ポートの RAM の初期値を指定
INIT_D	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	D ポートの RAM の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM64X1D

プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Dual Port Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 1 ビットのデュアル ポート SRAM で、同期書き込み機能を備えています。デバイスには、読み出しアドレス (DPRA5 ~ DPRA0) と書き込みアドレス (A5 ~ A0) の独立した 2 種類のアドレス ポートがあります。この 2 種類のアドレス ポートは完全に非同期です。読み出しアドレスによって出力ピン (DPO) に出力される値が指定され、書き込みアドレスによって書き込みを行う位置が指定されます。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。

WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 6 ビットの書き込みアドレス (A0 ~ A5) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

SPO 出力には、A5 ~ A0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。DPO 出力には、DPRA5 ~ DPRA0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。

メモ : 書き込み処理は、読み出しアドレス ポートのアドレスには影響されません。

論理表

入力			出力	
WE (モード)	WCLK	D	SPO	DPO
0 (読み出し)	X	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	0	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	1	X	data_a	data_d
1 (書き込み)	↑	D	D	data_d
1 (読み出し)	↓	X	data_a	data_d
data_a = A5 ~ A0 で指定されたワード				
data_d = DPRA5 ~ DPRA0 で指定されたワード				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

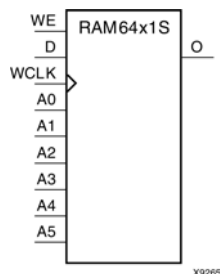
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM64X1S

プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中にこのELEMENTを初期化できます。

論理表

モード選択を次の論理表に示します。

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D	D
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A5 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

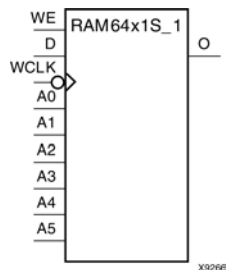
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM64X1S_1

プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が High から Low に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ Low ですが、インバータを使用してアクティブ High にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中にこのELEMENTを初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ
データ = A5 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

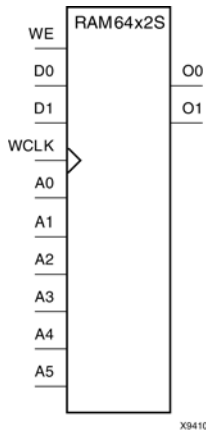
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAM64X2S

プリミティブ : 64-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エレメントは 64 ワード X 2 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D1 ~ D0) の値が 6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O1 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT_00 および INIT_01 属性を使用してこのデザイン エレメントの初期値を指定できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D0 : D1	O0 : O1
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D1 : D0	D1 : D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A5 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

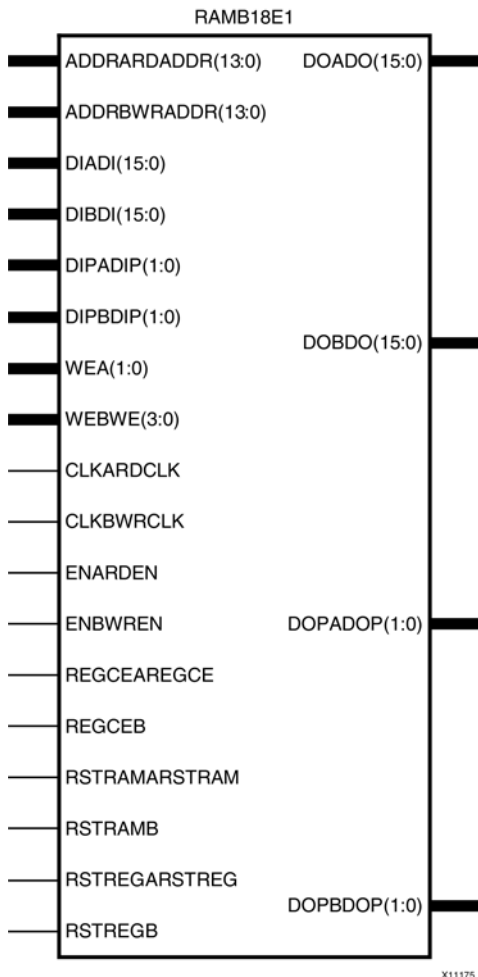
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定
INIT_01	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAMB18E1

プリミティブ : 18K-bit Configurable Synchronous Block RAM



概要

Virtex®-6 デバイスにはブロック RAM が数個含まれ、FIFO、自動エラー訂正 RAM、または汎用 RAM/ROM (36 kb または 18 kb) としてコンフィギュレーションできます。これらのブロック RAM には、大量のオンチップ データを高速かつ柔軟に格納できます。またこのデザイン エLEMENTを使用すると、18kb の FIFO のブロック RAM へアクセスできます。このELEMENTは、1 ビット X 16K ワード ~ 18 ビット X 1029 ワードの完全なデュアル ポート RAM としてコンフィギュレーションできます。また 36 ビット X 512 ワードの単純デュアル ポート RAM にコンフィギュレーションすることもできます。コンポーネントに供給されるクロックに完全に同期して、読み出しと書き込みが同時に実行されます。ただし、READ と WRITE は互いに独立しており、同じメモリ アレイにアクセスする間は非同期になります。広いデータ幅でコンフィギュレーションすると、バイト イネーブルの書き込みが可能になり、オプションの出力レジスタを使用して RAM の clock-to-out タイムを短縮できます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
ADDRARDADDR[13:0]	入力	14	ポート A アドレス入力バス/読み出しアドレス入力バス
ADDRBWRADDR[13:0]	入力	14	ポート B アドレス入力バス/書き込みアドレス入力バス

ポート名	タイプ	幅	機能
CLKARDCLK	入力	1	ポート A クロック入力/読み出しクロック入力
CLKBWRCLK	入力	1	ポート B クロック入力/書き込みクロック入力
DIADI[15:0]	入力	16	ポート A データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIADI の論理値は DI[15:0] です。
DIBDI[15:0]	入力	16	ポート B データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIBDI の論理値は DI[31:16] です。
DIPADIP[1:0]	入力	2	ポート A パリティ データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータパリティ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIPADIP の論理値は DIP[1:0] です。
DIPBDIP[1:0]	入力	2	ポート B パリティ データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータパリティ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIPBDIP の論理値は DIP[3:2] です。
DOADO[15:0]	出力	16	ポート A データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるデータ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOADO の論理値は DO[15:0] です。
DOBDO[15:0]	出力	16	ポート B データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるデータ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOBDO の論理値は DO[31:16] です。
DOPADOP[1:0]	出力	2	ポート A パリティ データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるパリティ データ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOPADOP の論理値は DOP[1:0] です。
DOPBDOP[1:0]	出力	2	ポート B パリティ データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるパリティ データ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOPBDOP の論理値は DOP[3:2] です。
ENARDEN	入力	1	ポート A RAM イネーブル/リード イネーブル
ENBWREN	入力	1	ポート B RAM イネーブル/ライト イネーブル
REGCEAREGCE	入力	1	ポート A 出力レジスタ クロック イネーブル入力/出力レジスタ クロック イネーブル入力 (DO_REG=1 の場合のみ有効)
REGCEB	入力	1	ポート B 出力レジスタ クロック イネーブル (DO_REG=1 および RAM_MODE=TDP の場合のみ有効)
RSTRAMARSTRAM	入力	1	SRVAL_A で示される値に同期データ ラッチ セット/リセット。RSTRAMARSTRAM は、DO_REG=0 または 1 のとき BRAM データ出力ラッチをセット/リセットします。DO_REG=1 の場合は、RSTRAMARSTRAM でリセットされる内部データ ラッチ ノードと BRAM の DO 出力の間に 1 サイクルのレイテンシがあります。この信号は、RAM_MODE=TDP の場合はポート A の RSTRAMA、RAM_MODE=SDP の場合は RSTRAM です。
RSTRAMB	入力	1	SRVAL_B で示される値に同期データ ラッチ セット/リセット。RSTRAMB は、DO_REG=0 または 1 のとき BRAM データ出力ラッチをセット/リセットします。DO_REG=1 の場合は、RSTRAMB でリセットされる内部データ ラッチ ノードと BRAM の DO 出力の間に 1 サイクルのレイテンシがあります。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
RSTREGARSTREG	入力	1	SRVAL_A で示される値に同期出力レジスタ セット/リセット。RSTREGARSTREG は、DO_REG=1 のとき出力レジスタをセット/リセットします。RSTREG_PRIORITY_A は、この信号の優先度が REGCEAREGCE よりも高いかどうかを決定します。この信号は、RAM_MODE=TDP の場合はポート A の RSTREGA、RAM_MODE=SDP の場合は RSTREG です。

ポート名	タイプ	幅	機能
RSTREGB	入力	1	SRVAL_B で示される値に同期出力レジスタ セット/リセット。 RSTREGB は、DO_REG=1 のとき出力レジスタをセット/リセットします。 RSTREG_PRIORITY_B は、この信号の優先度が REGCEB よりも高いかどうかを決定します。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
WEA[1:0]	入力	2	ポート A のバイト幅ライト イネーブル。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。異なるポート幅の WEA マッピングについてはユーザー ガイドを参照してください。
WEBWE[3:0]	入力	4	ポート B のバイト幅ライト イネーブル/ライト イネーブル。異なるポート幅の WEBWE マッピングについてはユーザー ガイドを参照してください。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DOA_REG	整数	0、1	0	値を 1 にすると、RAM の出力レジスタがイネーブルになり、RAM からの clock-to-out タイムが短縮されます。ただし、読み出しレイテンシのクロックサイクルは増加します。値を 0 にすると、1 クロック サイクルで読み出しが可能ですが、clock-to-out タイムが長くなります。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 18 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
DOB_REG	整数	0、1	0	値を 1 にすると、RAM の出力レジスタがイネーブルになり、RAM からの clock-to-out タイムが短縮されます。ただし、読み出しレイテンシのクロックサイクルは増加します。値を 0 にすると、1 クロック サイクルで読み出しが可能ですが、clock-to-out タイムが長くなります。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。
INIT_A	16 進数	18 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のポート A の出力の初期値を指定します。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 18 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
INIT_B	16 進数	18 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のポート B の出力の初期値を指定します。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。
INIT_FILE	文字列	0 ビット文字列	None	初期 RAM の内容を指定するファイル名

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INITIALDATA	16 進数	256'h00000000 000000000000 000000000000 000000000000 000000000000 0000 ~ 256'h00000000 000000000000 000000000000 0000000001.157 92089237316e+77	すべてゼロ	16kb のデータ メモリ アレイの初期値を指定
INITIALPARITY	16 進数	256'h00000000 000000000000 000000000000 000000000000 000000000000 000 ~ 256'h00000000 000000000000 000000000000 0000000001.157 92089237316e+77	すべてゼロ	2kb のパリティ メモリ アレイの初期値を指定
RAM_MODE	文字列	TDP、SDP	TDP	シンプル デュアル ポート (SDP) または真のデュアル ポート (TDP) を選択します。
READ_WIDTH_A	整数	0、1、2、4、9、18、36、72	0	ポート A の読み出しのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポート A を使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のポート幅に設定してください。SDP の場合は、パリティビットを含む読み出し幅です。
READ_WIDTH_B	整数	0、1、2、4、9、18	0	ポート B の読み出しのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポート B を使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のポート幅に設定してください。SDP では使用されません。
RSTREG_PRIORITY_A	文字列	RSTREG、REGCE	RSTREG	RSTREG または REGCE のレジスタ優先順位を選択します。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 18 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
RSTREG_PRIORITY_B	文字列	RSTREG、REGCE	RSTREG	RSTREG または REGCE のレジスタ優先順位を選択します。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
SIM_COLLISION_CHECK	文字列	ALL、 WARNING_ONLY、 GENERATE_X_ONLY、 NONE	ALL	<p>メモリの競合が発生した場合にシミュレーションの動作を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALL に設定すると、警告メッセージが出力され、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 ・ WARNING_ONLY に設定すると、警告メッセージのみが出力され、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 ・ GENERATE_X_ONLY に設定すると、警告メッセージは出力されず、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 ・ NONE に設定すると、エラーが無視され、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 <p>メモ: ALL に設定しておくとしミュレーション中に発生した問題に気付かない可能性があります。この値を変更する場合は注意が必要です。</p>
SRVAL_A	16 進数	18 ビット値	すべてゼロ	同期リセット信号 (RSTREG) がアサートされたときの RAM の出力値を指定します。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 18 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
SRVAL_B	16 進数	18 ビット値	すべてゼロ	同期リセット信号 (RSTREG) がアサートされたときの RAM の出力値を指定します。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。
WRITEMODE	文字列	WRITE_FIRST、 READ_FIRST、 NO_CHANGE	WRITE_FIRST	<p>書き込みが実行されるときのポートの動作を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WRITE_FIRST に設定すると、書き込まれた値が出力ポートに出力されます。 ・ READ_FIRST に設定すると、そのメモリ ロケーションに直前に格納されていた値が出力ポートに出力されます。 ・ NO_CHANGE に設定すると、出力ポートから直前に出力された値が保持されます。

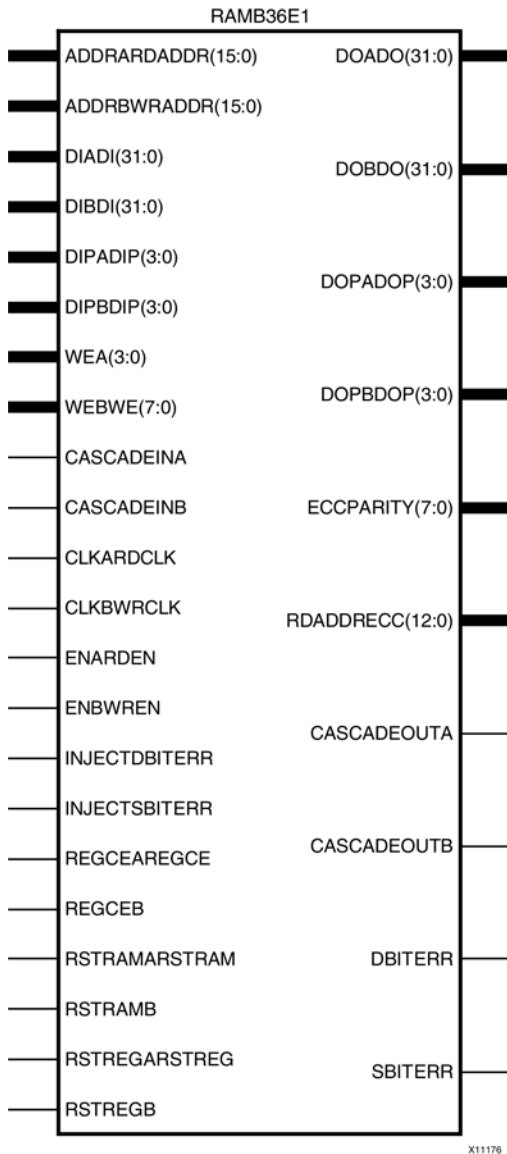
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
				デフォルトは TDP の WRITE_FIRST です。SDP の READ_FIRST と同じにする必要があります。
WRITE_WIDTH_A	整数	0、1、2、4、9、18	0	ポート A への書き込みのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポートを使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のデータ幅に設定してください。SDP では使用されません。
WRITE_WIDTH_B	整数	0、1、2、4、9、18、36、72	0	ポート B への書き込みのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポートを使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のデータ幅に設定してください。SDP の場合は、パリティビットを含む書き込み幅です。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

RAMB36E1

プリミティブ : 36K-bit Configurable Synchronous Block RAM



概要

Virtex®-6 デバイスにはブロック RAM が数個含まれ、FIFO、自動エラー訂正 RAM、または汎用 RAM/ROM (36 Kb または 18 Kb) としてコンフィギュレーションできます。これらのブロック RAM には、大量のオンチップ データを高速かつ柔軟に格納できます。またこのデザイン エLEMENTを使用すると、36kb の FIFO のブロック RAM へアクセスできます。このELEMENTをカスケード 接続すると、大型の RAM を作成できます。このコンポーネントは、1 ビット X 32K ワード〜36 ビット X 1K ワードの完全なデュアル ポート RAM としてコンフィギュレーションできます。コンポーネントに供給されるクロックに完全に同期して、読み出しと書き込みが同時に実行されます。ただし、READ と WRITE は互いに独立しており、同じメモリ アレイにアクセスする間は非同期になります。広いデータ幅でコンフィギュレーションすると、バイト イネーブルの書き込みが可能になり、オプションの出力レジスタを使用して RAM の clock-to-out タイムを短縮できます。エラー検出と訂正回路をイネーブルにすると、メモリ破損を検出し、修正することもできます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
ADDRARDADDR[15:0]	入力	16	ポート A アドレス入力バス/読み出しアドレス入力バス
ADDRBWRADDR[15:0]	入力	16	ポート B アドレス入力バス/書き込みアドレス入力バス
CASCADEINA	入力	1	ポート A カスケード入力。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
CASCADEINB	入力	1	ポート B カスケード入力。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
CASCADEOUTA	出力	1	ポート A カスケード出力。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
CASCADEOUTB	出力	1	ポート B カスケード出力。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
CLKARDCLK	入力	1	ポート A クロック入力/読み出しクロック入力
CLKBWRCLK	入力	1	ポート B クロック入力/書き込みクロック入力
DBITERR	出力	1	ダブル ビット エラーが検出されたことを示す ECC ファンクションからのステータス出力。この機能を使用するには EN_ECC_READ を TRUE に設定します。RAM_MODE=TDP の場合は使用されません。
DIADI[31:0]	入力	32	ポート A データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIADI の論理値は DI[31:0] です。
DIBDI[31:0]	入力	32	ポート B データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIBDI の論理値は DI[63:32] です。
DIPADIP[3:0]	入力	4	ポート A パリティ データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータ パリティ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIPADIP の論理値は DIP[3:0] です。
DIPBDIP[3:0]	入力	4	ポート B パリティ データ入力バス/WRADDR でアドレス指定されるデータ パリティ入力バス RAM_MODE=SDP の場合、DIPBDIP の論理値は DIP[7:4] です。
DOADO[31:0]	出力	32	ポート A データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるデータ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOADO の論理値は DO[31:0] です。
DOBDO[31:0]	出力	32	ポート B データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるデータ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOBDO の論理値は DO[63:32] です。
DOPADOP[3:0]	出力	4	ポート A パリティ データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるパリティ データ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOPADOP の論理値は DOP[3:0] です。
DOPBDOP[3:0]	出力	4	ポート B パリティ データ出力バス/RDADDR でアドレス指定されるパリティ データ出力バス RAM_MODE=SDP の場合、DOPBDOP の論理値は DOP[7:4] です。
ECCPARITY[7:0]	出力	8	メモリ エラー検出と訂正を行う ECC デコーダで使用される ECC エンコーダから生成された 8 ビット データ RAM_MODE=TDP の場合は使用されません。
ENARDEN	入力	1	ポート A RAM イネーブル/リード イネーブル
ENBWREN	入力	1	ポート B RAM イネーブル/ライト イネーブル
INJECTDBITERR	入力	1	ECC 機能が使用されている場合はダブル ビット エラーが挿入されます。
INJECTSBITERR	入力	1	ECC 機能が使用されている場合はシングル ビット エラーが挿入されます。
RDADDRECC[8:0]	出力	9	9 ビット ECC 読み出しアドレス。RAM_MODE=TDP の場合は使用されません。
REGCEAREGCE	入力	1	ポート A 出力レジスタ クロック イネーブル入力/出力レジスタ クロック イネーブル入力 (DO_REG=1 の場合のみ有効)
REGCEB	入力	1	ポート B 出力レジスタ クロック イネーブル (DO_REG=1 および RAM_MODE=TDP の場合のみ有効)

ポート名	タイプ	幅	機能
RSTRAMARSTRAM	入力	1	SRVAL_A で示される値に同期データ ラッチ セット/リセット。RSTRAMARSTRAM は、DO_REG=0 または 1 のとき BRAM データ出力ラッチをセット/リセットします。DO_REG=1 の場合は、RSTRAMARSTRAM でリセットされる内部データ ラッチ ノードと BRAM の DO 出力の間に 1 サイクルのレイテンシがあります。この信号は、RAM_MODE=TDP の場合はポート A の RSTRAMA、RAM_MODE=SDP の場合は RSTRAM です。
RSTRAMB	入力	1	SRVAL_B で示される値に同期データ ラッチ セット/リセット。RSTRAMB は、DO_REG=0 または 1 のとき BRAM データ出力ラッチをセット/リセットします。DO_REG=1 の場合は、RSTRAMB でリセットされる内部データ ラッチ ノードと BRAM の DO 出力の間に 1 サイクルのレイテンシがあります。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
RSTREGARSTREG	入力	1	SRVAL_A で示される値に同期出力レジスタ セット/リセット。RSTREGARSTREG は、DO_REG=1 のとき出力レジスタをセット/リセットします。RSTREG_PRIORITY_A は、この信号の優先度が REGCEAREGCE よりも高いかどうかを決定します。この信号は、RAM_MODE=TDP の場合はポート A の RSTREGA、RAM_MODE=SDP の場合は RSTREG です。
RSTREGB	入力	1	SRVAL_B で示される値に同期出力レジスタ セット/リセット。RSTREGB は、DO_REG=1 のとき出力レジスタをセット/リセットします。RSTREG_PRIORITY_B は、この信号の優先度が REGCEB よりも高いかどうかを決定します。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
SBITERR	出力	1	シングル ビット エラーが検出されたことを示す ECC ファンクションからのステータス出力。使用する場合は、EN_ECC_READ を TRUE にする必要があります。RAM_MODE=TDP の場合は使用されません。
WEA[3:0]	入力	4	ポート A のバイト幅ライト イネーブル。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。異なるポート幅の WEA マッピングについてはユーザー ガイドを参照してください。
WEBWE[7:0]	入力	8	ポート B のバイト幅ライト イネーブル/ライト イネーブル。異なるポート幅の WEBWE マッピングについては『Virtex®-6ユーザー ガイド』を参照してください。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DOA_REG	整数	0、1	0	値を 1 にすると、RAM の出力レジスタがイネーブルになり、RAM からの clock-to-out タイムが短縮されます。ただし、読み出しレイテンシのクロックサイクルは増加します。値を 0 にすると、1 クロックサイクルで読み出しが可能ですが、clock-to-out タイムが長くなります。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 36 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
DOB_REG	整数	0、1	0	値を 1 にすると、RAM の出力レジスタがイネーブルになり、RAM からの clock-to-out タイムが短縮されます。ただし、読み出しレイテンシのクロックサイクルは増加します。値を 0 にすると、1 クロックサイクルで読み出しが可能ですが、clock-to-out タイムが長くなります。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。
EN_ECC_READ	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	ECC デコーダ回路をイネーブルにします。
EN_ECC_WRITE	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	ECC エンコーダ回路をイネーブルにします。
INIT_A	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のポート A の出力の初期値を指定します。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 36 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
INIT_B	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のポート B の出力の初期値を指定します。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。
INIT_FILE	文字列	0 ビット文字列	NONE	初期 RAM の内容を指定するファイル名
INIT_00 ~ INIT_7F	16 進数	256'h00000000 000000000000 000000000000 000000000000 000000000000 0000 256'h00000000 000000000000 000000000000 000000000000 000000000001.1 57920892373 16e+77	すべてゼロ	32kb のデータ メモリ アレイの初期値を指定
INITP_00 ~ INITP_0F	16 進数	256'h00000000 000000000000 000000000000 000000000000 000000000000 0000 256'h00000000 000000000000 000000000000 000000000000 000000000001.1 57920892373 16e+77	すべてゼロ	4kb のパリティ メモリ アレイの初期値を指定

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
RAM_EXTENSION_A	文字列	LOWER、 NONE、 UPPER	NONE	ポート A カスケード モードを選択します。2 つのブロック RAM をカスケード接続して 72K X 1 RAM を作成しない場合は、NONE に設定します。カスケード接続する場合は、RAM を正しくコンフィギュレーションするために、RAM の相対位置を UPPER または LOWER で指定します。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
RAM_EXTENSION_B	文字列	LOWER、 NONE、 UPPER	NONE	ポート B カスケード モードを選択します。2 つのブロック RAM をカスケード接続して 72K X 1 RAM を作成しない場合は、NONE に設定します。カスケード接続する場合は、RAM を正しくコンフィギュレーションするために、RAM の相対位置を UPPER または LOWER で指定します。RAM_MODE=SDP の場合は使用されません。
RAM_MODE	文字列	TDP、SDP	TDP	シンプル デュアル ポート (SDP) または真のデュアル ポート (TDP) を選択します。
READ_WIDTH_A	整数	0、1、2、4、9、18、 36、72	0	ポート A の読み出しのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポート A を使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のポート幅に設定してください。SDP の場合は、パリティビットを含む読み出し幅です。
READ_WIDTH_B	整数	0、1、2、4、9、18、 36	0	ポート B の読み出しのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポート B を使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のポート幅に設定してください。SDP では使用されません。
RSTREG_PRIORITY_A	文字列	RSTREG、 REGCE	RSTREG	RSTREG または REGCE のレジスタ優先順位を選択します。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 36 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
RSTREG_PRIORITY_B	文字列	RSTREG、 REGCE	RSTREG	RSTREG または REGCE のレジスタ優先順位を選択します。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。
SIM_COLLISION_CHECK	文字列	ALL、 GENERATE_X_ONLY、 NONE、または WARNING_ONLY	ALL	<p>メモリの競合が発生した場合にシミュレーションの動作を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALL に設定すると、警告メッセージが出力され、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 WARNING_ONLY に設定すると、警告メッセージのみが出力され、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 GENERATE_X_ONLY に設定すると、警告メッセージは出力されず、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 NONE に設定すると、エラーが無視され、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 <p>メモ: ALL 以外の値に設定すると、シミュレーション中にデザインの問題を認識できなくなるため、この値を変更する場合は注意が必要です。</p>

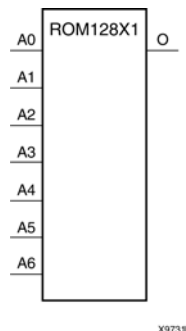
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
SRVAL_A	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	同期リセット信号 (RSTREG) がアサートされたときの RAM の出力値を指定します。TDP でポート A に、SDP では低いほうの 36 ビットまで (パリティビットを含む) に適用されます。
SRVAL_B	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	同期リセット信号 (RSTREG) がアサートされたときの RAM の出力値を指定します。TDP でポート B に、SDP では高いほうのビット (パリティビットを含む) に適用されます。
WRITEMODE	文字列	WRITE_FIRST、 READ_FIRST、 NO_CHANGE	WRITE_FIRST	書き込みが実行されるときポートの動作を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> WRITE_FIRST に設定すると、書き込まれた値が出力ポートに出力されます。 READ_FIRST に設定すると、そのメモリ ロケーションに直前に格納されていた値が出力ポートに出力されます。 NO_CHANGE に設定すると、出力ポートから直前に出力された値が保持されます。 デフォルトは TDP の WRITE_FIRST です。SDP の READ_FIRST と同じにする必要があります。
WRITE_WIDTH_A	整数	0、1、2、4、9、18、 36	0	ポート A への書き込みのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポートを使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のデータ幅に設定してください。SDP では使用されません。
WRITE_WIDTH_B	整数	0、1、2、4、9、18、 36、72	0	ポート B への書き込みのデータ幅を指定します (パリティビットを含む)。ポートを使用しない場合は、ポート幅を 0 にする必要があります。それ以外の場合は、任意のデータ幅に設定してください。SDP の場合は、パリティビットを含む書き込み幅です。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ROM128X1

プリミティブ : 128-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 128 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、7 ビットのアドレス (A6 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 32 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

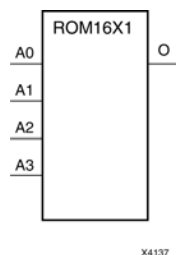
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	128 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ROM16X1

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 16 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 4 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。たとえば、INIT=10A7 と指定すると、「0001 0000 1010 0111」というデータストリームが生成されます。INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

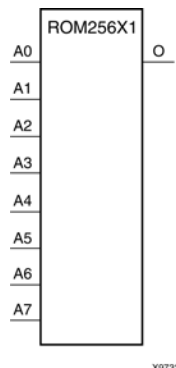
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ROM256X1

プリミティブ : 256-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 256 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、8 ビットのアドレス (A7 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 64 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。

INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

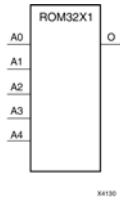
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ROM32X1

プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 8 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=1FH から最下位ビット A=00H の順に書き込まれます。

たとえば、INIT=10A78F39 と指定すると、次のデータストリームが生成されます。0001 0000 1010 0111 1000 1111 0011 1001. INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

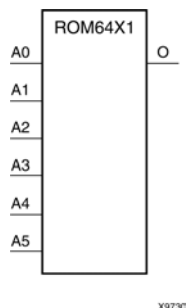
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

ROM64X1

プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 16 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

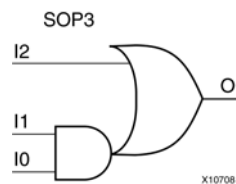
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP3

マクロ : 3-Input Sum of Products



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

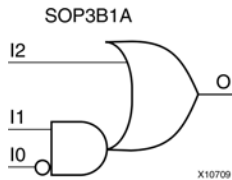
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP3B1A

マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option A)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

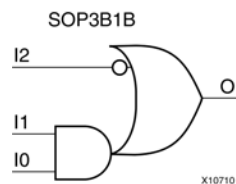
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP3B1B

マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option B)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

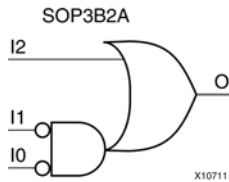
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP3B2A

マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

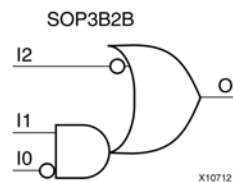
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP3B2B

マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

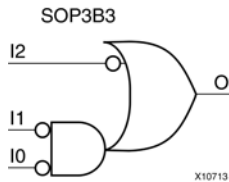
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP3B3

マクロ : 3-Input Sum of Products with Inverted Inputs



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

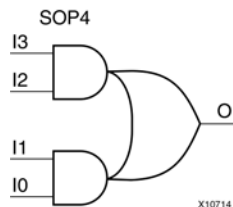
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP4

マクロ : 4-Input Sum of Products



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

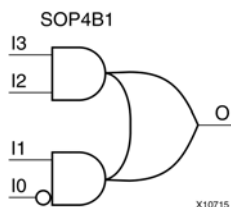
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP4B1

マクロ : 4-Input Sum of Products with One Inverted Input



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

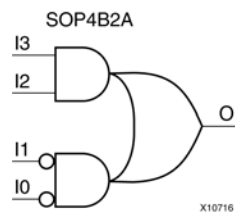
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP4B2A

マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

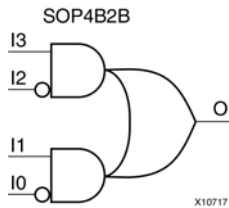
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP4B2B

マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

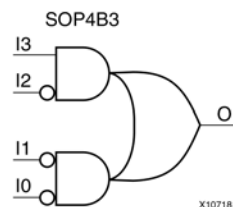
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP4B3

マクロ : 4-Input Sum of Products with Three Inverted Inputs



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

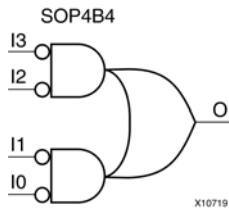
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SOP4B4

マクロ : 4-Input Sum of Products with Inverted Inputs



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

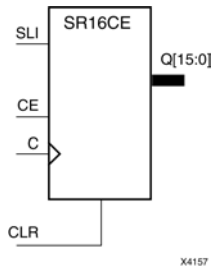
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR16CE

マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Q)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア入力 (CLR) があります。CLR 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High で CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
CLR	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1

z = ビット幅 - 1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

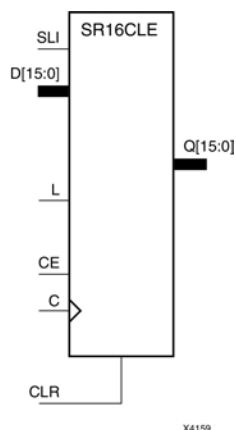
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR16CLE

マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、非同期クリア (CLR) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、Dn ~ D0 入力の値は対応する Qn ~ Q0 ビットにロードされます。

CE が High で L および CLR が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例: SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
CLR	L	CE	SLI	Dn : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	X	0	0
0	1	X	X	Dn : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

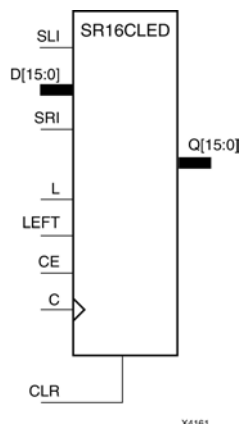
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR16CLED

マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、シフト ライト シリアル入力 (SRI)、パラレル 入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフト レフト/ライト (LEFT)、非同期クリア (CLR) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。

L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。CE が High で L および CLR が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
CLR	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D15 : D0	C	Q0	Q15	Q14 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D15 : D0	↑	D0	D15	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q14	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1

qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

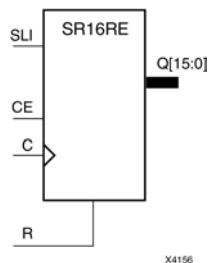
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR16RE

マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Qn)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット入力 (R) があります。R 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます。

CE が High で R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に SLI の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わる時に CE が High で R が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
R	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	↑	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 -1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

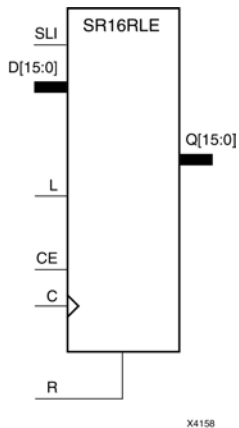
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR16RLE

マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、同期リセット (R) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合は、C が Low から High に切り替わるときに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と R が Low の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
R	L	CE	SLI	Dz : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	↑	0	0
0	1	X	X	Dz : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

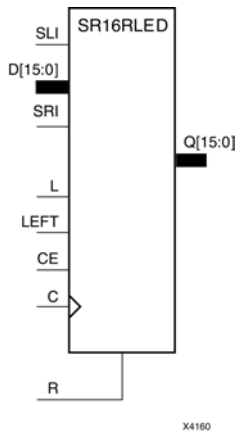
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR16RLED

マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、シフトライトシリアル入力 (SRI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフトレフト/ライト (LEFT)、同期リセット (R) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
R	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D15:D0	C	Q0	Q15	Q14:Q1
1	X	X	X	X	X	X	↑	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D15:D0	↑	D0	D15	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q14	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

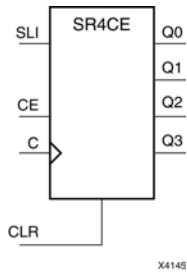
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR4CE

マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Q)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア入力 (CLR) があります。CLR 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わるたびに CE が High で CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
CLR	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 - 1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

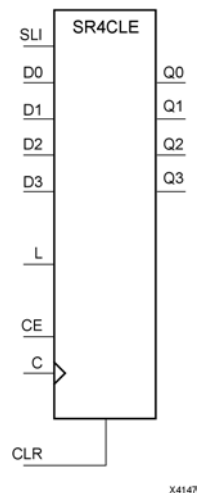
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR4CLE

マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、非同期クリア (CLR) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、Dn ~ D0 入力の値は対応する Qn ~ Q0 ビットにロードされます。

CE が High で L および CLR が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
CLR	L	CE	SLI	Dn : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	X	0	0
0	1	X	X	Dn : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし
z = ビット幅 -1							
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値							

デザインの入力方法

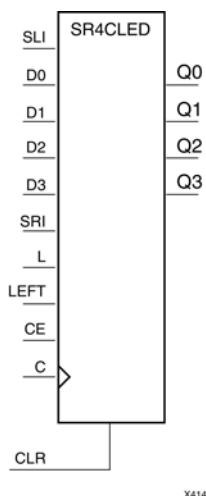
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR4CLED

マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、シフト ライト シリアル入力 (SRI)、パラレル 入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフト レフト/ライト (LEFT)、非同期クリア (CLR) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。

L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。CE が High で L および CLR が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
CLR	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D3 : D0	C	Q0	Q3	Q2 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D3:D0	↑	D0	D3	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q2	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 および qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

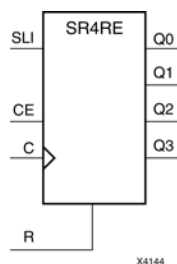
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR4RE

マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Qn)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット入力 (R) があります。R 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます。

CE が High で R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に SLI の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わる時に CE が High で R が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例: SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
R	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	↑	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 -1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

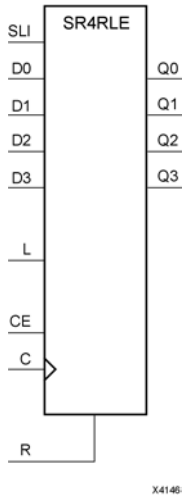
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR4RLE

マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、同期リセット (R) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合は、C が Low から High に切り替わる時に SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と R が Low の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
R	L	CE	SLI	Dz : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	↑	0	0
0	1	X	X	Dz : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし
z = ビット幅 -1							
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値							

デザインの入力方法

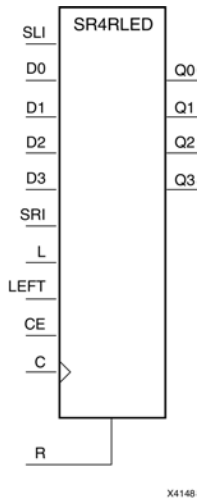
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR4RLED

マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、シフト ライト シリアル入力 (SRI)、パラレル 入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフト レフト/ライト (LEFT)、同期 リセット (R) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
R	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D3 : D0	C	Q0	Q3	Q2 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	↑	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D3 : D0	↑	D0	D3	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q2	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

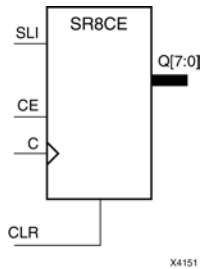
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR8CE

マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Q)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア入力 (CLR) があります。CLR 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わるたびに CE が High で CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
CLR	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 - 1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

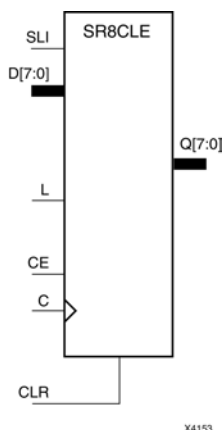
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR8CLE

マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、非同期クリア (CLR) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、Dn ~ D0 入力の値は対応する Qn ~ Q0 ビットにロードされます。

CE が High で L および CLR が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
CLR	L	CE	SLI	Dn : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	X	0	0
0	1	X	X	Dn : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

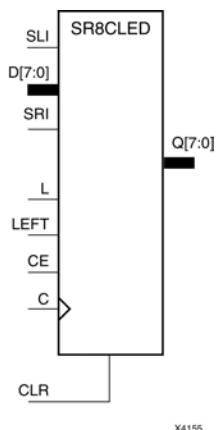
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR8CLED

マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、シフトライトシリアル入力 (SRI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフトレフト/ライト (LEFT)、非同期クリア (CLR) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。

L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。CE が High で L および CLR が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
CLR	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D7 : D0	C	Q0	Q7	Q6 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D7 : D0	↑	D0	D7	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q6	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

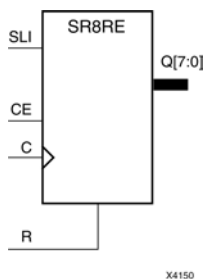
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR8RE

マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Qn)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット入力 (R) があります。R 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます。

CE が High で R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に SLI の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わる時に CE が High で R が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例: SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
R	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	↑	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 -1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

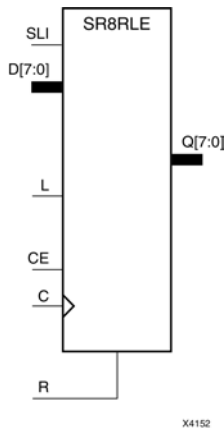
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR8RLE

マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、同期リセット (R) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合は、C が Low から High に切り替わるときに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と R が Low の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
R	L	CE	SLI	Dz : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	↑	0	0
0	1	X	X	Dz : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

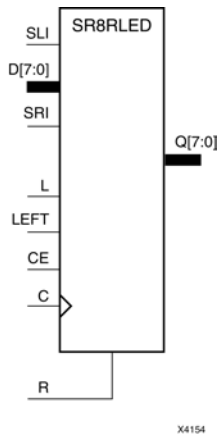
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SR8RLED

マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、シフトライトシリアル入力 (SRI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフトレフト/ライト (LEFT)、同期リセット (R) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例: Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
R	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D7 : D0	C	Q0	Q7	Q6 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	↑	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D7 : D0	↑	D0	D7	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q6	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

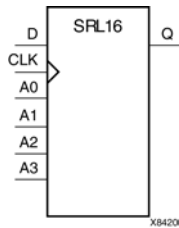
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRL16

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT)



概要

このデザイン エLEMENTは、シフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わると、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

論理表

入力			出力
Am	CLK	D	Q
Am	X	X	Q(Am)
Am	↑	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

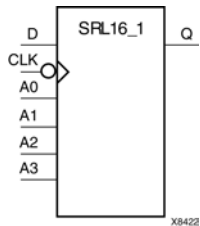
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRL16_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは、シフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が High から Low に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが High から Low に切り替わると、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

論理表

入力			出力
Am	CLK	D	Q
Am	X	X	Q(Am)
Am	↓	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

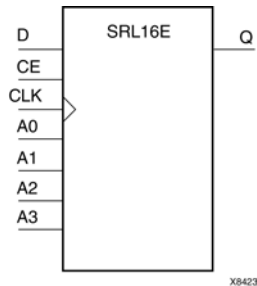
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRL16E

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、シフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

CE が High の場合、クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

論理表

入力				出力
Am	CE	CLK	D	Q
Am	0	X	X	Q(Am)
Am	1	↑	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3				

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q	出力	1	シフトレジスタ データ出力
D	入力	1	シフトレジスタ データ入力
CLK	入力	1	クロック
CE	入力	1	アクティブ High のクロック イネーブル
A	入力	4	SRL のワード数のダイナミック選択 ・ A=0000 ==> 1 ビット シフト長 ・ A=1111 ==> 16 ビット シフト長

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

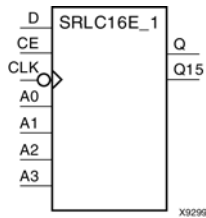
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRL16E_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブル (CE) があるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) で、クロックの立ち下がりエッジで動作します。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

CE が High の場合、クロック (CLK) が High から Low に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが High から Low に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

論理表

入力				出力
Am	CE	CLK	D	Q
Am	0	X	X	Q(Am)
Am	1	↓	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

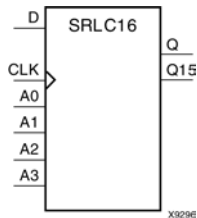
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRLC16

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry



概要

このデザイン エLEMENTは、キャリーがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わると、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

メモ : Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力			出力
Am	CLK	D	Q
Am	X	X	Q(Am)
Am	↑	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

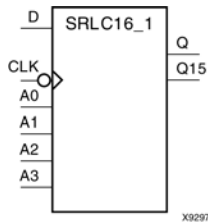
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRLC16_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エレメントは、キャリーがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) で、クロックの立ち下がりエッジで動作します。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

メモ : Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力			出力	
A _m	CLK	D	Q	Q15
A _m	X	X	Q(A _m)	変化なし
A _m	↓	D	Q(A _m - 1)	Q14
m = 0、1、2、3				

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

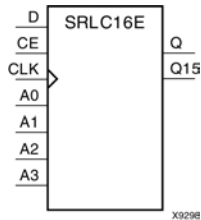
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRLC16E

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Clock Enable



概要

このデザイン エレメントは、キャリーとクロック イネーブルがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには：** 入力 A3 ～ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ～ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには：** 入力 A3 ～ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ～ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しいデータがロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

メモ： Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力				出力	
Am	CLK	CE	D	Q	Q15
Am	X	0	X	Q(Am)	Q(15)
Am	X	1	X	Q(Am)	Q(15)
Am	↑	1	D	Q(Am - 1)	Q15
m = 0、1、2、3					

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

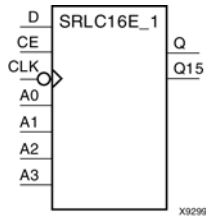
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRLC16E_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry, Negative-Edge Clock, and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、キャリーおよびクロック イネーブルがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) で、クロックの立ち下がりがエッジで動作します。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

CE が High の場合、クロック (CLK) が High から Low に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが High から Low に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

メモ : Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力				出力	
A _m	CE	CLK	D	Q	Q15
A _m	0	X	X	Q(A _m)	変化なし
A _m	1	X	X	Q(A _m)	変化なし
A _m	1	↓	D	Q(A _m -1)	Q14
m = 0、1、2、3					

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

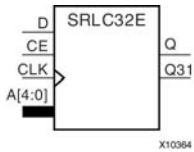
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SRLC32E

プリミティブ : 32 Clock Cycle, Variable Length Shift Register Look-Up Table (LUT) with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、1 つのルックアップ テーブル (LUT) にインプリメントされている、可変長で 1 ～ 32 クロック サイクルのシフトレジスタです。シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。このELEMENTは、アクティブ High のクロック イネーブルおよびカスケード機能も備えているため、複数の SRLC32E をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q	出力	1	シフトレジスタ データ出力
Q31	出力	1	シフトレジスタ カスケード出力 (後続 SRLC32E の D 入力に接続)
D	入力	1	シフトレジスタ データ入力
CLK	入力	1	クロック
CE	入力	1	アクティブ High のクロック イネーブル
A	入力	5	SRL のワード数のダイナミック選択 A=00000 ==> 1 ビット シフト長 A=11111 ==> 32 ビット シフト長

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

インスタンスシートする場合は、このコンポーネントを次のように接続します。

- ・ CLK 入力を任意のクロック ソースに、D 入力をシフト/格納するデータ ソースに、Q 出力を FDCPE 入力または FDRSE 入力などの適切なデスティネーションに接続します。
- ・ クロック イネーブル ピン (CE) はクロック イネーブル信号に接続するか、使用しない場合は論理値を 1 にします。
- ・ 5 ビット バス A は、一定の値 (0 ～ 31) にしてシフトレジスタの長さを 1 ～ 32 ビットに固定するか、または適切な論理値にしてシフトレジスタの長さを 1 ～ 32 ビットの範囲で変更することもできます。
- ・ シフトレジスタの長さを 32 ビットより大きくする場合は、Q31 出力ピンを後続の SRLC32E の D 入力に接続してカスケード接続します。
- ・ Q31 出力を SRLC32E 以外に接続することはできません。
- ・ Q 出力は、カスケード モードでも使用できます。
- ・ 32 ビットの 16 進数の INIT 属性で、シフトレジスタの初期シフト パターンを指定できます。
- ・ INIT[0] は、シフトアウトされる最初の値です。

使用可能な属性

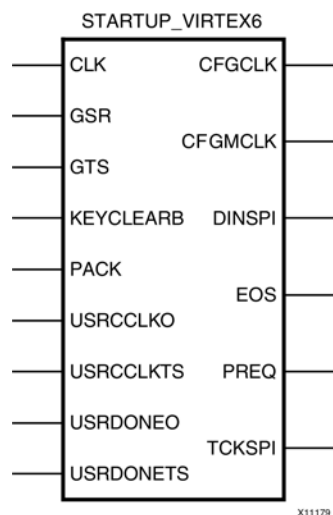
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	SRLC32E の初期のシフト パターンを指定

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

STARTUP_VIRTEX6

プリミティブ : Virtex®-6 Configuration Start-Up Sequence Interface



概要

このデザイン エLEMENTは、グローバル非同期セット/リセット (GSR) 信号、グローバルトライステート (GTS) 専用配線、内部コンフィギュレーション信号、SPI PROM が使用される場合は SPI PROM の入力ピンなどへのロジックとデバイスピンの接続に使用されます。デバイスのコンフィギュレーションの終わりにスタートアップ シーケンスで別のクロックを使用するのを指定したり、コンフィギュレーション クロックを内部ロジックにアクセスさせるのにも使用されます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CFGCLK	出力	1	コンフィギュレーションのメイン クロック出力
CFGMCLK	出力	1	コンフィギュレーションの内部オシレータのクロック出力
CLK	入力	1	ユーザー スタートアップ クロック
DINSPI	出力	1	SPI PROM コンフィギュレーションを使用した場合の DIN コンフィギュレーション ピンへの内部アクセス
EOS	出力	1	コンフィギュレーションが終了するとアクティブ High になります。
GSR	入力	1	アクティブ High GSR 信号
GTS	入力	1	アクティブ High GSR 信号
KEYCLEARB	入力	1	バッテリー充電 RAM (BBRAM) からのクリア AES デクリプタ。BBRAM の内容を消去するには KEYCLEARB を約 200ns 間以上 Low にします。
PACK	入力	1	PROGRAM 確認応答
PREQ	出力	1	デバイスへの PROGRAM リクエスト
TCKSPI	出力	1	SPI PROM コンフィギュレーションを使用した場合の TCK コンフィギュレーション ピンへの内部アクセス
USRCCLKO	入力	1	内部ユーザー CCLK
USRCCLKTS	入力	1	内部ユーザー CCLK トライステート イネーブル
USRDONEO	入力	1	内部ユーザー DONE ピンの出力を制御
USRDONETS	入力	1	ユーザー DONE トライステート イネーブル

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

専用のグローバルトライステートが使用される場合は、適切なソース ピンまたはロジックをこのプリミティブの GTS 入力ピンに接続します。コンフィギュレーションのスタートアップ シーケンスのクロックを指定するには、デザインからのクロックをこのデザイン エLEMENTの CLK ピンに接続します。CFGMCLK および CFGCLK を使用すると、内部コンフィギュレーション クロックにアクセスでき、EOS 信号はコンフィギュレーション スタートアップ シーケンスの終了を伝えます。

SPI PROM を使用してデバイスをコンフィギュレーションする場合に、コンフィギュレーション後の SPI PROM へのアクセスが必要であれば、このコンポーネントの TCK_SPI ピンと DIN_SPI ピンを使用して、ほかの専用コンフィギュレーション入力ピンにアクセスできるようにします。

使用可能な属性

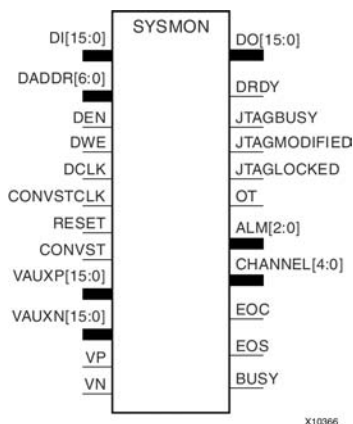
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
PROG_USR	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	プログラム イベント セキュリティ機能をアクティベート
CFGCLK_EN	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	コンフィギュレーション ロジック メイン クロックを有効にします。
CFGMCLK_EN	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	コンフィギュレーション内部オシレータ クロックを有効にします。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

SYSMON

プリミティブ : System Monitor



概要

このデザイン エLEMENTは、10 ビット、200kSPS (キロサンプル/秒) の Analog-to-Digital Converter (ADC) をベースに構築されています。ADC は、大量のオンチップ センサーと組み合わせて、オンチップ電源電圧およびチップ温度などの FPGA の物理的な動作パラメータを計測するのに使用されます。外部電圧には、専用のアナログ入力ペア (VP/VN) と 16 のユーザーが選択可能なアナログ入力 (補助アナログ入力 (VAUXP[15:0]、VAUXN[15:0])) を紹介します。外部アナログ入力を使用すると、ADC でボードやエンクロージャの物理的環境を監視できます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
ALM[2:0]	出力	3	温度、Vccint および Vccaux の 3 ビット出力アラーム
BUSY	出力	1	1 ビット出力 ADC ビジー信号
CHANNEL[4:0]	出力	5	5 ビット出力チャネル選択
CONVST	入力	1	1 ビット入力変換開始
CONVSTCLK	入力	1	1 ビット入力変換開始クロック
DADDR[6:0]	入力	7	ダイナミック リコンフィギュレーションの 7 ビット入力アドレス バス
DCLK	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーションの 1 ビット入力クロック
DEN	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーションの 1 ビット入力イネーブル
DI[15:0]	入力	16	ダイナミック リコンフィギュレーションの 16 ビット入力データ バス
DO[15:0]	出力	16	ダイナミック リコンフィギュレーションの 16 ビット出力データ バス
DRDY	出力	1	ダイナミック リコンフィギュレーションの 1 ビット出力データレディ
DWE	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーションの 1 ビット入力ライト イネーブル

ポート名	タイプ	幅	機能
EOC	出力	1	変換の 1 ビット出力エンド
EOS	出力	1	シーケンスの 1 ビット出力エンド
JTAGBUSY	出力	1	1 ビット出力 JTAG DRP ビジー
JTAGLOCKED	出力	1	1 ビット出力 DRP ポート ロック
JTAGMODIFIED	出力	1	DRP への 1 ビット出力 JTAG 書き込み
OT	出力	1	温度アラームの 1 ビット出力
RESET	入力	1	1 ビット入力アクティブ High リセット
VAUXN[15:0]	入力	16	16 ビット入力 N 側補助アナログ入力
VAUXP[15:0]	入力	16	16 ビット入力 P 側補助アナログ入力
VN	入力	1	1 ビット入力 N 側アナログ入力
VP	入力	1	1 ビット入力 P 側アナログ入力

デザインの入力方法

該当する入力および出力ポートをすべて接続し、このコンポーネントの該当するビヘイビアの属性を設定します。シミュレーションには、アナログおよび温度情報をモデルに渡すためにテキスト ファイルを使用します。テキスト ファイルのフォーマットは次のとおりです。

```
// Must use valid headers on all columns
// Comments can be added to the stimulus file using '//'
TIME TEMP VCCAUX VCCINT VP VN VAUXP[0] VAUXN[0]
00000 45 2.5 1.0 0.5 0.0 0.7 0.0
05000 85 2.45 1.1 0.3 0.0 0.2 0.0
// Time stamp data is in nano seconds (ns)
// Temperature is recorded in C (degrees centigrade)
// All other channels are recorded as V (Volts)
// Valid column headers are:
// TIME, TEMP, VCCAUX, VCCINT, VP, VN,
// VAUXP[0], VAUXN[0],.....VAUXP[15], VAUXN[15]
// External analog inputs are differential so VP = 0.5 and VN = 0.0 the
// input on channel VP/VN is 0.5 - 0.0 = 0.5V
```

メモ： このコードをコンパイルする場合は、テキストに余分なスペースを追加しないでください。コンパイル エラーが発生する場合があります。

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_40	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	コンフィギュレーション レジスタ 0
INIT_41	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	コンフィギュレーション レジスタ 1
INIT_42	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0800	コンフィギュレーション レジスタ 2
INIT_43	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	テスト レジスタ 0

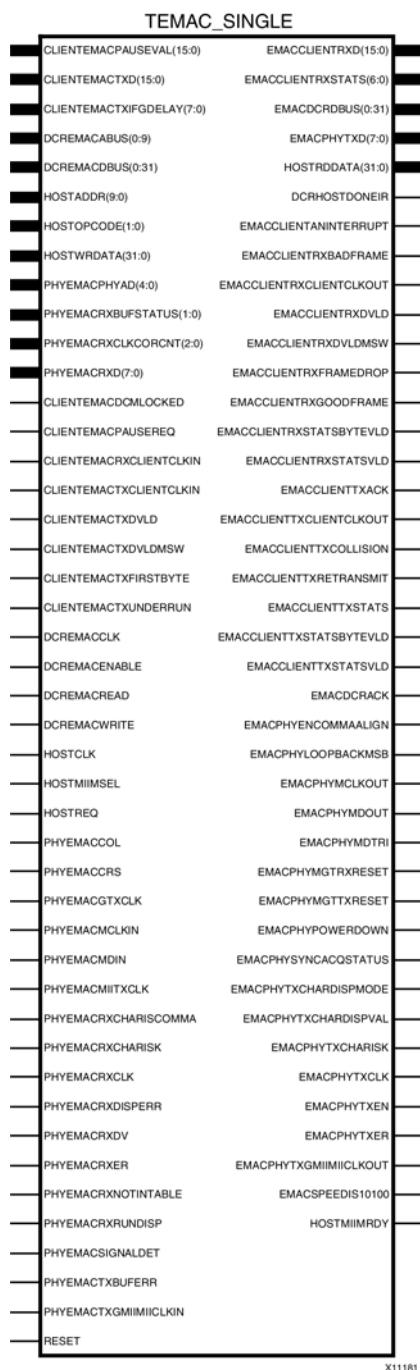
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_44	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	テスト レジスタ 1
INIT_45	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	テスト レジスタ 2
INIT_46	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	テスト レジスタ 3
INIT_47	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	テスト レジスタ 4
INIT_48	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 0
INIT_49	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 1
INIT_4A	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 2
INIT_4B	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 3
INIT_4C	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 4
INIT_4D	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 5
INIT_4E	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 6
INIT_4F	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	シーケンス レジスタ 7
INIT_50	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 0
INIT_51	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 1
INIT_52	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 2
INIT_53	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 3
INIT_54	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 4
INIT_55	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 5
INIT_56	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 6
INIT_57	16 進数	16'h0000 ~ 16'hffff	16'h0000	アラーム制限レジスタ 7
SIM_DEVICE	文字列	VIRTEX5、 VIRTEX6	VIRTEX5	DRP クロック (DCLK) と低周波数の ADC クロック (ADCCLOCK) との最小分周率を 8 から 2 に変更したものをシミュレーション モデルに反映させることができる。
SIM_MONITOR_FILE	文字列	0 ビット文字列	design.txt	シミュレーション アナログ入力ファイル

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

TEMAC_SINGLE

プリミティブ : Tri-mode Ethernet Media Access Controller (MAC)



概要

Virtex®-6 FPGA エンベデッドトライモードイーサネット MAC をインスタンス化するために必要なポートおよび属性を提供します。SecureIP 暗号化 HDL を含むため、論理およびタイミング シミュレーションにも使用されます。このプリミティブは、イーサネット MAC ラップを作成するために、CORE Generator™ を使用して特定ニーズに合わせて変更することができます。

デザインの入力方法

このエレメントをインスタンスエートするには、エンベデッド開発キット (EDK) またはこのエレメントを含む関連コアを使用します。このエレメントは直接インスタンスエートしないでください。

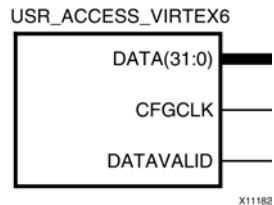
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

USR_ACCESS_VIRTEX6

プリミティブ : Virtex-6 User Access Register



概要

このデザイン エLEMENTを使用すると、コンフィギュレーション ロジック内の 32 ビットのレジスタにアクセスでき、ビットストリームからのデータを読み出すことができます。たとえば、コンフィギュレーション後に FPGA デザインからビットストリーム格納ソースに保存されたデータにアクセスすることができます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CFGCLK	出力	1	コンフィギュレーション クロック
DATA[31:0]	出力	32	コンフィギュレーション出力データ
DATAVALID	出力	1	有効なデータを含むアクティブ High の DATA ポート

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

VCC

プリミティブ : VCC-Connection Signal Tag



概要

このデザイン エLEMENTは信号タグまたはパラメータであり、ネットや入力ファンクションを強制的に High にします。このELEMENTに接続したネットを、ほかのソースに接続することはできません。

配置配線のプロセスで VCC に接続されたネットまたは入力ファンクションが検出されると、VCC 信号でディスエーブルになるロジックは削除されます。VCC 信号は、ディスエーブルされたロジックが削除できない場合のみインプリメントされます。

デザインの入力方法

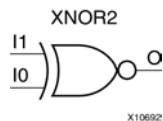
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR2

プリミティブ : 2-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

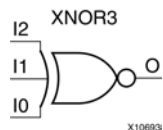
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR3

プリミティブ : 3-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... I2	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

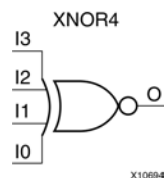
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR4

プリミティブ : 4-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... I2	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

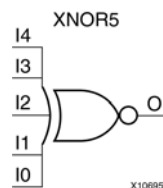
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR5

プリミティブ : 5-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

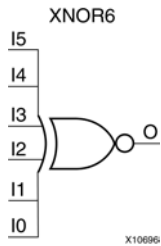
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR6

マクロ : 6-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

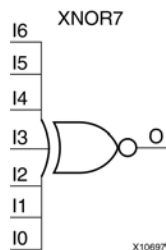
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR7

マクロ : 7-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... I _z	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

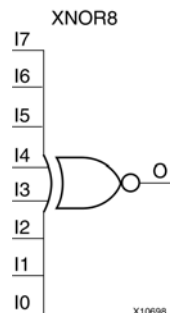
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR8

マクロ : 8-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力 が 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力 で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

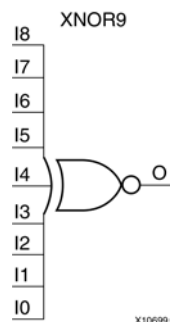
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XNOR9

マクロ : 9-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... I14	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR2

プリミティブ : 2-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

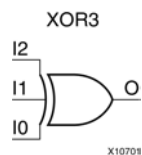
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR3

プリミティブ : 3-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

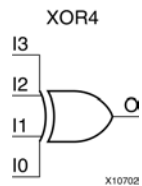
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR4

プリミティブ : 4-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

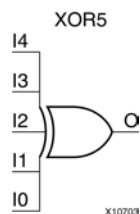
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR5

プリミティブ : 5-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

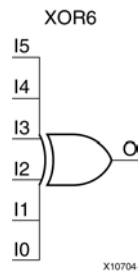
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR6

マクロ : 6-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

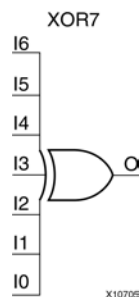
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR7

マクロ : 7-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

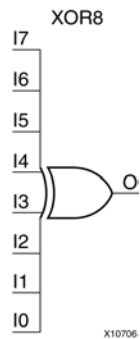
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR8

マクロ : 8-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

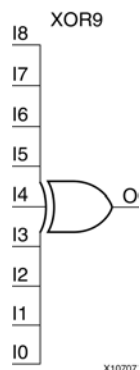
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XOR9

マクロ : 9-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

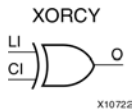
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)

XORCY

プリミティブ : XOR for Carry Logic with General Output



概要

このデザイン エレメントは、一般出力 (O) のある特殊な XOR ゲートで、高速で小型の演算ファンクションを生成するために使用します。このプリミティブは、スライスのキャリーチェーン ロジック内の専用 XOR ファンクションで、演算ファンクション (加算または除算) または多入力ロジック ファンクション (多入力 AND または OR ゲート) を高速かつ効率的に作成できます。

論理表

入力		出力
LI	CI	O
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

[Virtex-6 FPGA の資料 \(ユーザー ガイドおよびデータシート\)](#)